

平成 28 (2016) 年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 29 (2017) 年 8 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長

眞野 泰

本報告書は、平成 28 (2016) 年度実施の「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一助として「学生による授業評価アンケート」を年 2 回実施しており、平成 28 年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって 11 年目であった。近年は、このアンケートが学内に定着し、教職員と学生の協力のもと、円滑な実施ができている。

「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立てていただけるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。

さらに、このアンケートの結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、平成 22 (2010) 年度より、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、『『授業評価アンケート』報告書』の第 3 章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有する。

第二に、同じく平成 22 年度より、各部門においてこのアンケートの結果を活用し、意見交換を行う機会を設けるため、FD をテーマにする懇談会を毎年開催している。

第三に、平成 27 (2015) 年度より、毎年度の第 1 学期中に、学生によって高く評価された授業を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その授業の担当教員による授業方法や授業改善のための創意工夫についての講演及び参加者による意見交換からなる「FD 研究会」を実施している。これにより、教職員が良い授業とは何かについて議論し合い、授業方法や創意工夫についての情報を共有する場を作ることができた。

今後は、「学生による授業評価アンケート」に自由記述欄を設けることや、アンケートの結果を学生に公開することなど、アンケートのあり方についても見直す必要があるだろう。また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形、様々な次元で FD に関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学の FD 活動の見直しを続けていきたい。

平成 29 (2017) 年 8 月

目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施に関わる全体的な状況と評価	5
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	15
第2章 各部門の分析・評価	16
「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）	18
I. 法学部	19
II. 経済学部	26
III. 文学部	34
IV. 理学部	40
V. 国際社会科学部	47
VI. 計算機センター	54
VII. 外国語教育研究センター	61
VIII. スポーツ・健康科学センター	70
IX. 基礎教養科目運営委員会	77
X. 教職課程	86
XI. 学芸員課程委員会	91
第3章 授業への取り組み例	97
第4章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	114
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	147

第1章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成 15（2003）年 8 月の各学部・センターの有志の教員 14 名からなる「FD 勉強会」の組織からである。ここでは、FD の定義についての確認、FD に関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおける FD への取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「FD 勉強会」は「FD 研究プロジェクト」と名称を変え、FD をめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートや FD を推進していくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD 推進委員会」）が発足、平成 16（2004）年 7 月、第 1 回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学における FD とは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を緊急かつ最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々な FD 活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられている。

その後、FD 推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」として纏めた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨を踏まえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これら二つのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成 18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

II. 実施の方法

第1学期は7月、第2学期は12月の所定の期間中（各2週間）に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することになっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。

第1学期： 第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期： 第2学期科目及び通年科目

注1.集中講義については、通常の間ではなく開講期間中に実施。

2.大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

3.総履修者数が5名以下の科目は対象外。

4.回答者数が5名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。

なお、集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
基礎教養科目運営委員会	講義	演習
教職課程	講義	演習
学芸員課程委員会	講義	演習

質問項目については、5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な11項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価では分析困難なこと等から、採用しないこととした。

実際に使用されたアンケート票のイメージを次ページに掲載する。



平成28(2016)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。

回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。 学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】

正しいマーク

正しいマーク

誤りマーク

時間割コード				
①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

授業形態
講義 ①
演習 ②
語学 ③

学科コード		
①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔
㉕		

学年
年
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕

必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。

記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。

罫りは消しゴムで完全に消してください。

指定以外のところには書き込まないでください。

記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。

このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。

所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号
□□-□□□-□□□ にある □ の5桁の数字です。
(例 16-011-999 の場合「011」
16-095-999 の場合「095」)

本学の学籍番号が付与されていない学生(Campus 生・大学院交流学生)は、
学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

【回答の基準】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

質問項目	回答欄				
● 1～11 は「全員」回答してください。					
1 私のこの授業への出席率は ⑤: 90%以上 ④: (90%未満)80%以上 ③: (80%未満)70%以上 ②: (70%未満)50%以上 ①: 50%未満	⑤	④	③	②	①
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	⑤	④	③	②	①
3 この授業のレベルは適切である	⑤	④	③	②	①
3-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 授業のレベルについて、どのように感じましたか ③: 難しすぎる ④: 易しすぎる	③	④			
4 この授業を進める速さは適切である	⑤	④	③	②	①
4-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 授業を進める速さについて、どのように感じましたか ③: 速すぎる ④: 遅すぎる	③	④			
5 教員は熱意を持って授業を行っている	⑤	④	③	②	①
6 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	⑤	④	③	②	①
7 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤	④	③	②	①
8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	⑤	④	③	②	①
8-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)について、どのように感じましたか ③: 速すぎる ④: 遅すぎる ⑤: その他/聞き取りにくい	③	④	⑤		
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤	④	③	②	①
10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	⑤	④	③	②	①
11 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤	④	③	②	①

K-1798 2/26

うら面につづきます。

Ⅲ. 実施に関わる全体的な状況と評価

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。平成28年度は、対象科目数2,389、実施科目数2,241、実施率93.80%となった。また、学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は59.85%であった。

初回（平成18（2006）年度）のアンケート実施後、いくつかの問題点が発見された。まず、アンケート実施上の授業形態についての確認が完全ではなく、また実施段階での変更等もあり多少の混乱が生じた。総履修者数5名以下の科目について、アンケートの信頼性への疑問や教員へのフィードバックに対する様々な懸念が改めて指摘された。これらの問題は第2回（平成19（2007）年度）以降改善された。また、質問項目のうち、「Q3 授業のレベル」、「Q4 授業を進める速さ」を問う項目について、最良の評価が3となる質問形式が5段階評価にそぐわず、結果集計の際にもデータに重みを付ける等多少複雑な処理が必要であった。この問題については、平成20（2008）年度実施時から他の質問項目同様に最良の評価が5になるように質問形式を変更している。

平成28（2016）年3月、教員へのフィードバックとして、個々の授業についてのアンケート結果を担当教員に送付した。同年5月には速報版をWeb ページに公開し、授業開設部門別、授業形態別に、各設問（主な11設問＋ α ）に対する平均・標準偏差の表、及びそれらをグラフ化した「基礎集計結果」を掲載した。また、「実施概要」及び「授業満足度に見る集計結果」もあわせて公開した。また、これらに加え、部門別、形態別、学年別、総履修者数別の集計をとった「基礎データクロス表」、及びアンケートの問に対する相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」を作成した。さらに、「授業への取り組み例」も、情報を追加・更新する形で今年度も作成した。

「相関係数表」は「基礎集計結果」とともに第2章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第3章に、「基礎データクロス表」は第4章に掲載する。また、前回に引き続き、経年変化比較表（5年間）を部門別・形態別に作成し、第2章の各部門の頁末に掲載する。次章における各部門の分析・評価の概要はこれらのデータをもとに行われたものである。以下にWeb ページに公開された「実施概要」及び「授業満足度に見る集計結果」を再掲する。

1. 実施概要

平成 28 年度のアンケートは、第 1 学期は 7 月 2 日から 7 月 15 日まで、第 2 学期は 12 月 7 日から 12 月 20 日までのそれぞれ 2 週間に、学部生が履修することのできる科目を対象として行われた。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表 1**である。国際社会科学部が開設された平成 28 年度は、対象科目数 2,389 に対して、実施科目数 2,241、実施率は 93.80% となり、これまで 90% 台後半で推移していた実施率の低下が見られた(前年度比-5.09%)。一方、集計対象科目における学生の回答率(=集計対象科目の回答者数/集計対象科目の総履修者数)は 59.85% であり、これまで 50% 台前半に留まっていた回答率が上昇している(前年度比+4.34%)。これについては、回答者の種類を示した**図表 2**のとおり、学部生に限って見た場合、1 年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向にあることから、国際社会科学部の開設初年度に当たる平成 28 年度の回答率が上昇したと考えられる。実際に、学部生の学年別回答者数を平成 27 年度と比較した場合、1 年生(+4,391)、2 年生(+64)、3 年生(+983)、4 年生(+18)となっており、学部 1 年生の回答者数が大幅に増加していることが分かる。

部門別・形態別の実施率・回答率を以下の**図表 1**に示す。

図表1 アンケート実施率及び実施科目の回答率

部門別		実施率			集計対象 科目数	集計対象外 科目数	回答率		
		対象科目数	実施科目数	実施率			集計対象科目 履修者数	集計対象科目 回答者数	回答率
計セ	講義	95	95	100.00%	94	1	4,955	3,841	77.52%
	合計	95	95	100.00%	94	1	4,955	3,841	77.52%
外セ	語学	521	494	94.82%	468	26	11,808	9,671	81.90%
	合計	521	494	94.82%	468	26	11,808	9,671	81.90%
スポ健	演習	108	107	99.07%	93	14	1,910	1,541	80.68%
	合計	108	107	99.07%	93	14	1,910	1,541	80.68%
基礎教養	講義	99	94	94.95%	94	0	11,022	6,017	54.59%
	演習	1	1	100.00%	1	0	61	21	34.43%
	合計	100	95	95.00%	95	0	11,083	6,038	54.48%
法学部	講義	162	153	94.44%	148	5	23,640	9,583	40.54%
	演習	105	98	93.33%	96	2	2,013	1,588	78.89%
	合計	267	251	94.01%	244	7	25,653	11,171	43.55%
経済学部	講義	143	136	95.10%	130	6	22,249	8,624	38.76%
	演習	128	123	96.09%	112	11	1,784	1,545	86.60%
	合計	271	259	95.57%	242	17	24,033	10,169	42.31%
文学部	講義	230	208	90.43%	199	9	11,859	8,270	69.74%
	演習	376	339	90.16%	324	15	8,047	6,551	81.41%
	合計	606	547	90.26%	523	24	19,906	14,821	74.45%
理学部	講義	138	125	90.58%	118	7	6,688	4,220	63.10%
	演習	41	35	85.37%	34	1	1,777	1,344	75.63%
	合計	179	160	89.39%	152	8	8,465	5,564	65.73%
国際社会 科学部	講義	21	17	80.95%	17	0	2,498	1,776	71.10%
	演習	28	28	100.00%	28	0	472	413	87.50%
	語学	81	81	100.00%	81	0	1,871	1,654	88.40%
	合計	130	126	96.92%	126	0	4,841	3,843	79.38%
教職課程	講義	37	36	97.30%	35	1	2,146	1,529	71.25%
	演習	48	44	91.67%	44	0	1,586	1,253	79.00%
	合計	85	80	94.12%	79	1	3,732	2,782	74.54%
学芸員	講義	19	19	100.00%	19	0	841	695	82.64%
	演習	8	8	100.00%	8	0	87	73	83.91%
	合計	27	27	100.00%	27	0	928	768	82.76%
形態別	講義計	944	883	93.54%	854	29	85,898	44,555	51.87%
	演習計	843	783	92.88%	740	43	17,737	14,329	80.79%
	語学計	602	575	95.51%	549	26	13,679	11,325	82.79%
全科目		2389	2241	93.80%	2143	98	117,314	70,209	59.85%

注1 総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外。

注2 総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者数が5名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」: 学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」:授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」:アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」:アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	32,339	18,271	11,301	4,031	41	1,479	67,462
大学院生(博士前期課程)	213	80	9	4	0	11	317
大学院生(博士後期課程)	11	14	6	4	0	1	36
科目等履修生(学部)	66	55	47	12	22	20	222
科目等履修生(大学院)	0	0	0	0	6	1	7
他大学生(大学院生含む)	6	1	2	1	44	0	54
不明	803	405	279	128	13	483	2,111
合計	33,438	18,826	11,644	4,180	126	1,995	70,209

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階にランク分けし、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが図表3である。多少の変動はありながらも、例年、ほぼ同様の傾向となっている。

図表3 形態別・総履修者数ランク

			履修者数ランク					
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名	201～250名
形態別	講義	科目数	148	142	303	91	45	29
		%	17.33%	16.63%	35.48%	10.66%	5.27%	3.40%
	演習	科目数	487	203	50	0	0	0
		%	65.81%	27.43%	6.76%	0.00%	0.00%	0.00%
	語学	科目数	305	243	1	0	0	0
		%	55.56%	44.26%	0.18%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	940	588	354	91	45	29
		%	43.86%	27.44%	16.52%	4.25%	2.10%	1.35%

			履修者数ランク				
			251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	33	28	19	16	854
		%	3.86%	3.28%	2.22%	1.87%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	740
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	549
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	33	28	19	16	2,143
		%	1.54%	1.31%	0.89%	0.75%	100.00%

2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「全部門の全形態・形態別」及び「各部門の形態別」に分類し、各設問（主な 11 設問 + α ）に対する回答の平均値・標準偏差の表、および平均値をグラフ化したものは、次のとおりである。

別紙 質問項目別単純集計表（部門別・形態別）【別紙参照】

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

3. 授業満足度に見る集計結果

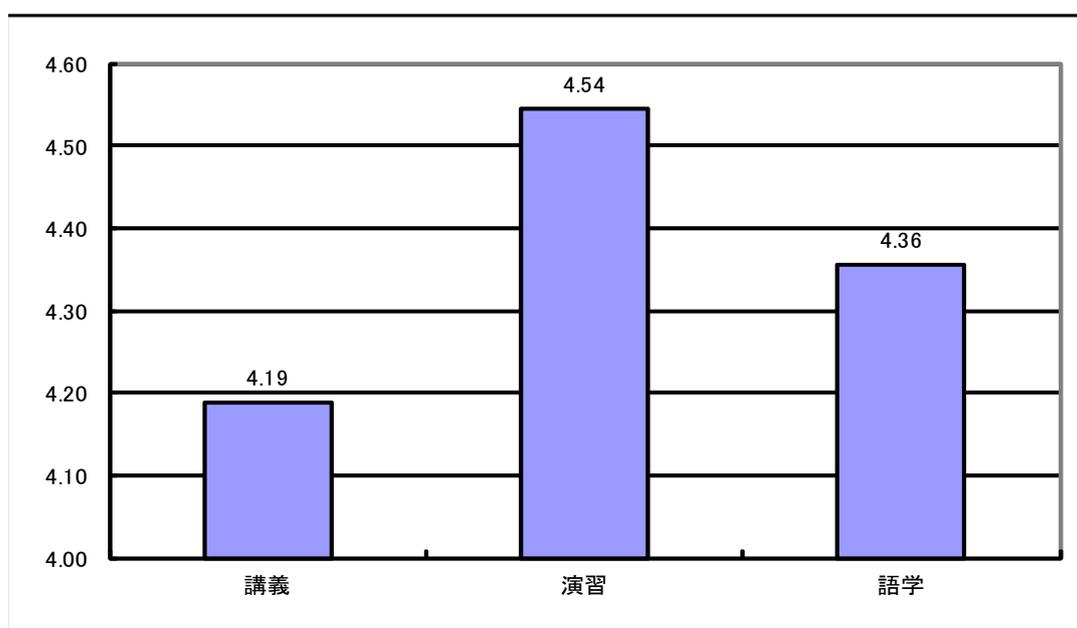
今回のアンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計した「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計結果だけで分析すると、履修者数の多い科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

以下では、質問項目 11 の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に注目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数ランク別」、質問項目 1 の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」（以下、「学年別」）、という4つの視点から分析している。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表 4-1 である。この結果を過去5年間の経年変化で示した図表 4-2 から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べ、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが考えられる。なお、平成 28 年度は、各形態の数値ともに過去最高となった。

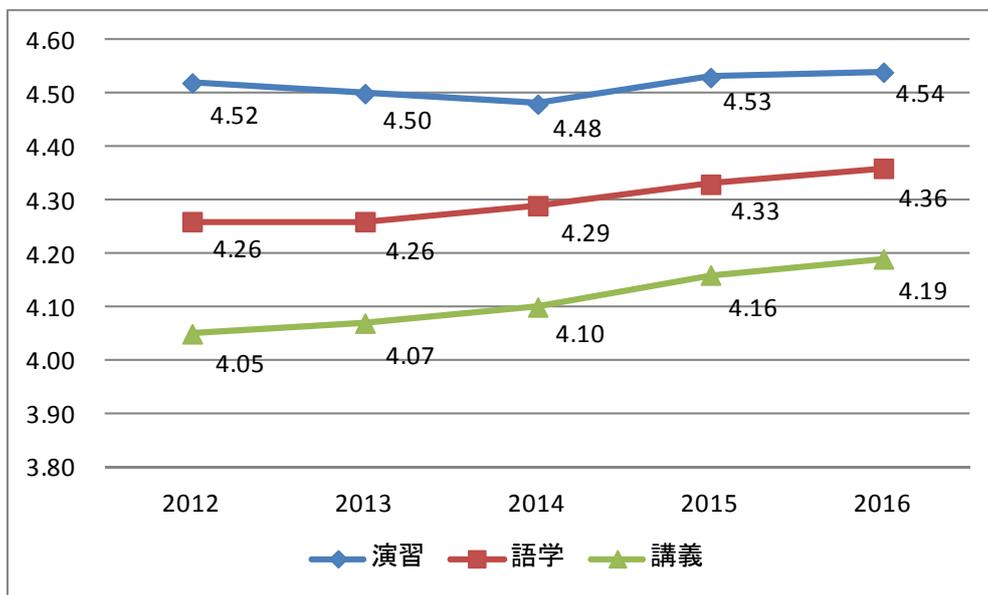
図表4-1 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の形態別集計結果(科目ベース)



講義	演習	語学
4.19	4.54	4.36

図表4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の形態別集計結果(科目ベース)

(過去5年)

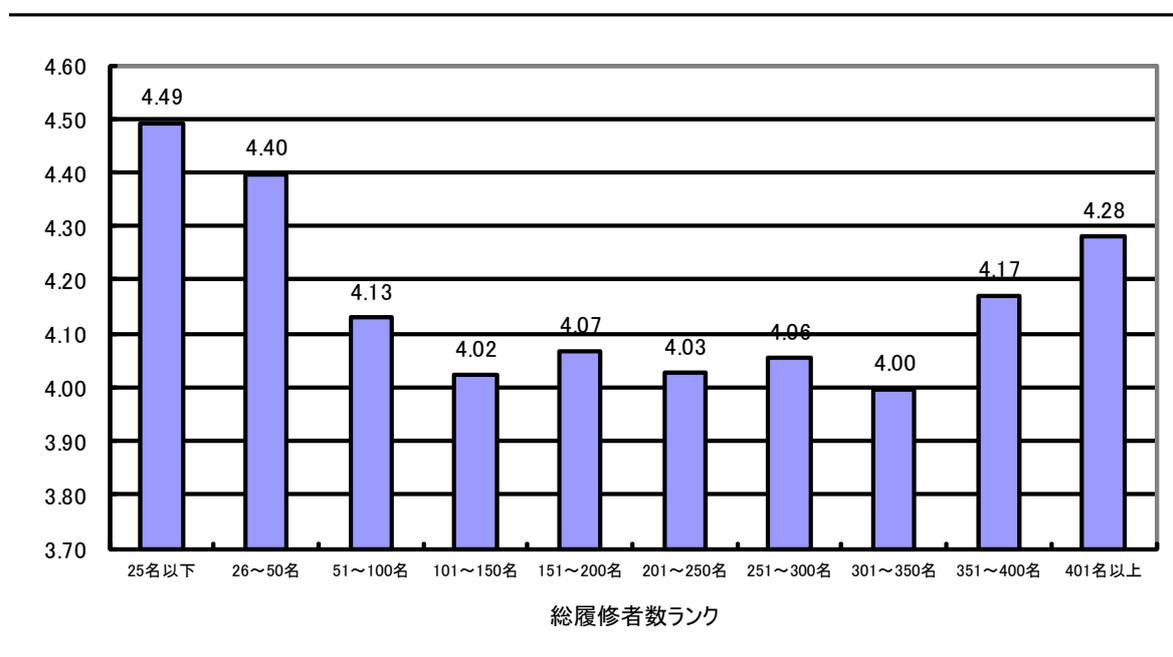


・「総履修者数別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係するが、授業の規模によって満足度に差があることも考えられる。このため、アンケート実施科目の総履修者数を10のランクに分けた上で集計した結果が図表5である。履修者数が150名以下の各ランクにおいては、総履修者数が少ない方が満足度が高い傾向にある一方、総履修者数が301名以上の各ランクにおいては、総履修者数が多い方が満足度が高くなっていることも特徴である。

また、総じてどのランクにおいても4.00を超える数値となっており、高い満足度を得られている。

図表5 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の総履修者数別集計結果(科目ベース)

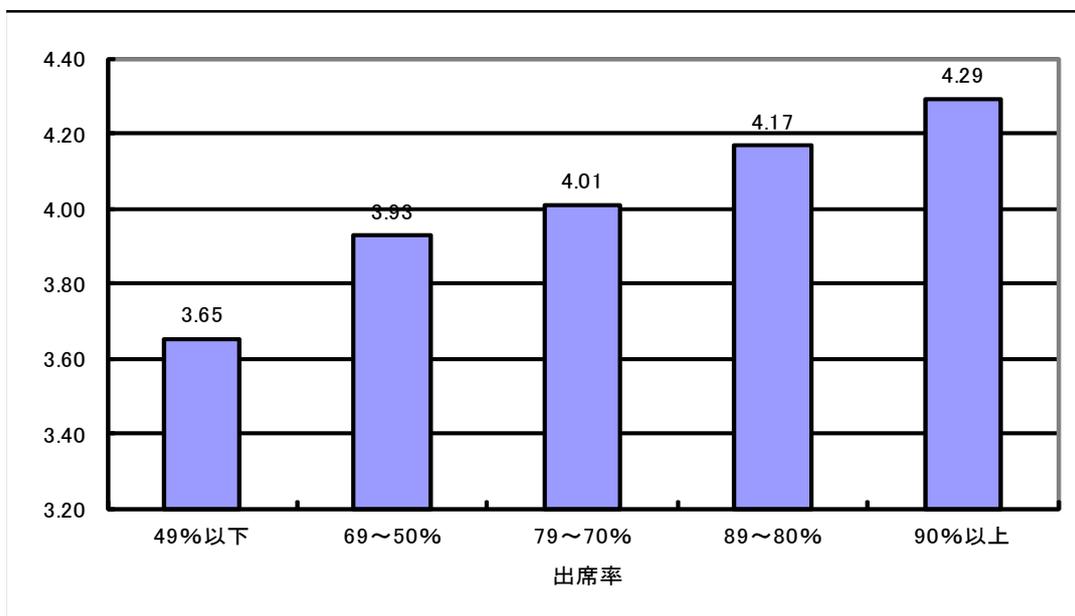


25名以下	26~50名	51~100名	101~150名	151~200名
4.49	4.40	4.13	4.02	4.07
201~250名	251~300名	301~350名	351~400名	401名以上
4.03	4.06	4.00	4.17	4.28

・「出席率別」による集計結果

授業への満足度は、出席率とどのような関係にあるかの集計結果が図表6である。「49%以下」(前年度比-0.04)、「69~50%」(同-0.02)、「79~70%」(同+0.02)、「89~80%」(同+0.03)、「90%以上」(同+0.02)であった。「出席率が高い授業は、授業に対する満足度も高い」傾向にあり、その傾向は前年度に比してより明らかになったといえよう。

図表6 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の出席率別集計結果(回答者ベース)

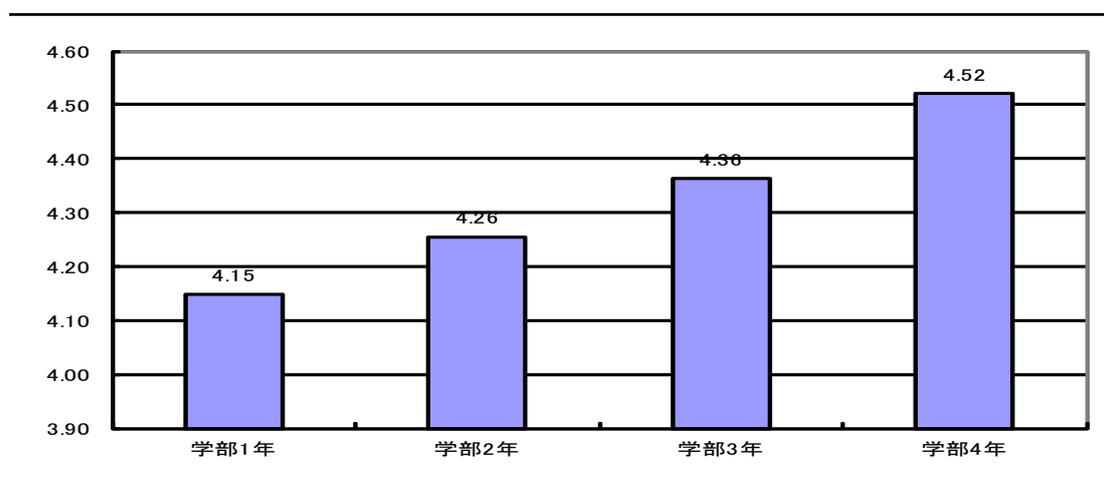


49%以下	69~50%	79~70%	89~80%	90%以上
3.65	3.93	4.01	4.17	4.29

・「学年別」による集計結果

学部生に限定して、学年別の分析を行った結果が図表7である。「学部1年」(前年度比+0.03)、「学部2年」(同+0.08)、「学部3年」(同+0.01)、「学部4年」(同+0.02)となった。前年同様、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子がうかがえる。

図表7 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の学年別集計結果(回答者ベース)



学部1年	学部2年	学部3年	学部4年
4.15	4.26	4.36	4.52

4. シラバスと履修科目選択との関係性

本学のシラバスは、平成 27 年度より「1. 学習目標（授業の目的・ねらい）」、「2. 授業方法」、「3. 授業内容」、「4. 成績評価の方法・基準」を入力必須項目として設定し、成績評価の方法・基準を多角的に明示できるように、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

そのうち「3. 授業内容」につき、平成 27 年度より設けた授業評価アンケートの質問項目 10「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」に対して、「強くそう思う」「そう思う」の割合が 48.49%（前年度比+0.14 ポイント）であることから、シラバスは一定程度、授業内容等を確認・把握するための参考となっていると推測できる。

その一方、約 3 人に 1 人の割合でシラバスを読まずに受講している学生がおり、この割合は、過去 5 年間ほぼ横ばいで推移している。この傾向は、必修科目として指定されている授業ほど強い。今後も継続して、学生にシラバスを活用するよう促していくことが必要である。

5. その他

平成 27 年度の授業評価アンケートより、「この授業のレベルは適切である」、「この授業を進める速さは適切である」及び「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」の設問項目にそれぞれ、「難しすぎる・易しすぎる」、「速すぎる・遅すぎる」及び「速すぎる・遅すぎる・その他／聞き取りにくい」をサブクエスチョンとして追加し、学生の反応を正確に把握する取り組みを進めている。

IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

平成28年度は、「学生による授業評価アンケート」を実施して11年目となったが、本年度も無事にアンケートが実施され、報告書の作成に至ったことにつき、関係各位のご尽力、ご協力に対し、ここに衷心より感謝の意を表するものである。

これまでの授業評価アンケート実施にあたり、FD推進委員会では実施主体の組織化、関係各部の協力体制づくり、さらには教員と学生に対する啓蒙活動等多くの活動に取り組んできた。こうした基礎作業を着実にやってきたため、今回の授業評価アンケートは大きな混乱もなく整然と実施することができたといえよう。

このように、授業評価アンケートが順調に実施されている一方、FD活動全体としては、将来的な課題も無視することはできない。これまで、FD推進委員会の主要な活動が、授業評価アンケートの実施に傾いていたことは否めない。授業評価アンケートは、授業の基礎的な条件を満たしているかどうかを検討するには重要な資料であるが、このアンケートだけでは捉えきれない、各教員の工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、本年度も引き続き報告書に掲載することにした。

また、平成27年度より、このアンケートの結果を活用した全学的な取り組みとして、学生によって高く評価された授業を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その授業を担当する教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD研究会」を実施している。

現在、「学生による授業評価アンケート」は、教員にも学生にも確実に定着しつつある。その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びついてはじめて理解されるものである。個人の努力を大学全体で共有化でき、より良い授業作りのための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、授業評価アンケートの結果についての学生へのフィードバックの検討等がFD活動の次の課題である。既存の授業評価アンケートを活用したFD活動のみならず、新たな取り組みについても検討していきたい。

第2章

各部門の分析・評価

この章では、各種集計結果に基づいた授業開設部門ごとの分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータには、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別に纏めた「基礎集計表」、「相関係数表」及び「経年変化比較表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目間の回答の方向性の強弱を見ることができ、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。その他、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第4章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q29 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）

科目ベースの部門別・形態別に「経年変化比較表」を作成し、過去5年間の数値の変化を確認した。

全学的な傾向として、「Q1 私はこの授業によく出席している」は、部門・形態によって多少の差はあるものの、前年度に引き続き全体的に高い数値を示している。「Q2 私は授業に意欲的に取り組んでいる」、「Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる」、「Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」についても、いずれも高い数値で推移しており、学生と教員との信頼関係が良好な状態であり、学生の主体的な学びが確立されていることがうかがえる。

図表4-2「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の形態別集計結果（科目ベース）(p.11)からは、「演習」、「語学」、「講義」とも高い数値を保っており、三つの形態の中で数値が低い傾向にある「講義」においても、着実に数値が上昇していることが分かる。

今後さらに学生満足度を高めていくためには、従前の施策とは異なる視点・角度からの授業改善の検討をはじめ、FD活動の抜本的な改革をも視野に入れていくことが必要となるであろう。

．法学部

1．集計データからわかること

法学部の平成 28 (2016) 年度のアンケート結果には、過去 4 年間の傾向から大きな変化は見られなかった。総合的な満足度 (Q11) の平均値は、講義科目が 4.17 / 4.21 (スラッシュの前後はそれぞれ、学生回答単純平均、部門別形態別平均。以下同じ)、演習科目が 4.58 / 4.60 であり、平成 27 (2015) 年度ないしそれ以前と較べて、ほとんど変化がない。個別の項目についても、授業のレベルの適切さ (Q3-1) の平均値は講義科目が 4.00 / 3.99、演習科目が 4.33 / 4.35、授業の進度の適切さ (Q4-1) の平均値は講義科目が 4.05 / 4.07、演習科目が 4.45 / 4.45、教員の熱意 (Q5) の平均値は講義科目が 4.36 / 4.37、演習科目が 4.65 / 4.67、理解しやすさ (Q7) の平均値は講義科目が 4.11 / 4.13、演習科目が 4.54 / 4.56、そして教員の話し方の適切さ (Q8-1) の平均値は講義科目が 4.09 / 4.13、演習科目が 4.53 / 4.55 であり、過去数年と大きくは変わらない。いずれも標準偏差の大きさを考えれば、過去の値との違いは誤差の範囲内であるが、講義科目についてわずかながら増加傾向にある項目が少なくなく (少なくとも前年度と今年度ではすべての項目で増加している)、教員の努力の表れであれば望ましい傾向である。

前年度から授業レベルの適切さ (Q3-1)、授業進度の適切さ (Q4-1)、教員の話し方の適切さ (Q8-1) に対する不満の理由も調査対象となっている。いずれの項目も不満のパーセンテージは低い。前二者については、学生の学力や理解力がさまざまであるので、学生に不満が生じるのはある程度までは避けがたい。平成 28 年度からのナンバリング制度導入により、授業レベルの表示がなされるようになり、授業レベルに関する教員と学生との認識のギャップは多少とも解消されることも期待されるが、前年度と大差のない不満が示された。ナンバリング制度の趣旨がまだ学生に浸透していないことも理由の一つであろうが、もともと情報過多なところが多少あるのかもしれない。授業を進めるスピードや話し方についての不満の大半が、速すぎる点にあるからである。教員の話し方に関する不満の理由として聞き取りにくさ等が多い点については、教員の努力によって解消できるところが少ないであろう。

「どちらともいえない (3)」という回答が肯定的評価と否定的評価の中間値を示し、これを平均値が大きく上回るほど肯定的な評価が多かったと考えるならば、すべての項目で平均値が安定的に 3 を大きく上回っていることは評価できるであろう。また、全体的な傾向として演習科目の方がおしなべて評価が高いことは、演習形態 (かつ、法学部の場合は講義形態の科目との比較においてかなり少人数の授業) の方が、教員が授業の質を高めやすいだけでなく、学生の満足度が増す可能性があることを示唆している。法学部の多くの講義形態の授業では出欠を取らないことや、総履修者数に対するアンケート回収率 (講義 40.54%、演習 78.89%) の差を考えれば、そもそも講義形態の授業のアンケート結果には

履修者全体平均より意欲的で授業を肯定的に評価している学生が過剰代表されている可能性が高いので、演習と講義に対する評価の差は実際にはさらに大きいと考えられる。法学部では演習への参加が義務化されていないため、演習を履修する者としいない者との間で授業をめぐる満足度に大きな差が生じている可能性がある。

次に、質問項目相互の相関関係から読み取れることを考察する。一目瞭然なのは、講義科目、演習科目ともに、学生が授業によく出席していること（Q1）やシラバスが科目選択に役立つこと（Q10）が、およそすべての質問項目と非常に低い相関しかもたないことである。ただし、前者（Q1）については、講義科目の場合、よく出席している学生しかそもそもアンケートに答えていないという選択バイアスが推測されるし、出席が重視される演習には多くの学生がよく出席しているであろうから回答者の中でバラツキが少ないことも推測される。シラバスについては、最初の科目選択においてはある程度参考になったとしても、その後履修を継続するか、授業をどう受け止めるかにはあまり影響していない様子が見えてくる。

それ以外では、授業レベル（Q3-1）、授業を進める速さ（Q4-1）、教員の熱意（Q5）、教室内環境（Q6）、授業の理解しやすさ（Q7）、教員の話し方（Q8-1）、知的好奇心への刺激（Q9）などが相互に、また総合的評価（Q11）とも一貫して高い相関を見せている。質問間のつながりを考えればこれはある意味当然のことであるが、学生が授業に意欲的に取り組んでいること（Q2）とその他の質問項目の相関が比較的弱い点は興味深い。質問項目は意欲的態度が予習や復習を含むものであることを示唆しており、データは多くの学生が必ずしも予習・復習を要求されるような重厚な授業内容を高く評価していないことも想像させる。（こういった点は、現行の授業評価アンケートに基づいて授業の質を多面的に評価することの限界を示すものであろう。）

なお、講義における板書やスライド（Q12）、教材（Q13）の適切さは、他の質問項目との相関において必ずしも一貫した高い数値を見せていないが、授業の理解しやすさ（Q7）や総合評価（Q11）とは高い相関がある。授業速度等様々な授業中の条件が不利に働いている学生も、こうした視覚的補助や活字媒体と組み合わせることで授業をよりよく理解している様子が想像される。

2. 今後の授業改善に向けて

学生の満足度を高めていくためには、授業の手法として、理解しやすさ、適切なレベル・進度・話し方等を改善していくことが重要であり、学生が理解するうえで補助となる板書・スライド・教材も軽視できないことは当然であるが、知的好奇心を刺激されることが授業への高い総合評価につながっているという授業の内容面に関するデータも、教員は今後の取り組みにおいて重視すべきであろう。もっとも、講義科目の授業の適切なレベル・進度・話し方についての一部学生の不満の原因は探求に値しよう。

演習の方が学生の満足度が高いという一般的なパターンから考えれば、演習を履修した

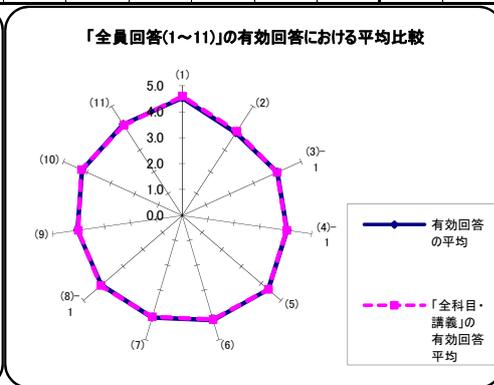
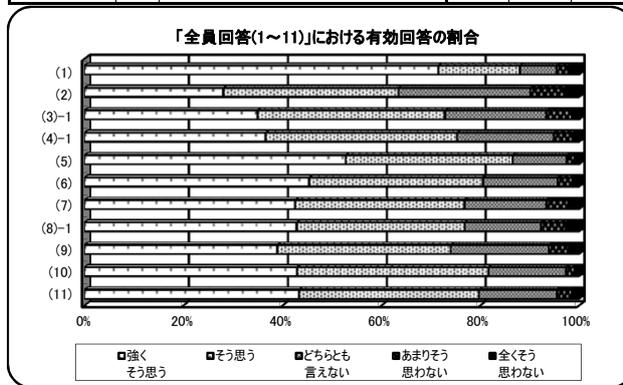
いと思う学生がみな履修できる仕組みになっているか、学生が求めるような演習が十分に提供されているか等、検証する必要もありそうである。同時に、演習が充実した学習経験につながる貴重な場であることをより多くの学生に伝え、積極的な履修を促す工夫も必要ではないかと思われる。

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,583	23,640	40.54%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	6,821	1,580	707	227	210	38	9,583	4.53	0.897	4.50	0.284
			71.18%	16.49%	7.38%	2.37%	2.19%	0.40%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,668	3,368	2,542	658	281	66	9,583	3.79	1.022	3.83	0.391
			27.84%	35.15%	26.53%	6.87%	2.93%	0.69%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3,288	3,564	1,934	488	133	176	9,583	4.00	0.943	3.99	0.370
			34.31%	37.19%	20.18%	5.09%	1.39%	1.84%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	522	59	-	-	-	40	621	-	-	-	-
			84.06%	9.50%	-	-	-	6.44%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3,467	3,674	1,858	362	124	98	9,583	4.05	0.910	4.07	0.341
			36.18%	38.34%	19.39%	3.78%	1.29%	1.02%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	342	111	-	-	-	33	486	-	-	-	-
		70.37%	22.84%	-	-	-	6.79%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,018	3,220	1,044	146	89	66	9,583	4.36	0.809	4.37	0.357	
		52.36%	33.60%	10.89%	1.52%	0.93%	0.69%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4,299	3,338	1,429	294	120	103	9,583	4.20	0.895	4.26	0.330	
		44.86%	34.83%	14.91%	3.07%	1.25%	1.07%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4,038	3,258	1,578	420	205	84	9,583	4.11	0.975	4.13	0.444	
		42.14%	34.00%	16.47%	4.38%	2.14%	0.88%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	4,041	3,209	1,460	476	251	146	9,583	4.09	1.008	4.13	0.448	
		42.17%	33.49%	15.24%	4.97%	2.62%	1.52%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	227	32	402	-	-	66	727	-	-	-	-	
		31.22%	4.40%	55.30%	-	-	9.08%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,695	3,332	1,882	392	191	91	9,583	4.05	0.965	4.11	0.400	
		38.56%	34.77%	19.64%	4.09%	1.99%	0.95%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 31.45%)	2,559	2,312	938	105	52	603	9,583	4.21	0.831	4.23	0.273	
		26.70%	24.13%	9.79%	1.10%	0.54%	6.29%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,106	3,454	1,498	284	140	101	9,583	4.17	0.903	4.21	0.398	
		42.85%	36.04%	15.63%	2.96%	1.46%	1.05%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,610	3,149	1,692	501	220	411	9,583	4.03	1.006	4.05	0.403
			37.67%	32.86%	17.66%	5.23%	2.30%	4.29%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,775	3,290	1,580	308	166	464	9,583	4.12	0.934	4.16	0.347	
		39.39%	34.33%	16.49%	3.21%	1.73%	4.84%	100.00%					

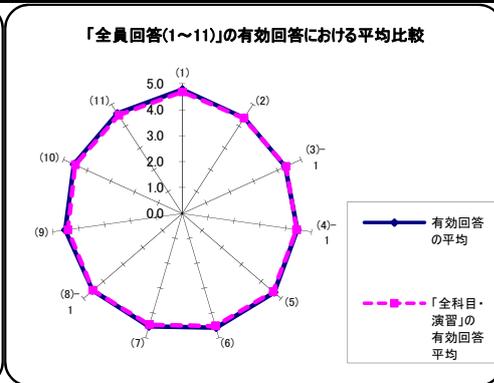
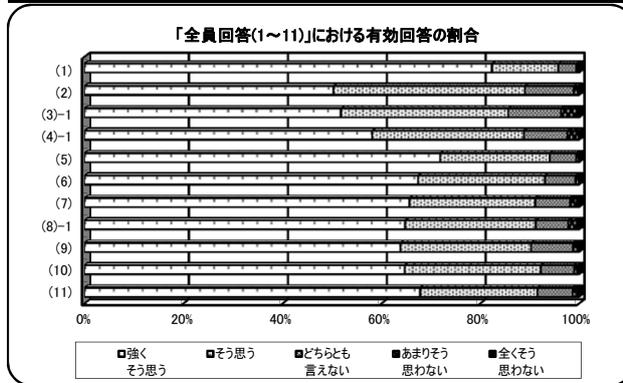


部門名 法学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,588	2,013	78.89%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,306	213	59	6	2	2	1,588	4.77	0.536	4.75	0.254
			82.24%	13.41%	3.72%	0.38%	0.13%	0.13%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	796	614	157	13	4	4	1,588	4.38	0.717	4.39	0.291
			50.13%	38.66%	9.89%	0.82%	0.25%	0.25%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	804	526	166	52	5	35	1,588	4.33	0.822	4.35	0.370
			50.63%	33.12%	10.45%	3.27%	0.31%	2.20%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	47	9	-	-	-	1	57	-	-	-	-
			82.46%	15.79%	-	-	-	1.75%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	915	484	139	36	1	13	1,588	4.45	0.754	4.45	0.361
			57.62%	30.48%	8.75%	2.27%	0.06%	0.82%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	17	17	-	-	-	3	37	-	-	-	-
		45.95%	45.95%	-	-	-	8.11%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,139	352	85	8	1	3	1,588	4.65	0.610	4.67	0.269	
		71.73%	22.17%	5.35%	0.50%	0.06%	0.19%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,062	405	98	10	1	12	1,588	4.60	0.641	4.61	0.248	
		66.88%	25.50%	6.17%	0.63%	0.06%	0.76%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,036	402	111	22	7	10	1,588	4.54	0.725	4.56	0.369	
		65.24%	25.31%	6.99%	1.39%	0.44%	0.63%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,018	416	103	30	5	16	1,588	4.53	0.730	4.55	0.367	
		64.11%	26.20%	6.49%	1.89%	0.31%	1.01%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	5	1	26	-	-	3	35	-	-	-	-	
		14.29%	2.86%	74.29%	-	-	8.57%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,010	418	135	16	3	6	1,588	4.53	0.710	4.56	0.333	
		63.60%	26.32%	8.50%	1.01%	0.19%	0.38%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 23.05%)	712	304	74	7	4	121	1,588	4.56	0.681	4.55	0.338	
		44.84%	19.14%	4.66%	0.44%	0.25%	7.62%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,070	375	112	17	4	10	1,588	4.58	0.694	4.60	0.356	
		67.38%	23.61%	7.05%	1.07%	0.25%	0.63%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,023	365	95	12	3	90	1,588	4.60	0.663	4.60	0.291
			64.42%	22.98%	5.98%	0.76%	0.19%	5.67%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	959	367	135	28	4	95	1,588	4.51	0.759	4.52	0.382	
		60.39%	23.11%	8.50%	1.76%	0.25%	5.98%	100.00%					



相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.372(**)	1											
Q3	.173(**)	.536(**)	1										
Q4	.155(**)	.443(**)	.715(**)	1									
Q5	.153(**)	.413(**)	.515(**)	.530(**)	1								
Q6	.134(**)	.421(**)	.488(**)	.527(**)	.662(**)	1							
Q7	.116(**)	.460(**)	.658(**)	.649(**)	.658(**)	.649(**)	1						
Q8	.101(**)	.387(**)	.557(**)	.659(**)	.574(**)	.558(**)	.726(**)	1					
Q9	.159(**)	.538(**)	.595(**)	.545(**)	.597(**)	.541(**)	.667(**)	.568(**)	1				
Q10	.084(**)	.281(**)	.225(**)	.211(**)	.198(**)	.214(**)	.227(**)	.197(**)	.276(**)	1			
Q11	.142(**)	.500(**)	.651(**)	.633(**)	.684(**)	.640(**)	.777(**)	.666(**)	.741(**)	.261(**)	1		
Q12	.119(**)	.402(**)	.527(**)	.560(**)	.536(**)	.528(**)	.646(**)	.579(**)	.546(**)	.213(**)	.643(**)	1	
Q13	.126(**)	.399(**)	.531(**)	.536(**)	.542(**)	.532(**)	.633(**)	.542(**)	.557(**)	.229(**)	.645(**)	.732(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.279(**)	1											
Q3	.101(**)	.473(**)	1										
Q4	.060(*)	.392(**)	.666(**)	1									
Q5	.093(**)	.382(**)	.475(**)	.523(**)	1								
Q6	.063(*)	.377(**)	.473(**)	.530(**)	.660(**)	1							
Q7	.060(*)	.388(**)	.598(**)	.617(**)	.626(**)	.680(**)	1						
Q8	.056(*)	.346(**)	.526(**)	.594(**)	.570(**)	.597(**)	.756(**)	1					
Q9	.064(*)	.465(**)	.497(**)	.460(**)	.540(**)	.528(**)	.579(**)	.529(**)	1				
Q10	.054(*)	.230(**)	.209(**)	.230(**)	.241(**)	.249(**)	.289(**)	.276(**)	.297(**)	1			
Q11	.061(*)	.418(**)	.594(**)	.593(**)	.641(**)	.639(**)	.742(**)	.660(**)	.668(**)	.334(**)	1		
Q14	.093(**)	.387(**)	.449(**)	.492(**)	.505(**)	.558(**)	.544(**)	.491(**)	.490(**)	.214(**)	.560(**)	1	
Q15	0.047	.371(**)	.493(**)	.494(**)	.547(**)	.548(**)	.598(**)	.526(**)	.521(**)	.261(**)	.652(**)	.620(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.41	0.998	4.38	0.284	4.46	0.945	4.43	0.298	4.45	0.941	4.41	0.303	4.47	0.944	4.42	0.307	4.53	0.897	4.50	0.284
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.52	1.032	3.64	0.370	3.61	1.004	3.67	0.386	3.62	1.005	3.68	0.405	3.64	1.034	3.69	0.358	3.79	1.022	3.83	0.391
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.82	0.956	3.90	0.344	3.87	0.969	3.91	0.441	3.89	0.952	3.93	0.408	3.90	0.925	3.92	0.360	4.00	0.943	3.99	0.370
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.82	1.009	3.94	0.364	3.89	0.987	3.98	0.417	3.91	0.963	3.98	0.391	3.97	0.888	4.03	0.328	4.05	0.910	4.07	0.341
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.16	0.891	4.24	0.336	4.14	0.899	4.22	0.366	4.14	0.892	4.23	0.366	4.25	0.831	4.31	0.304	4.36	0.809	4.37	0.357
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.00	0.972	4.15	0.371	4.03	0.956	4.15	0.367	4.04	0.953	4.17	0.366	4.10	0.922	4.20	0.318	4.20	0.895	4.26	0.330
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.89	1.015	4.02	0.428	3.92	1.042	4.00	0.500	3.93	1.025	4.03	0.488	3.99	0.983	4.05	0.428	4.11	0.975	4.13	0.444
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.90	1.040	4.02	0.443	3.92	1.049	4.03	0.465	3.94	1.019	4.05	0.449	4.01	0.993	4.08	0.448	4.09	1.008	4.13	0.448
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.94	0.990	4.07	0.352	3.93	0.993	4.04	0.399	3.93	1.005	4.06	0.415	3.92	0.986	4.03	0.369	4.05	0.965	4.11	0.400
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.77	0.966	3.86	0.310	3.75	0.993	3.83	0.388	3.82	0.963	3.91	0.343	4.04	0.858	4.09	0.286	4.21	0.831	4.23	0.273
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.97	0.926	4.08	0.372	3.99	0.944	4.08	0.444	4.02	0.934	4.11	0.429	4.05	0.934	4.14	0.364	4.17	0.903	4.21	0.398
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	3.66	1.112	3.79	0.436	3.75	1.115	3.88	0.510	3.80	1.060	3.91	0.463	3.86	1.033	3.93	0.429	4.03	1.006	4.05	0.403
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.87	1.003	4.01	0.385	3.92	1.007	4.03	0.406	3.93	0.994	4.04	0.394	3.99	0.951	4.06	0.358	4.12	0.934	4.16	0.347

部門名 法学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.70	0.653	4.67	0.288	4.70	0.646	4.65	0.306	4.73	0.609	4.71	0.236	4.75	0.608	4.70	0.281	4.77	0.536	4.75	0.254
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.31	0.774	4.35	0.299	4.31	0.811	4.35	0.343	4.21	0.840	4.30	0.349	4.31	0.808	4.37	0.288	4.38	0.717	4.39	0.291
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.35	0.788	4.36	0.358	4.30	0.823	4.34	0.346	4.19	0.898	4.25	0.421	4.20	0.938	4.31	0.411	4.33	0.822	4.35	0.370
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.41	0.765	4.42	0.349	4.42	0.770	4.46	0.344	4.30	0.843	4.36	0.380	4.31	0.874	4.43	0.358	4.45	0.754	4.45	0.361
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.55	0.702	4.57	0.346	4.57	0.668	4.60	0.286	4.45	0.790	4.52	0.331	4.56	0.741	4.65	0.297	4.65	0.610	4.67	0.269
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.51	0.723	4.55	0.318	4.51	0.714	4.55	0.298	4.39	0.811	4.49	0.327	4.42	0.897	4.57	0.355	4.60	0.641	4.61	0.248
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.51	0.740	4.55	0.381	4.51	0.751	4.56	0.351	4.38	0.860	4.47	0.410	4.42	0.903	4.56	0.370	4.54	0.725	4.56	0.369
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.50	0.759	4.54	0.381	4.56	0.695	4.60	0.289	4.44	0.817	4.52	0.369	4.45	0.845	4.59	0.355	4.53	0.730	4.55	0.367
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.53	0.735	4.57	0.356	4.53	0.744	4.60	0.350	4.39	0.858	4.50	0.360	4.42	0.870	4.56	0.333	4.53	0.710	4.56	0.333
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	4.29	0.868	4.27	0.489	4.25	0.903	4.27	0.376	4.20	0.928	4.26	0.398	4.38	0.827	4.46	0.343	4.56	0.681	4.55	0.338
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.56	0.696	4.58	0.352	4.57	0.685	4.61	0.295	4.43	0.821	4.53	0.376	4.47	0.879	4.61	0.359	4.58	0.694	4.60	0.356
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.46	0.829	4.53	0.387	4.51	0.770	4.52	0.408	4.42	0.802	4.50	0.333	4.43	0.854	4.54	0.357	4.60	0.663	4.60	0.291
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.44	0.810	4.48	0.371	4.46	0.796	4.48	0.388	4.34	0.887	4.44	0.401	4.36	0.897	4.49	0.373	4.51	0.759	4.52	0.382

Ⅱ. 経済学部

1. 集計データからわかること

A. 講義

経済学部の講義に関する授業評価アンケートの過去5年間の経年変化を、次の表を用いて検討してみよう。なお、この表の各セルで示されている値は各年度の質問項目に関する「(回答者ベースの) 平均値」であり、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計である。また、Q1 以外の質問に関する評価は「5:強くそう思う、4:そう思う、3:どちらとも言えない、2:あまりそう思わない、1:全くそう思わない」である。

< 経済学部 (講義) 授業評価アンケートの平均値 (回答者ベース) >

回答対象	番号	質問内容	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
「全員」 回答	Q1	私のこの授業への出席率は、5:90%以上、4:80%以上、3:70%以上、2:50%以上、1:50%未満	4.49	4.47	4.43	4.47	4.46
	Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.82	3.74	3.63	3.64	3.65
	Q3	この授業のレベルは適切である	3.91	3.89	3.84	3.83	3.85
	Q4	この授業を進める速さは適切である	3.98	3.96	3.88	3.86	3.88
	Q5	教員は熱意を持って授業を行っている	4.32	4.29	4.16	4.16	4.17
	Q6	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.17	4.15	4.06	4.04	4.04
	Q7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.03	4.02	3.94	3.93	3.96
	Q8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.13	4.11	4.02	4.02	4.04
	Q9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.92	3.89	3.86	3.83	3.86
	Q10	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.24	4.21	3.84	3.84	3.85
	Q11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.07	4.08	3.99	3.98	4.01
「講義」 「語学」 のみ	Q12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.10	4.09	3.97	3.95	3.96
	Q13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.13	4.09	3.98	3.99	4.00
「経済」 のみ	Q20	私は授業に遅刻したことがない	3.76	3.69	3.55	3.66	3.58

この表から読み取れる特徴として、以下の点を指摘することができる。

1) Q11 を除くすべての質問項目に関して、平成 28 (2016) 年度の「平均値」は過去 5 年間で最高の値になっている。

2) 講義の総合的な評価を問う Q11 の平成 28 年度「平均値」は平成 27 (2015) 年度以前の 4 年間の「平均値」の単純平均よりも 0.01 の減少のみでほぼ変わらず、全体として授業に対する評価が高まっている。

3) 平成 27 年度の「平均値」が平成 26 (2014) 年度以前の 4 年間の「平均値」の単純平均よりも 0.1 以上上昇している質問項目は、Q5、Q6、Q8、Q10、Q12、Q13 と 6 項目であった。平成 28 年度もこれらの平均値は微増をし、この上昇傾向を維持している。

次に、質問項目間の「平均値」がどのように相関しているかを、次の表を用いて検討しよう。

<相関係数(講義)2016年度>

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20
Q1	1													
Q2	.418(**)	1												
Q3	.177(**)	.518(**)	1											
Q4	.133(**)	.429(**)	.730(**)	1										
Q5	.176(**)	.401(**)	.497(**)	.523(**)	1									
Q6	.157(**)	.427(**)	.504(**)	.539(**)	.692(**)	1								
Q7	.132(**)	.452(**)	.662(**)	.672(**)	.678(**)	.701(**)	1							
Q8	.133(**)	.400(**)	.570(**)	.653(**)	.622(**)	.649(**)	.776(**)	1						
Q9	.148(**)	.520(**)	.623(**)	.587(**)	.589(**)	.599(**)	.702(**)	.626(**)	1					
Q10	.065(**)	.299(**)	.278(**)	.277(**)	.232(**)	.259(**)	.302(**)	.275(**)	.366(**)	1				
Q11	.162(**)	.494(**)	.678(**)	.659(**)	.681(**)	.687(**)	.808(**)	.725(**)	.756(**)	.348(**)	1			
Q12	.133(**)	.401(**)	.544(**)	.563(**)	.607(**)	.598(**)	.705(**)	.629(**)	.599(**)	.301(**)	.705(**)	1		
Q13	.149(**)	.405(**)	.553(**)	.558(**)	.600(**)	.587(**)	.694(**)	.618(**)	.590(**)	.304(**)	.706(**)	.790(**)	1	
Q20	.413(**)	.319(**)	.183(**)	.134(**)	.106(**)	.112(**)	.119(**)	.112(**)	.145(**)	.107(**)	.145(**)	.118(**)	.147(**)	1

**.* はそれぞれ1%,5%水準で有意(両側)を示す。

この表の各セルで示されている値は各年度の対応する質問に関する「(回答者ベースの)平均値」の相関係数である。そして、この表から読み取れる「平均値」の相関係数が高い(0.75 以上) 質問項目の組は以下のとおりである。

- 1) Q7 (理解しやすさ) と Q8 (話し方の適切さ)
- 2) Q7 (理解しやすさ) と Q11 (総合評価)
- 3) Q12 (板書) と Q13 (教材内容の適切さ)

これらの相関関係の強い質問項目の組に関しては、平成 27 年度の結果とほぼ同様の結果が得られている。

B. 演習

経済学部の演習に関する授業評価アンケートの過去 5 年間の経年変化を、次の表を用い

て検討してみよう。

<経済学部（演習）授業評価アンケートの平均値（回答者ベース）>

回答対象	番号	質問内容	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
「全員」 回答	Q1	私のこの授業への出席率は、5:90%以上、4:80%以上、3:70%以上、2:50%以上、1:50%未満	4.85	4.86	4.81	4.84	4.84
	Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.53	4.50	4.46	4.50	4.52
	Q3	この授業のレベルは適切である	4.46	4.44	4.45	4.45	4.46
	Q4	この授業を進める速さは適切である	4.53	4.49	4.48	4.50	4.51
	Q5	教員は熱意を持って授業を行っている	4.68	4.69	4.61	4.60	4.63
	Q6	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.64	4.61	4.59	4.59	4.62
	Q7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.59	4.58	4.57	4.57	4.59
	Q8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.62	4.65	4.61	4.63	4.61
	Q9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.56	4.55	4.56	4.57	4.58
	Q10	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.56	4.58	4.33	4.32	4.29
	Q11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.64	4.63	4.60	4.60	4.63
「経済」 のみ	Q20	私は授業に遅刻したことがない	4.23	4.14	4.11	4.18	4.09

この表の各セルで示されている値は各年度の質問項目に関する「(回答者ベースの)平均値」である。そして、この表から読み取れる特徴として以下の点を指摘することができる。

- 1) すべての質問項目に関して、演習の「平均値」が講義の「平均値」より高くなっている。
- 2) Q20を除いて、前年比で微増・微減(0.04以下)が続いている。
- 3) Q20に関して、平成28年度は過去4年間と比して大きく上昇したと言え、遅刻に関して改善が見られる。

次に、質問項目間の「平均値」がどのように相関しているかを、次の表を用いて検討しよう。

<相関係数(演習)2016年度>

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q20
Q1	1											
Q2	.295(**)	1										
Q3	.180(**)	.533(**)	1									
Q4	.115(**)	.490(**)	.677(**)	1								
Q5	.142(**)	.468(**)	.523(**)	.592(**)	1							
Q6	.142(**)	.466(**)	.474(**)	.597(**)	.719(**)	1						
Q7	.121(**)	.478(**)	.618(**)	.658(**)	.691(**)	.715(**)	1					
Q8	.099(**)	.431(**)	.547(**)	.627(**)	.633(**)	.626(**)	.727(**)	1				
Q9	.129(**)	.507(**)	.535(**)	.504(**)	.592(**)	.584(**)	.636(**)	.587(**)	1			
Q10	0.043	.195(**)	.211(**)	.213(**)	.219(**)	.239(**)	.243(**)	.238(**)	.290(**)	1		
Q11	.129(**)	.517(**)	.606(**)	.633(**)	.703(**)	.690(**)	.758(**)	.653(**)	.713(**)	.256(**)	1	
Q20	.280(**)	.164(**)	.087(*)	.135(**)	.072(*)	.159(**)	.067(*)	0.051	.073(*)	.111(**)	.113(**)	1

*** はそれぞれ1%,5%水準で有意(両側)を示す。

この表の各セルで示されている値は各年度の対応する質問に関する「(回答者ベースの) 平均値」の相関係数である。そして、この表から読み取れる「平均値」の相関係数が高い(0.70以上) 質問項目の組は以下のとおりである。

- 1) Q5 (教員の熱意) と Q6 (授業環境への配慮)
- 2) Q5 (教員の熱意) と Q11 (総合評価)
- 3) Q6 (授業環境への配慮) と Q7 (理解しやすさ)
- 4) Q7 (理解しやすさ) と Q8 (話し方の適切さ)
- 5) Q7 (理解しやすさ) と Q11 (総合評価)
- 6) Q9 (知的好奇心刺激の程度) と Q11 (総合評価)

これらの相関関係の強い質問項目の組に関しては、平成 27 年度の結果とほぼ同様の結果が得られている。

2. 今後の授業改善に向けて

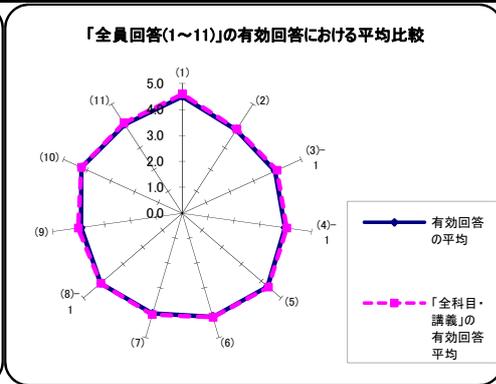
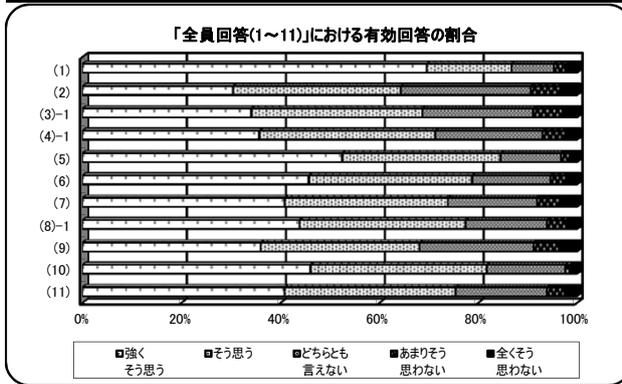
経済学部の授業改善に向けて、学部の専任教員に対し全学授業改善プログラムへの参加を促進している。具体的には、評価が高い授業の見学会または全学のFD研究会を学部内で通知し出席を促している。

部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	8,624	22,249	38.76%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース		部門別		
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	5,977	1,475	734	216	191	31	8,624	4.49	0.916	4.44	0.337
			69.31%	17.10%	8.51%	2.50%	2.21%	0.36%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,605	2,904	2,254	521	284	56	8,624	3.82	1.037	3.86	0.457
			30.21%	33.67%	26.14%	6.04%	3.29%	0.65%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	2,886	2,929	1,899	507	246	157	8,624	3.91	1.029	3.95	0.476
			33.46%	33.96%	22.02%	5.88%	2.85%	1.82%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	655	60	-	-	-	38	753	-	-	-	-
			86.99%	7.97%	-	-	-	5.05%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3,049	3,037	1,854	393	205	86	8,624	3.98	0.987	4.05	0.425
			35.35%	35.22%	21.50%	4.56%	2.38%	1.00%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	440	106	-	-	-	52	598	-	-	-	-
		73.58%	17.73%	-	-	-	8.70%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,493	2,746	1,050	164	114	57	8,624	4.32	0.859	4.35	0.373	
		52.10%	31.84%	12.18%	1.90%	1.32%	0.66%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3,899	2,824	1,353	279	182	87	8,624	4.17	0.954	4.24	0.389	
		45.21%	32.75%	15.69%	3.24%	2.11%	1.01%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,495	2,826	1,551	400	292	60	8,624	4.03	1.040	4.09	0.513	
		40.53%	32.77%	17.98%	4.64%	3.39%	0.70%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	3,734	2,867	1,404	328	192	99	8,624	4.13	0.971	4.19	0.427	
		43.30%	33.24%	16.28%	3.80%	2.23%	1.15%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	156	24	292	-	-	48	520	-	-	-	-	
		30.00%	4.62%	56.15%	-	-	9.23%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,073	2,750	1,969	444	311	77	8,624	3.92	1.057	3.99	0.504	
		35.63%	31.89%	22.83%	5.15%	3.61%	0.89%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 27.98%)	2,592	2,012	892	68	69	578	8,624	4.24	0.848	4.27	0.334	
		30.06%	23.33%	10.34%	0.79%	0.80%	6.70%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,480	2,953	1,574	307	219	91	8,624	4.07	0.981	4.13	0.470	
		40.35%	34.24%	18.25%	3.56%	2.54%	1.06%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,499	2,735	1,253	355	230	552	8,624	4.10	1.005	4.17	0.457
			40.57%	31.71%	14.53%	4.12%	2.67%	6.40%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切で ある	3,480	2,751	1,336	251	200	606	8,624	4.13	0.966	4.18	0.417	
		40.35%	31.90%	15.49%	2.91%	2.32%	7.03%	100.00%					
経済学部共通・ 経営学科	(20)	私は授業に遅刻したことがない	2,233	1,204	791	541	554	3,301	8,624	3.76	1.361	3.71	0.517
			25.89%	13.96%	9.17%	6.27%	6.42%	38.28%	100.00%				
(21)	高校で履修した数学科目 4:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 3:数Ⅰ・数Ⅱ 2:数Ⅰのみ 1:該当なし	0	697	3,890	410	225	3,402	8,624	-	-	-	-	
		0.00%	8.08%	45.11%	4.75%	2.61%	39.45%	100.00%					

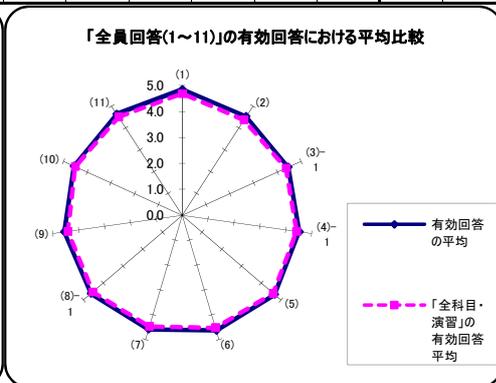
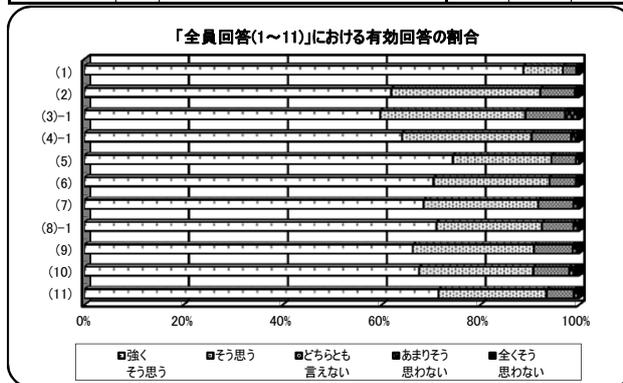


部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,545	1,784	86.60%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,367	123	42	5	4	4	1,545	4.85	0.486	4.82	0.235
			88.48%	7.96%	2.72%	0.32%	0.26%	0.26%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	953	464	108	8	5	7	1,545	4.53	0.678	4.51	0.302
			61.68%	30.03%	6.99%	0.52%	0.32%	0.45%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	911	448	123	38	5	20	1,545	4.46	0.774	4.45	0.387
			58.96%	29.00%	7.96%	2.46%	0.32%	1.29%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	38	5	-	-	-	0	43	-	-	-	-
			88.37%	11.63%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	975	399	122	19	5	25	1,545	4.53	0.724	4.51	0.333
			63.11%	25.83%	7.90%	1.23%	0.32%	1.62%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	10	11	-	-	-	3	24	-	-	-	-
		41.67%	45.83%	-	-	-	12.50%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,147	307	77	9	1	4	1,545	4.68	0.600	4.67	0.314	
		74.24%	19.87%	4.98%	0.58%	0.06%	0.26%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,081	360	82	8	2	12	1,545	4.64	0.621	4.63	0.284	
		69.97%	23.30%	5.31%	0.52%	0.13%	0.78%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,053	357	109	14	4	8	1,545	4.59	0.686	4.57	0.361	
		68.16%	23.11%	7.06%	0.91%	0.26%	0.52%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,087	327	97	16	2	16	1,545	4.62	0.664	4.60	0.336	
		70.36%	21.17%	6.28%	1.04%	0.13%	1.04%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	6	1	11	-	-	0	18	-	-	-	-	
		33.33%	5.56%	61.11%	-	-	0.00%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,016	376	120	15	5	13	1,545	4.56	0.708	4.55	0.353	
		65.76%	24.34%	7.77%	0.97%	0.32%	0.84%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 20.91%)	743	254	80	13	9	123	1,545	4.56	0.750	4.56	0.347	
		48.09%	16.44%	5.18%	0.84%	0.58%	7.96%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,098	336	85	13	3	10	1,545	4.64	0.645	4.63	0.340	
		71.07%	21.75%	5.50%	0.84%	0.19%	0.65%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,013	329	71	19	5	108	1,545	4.62	0.675	4.60	0.364
			65.57%	21.29%	4.60%	1.23%	0.32%	6.99%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	972	338	100	21	3	111	1,545	4.57	0.705	4.57	0.358	
		62.91%	21.88%	6.47%	1.36%	0.19%	7.18%	100.00%					
経済学部共通・ 経営学科	(20)	私は授業に遅刻したことがない	536	140	100	48	46	675	1,545	4.23	1.173	4.16	0.580
			34.69%	9.06%	6.47%	3.11%	2.98%	43.69%	100.00%				
(21)	高校で履修した数学科目 4:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 3:数Ⅰ・数Ⅱ 2:数Ⅰのみ 1:該当なし	0	118	598	85	33	711	1,545	-	-	-	-	
		0.00%	7.64%	38.71%	5.50%	2.14%	46.02%	100.00%					



相関係数表 部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.418(**)	1													
Q3	.177(**)	.518(**)	1												
Q4	.133(**)	.429(**)	.730(**)	1											
Q5	.176(**)	.401(**)	.497(**)	.523(**)	1										
Q6	.157(**)	.427(**)	.504(**)	.539(**)	.692(**)	1									
Q7	.132(**)	.452(**)	.662(**)	.672(**)	.678(**)	.701(**)	1								
Q8	.133(**)	.400(**)	.570(**)	.653(**)	.622(**)	.649(**)	.776(**)	1							
Q9	.148(**)	.520(**)	.623(**)	.587(**)	.589(**)	.599(**)	.702(**)	.626(**)	1						
Q10	.065(**)	.293(**)	.278(**)	.277(**)	.232(**)	.259(**)	.302(**)	.275(**)	.366(**)	1					
Q11	.162(**)	.494(**)	.678(**)	.659(**)	.681(**)	.687(**)	.808(**)	.725(**)	.756(**)	.348(**)	1				
Q12	.133(**)	.401(**)	.544(**)	.563(**)	.607(**)	.598(**)	.705(**)	.629(**)	.599(**)	.301(**)	.705(**)	1			
Q13	.149(**)	.405(**)	.553(**)	.558(**)	.600(**)	.587(**)	.694(**)	.618(**)	.590(**)	.304(**)	.706(**)	.790(**)	1		
Q20	.413(**)	.319(**)	.183(**)	.134(**)	.106(**)	.112(**)	.119(**)	.112(**)	.145(**)	.107(**)	.145(**)	.118(**)	.147(**)	1	
Q21	.037(**)	-.013	0.011	-.009	-.025	-.044(**)	-.02	0.002	-.026	-.089(**)	-.019	-.042(**)	-.029(**)	.028(*)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なります。

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q13	Q14	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.295(**)	1													
Q3	.180(**)	.533(**)	1												
Q4	.115(**)	.490(**)	.677(**)	1											
Q5	.142(**)	.468(**)	.523(**)	.592(**)	1										
Q6	.142(**)	.466(**)	.474(**)	.597(**)	.719(**)	1									
Q7	.121(**)	.478(**)	.618(**)	.658(**)	.691(**)	.715(**)	1								
Q8	.099(**)	.431(**)	.547(**)	.627(**)	.633(**)	.626(**)	.727(**)	1							
Q9	.129(**)	.507(**)	.535(**)	.504(**)	.592(**)	.584(**)	.636(**)	.587(**)	1						
Q10	0.043	.195(**)	.211(**)	.213(**)	.219(**)	.239(**)	.243(**)	.238(**)	.290(**)	1					
Q11	.129(**)	.517(**)	.606(**)	.633(**)	.703(**)	.690(**)	.758(**)	.653(**)	.713(**)	.256(**)	1				
Q12	.124(**)	.421(**)	.466(**)	.501(**)	.558(**)	.584(**)	.614(**)	.535(**)	.541(**)	.156(**)	.624(**)	1			
Q13	.093(**)	.433(**)	.491(**)	.517(**)	.575(**)	.577(**)	.608(**)	.529(**)	.559(**)	.206(**)	.656(**)	.659(**)	1		
Q20	.280(**)	.164(**)	.087(*)	.135(**)	.072(*)	.159(**)	.067(*)	0.051	.073(*)	.111(**)	.113(**)	0.049	.092(**)	1	
Q21	-.017	-.003	0.01	0.009	0.02	-.003	-.003	-.005	-.013	0.004	0.004	0.004	-.009	-.023	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なります。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の場合のみ回答】

- Q 20 私は授業に遅刻したことがない
- Q 21 高校で履修した数学科目(数・数・数、 数・数、 数のみ、 その他)



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.46	0.939	4.46	0.336	4.47	0.940	4.44	0.322	4.43	0.965	4.44	0.294	4.47	0.939	4.43	0.332	4.49	0.916	4.44	0.337
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.65	1.059	3.75	0.493	3.64	1.043	3.70	0.418	3.63	1.048	3.72	0.466	3.74	1.034	3.80	0.431	3.82	1.037	3.86	0.457
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.85	1.040	3.95	0.462	3.83	1.047	3.88	0.489	3.84	1.026	3.92	0.461	3.89	1.036	3.97	0.473	3.91	1.029	3.95	0.476
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.88	1.053	4.03	0.454	3.86	1.045	3.95	0.473	3.88	1.027	3.99	0.452	3.96	1.001	4.06	0.425	3.98	0.987	4.05	0.425
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.17	0.952	4.25	0.456	4.16	0.942	4.19	0.434	4.16	0.934	4.22	0.448	4.29	0.853	4.35	0.375	4.32	0.859	4.35	0.373
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.04	0.997	4.19	0.415	4.04	0.977	4.11	0.395	4.06	0.972	4.18	0.434	4.15	0.938	4.26	0.384	4.17	0.954	4.24	0.389
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.96	1.076	4.08	0.520	3.93	1.071	3.98	0.541	3.94	1.066	4.03	0.554	4.02	1.037	4.12	0.517	4.03	1.040	4.09	0.513
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.04	1.021	4.15	0.446	4.02	1.003	4.07	0.447	4.02	1.013	4.11	0.492	4.11	0.978	4.21	0.451	4.13	0.971	4.19	0.427
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	3.86	1.096	4.00	0.539	3.83	1.090	3.93	0.517	3.86	1.074	4.01	0.509	3.89	1.051	4.03	0.499	3.92	1.057	3.99	0.504
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.85	1.018	3.93	0.370	3.84	0.990	3.88	0.376	3.84	0.989	3.91	0.367	4.21	0.839	4.25	0.309	4.24	0.848	4.27	0.334
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.01	1.008	4.13	0.498	3.98	0.994	4.04	0.492	3.99	0.982	4.08	0.489	4.08	0.966	4.19	0.481	4.07	0.981	4.13	0.470
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	1.064	4.05	0.463	3.95	1.055	3.98	0.499	3.97	1.047	4.07	0.495	4.09	1.016	4.17	0.481	4.10	1.005	4.17	0.457
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.00	1.006	4.09	0.413	3.99	1.001	4.03	0.442	3.98	0.994	4.05	0.442	4.09	0.982	4.18	0.430	4.13	0.966	4.18	0.417
「経済」 のみ	(20)	私は授業に遅刻したことがない	3.58	1.409	3.56	0.523	3.66	1.390	3.66	0.506	3.55	1.399	3.53	0.488	3.69	1.378	3.63	0.482	3.76	1.361	3.71	0.517
	(21)	高校で履修した数学科目4:数・数・数 3:数・数 2:数 のみ1:該当なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

部門名 経済学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.84	0.466	4.80	0.303	4.84	0.499	4.79	0.300	4.81	0.537	4.75	0.359	4.86	0.460	4.82	0.231	4.85	0.486	4.82	0.235
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.52	0.674	4.49	0.322	4.50	0.690	4.49	0.258	4.46	0.712	4.45	0.333	4.50	0.708	4.50	0.328	4.53	0.678	4.51	0.302
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.46	0.713	4.45	0.337	4.45	0.740	4.44	0.360	4.45	0.751	4.43	0.374	4.44	0.758	4.45	0.378	4.46	0.774	4.45	0.387
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.51	0.699	4.51	0.309	4.50	0.720	4.50	0.351	4.48	0.749	4.48	0.346	4.49	0.739	4.50	0.349	4.53	0.724	4.51	0.333
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.63	0.643	4.63	0.337	4.60	0.656	4.60	0.341	4.61	0.673	4.61	0.339	4.69	0.581	4.70	0.284	4.68	0.600	4.67	0.314
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.62	0.652	4.62	0.296	4.59	0.672	4.59	0.317	4.59	0.658	4.60	0.283	4.61	0.682	4.62	0.346	4.64	0.621	4.63	0.284
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.59	0.685	4.59	0.352	4.57	0.703	4.57	0.362	4.57	0.710	4.57	0.390	4.58	0.735	4.58	0.424	4.59	0.686	4.57	0.361
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.61	0.681	4.62	0.320	4.63	0.642	4.63	0.314	4.61	0.679	4.61	0.345	4.65	0.643	4.65	0.339	4.62	0.664	4.60	0.336
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.58	0.693	4.57	0.331	4.57	0.691	4.59	0.340	4.56	0.713	4.57	0.343	4.55	0.740	4.58	0.392	4.56	0.708	4.55	0.353
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	4.29	0.898	4.30	0.439	4.32	0.873	4.31	0.443	4.33	0.848	4.35	0.408	4.58	0.706	4.59	0.344	4.56	0.750	4.56	0.347
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.63	0.646	4.62	0.359	4.60	0.652	4.60	0.343	4.60	0.689	4.60	0.373	4.63	0.656	4.65	0.363	4.64	0.645	4.63	0.340
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.58	0.692	4.56	0.391	4.55	0.710	4.54	0.390	4.57	0.726	4.57	0.392	4.57	0.707	4.58	0.387	4.62	0.675	4.60	0.364
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.56	0.725	4.55	0.397	4.54	0.708	4.56	0.339	4.55	0.740	4.57	0.380	4.56	0.716	4.57	0.405	4.57	0.705	4.57	0.358
「経済」 のみ	(20)	私は授業に遅刻したことがない	4.09	1.267	4.00	0.643	4.18	1.242	4.13	0.562	4.11	1.256	4.04	0.663	4.14	1.282	4.03	0.723	4.23	1.173	4.16	0.580
	(21)	高校で履修した数学科目4:数・数・数 3:数・数 2:数 のみ1:該当なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Ⅲ. 文学部

1. 集計結果の検討

1) 実施率と回収率について

実施率については、平成 27 (2015) 年度までの過去 5 年間にわたって講義科目・演習科目ともに 95%以上の値を維持していたが、平成 28 (2016) 年度は講義科目で 90.4%、演習科目で 90.1%と、それぞれ約 7%ほど低下した。実施率そのものは 90%を超えているので決して低くはない。しかし、平成 25 (2013) 年度の 99%をピークに過去 2 年ほど実施率が漸減傾向にあったことを考えると、平成 28 年度も引き続き実施率が低下しかつその大きさが約 7%であったというのは、何か授業評価アンケートの実施に対するネガティブな要因がはたらいていると考える方が妥当であろう。

その要因が何かを特定することは難しいが、可能性としては二つ考えられる。

一つは、アンケートの実施時期の問題である。現在の実施方式では、教員が自由にアンケートの実施時期を設定したり変更したりすることができない。しかし、授業のスケジュール上、指定された時期にアンケートを実施することが困難な場合もありうるであろう。この問題を解決するためには、授業の担当教員が柔軟に実施時期を決めることができるようにする等の工夫が必要であろう。

第二に、授業評価アンケートそのものが“成熟”して、実施の意義が薄れてきたということもあるのではないだろうか。本学で授業評価アンケートを実施するようになってから 10 年余りが経過し、後述するように、ほぼすべての質問項目に対する回答の平均値が 4.0 を超えるようになってきている。授業に対する学生の評価がこれだけ安定的に高くなっている現状を考えると、授業評価アンケートを毎年実施してその変化を精密に検討することの意義が薄れているという面もあるのではないだろうか。今後は、授業評価アンケートのさらなる活用に向けて、形式や活用方法について抜本的な検討をすべき時期に来ているのかもしれない。

一方、平成 28 年度の回答率は、講義科目で 69.7%、演習科目で 81.4%であった。平成 27 年度の回答率は、講義科目 67.4%、演習科目 79.1%だったので、回答率に関しては、平成 27 年度から若干ではあるが上昇している。従って、アンケートが実施された授業については、過年度と同様に適切に実施されたものと推測される。ただし、演習科目に比べて講義科目の回答率が過年度と同様に相対的に低いので、講義科目における回答率をあげるための工夫は今後とも必要であろう。

2) 回答結果について

講義科目に対する回答の平均値は、Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」を除いて、他のすべての質問項目について 4.0 を超えていた。このことから、文学部のほとん

どの講義科目について、学生が高い満足を感じていることがわかる。

一方、Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」に対する回答の平均値は 3.97 で、他の項目に比べると若干ではあるが低い値であった。ただし、Q2 に対する過去 5 年間の回答の推移を見ると一貫して上昇傾向にあり、平成 27 年度は 3.88 まで上がってきていた。平成 28 年度は、この値をさらに上回って 3.97 まで上昇したことを考えると、講義科目に対する学生の意欲はやはり一貫して上昇していたことがわかる。このことは、講義に対して学生が意欲的に取り組めるようにとの教員の努力が奏功していることを示している。今後もこの努力と工夫を継続的に続けていくことが望まれよう。

演習科目に対しては、すべての質問項目に対する回答の平均値が 4.3 を超えており、きわめて高く評価されている。従って、演習科目については、学生が強い意欲と高い満足度を感じていることがわかる。

一つ懸念されることは、Q10「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」に対して「シラバスを読まなかった」と回答した学生が、講義科目で 40.4%、演習科目で 37.8%いたことである。これは、4 割近い学生がシラバスを読まずに履修科目を決めているということであり、学生が十分に検討した上で自らの履修計画を立てているのかどうか疑問が残る。さらに、平成 29 (2017) 年度以降は冊子体のシラバスの配布がなくなりウェブでの参照のみとなるので、学生がこれまで以上にシラバスを見なくなる恐れが懸念される。

2. 集計結果を踏まえた上での「今後の課題」

第一の課題は、平成 28 年度に低下した実施率を回復させることである。授業評価アンケートそのものはすでに定着しているので、教員がアンケートを実施しやすくなるような環境を整えることが必要であろう。アンケートの実施時期を教員が柔軟に判断できるようにするであるとか、未実施科目については教員にリマインドするである等の工夫が必要ではなかろうか。

第二には、シラバスをさらに活用するための工夫である。すでに一部の教員は、初回の授業の際に当該授業のシラバスを印刷し配布して説明する等の工夫を行っている。今後は、個々の教員の工夫はもとより、履修ガイダンスの際にシラバスを印刷し配布して説明する等、シラバスの有用性を学生に定着させるべく、学科単位でのさらなる工夫と努力が必要であろう。

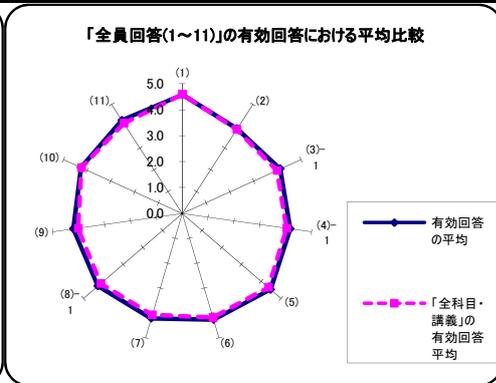
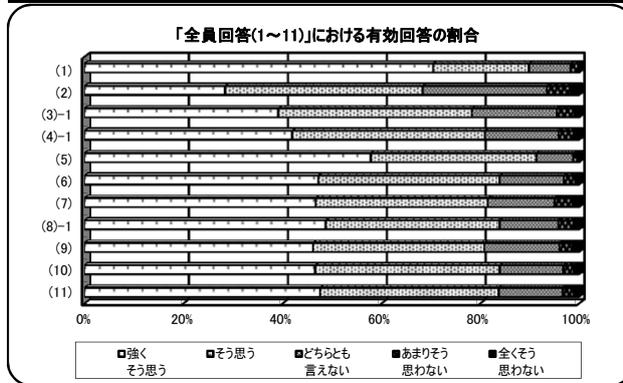
第三には、講義科目・演習科目に対する現状の高い評価を維持し、さらに向上させることである。特に、講義に対して学生がさらに意欲を持って取り組めるように、これまでなされてきた努力と工夫を今後も引き続き継続していくことが必要であろう。

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	8,270	11,859	69.74%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース		部門別		
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	5,819	1,602	697	123	20	9	8,270	4.58	0.728	4.55	0.273
			70.36%	19.37%	8.43%	1.49%	0.24%	0.11%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,338	3,286	2,069	406	132	39	8,270	3.89	0.930	3.97	0.390
			28.27%	39.73%	25.02%	4.91%	1.60%	0.47%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3,186	3,192	1,400	290	77	125	8,270	4.12	0.881	4.19	0.377
			38.52%	38.60%	16.93%	3.51%	0.93%	1.51%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	320	22	-	-	-	25	367	-	-	-	-
			87.19%	5.99%	-	-	-	6.81%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3,447	3,208	1,224	266	79	46	8,270	4.18	0.868	4.27	0.332
			41.68%	38.79%	14.80%	3.22%	0.96%	0.56%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	203	110	-	-	-	32	345	-	-	-	-
		58.84%	31.88%	-	-	-	9.28%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,761	2,767	611	64	34	33	8,270	4.48	0.703	4.52	0.261	
		57.57%	33.46%	7.39%	0.77%	0.41%	0.40%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3,875	3,012	1,069	189	64	61	8,270	4.27	0.831	4.34	0.316	
		46.86%	36.42%	12.93%	2.29%	0.77%	0.74%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,837	2,864	1,112	307	101	49	8,270	4.22	0.902	4.30	0.410	
		46.40%	34.63%	13.45%	3.71%	1.22%	0.59%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	3,985	2,884	973	266	79	83	8,270	4.27	0.865	4.36	0.368	
		48.19%	34.87%	11.77%	3.22%	0.96%	1.00%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	91	34	187	-	-	33	345	-	-	-	-	
		26.38%	9.86%	54.20%	-	-	9.57%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,797	2,855	1,253	225	104	36	8,270	4.22	0.889	4.32	0.363	
		45.91%	34.52%	15.15%	2.72%	1.26%	0.44%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 40.40%)	2,109	1,690	583	98	47	402	8,270	4.26	0.840	4.33	0.336	
		25.50%	20.44%	7.05%	1.19%	0.57%	4.86%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,918	2,980	1,066	183	92	31	8,270	4.27	0.850	4.36	0.382	
		47.38%	36.03%	12.89%	2.21%	1.11%	0.37%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,630	2,880	1,138	289	77	256	8,270	4.21	0.884	4.27	0.362
			43.89%	34.82%	13.76%	3.49%	0.93%	3.10%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,866	2,844	1,041	160	62	297	8,270	4.29	0.825	4.34	0.317	
		46.75%	34.39%	12.59%	1.93%	0.75%	3.59%	100.00%					

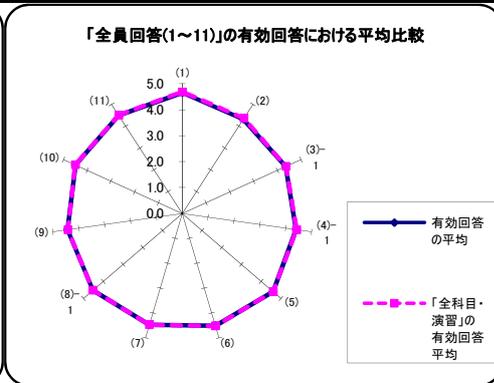
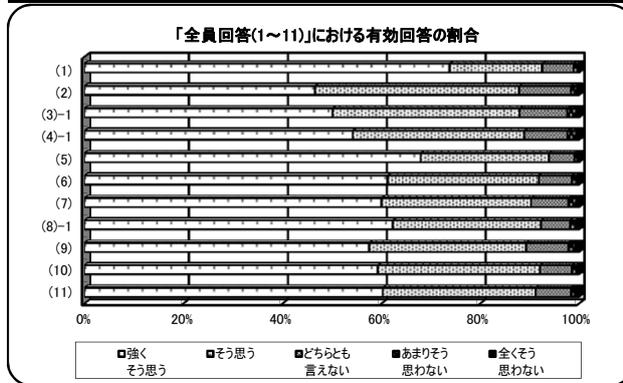


部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,551	8,047	81.41%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4,824	1,227	416	63	10	11	6,551	4.65	0.656	4.63	0.266
			73.64%	18.73%	6.35%	0.96%	0.15%	0.17%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,037	2,696	684	82	28	24	6,551	4.32	0.745	4.32	0.273
			46.36%	41.15%	10.44%	1.25%	0.43%	0.37%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3,226	2,441	619	126	30	109	6,551	4.35	0.770	4.36	0.337
			49.24%	37.26%	9.45%	1.92%	0.46%	1.66%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	106	46	-	-	-	4	156	-	-	-	-
			67.95%	29.49%	-	-	-	2.56%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3,521	2,260	569	125	28	48	6,551	4.40	0.763	4.41	0.330
			53.75%	34.50%	8.69%	1.91%	0.43%	0.73%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	68	75	-	-	-	10	153	-	-	-	-
		44.44%	49.02%	-	-	-	6.54%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,432	1,696	339	39	20	25	6,551	4.61	0.644	4.61	0.298	
		67.65%	25.89%	5.17%	0.60%	0.31%	0.38%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3,979	1,990	436	64	30	52	6,551	4.51	0.706	4.53	0.320	
		60.74%	30.38%	6.66%	0.98%	0.46%	0.79%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,908	1,972	496	97	42	36	6,551	4.47	0.754	4.49	0.409	
		59.66%	30.10%	7.57%	1.48%	0.64%	0.55%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	4,033	1,946	383	79	37	73	6,551	4.52	0.714	4.54	0.370	
		61.56%	29.71%	5.85%	1.21%	0.56%	1.11%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	33	4	67	-	-	12	116	-	-	-	-	
		28.45%	3.45%	57.76%	-	-	10.34%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,743	2,069	560	89	49	41	6,551	4.44	0.769	4.45	0.374	
		57.14%	31.58%	8.55%	1.36%	0.75%	0.63%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 37.80%)	2,183	1,212	239	32	20	389	6,551	4.49	0.705	4.49	0.329	
		33.32%	18.50%	3.65%	0.49%	0.31%	5.94%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,913	2,014	467	59	45	53	6,551	4.49	0.729	4.51	0.387	
		59.73%	30.74%	7.13%	0.90%	0.69%	0.81%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,786	1,891	534	81	31	228	6,551	4.47	0.744	4.50	0.354
			57.79%	28.87%	8.15%	1.24%	0.47%	3.48%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3,760	1,931	497	86	32	245	6,551	4.47	0.741	4.50	0.339	
		57.40%	29.48%	7.59%	1.31%	0.49%	3.74%	100.00%					



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.318(**)	1											
Q3	.129(**)	.514(**)	1										
Q4	.093(**)	.437(**)	.728(**)	1									
Q5	.122(**)	.378(**)	.515(**)	.554(**)	1								
Q6	.096(**)	.428(**)	.552(**)	.579(**)	.670(**)	1							
Q7	.064(**)	.436(**)	.689(**)	.687(**)	.650(**)	.714(**)	1						
Q8	.064(**)	.380(**)	.598(**)	.673(**)	.594(**)	.649(**)	.756(**)	1					
Q9	.094(**)	.500(**)	.612(**)	.573(**)	.601(**)	.581(**)	.664(**)	.587(**)	1				
Q10	-0.015	.189(**)	.199(**)	.198(**)	.184(**)	.198(**)	.210(**)	.207(**)	.256(**)	1			
Q11	.089(**)	.489(**)	.679(**)	.672(**)	.674(**)	.678(**)	.790(**)	.694(**)	.756(**)	.254(**)	1		
Q12	.093(**)	.405(**)	.544(**)	.588(**)	.564(**)	.600(**)	.653(**)	.610(**)	.569(**)	.204(**)	.665(**)	1	
Q13	.095(**)	.387(**)	.566(**)	.594(**)	.571(**)	.599(**)	.653(**)	.613(**)	.572(**)	.217(**)	.669(**)	.771(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.362(**)	1											
Q3	.153(**)	.497(**)	1										
Q4	.122(**)	.419(**)	.707(**)	1									
Q5	.101(**)	.369(**)	.515(**)	.566(**)	1								
Q6	.094(**)	.403(**)	.527(**)	.577(**)	.719(**)	1							
Q7	.080(**)	.399(**)	.617(**)	.644(**)	.698(**)	.739(**)	1						
Q8	.068(**)	.353(**)	.547(**)	.608(**)	.630(**)	.659(**)	.765(**)	1					
Q9	.095(**)	.447(**)	.550(**)	.541(**)	.595(**)	.587(**)	.659(**)	.593(**)	1				
Q10	-0.023	.157(**)	.158(**)	.176(**)	.161(**)	.185(**)	.203(**)	.177(**)	.226(**)	1			
Q11	.073(**)	.435(**)	.628(**)	.640(**)	.689(**)	.694(**)	.777(**)	.695(**)	.743(**)	.228(**)	1		
Q14	.080(**)	.380(**)	.474(**)	.518(**)	.588(**)	.614(**)	.607(**)	.558(**)	.534(**)	.169(**)	.613(**)	1	
Q15	.081(**)	.390(**)	.502(**)	.530(**)	.607(**)	.626(**)	.634(**)	.589(**)	.577(**)	.187(**)	.646(**)	.717(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.48	0.799	4.45	0.268	4.54	0.767	4.53	0.275	4.53	0.781	4.53	0.311	4.56	0.758	4.54	0.296	4.58	0.728	4.55	0.273
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.65	0.965	3.74	0.405	3.69	0.982	3.79	0.418	3.72	0.978	3.83	0.444	3.82	0.922	3.88	0.397	3.89	0.930	3.97	0.390
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.97	0.917	4.04	0.395	4.00	0.900	4.10	0.368	4.03	0.899	4.11	0.386	4.07	0.877	4.13	0.376	4.12	0.881	4.19	0.377
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.01	0.931	4.10	0.427	4.05	0.902	4.16	0.355	4.09	0.883	4.16	0.383	4.10	0.862	4.16	0.382	4.18	0.868	4.27	0.332
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.27	0.847	4.36	0.374	4.28	0.836	4.38	0.345	4.34	0.790	4.40	0.333	4.42	0.728	4.47	0.293	4.48	0.703	4.52	0.261
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.10	0.896	4.20	0.364	4.10	0.884	4.22	0.352	4.13	0.884	4.21	0.382	4.20	0.846	4.26	0.361	4.27	0.831	4.34	0.316
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.02	1.003	4.14	0.499	4.06	0.965	4.18	0.439	4.13	0.949	4.21	0.464	4.15	0.916	4.21	0.442	4.22	0.902	4.30	0.410
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.09	0.966	4.21	0.468	4.10	0.963	4.25	0.443	4.18	0.908	4.26	0.422	4.20	0.879	4.26	0.414	4.27	0.865	4.36	0.368
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.07	0.976	4.20	0.439	4.10	0.960	4.22	0.421	4.16	0.934	4.24	0.430	4.17	0.890	4.26	0.403	4.22	0.889	4.32	0.363
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.88	0.947	3.92	0.384	3.90	0.923	3.97	0.354	3.97	0.891	4.01	0.327	4.20	0.800	4.23	0.335	4.26	0.840	4.33	0.336
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.08	0.924	4.19	0.459	4.12	0.906	4.24	0.414	4.17	0.878	4.24	0.434	4.22	0.855	4.29	0.409	4.27	0.850	4.36	0.382
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.92	1.022	4.00	0.506	3.97	0.989	4.05	0.437	4.03	0.966	4.10	0.450	4.06	0.931	4.10	0.411	4.21	0.884	4.27	0.362
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.06	0.955	4.16	0.467	4.11	0.911	4.19	0.394	4.16	0.886	4.22	0.400	4.18	0.854	4.22	0.382	4.29	0.825	4.34	0.317

部門名 文学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.57	0.712	4.56	0.310	4.59	0.690	4.56	0.285	4.59	0.680	4.57	0.277	4.60	0.693	4.59	0.289	4.65	0.656	4.63	0.266
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.18	0.799	4.22	0.334	4.20	0.802	4.23	0.310	4.20	0.802	4.22	0.309	4.27	0.769	4.29	0.301	4.32	0.745	4.32	0.273
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.24	0.840	4.27	0.347	4.24	0.833	4.26	0.375	4.24	0.821	4.26	0.346	4.28	0.816	4.30	0.369	4.35	0.770	4.36	0.337
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.32	0.807	4.35	0.345	4.28	0.820	4.32	0.364	4.29	0.813	4.32	0.348	4.34	0.788	4.38	0.341	4.40	0.763	4.41	0.330
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.51	0.705	4.54	0.325	4.48	0.727	4.50	0.339	4.48	0.721	4.51	0.326	4.58	0.641	4.60	0.276	4.61	0.644	4.61	0.298
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.40	0.766	4.44	0.317	4.40	0.757	4.42	0.306	4.39	0.771	4.42	0.315	4.47	0.719	4.51	0.315	4.51	0.706	4.53	0.320
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.39	0.811	4.44	0.371	4.36	0.831	4.40	0.431	4.37	0.826	4.40	0.399	4.43	0.787	4.47	0.405	4.47	0.754	4.49	0.409
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.43	0.776	4.47	0.342	4.41	0.781	4.44	0.384	4.41	0.790	4.45	0.361	4.47	0.742	4.50	0.354	4.52	0.714	4.54	0.370
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.35	0.856	4.40	0.385	4.37	0.828	4.40	0.401	4.35	0.832	4.39	0.370	4.40	0.795	4.44	0.361	4.44	0.769	4.45	0.374
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	4.20	0.892	4.21	0.396	4.18	0.864	4.18	0.398	4.18	0.845	4.18	0.380	4.44	0.719	4.43	0.300	4.49	0.705	4.49	0.329
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.42	0.774	4.46	0.372	4.39	0.787	4.42	0.400	4.40	0.773	4.44	0.361	4.46	0.757	4.50	0.365	4.49	0.729	4.51	0.387
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.39	0.810	4.45	0.369	4.37	0.792	4.41	0.385	4.39	0.792	4.43	0.365	4.45	0.755	4.50	0.352	4.47	0.744	4.50	0.354
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.42	0.797	4.47	0.335	4.37	0.801	4.41	0.368	4.38	0.812	4.42	0.369	4.45	0.762	4.49	0.340	4.47	0.741	4.50	0.339

IV. 理学部

1. 集計データからわかること

講義科目について、実施率は前年度までと比べ低い数値であったが、回答率は上昇している。回答率の上昇は歓迎すべきものであるが、数値としては60%をわずかに超えただけであり、前年と同様、期待された数値にはなっていない。

Q1の出席率は、過去5年間ほぼ変わらず90%台半ばの学生が出席率80%以上と答えている。平均値も回答者ベース、科目ベースともに約4.7との数値を得ている。これらより、出席率は引き続き良好なことがわかるが、学年別では高学年になるほど出席率が下がる傾向にある。適切な履修指導を行う等、高学年の専門性の高い科目への出席率をあげる方策が必要であろう。授業に意欲的に取り組んでいるかを問うQ2については、回答者ベース、科目ベースともに平均値3.95であり前年度わずかに減少したものの、ここ数年間は概ね増加傾向となっている。Q3の授業のレベルに関する設問では、適切である（「強くそう思う」、「そう思う」）と答えている学生は約63%であり、これは、法・経・文各学部の約73%、69%、78%と比較してかなり低い数値である。しかも平均値は、回答者ベース、科目ベースともに3.8前後にとどまっている。また、レベルが適切でないと感じた学生約13%のうち、95%以上が「難しすぎる」と答えていて、教員の目標とするレベルと学生のレベルとの乖離が大きい。Q4の授業を進める速さについては、約65%の学生が適切である（「強くそう思う」、「そう思う」）と答えており、これもQ3と同様、他学部・他部門に比べ低い数値である。適切でないと答えた学生は10%強で、そのうち約91%が「速すぎる」と感じている。Q3、Q4ともほぼ前年並みの数値であり、今後も改善のための努力が必要であろう。授業に対する教員の熱意を学生がどう感じているかを問うQ5は、回答者ベース、科目ベースともに平均値4.3を超える数値であり、ここ数年の間に着実に数値を上げている。Q6の授業環境についての設問に対しても、回答者ベース、科目ベースの平均値がそれぞれ4.16、4.22であり、毎年増加傾向にある。Q5と併せると、授業評価アンケートの実施によって教員や学生の意識によい影響が現れているとも考えられる。Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」かについての設問に対しては、「強くそう思う」、「そう思う」と感じた学生は約68%にとどまっており、法・経・文各学部の約77%、74%、82%よりかなり低い数値となっている。平均値は毎年増加傾向にあるが、改善が必要であろう。教員の話し方、スピードに関するQ8についても回答状況には同様の傾向が見られ、今後考慮すべき点は多々あると思われる。

Q9の知的好奇心の刺激については、平均値が回答者ベース、科目ベースともに3.9を超える数値を得ており、微増とはいえここ数年間増加している。ただ、数値自体は決して高いとは言えず、講義方法に工夫の余地があることを示している。Q10に関して、52%以上の学生が、シラバスを読まなかったと答えている。理学部の場合、他学部に比べ必修科目

が多いこともあってこのような高い数値になっているとも考えられるが、一方で、授業選択以外にもシラバスの活用法があることを学生に周知させる必要もあるであろう。なお、シラバスを読んだ学生のほとんどが、シラバスと授業内容が合致している（「強くそう思う」、「そう思う」と答えている。Q12、Q13の板書の仕方、教材の適切性についても、前年と同様、どちらも70%以上の学生が適切である（「強くそう思う」、「そう思う」と答えているが、平均値は回答者ベース、科目ベースともに4.0程度であり他学部・他部門と比べ高いとは言えず、今後、ICT等も視野に入れて工夫・改善していくことが必要であろう。

Q11の総合評価では、平均値は、回答者ベース、科目ベースそれぞれ4.01、4.08であり、前年の両者とも3.99に比べて微増であるが、ここ数年ほとんど変化なく推移している。

次に、演習科目については、前年に比べ実施率が10%以上減少し、逆に回答率は5%程度増加している。数学科のカリキュラム再編（講義科目とそれに連携していた演習科目を一体化して一つの講義科目に纏める等）に伴って演習科目が減少していることが、数値の大きな変化の一因とも考えられる。

学生の出席状況は例年のとおり良好であり、95%を超える数の学生が出席率80%以上と答えている。Q2からQ10の各設問に対する回答の平均値は、回答者ベース、科目ベースともに良好な数値である。また、前々年、前年と比べても概ね増加傾向にあり、授業改善が着実に進んでいることの顕れと考えられる。Q10のシラバスの適切性についても、3.97→4.35→4.43と大きな増加を見せている他、学生の積極的な参加に関する設問であるQ14やQ15に対して良好な数値が得られていること等、講義、演習両科目の連携が適正であることを示している。

2. 今後の授業改善に向けて

前述のように、講義科目、演習科目ともに、学生による評価はここ数年ほぼ変わらずに推移している。一方で、数値の微増が見られる項目も少なからずあり、教員の授業改善・工夫が少しずつではあるが成果を挙げてきているともいえる。少人数教育を文字どおり実践している理学部では、もともと教員と学生との距離が近く、学生は気軽に教員に接し、教員もまたそれに真摯に応ずるという気風と伝統がある。例えば、演習やセミナー、実験科目では、実質的に時間制限のない指導が行われることも少なくない。このような学生と教員との密接なコミュニケーション、セミナーや実験における直接的な交渉を通して、教員は学生の思いを受けとめ、学生個人にこまめに対応するための環境が整っている。しかし、近年の一部の学生に目立つ勉学意欲の減退、知的好奇心の減少という「性向」に対して、こうした密接な対応に加えて、さらに学生の学習意欲を刺激するための方策が必要であろう。例えば、双方向のコミュニケーションやアクティブ・ラーニングによる能動的な学修活動の導入、ICTの積極的な活用がある。また、いわゆる「落ちこぼれ」学生のために、SA、TAを積極的に利用することも考えられる。これらを含めた授業改善においては、アンケートの設問Q7、Q8にある「理解しやすい授業」、「知的好奇心の発揚」に

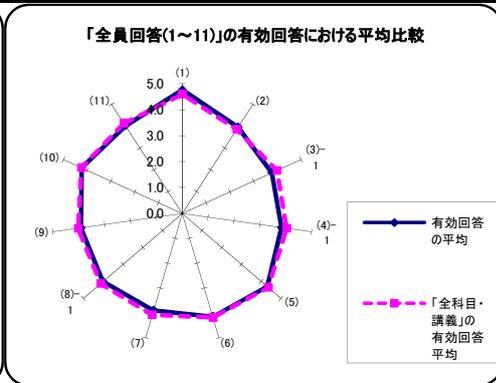
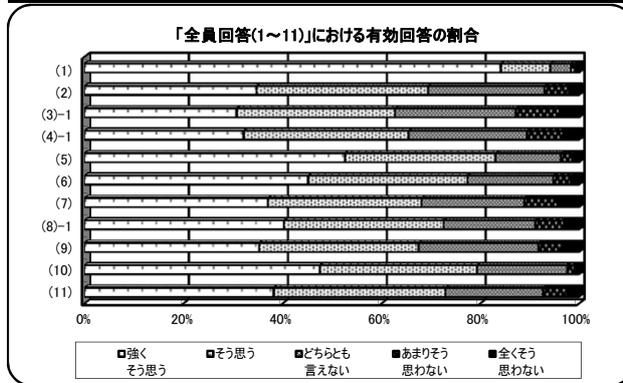
注目して実践すべきであろう。さらに、どのような方法を採用するにしろ、今後も教員が学生とのコミュニケーションを心掛け、教員、学生の間で一方通行でない意思疎通によって授業改善を進めていくことが重要であろう。

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,220	6,688	63.10%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	3,538	422	175	46	24	15	4,220	4.76	0.632	4.72	0.243
			83.84%	10.00%	4.15%	1.09%	0.57%	0.36%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,456	1,454	989	209	85	27	4,220	3.95	0.981	3.95	0.339
			34.50%	34.45%	23.44%	4.95%	2.01%	0.64%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	1,281	1,336	1,020	371	164	48	4,220	3.77	1.099	3.81	0.429
			30.36%	31.66%	24.17%	8.79%	3.89%	1.14%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	489	25	-	-	-	21	535	-	-	-	-
			91.40%	4.67%	-	-	-	3.93%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	1,343	1,394	1,002	304	137	40	4,220	3.84	1.059	3.88	0.440
			31.82%	33.03%	23.74%	7.20%	3.25%	0.95%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	386	37	-	-	-	18	441	-	-	-	-
		87.53%	8.39%	-	-	-	4.08%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	2,207	1,279	555	98	57	24	4,220	4.31	0.883	4.35	0.358	
		52.30%	30.31%	13.15%	2.32%	1.35%	0.57%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,884	1,347	723	153	66	47	4,220	4.16	0.943	4.22	0.359	
		44.64%	31.92%	17.13%	3.63%	1.56%	1.11%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,549	1,300	872	286	178	35	4,220	3.90	1.107	3.97	0.504	
		36.71%	30.81%	20.66%	6.78%	4.22%	0.83%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,678	1,346	773	242	128	53	4,220	4.01	1.047	4.07	0.460	
		39.76%	31.90%	18.32%	5.73%	3.03%	1.26%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	122	8	219	-	-	21	370	-	-	-	-	
		32.97%	2.16%	59.19%	-	-	5.68%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,475	1,347	1,015	200	144	39	4,220	3.91	1.044	3.99	0.406	
		34.95%	31.92%	24.05%	4.74%	3.41%	0.92%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 50.00%)	921	617	354	30	17	171	4,220	4.24	0.862	4.23	0.354	
		21.82%	14.62%	8.39%	0.71%	0.40%	4.05%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,598	1,453	828	206	99	36	4,220	4.01	0.995	4.08	0.428	
		37.87%	34.43%	19.62%	4.88%	2.35%	0.85%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,654	1,238	725	279	164	160	4,220	3.97	1.106	4.05	0.491
			39.19%	29.34%	17.18%	6.61%	3.89%	3.79%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,690	1,293	770	185	107	175	4,220	4.06	1.013	4.09	0.431	
		40.05%	30.64%	18.25%	4.38%	2.54%	4.15%	100.00%					

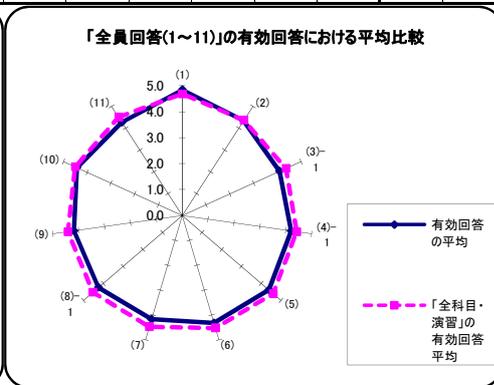
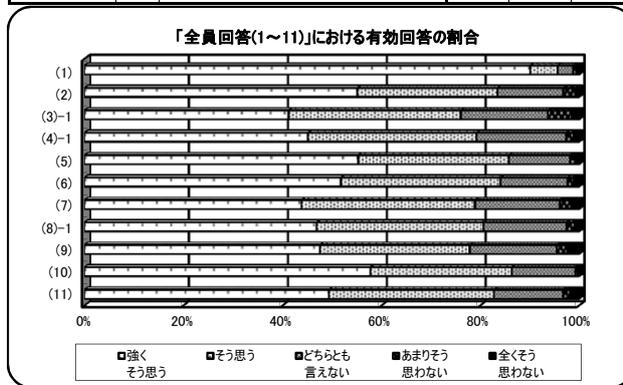


部門名 理学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,344	1,777	75.63%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース		部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均			学生回答 単純集計 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,207	75	42	9	7	4	1,344	4.84	0.548	4.76	0.395
			89.81%	5.58%	3.13%	0.67%	0.52%	0.30%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	736	379	178	33	10	8	1,344	4.35	0.855	4.26	0.391
			54.76%	28.20%	13.24%	2.46%	0.74%	0.60%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	545	461	233	64	20	21	1,344	4.09	0.954	4.03	0.374
			40.55%	34.30%	17.34%	4.76%	1.49%	1.56%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	80	2	-	-	-	2	84	-	-	-	-
			95.24%	2.38%	-	-	-	2.38%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	601	455	242	20	15	11	1,344	4.21	0.867	4.17	0.285
			44.72%	33.85%	18.01%	1.49%	1.12%	0.82%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる	29	4	-	-	-	2	35	-	-	-	-
		82.86%	11.43%	-	-	-	5.71%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	738	407	166	14	10	9	1,344	4.39	0.799	4.34	0.246	
		54.91%	30.28%	12.35%	1.04%	0.74%	0.67%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	689	430	181	17	14	13	1,344	4.32	0.833	4.29	0.256	
		51.26%	31.99%	13.47%	1.26%	1.04%	0.97%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	586	470	230	31	21	6	1,344	4.17	0.903	4.14	0.296	
		43.60%	34.97%	17.11%	2.31%	1.56%	0.45%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	620	447	222	21	13	21	1,344	4.24	0.855	4.22	0.271	
		46.13%	33.26%	16.52%	1.56%	0.97%	1.56%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	9	1	22	-	-	2	34	-	-	-	-	
		26.47%	2.94%	64.71%	-	-	5.88%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	633	404	235	29	31	12	1,344	4.19	0.956	4.12	0.376	
		47.10%	30.06%	17.49%	2.16%	2.31%	0.89%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 46.80%)	377	187	84	3	2	62	1,344	4.43	0.753	4.37	0.281	
		28.05%	13.91%	6.25%	0.22%	0.15%	4.61%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	659	447	186	20	24	8	1,344	4.27	0.884	4.23	0.326	
		49.03%	33.26%	13.84%	1.49%	1.79%	0.60%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	554	450	232	31	12	65	1,344	4.18	0.875	4.19	0.237
			41.22%	33.48%	17.26%	2.31%	0.89%	4.84%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	674	418	145	18	19	70	1,344	4.34	0.847	4.33	0.230	
		50.15%	31.10%	10.79%	1.34%	1.41%	5.21%	100.00%					



相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.292(**)	1											
Q3	.107(**)	.527(**)	1										
Q4	.092(**)	.437(**)	.728(**)	1									
Q5	.133(**)	.444(**)	.481(**)	.529(**)	1								
Q6	.093(**)	.446(**)	.500(**)	.556(**)	.731(**)	1							
Q7	.053(**)	.472(**)	.665(**)	.687(**)	.661(**)	.704(**)	1						
Q8	.073(**)	.378(**)	.559(**)	.667(**)	.598(**)	.634(**)	.723(**)	1					
Q9	.116(**)	.528(**)	.601(**)	.588(**)	.595(**)	.608(**)	.682(**)	.595(**)	1				
Q10	0.003	.261(**)	.258(**)	.259(**)	.197(**)	.240(**)	.274(**)	.262(**)	.309(**)	1			
Q11	.103(**)	.509(**)	.662(**)	.678(**)	.692(**)	.696(**)	.804(**)	.691(**)	.746(**)	.306(**)	1		
Q12	.066(**)	.418(**)	.546(**)	.604(**)	.588(**)	.611(**)	.693(**)	.633(**)	.597(**)	.239(**)	.699(**)	1	
Q13	.087(**)	.421(**)	.561(**)	.597(**)	.564(**)	.593(**)	.665(**)	.605(**)	.582(**)	.244(**)	.682(**)	.733(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.388(**)	1											
Q3	.172(**)	.567(**)	1										
Q4	.159(**)	.492(**)	.737(**)	1									
Q5	.181(**)	.470(**)	.558(**)	.584(**)	1								
Q6	.196(**)	.494(**)	.556(**)	.597(**)	.766(**)	1							
Q7	.128(**)	.472(**)	.655(**)	.659(**)	.676(**)	.723(**)	1						
Q8	.148(**)	.438(**)	.554(**)	.619(**)	.638(**)	.690(**)	.787(**)	1					
Q9	.177(**)	.562(**)	.595(**)	.562(**)	.564(**)	.602(**)	.615(**)	.585(**)	1				
Q10	0.012	.213(**)	.254(**)	.244(**)	.237(**)	.249(**)	.222(**)	.251(**)	.290(**)	1			
Q11	.204(**)	.547(**)	.667(**)	.658(**)	.672(**)	.677(**)	.739(**)	.698(**)	.739(**)	.279(**)	1		
Q14	.090(**)	.417(**)	.484(**)	.517(**)	.537(**)	.568(**)	.603(**)	.592(**)	.540(**)	.242(**)	.625(**)	1	
Q15	.109(**)	.394(**)	.502(**)	.521(**)	.560(**)	.571(**)	.616(**)	.570(**)	.551(**)	.207(**)	.652(**)	.698(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.73	0.673	4.69	0.251	4.73	0.666	4.72	0.195	4.74	0.647	4.71	0.214	4.77	0.621	4.72	0.228	4.76	0.632	4.72	0.243
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.70	0.990	3.70	0.352	3.77	0.993	3.77	0.320	3.84	0.977	3.89	0.337	3.85	0.982	3.85	0.405	3.95	0.981	3.95	0.339
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.60	1.080	3.63	0.523	3.67	1.077	3.67	0.444	3.74	1.061	3.77	0.476	3.74	1.069	3.74	0.484	3.77	1.099	3.81	0.429
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.67	1.077	3.72	0.543	3.75	1.080	3.75	0.489	3.82	1.038	3.85	0.444	3.83	1.034	3.83	0.443	3.84	1.059	3.88	0.440
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.09	0.933	4.13	0.408	4.12	0.955	4.13	0.411	4.17	0.895	4.23	0.359	4.28	0.836	4.28	0.355	4.31	0.883	4.35	0.358
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3.90	0.993	3.96	0.430	3.97	0.981	4.00	0.373	4.02	0.955	4.07	0.351	4.14	0.900	4.15	0.329	4.16	0.943	4.22	0.359
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.72	1.126	3.78	0.611	3.79	1.101	3.80	0.520	3.83	1.082	3.87	0.490	3.90	1.055	3.90	0.486	3.90	1.107	3.97	0.504
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.81	1.105	3.87	0.576	3.87	1.086	3.89	0.537	3.90	1.058	3.95	0.511	3.97	1.008	3.97	0.448	4.01	1.047	4.07	0.460
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.77	1.057	3.84	0.479	3.83	1.057	3.86	0.454	3.86	1.038	3.94	0.417	3.90	1.006	3.94	0.427	3.91	1.044	3.99	0.406
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.74	0.982	3.76	0.444	3.75	1.033	3.73	0.414	3.87	1.005	3.91	0.370	4.07	0.885	4.06	0.356	4.24	0.862	4.23	0.354
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.81	1.017	3.87	0.521	3.89	1.006	3.91	0.474	3.96	0.964	4.01	0.438	3.99	0.964	3.99	0.441	4.01	0.995	4.08	0.428
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	3.79	1.103	3.83	0.570	3.84	1.102	3.83	0.542	3.93	1.043	3.95	0.461	3.94	1.045	3.93	0.506	3.97	1.106	4.05	0.491
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.84	1.006	3.87	0.439	3.91	1.024	3.91	0.442	3.99	0.968	4.01	0.400	4.00	0.973	4.00	0.433	4.06	1.013	4.09	0.431

部門名 理学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.83	0.538	4.78	0.234	4.85	0.546	4.81	0.251	4.87	0.476	4.82	0.207	4.86	0.497	4.81	0.206	4.84	0.548	4.76	0.395
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.20	0.882	4.13	0.406	4.29	0.862	4.23	0.384	4.24	0.873	4.16	0.369	4.30	0.843	4.22	0.335	4.35	0.855	4.26	0.391
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.98	0.948	3.92	0.371	4.08	0.946	4.05	0.410	4.00	0.973	3.92	0.446	4.08	0.941	4.00	0.357	4.09	0.954	4.03	0.374
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.03	0.924	3.99	0.385	4.12	0.910	4.08	0.420	4.04	0.963	3.97	0.451	4.17	0.874	4.12	0.316	4.21	0.867	4.17	0.285
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.21	0.868	4.18	0.358	4.27	0.853	4.25	0.336	4.19	0.942	4.12	0.504	4.38	0.781	4.33	0.282	4.39	0.799	4.34	0.246
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.08	0.951	4.02	0.440	4.17	0.953	4.12	0.439	4.12	0.974	4.05	0.459	4.29	0.846	4.22	0.342	4.32	0.833	4.29	0.256
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.06	0.934	4.02	0.425	4.13	0.950	4.11	0.418	3.99	1.023	3.93	0.559	4.21	0.865	4.16	0.340	4.17	0.903	4.14	0.296
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.08	0.907	4.05	0.401	4.19	0.893	4.16	0.378	4.07	0.978	4.02	0.493	4.24	0.841	4.21	0.332	4.24	0.855	4.22	0.271
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.08	0.955	4.02	0.443	4.16	0.978	4.10	0.467	4.08	0.988	4.01	0.466	4.20	0.912	4.12	0.348	4.19	0.956	4.12	0.376
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.95	0.965	3.91	0.362	4.01	1.035	3.94	0.444	3.97	1.058	3.96	0.461	4.35	0.846	4.29	0.302	4.43	0.753	4.37	0.281
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.13	0.895	4.08	0.408	4.20	0.906	4.16	0.454	4.10	0.972	4.03	0.541	4.28	0.837	4.22	0.327	4.27	0.884	4.23	0.326
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.07	0.923	4.07	0.362	4.11	0.951	4.10	0.384	4.04	0.978	4.01	0.471	4.18	0.873	4.17	0.304	4.18	0.875	4.19	0.237
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.27	0.832	4.25	0.302	4.28	0.862	4.27	0.345	4.21	0.942	4.15	0.515	4.35	0.822	4.31	0.295	4.34	0.847	4.33	0.230

V. 国際社会科学部

1. 集計データからわかること

開設初年度のため、一年生対象の授業科目のみについてアンケートを実施した結果を概観する。

A. 講義

講義型の社会科学科目は履修者数が 200 名前後に達した科目が多かったが、全学平均値 (4.57) を上回る高い出席率 (Q1) (4.78) を示した。また、他の 4 学部に見られる「講義型科目の出席率は演習型科目の出席率を下回る」という一般的傾向に反し、講義型科目の方が演習型科目よりも高い出席率が示されるという結果になった。緊張感を維持している一年生のみが回答していること、多くの科目で ICレコーダーによる出席管理を導入したことが高い出席率の主な理由と思われる。しかし、出席率の高さは必ずしも授業に意欲的に取り組んでいることを意味せず、意欲度 (Q2) は全学平均をやや下回った。出席率を高めた結果として、意欲の低い学生の出席が、集中して授業に取り組める環境を維持すること (Q6) を困難にしたとも解釈できる。

開設初年度の授業では、入学してきた学生の学力や知的好奇心を予想するのが難しく、適切な難易度を見出すのに苦労した授業科目が少なくなかった。想定内ではあったが、授業を進める速さ (Q4)、理解しやすさ (Q7)、教員の話し方 (Q8)、知的好奇心を刺激したか (Q9) の項目で全学平均値を下回り、結果として、授業レベルの適切さ (Q3)、及び総合的な評価 (Q11) においても全学平均を下回る評価となった。アンケートの回答者が一年生のみであることを考慮すると、一年生対象の授業の難しさ、とりわけ高校の少人数クラスの授業から大教室の講義へ移行させることの難しさが改めて明らかになったとも言えよう。

B. 演習

一年生対象の入門演習 (学生は授業担当教員を選択できない) への出席率 (Q1) (4.64) は、全学平均 (4.67) をやや下回ったが、他学部と異なり、上級生を対象とする専門演習 (学生が授業担当教員を選択できる) がアンケートの対象に含まれていないこと、及び全科目が 1 時限に配置されていることが理由と見られる。

「講義型科目よりも演習型科目の方が学生の評価が高い」という一般的傾向が、本学部の入門演習の場合にも示された。出席率を除くすべての項目において、講義型科目よりも高い数値が示された。特に、「Q14: 教員が学生の活発な発言や議論を促すよう心がけた」の項目においては全学平均を上回る高い評価を得た。

C. 英語科目

英語科目への出席率 (Q1)、授業への意欲的な取り組み (Q2) はともに全学平均を上回り、一年生の時点では、社会科学の講義・演習に対するよりも英語科目に対する意欲が強いことが示された。授業のレベル (Q3) については、全学平均よりも「難しすぎる」と答えた割合が低く、逆に「易しすぎる」と答えた割合が高い。英語の得意な学生が本学部に多く入学した様子が見える。

入学時点における学生の英語力が多様だったため、全学平均をやや下回った学生の総合的な評価 (Q11) をはじめ、評価結果を鵜呑みにすることは危険だろう。しかし、「Q9: 知的好奇心が刺激された」の項目と総合的な評価との間に高い相関が見られたことから、授業で自分のレベルよりもやや高いレベルに挑戦できた学生の満足度は高いものと思われる。また、「Q5: 教員は熱意を持って授業を行っている」「Q7: 教員は理解しやすい授業を行っている」「Q8: 教員の話し方は適切である」「Q15: 教員は学生の課題への取り組みを助けた」の4項目で全学平均を上回る高い評価を得ている点は特筆に値する。

2. 今後の授業改善に向けて

今年度は、社会科学担当教員、英語担当教員、それぞれにカリキュラムや授業の進め方に関する会合を数多く持ち、活発な意見交換を行ってきた。年度の終わりには、全学実施の授業評価アンケートとは別途に学部独自の自由回答式アンケートも実施し、学生に対して結果のフィードバックを行なっている。

本アンケート結果を含め、初年度の経験から得られた教訓に基づき、教員各自が授業改善の工夫を行うとともに、よい結果の得られた取り組みを共有する機会を今後も設けていく予定である。

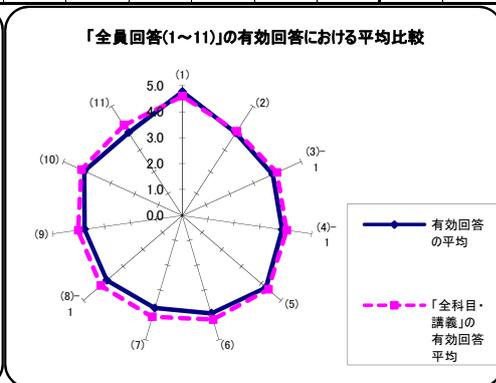
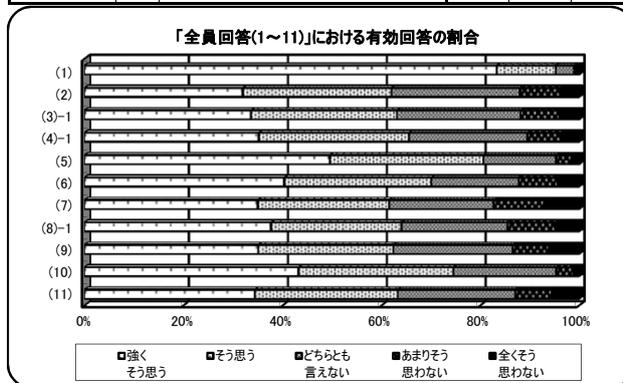
学部の完成年度までは、当初は予期しなかったような課題に直面する場面が多々あるだろうが、通常の教務と並行しつつ、教員のタスクチームを作って個々の課題に対処していきたい。

部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,776	2,498	71.10%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,476	212	66	9	9	4	1,776	4.77	0.586	4.78	0.091
			83.11%	11.94%	3.72%	0.51%	0.51%	0.23%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	562	528	458	142	68	18	1,776	3.78	1.097	3.80	0.368
			31.64%	29.73%	25.79%	8.00%	3.83%	1.01%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	583	512	434	137	69	41	1,776	3.81	1.106	3.80	0.460
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	154	28	-	-	-	24	206				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	621	536	423	120	65	11	1,776	3.87	1.085	3.86	0.458
			34.97%	30.18%	23.82%	6.76%	3.66%	0.62%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる	135	27	-	-	-	23	185	-	-	-	-
			72.97%	14.59%	-	-	-	12.43%	100.00%				
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	876	549	261	55	27	8	1,776	4.24	0.921	4.22	0.338
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	712	525	312	139	77	11	1,776					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	617	468	373	180	125	13	1,776	3.72	1.237	3.66	0.590	
		34.74%	26.35%	21.00%	10.14%	7.04%	0.73%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	657	460	374	168	85	32	1,776	3.82	1.177	3.79	0.558	
		36.99%	25.90%	21.06%	9.46%	4.79%	1.80%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	59	5	151	-	-	38	253	-	-	-	-	
		23.32%	1.98%	59.68%	-	-	15.02%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	619	482	427	129	108	11	1,776	3.78	1.178	3.73	0.456	
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 43.92%)	382	277	184	31	10	112	1,776					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	606	509	420	130	97	14	1,776	3.79	1.154	3.74	0.542	
		34.12%	28.66%	23.65%	7.32%	5.46%	0.79%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	771	490	302	101	75	37	1,776	4.02	1.112	4.00	0.467
			43.41%	27.59%	17.00%	5.69%	4.22%	2.08%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	709	479	386	91	63	48	1,776	3.97	1.083	3.95	0.381	
	39.92%	26.97%	21.73%	5.12%	3.55%	2.70%	100.00%						

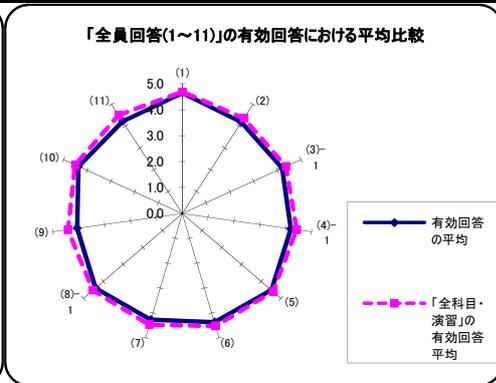
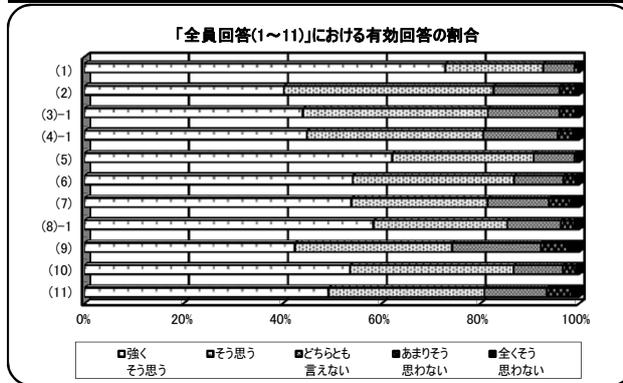


部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	413	472	87.50%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	301	82	26	3	1	0	413	4.64	0.655	4.64	0.201
			72.88%	19.85%	6.30%	0.73%	0.24%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	165	174	55	13	3	3	413	4.18	0.835	4.17	0.348
			39.95%	42.13%	13.32%	3.15%	0.73%	0.73%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	179	152	59	13	3	7	413	4.21	0.860	4.21	0.442
			43.34%	36.80%	14.29%	3.15%	0.73%	1.69%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	13	2	-	-	-	1	16	-	-	-	-
			81.25%	12.50%	-	-	-	6.25%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	185	147	62	13	5	1	413	4.20	0.893	4.20	0.402
			44.79%	35.59%	15.01%	3.15%	1.21%	0.24%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる	15	0	-	-	-	3	18	-	-	-	-
		83.33%	0.00%	-	-	-	16.67%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	256	118	34	2	2	1	413	4.51	0.710	4.51	0.311	
		61.99%	28.57%	8.23%	0.48%	0.48%	0.24%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	222	134	41	10	3	3	413	4.37	0.818	4.36	0.435	
		53.75%	32.45%	9.93%	2.42%	0.73%	0.73%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	221	113	51	18	7	3	413	4.28	0.959	4.28	0.535	
		53.51%	27.36%	12.35%	4.36%	1.69%	0.73%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	237	110	44	11	4	7	413	4.39	0.859	4.39	0.434	
		57.38%	26.63%	10.65%	2.66%	0.97%	1.69%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	2	2	8	-	-	3	15	-	-	-	-	
		13.33%	13.33%	53.33%	-	-	20.00%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	175	131	74	22	10	1	413	4.07	1.017	4.07	0.418	
		42.37%	31.72%	17.92%	5.33%	2.42%	0.24%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 47.70%)	97	60	18	5	1	35	413	4.36	0.816	4.35	0.441	
		23.49%	14.53%	4.36%	1.21%	0.24%	8.47%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	203	130	52	21	6	1	413	4.22	0.953	4.23	0.517	
		49.15%	31.48%	12.59%	5.08%	1.45%	0.24%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	254	110	22	5	1	21	413	4.56	0.683	4.56	0.284
			61.50%	26.63%	5.33%	1.21%	0.24%	5.08%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	231	120	24	12	2	24	413	4.46	0.787	4.45	0.453	
		55.93%	29.06%	5.81%	2.91%	0.48%	5.81%	100.00%					

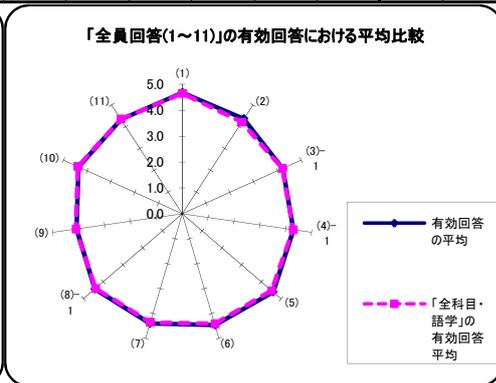
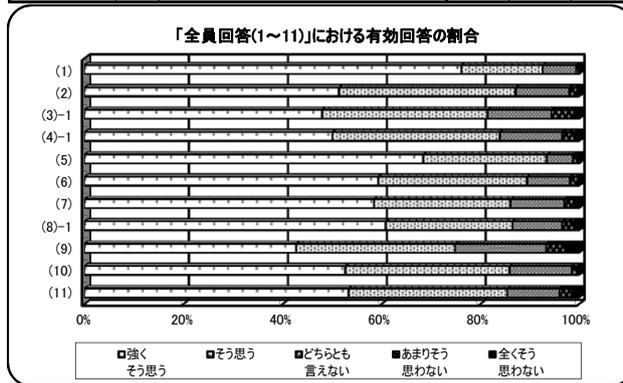


部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,654	1,871	88.40%

形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,258	272	113	9	0	2	1,654	4.68	0.622	4.67	0.239
			76.06%	16.44%	6.83%	0.54%	0.00%	0.12%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	844	588	179	25	7	11	1,654	4.36	0.769	4.35	0.255
			51.03%	35.55%	10.82%	1.51%	0.42%	0.67%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	776	542	209	75	16	36	1,654	4.23	0.912	4.22	0.326
			46.92%	32.77%	12.64%	4.53%	0.97%	2.18%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	51	37	-	-	-	3	91	-	-	-	-
			56.04%	40.66%	-	-	-	3.30%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	823	558	208	42	14	9	1,654	4.30	0.847	4.29	0.338
			49.76%	33.74%	12.58%	2.54%	0.85%	0.54%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	41	12	-	-	-	3	56	-	-	-	-
		73.21%	21.43%	-	-	-	5.36%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,128	413	88	18	2	5	1,654	4.61	0.653	4.60	0.274	
		68.20%	24.97%	5.32%	1.09%	0.12%	0.30%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	975	496	142	27	4	10	1,654	4.47	0.741	4.45	0.291	
		58.95%	29.99%	8.59%	1.63%	0.24%	0.60%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	964	456	180	35	14	5	1,654	4.41	0.830	4.40	0.393	
		58.28%	27.57%	10.88%	2.12%	0.85%	0.30%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	992	419	164	38	18	23	1,654	4.43	0.848	4.42	0.402	
		59.98%	25.33%	9.92%	2.30%	1.09%	1.39%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	23	5	26	-	-	2	56	-	-	-	-	
		41.07%	8.93%	46.43%	-	-	3.57%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	702	529	304	65	44	10	1,654	4.08	1.002	4.08	0.372	
		42.44%	31.98%	18.38%	3.93%	2.66%	0.60%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 42.26%)	444	280	107	9	3	112	1,654	4.37	0.771	4.36	0.325	
		26.84%	16.93%	6.47%	0.54%	0.18%	6.77%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	878	529	174	45	21	7	1,654	4.33	0.867	4.32	0.380	
		53.08%	31.98%	10.52%	2.72%	1.27%	0.42%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	912	513	157	24	6	42	1,654	4.43	0.758	4.42	0.318
			55.14%	31.02%	9.49%	1.45%	0.36%	2.54%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切で ある	884	483	207	26	8	46	1,654	4.37	0.805	4.37	0.289	
		53.45%	29.20%	12.52%	1.57%	0.48%	2.78%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	949	449	148	20	5	83	1,654	4.47	0.743	4.47	0.296
			57.38%	27.15%	8.95%	1.21%	0.30%	5.02%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	930	469	145	21	3	86	1,654	4.47	0.733	4.46	0.279	
		56.23%	28.36%	8.77%	1.27%	0.18%	5.20%	100.00%					
「語学」 のみ	(16)	1回1回の授業のねらいが明確である	773	449	200	52	18	162	1,654	4.28	0.907	4.27	0.401
			46.74%	27.15%	12.09%	3.14%	1.09%	9.79%	100.00%				
(17)	教員は授業時間を有効に活用している	801	472	161	46	8	166	1,654	4.35	0.834	4.34	0.341	
		48.43%	28.54%	9.73%	2.78%	0.48%	10.04%	100.00%					



相関係数表 部門名 国際社会科学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.269(**)	1											
Q3	.187(**)	.554(**)	1										
Q4	.154(**)	.449(**)	.752(**)	1									
Q5	.184(**)	.408(**)	.523(**)	.541(**)	1								
Q6	.153(**)	.448(**)	.517(**)	.511(**)	.674(**)	1							
Q7	.106(**)	.496(**)	.687(**)	.697(**)	.665(**)	.692(**)	1						
Q8	.109(**)	.432(**)	.618(**)	.676(**)	.569(**)	.605(**)	.788(**)	1					
Q9	.118(**)	.510(**)	.615(**)	.591(**)	.597(**)	.628(**)	.705(**)	.622(**)	1				
Q10	.089(**)	.314(**)	.279(**)	.267(**)	.251(**)	.265(**)	.279(**)	.273(**)	.331(**)	1			
Q11	.125(**)	.517(**)	.656(**)	.640(**)	.660(**)	.695(**)	.824(**)	.721(**)	.780(**)	.325(**)	1		
Q12	.122(**)	.452(**)	.563(**)	.579(**)	.556(**)	.579(**)	.679(**)	.613(**)	.590(**)	.243(**)	.677(**)	1	
Q13	.144(**)	.455(**)	.550(**)	.556(**)	.534(**)	.561(**)	.649(**)	.587(**)	.572(**)	.279(**)	.635(**)	.813(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 国際社会科学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.356(**)	1											
Q3	.216(**)	.542(**)	1										
Q4	.209(**)	.356(**)	.717(**)	1									
Q5	.150(**)	.386(**)	.525(**)	.486(**)	1								
Q6	.171(**)	.423(**)	.552(**)	.511(**)	.690(**)	1							
Q7	.137(**)	.384(**)	.647(**)	.653(**)	.646(**)	.764(**)	1						
Q8	.202(**)	.326(**)	.523(**)	.568(**)	.524(**)	.651(**)	.743(**)	1					
Q9	.159(**)	.497(**)	.592(**)	.604(**)	.505(**)	.577(**)	.614(**)	.501(**)	1				
Q10	0.087	.262(**)	.225(**)	.189(**)	.140(**)	.155(**)	.193(**)	.119(**)	.295(**)	1			
Q11	.134(**)	.401(**)	.612(**)	.654(**)	.597(**)	.666(**)	.733(**)	.614(**)	.734(**)	.252(**)	1		
Q14	.187(**)	.358(**)	.466(**)	.433(**)	.519(**)	.530(**)	.558(**)	.485(**)	.471(**)	.117(**)	.552(**)	1	
Q15	.164(**)	.352(**)	.504(**)	.487(**)	.559(**)	.564(**)	.603(**)	.405(**)	.521(**)	.177(**)	.624(**)	.585(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 国際社会科学部
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17
Q1	1																
Q2	.325(**)	1															
Q3	.190(**)	.468(**)	1														
Q4	.201(**)	.427(**)	.688(**)	1													
Q5	.172(**)	.393(**)	.452(**)	.510(**)	1												
Q6	.124(**)	.457(**)	.477(**)	.545(**)	.701(**)	1											
Q7	.132(**)	.439(**)	.553(**)	.604(**)	.661(**)	.729(**)	1										
Q8	.141(**)	.378(**)	.498(**)	.573(**)	.590(**)	.598(**)	.767(**)	1									
Q9	.069(**)	.444(**)	.491(**)	.481(**)	.463(**)	.528(**)	.546(**)	.486(**)	1								
Q10	0.033	.265(**)	.184(**)	.153(**)	.147(**)	.206(**)	.181(**)	.158(**)	.291(**)	1							
Q11	.111(**)	.454(**)	.618(**)	.589(**)	.583(**)	.607(**)	.661(**)	.578(**)	.719(**)	.233(**)	1						
Q12	.103(**)	.367(**)	.423(**)	.488(**)	.485(**)	.525(**)	.573(**)	.523(**)	.449(**)	.198(**)	.485(**)	1					
Q13	.095(**)	.398(**)	.448(**)	.518(**)	.430(**)	.501(**)	.545(**)	.454(**)	.493(**)	.216(**)	.518(**)	.701(**)	1				
Q14	.135(**)	.404(**)	.428(**)	.481(**)	.565(**)	.589(**)	.615(**)	.555(**)	.486(**)	.160(**)	.550(**)	.552(**)	.552(**)	1			
Q15	.140(**)	.401(**)	.421(**)	.469(**)	.557(**)	.601(**)	.605(**)	.541(**)	.482(**)	.170(**)	.531(**)	.562(**)	.534(**)	.717(**)	1		
Q16	.104(**)	.430(**)	.442(**)	.473(**)	.501(**)	.553(**)	.568(**)	.480(**)	.549(**)	.213(**)	.589(**)	.564(**)	.561(**)	.551(**)	.549(**)	1	
Q17	.130(**)	.426(**)	.435(**)	.492(**)	.526(**)	.589(**)	.592(**)	.518(**)	.534(**)	.178(**)	.593(**)	.563(**)	.569(**)	.606(**)	.575(**)	.737(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)

Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 16 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 17 教員は授業時間を有効に活用している



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5.90%以上 4.80%以上 3.70%以上 2.50%以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.77	0.586	4.78	0.091
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.78	1.097	3.80	0.368
	(3)	この授業のレベルは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.81	1.106	3.80	0.460
	(4)	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	1.085	3.86	0.458
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.921	4.22	0.338
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	1.133	3.93	0.423
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.72	1.237	3.66	0.590
	(8)	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.82	1.177	3.79	0.558
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.78	1.178	3.73	0.456
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.932	4.12	0.313
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.79	1.154	3.74	0.542
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	1.112	4.00	0.467	
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	1.083	3.95	0.381	

部門名 国際社会科学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5.90%以上 4.80%以上 3.70%以上 2.50%以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.64	0.655	4.64	0.201
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.835	4.17	0.348
	(3)	この授業のレベルは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.860	4.21	0.442
	(4)	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.893	4.20	0.402
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.51	0.710	4.51	0.311
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.37	0.818	4.36	0.435
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.959	4.28	0.535
	(8)	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.39	0.859	4.39	0.434
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.07	1.017	4.07	0.418
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.816	4.35	0.441
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.22	0.953	4.23	0.517
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.56	0.683	4.56	0.284	
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.46	0.787	4.45	0.453

部門名 国際社会科学部
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5.90%以上 4.80%以上 3.70%以上 2.50%以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.68	0.622	4.67	0.239
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.769	4.35	0.255
	(3)	この授業のレベルは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.912	4.22	0.326
	(4)	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.847	4.29	0.338
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.61	0.653	4.60	0.274
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.741	4.45	0.291
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.41	0.830	4.40	0.393
	(8)	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.43	0.848	4.42	0.402
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	1.002	4.08	0.372
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.37	0.771	4.36	0.325
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.33	0.867	4.32	0.380
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.43	0.758	4.42	0.318	
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.37	0.805	4.37	0.289
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.743	4.47	0.296	
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.733	4.46	0.279
「語学」 のみ	(16)	1回1回の授業のねらいが明確である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.907	4.27	0.401	
	(17)	教員は授業時間を有効に活用している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.35	0.834	4.34	0.341

VI. 計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。

授業形態は講義のみである。しかし座学だけではない。学生一人一人に1台のコンピューター端末を割り当て、操作しながら実際に体験し学ぶ実習を講義の中に取り入れている。

この特徴を踏まえて、授業評価アンケートの Q1 から Q13 の集計結果について、平成 24 (2012) 年度～平成 28 (2016) 年度の過去 5 年間の経年変化を分析し今後の改善点について検討する。なおその際、以下の点を考慮することは、非常に重要である：学生が、校内の実習室等にある計算機センターが管理するコンピューターを卒業するまで利用できる権利を得るには「初等情報処理 1」の単位取得が必要である。そのため、ほとんどの学科において当該科目は選択科目ではあるものの、学生にとって実質的に必修科目に近い。従って、コマ数も履修者数も多く、複数の教員が担当している。

1. 集計データからわかること

Q1 出席率：

計算機センターの部門別平均 4.71 (標準偏差 0.252) は、大学全体の講義の平均 4.57 (標準偏差 0.292) と比べ大きく、標準偏差も小さい。計算機センターで開講している講義科目は、学生全体の出席率が高い。一方、高い出席率 (Q1) が、学習意欲 (Q2) に反映されているわけではない。過去 5 年間にさかのぼってもこの傾向は大きく変化していない。その理由は次のように説明できる。計算機センター開講授業のうち約 75% を占める「初等情報処理 1」の単位取得は、計算機センターのコンピューターを卒業まで利用するための条件となっている。従って、必修の科目と変わらぬ態度で授業を受ける学生が多いためと考えられる。

Q2 意欲的か：

計算機センターの部門別平均 4.07 (標準偏差 0.311) は、大学全体の講義の平均 3.92 (標準偏差 0.389) よりも大きい。過去にさかのぼってもこの傾向は大きく変化していない。学生は意欲をもって授業に臨んでいると思われる。しかしながら、総合評価 (Q11) は大学全体の講義の平均より低い。学生の学習意欲に十分に答える授業内容になっていない可能性が考えられる。

Q3 授業レベルの適切さ・Q3-2 授業レベルについての感想：

授業レベル (Q3) の評価については、計算機センターの部門別平均 3.82 (標準偏差 0.500) は、大学全体の講義の平均 4.02 (標準偏差 0.439) より小さい。一方、授業レベルについての感想 (Q3-2) については、難しすぎる (82.61%) 易しすぎる (7.39%) であった。大学

全体の講義の平均は、難しすぎる（90.14%）易しすぎる（9.86%）であった。授業レベルが易しすぎる結果、授業レベルの適切さが大学全体より低い可能性がある。しかしながら、学内の計算機センターが管理するコンピューターを卒業するまで利用できる権利を得るための科目「初等情報処理1」の難しすぎるという数字に対する影響を考慮する必要がある。なぜならば、この科目は本来、ほぼ全員合格するレベルに設定しているからである。詳しくは、計算機センター開講授業別に調べる必要がある。

Q4 授業の速さの適切さ・Q4-2 授業の速さについての感想：

授業の速さ（Q4）の評価においては計算機センターの部門別平均 3.77（標準偏差 0.459）は、大学全体の講義の平均 4.08（標準偏差 0.420）より小さい。大学平均より標準偏差が大きいことの意味を推測すると、学科別に割り当てられたクラスの中でコンピューターの習熟度には大きな差があること、同じ科目でも教員間でのレベル設定に差があることが考えられる。授業の速さについての感想（Q4-2）については、速すぎる（85.24%）遅すぎる（14.76%）であった。大学全体の講義の平均は、速すぎる（80.38%）遅すぎる（19.62%）であった。大学全体の講義の速すぎるという平均は、学年とともに減少する。この傾向は、計算機センター開講授業は1年生、2年生をほとんど対象としている結果と一致する。

Q5 教員の熱意・Q6 教員の授業環境への配慮：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 4.10（標準偏差 0.424）と 4.13（標準偏差 0.359）であり、両方とも大学全体の講義 4.38（標準偏差 0.363）及び 4.25（標準偏差 0.356）の平均より小さい。

Q7 理解しやすい・Q8 教員の話し方・Q8-2 教員の話し方の感想：

計算機センターの部門平均は、それぞれ Q7：3.88（標準偏差 0.553）と Q8：3.99（標準偏差 0.410）であり、大学全体の講義 Q7：4.13（標準偏差 0.494）及び Q8：4.19（標準偏差 0.437）より小さい。教員の話し方の感想 Q8-2 は、速すぎる（55.90%）遅すぎる（7.87%）その他/聞き取りにくい（36.24%）であった。大学全体の講義では速すぎる（34.54%）遅すぎる（5.81%）その他/聞き取りにくい（59.65%）であった。話し方の速度をゆっくりにすれば授業評価は改善されると推察できる。

Q9 知的好奇心と新しい見方：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 3.78（標準偏差 0.439）であり、大学全体の講義 4.10（標準偏差 0.445）より小さい。講義内容の工夫が今後求められる。

Q10 シラバスと授業内容：

計算機センターの部門別平均 4.22（標準偏差 0.285）は大学平均 4.27（標準偏差 0.314）よりやや小さい。1年生の計算機センター開講授業「初等情報処理」の時間割は、あらかじめ学科ごとに割り振られているために、シラバスを参考に選択する余地がないため評価が低いのであろう。

Q11 総合評価：

計算機センターの部門平均は、3.95（標準偏差 0.479）であり、大学全体の講義の平均 4.19（標準偏差 0.442）の平均より小さい。Q7、Q8、Q11 の評価には比較的強い相関があり、授業のわかりやすさは、学生の主体性がそもそも前提になっており、授業が理解できた学生にとっては、授業の評価が高いという至極当然のことを表しているにすぎない可能性はある。計算機センターの部門別平均は、過去5年間の結果と同様に大学全体よりも評価が低い。

Q12 板書・スライドの提示、Q13 教材（教科書、配布資料等）の内容：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 4.15（標準偏差 0.382）と 4.14（標準偏差 0.348）であり、大学全体の講義の平均 4.16（標準偏差 0.423）と 4.21（標準偏差 0.375）より小さい。

2. 今後の授業改善に向けて

例年の傾向であるが、概して学生の授業への評価が大学全体よりも低い。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の二点に留意しなくてはならない。

- 1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど（約 75%）は、コンピューターの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その履修者の大部分は1年生である。1人1台のコンピューター端末を操作する半分実習の講義科目が特徴である。そこでは90名を超える規模のクラスも少なくない。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなる。また学年が低いほど、授業の総合評価は低くなる。実際にコンピューターを操作しながら授業を進める半分実習の講義形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後、授業内容がわからないままに、ただ受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。
- 2) 初等情報処理の第一学期開講科目である「初等情報処理1」においては、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピューターを利用できる権利を与えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピューターを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理1」の単位を修得する必要がある。この自動車運転免許のような制度が、学生をただ義務的に「初等情報処理1」の授業に出席させる状態にしている可能性もある。

今後、義務的に出席している学生が、よりいっそう学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善してゆく必要がある。新入生のコンピューター操作のスキルには、大きな個人差がある。学習意欲はあるにもかかわらず(Q2)、学生の好奇心を十分に満たせていない状況(Q9)も読み取れる。これは、授業がコンピューター操作の訓練の場として受け止められており、他の講義科目と同様に予習・復習を前提とした科目であるという認識が薄いことも一因であろう。コンピューターの操作に終始せず、その背後にある原理や、履修者の属する学科の学問領域との関連性についても触れ、学生の知的好奇心を満たすことができる充実した内容にしてゆくことが一層望まれる。

学生のコンピューターへの習熟度は、入学時にすでに大きな開きがあり、すべての学生に満足のいくレベルの授業を行うことはいっそう難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。

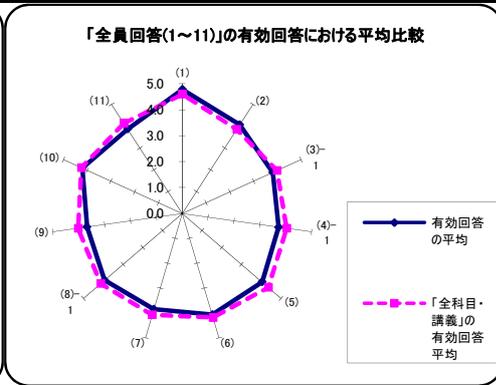
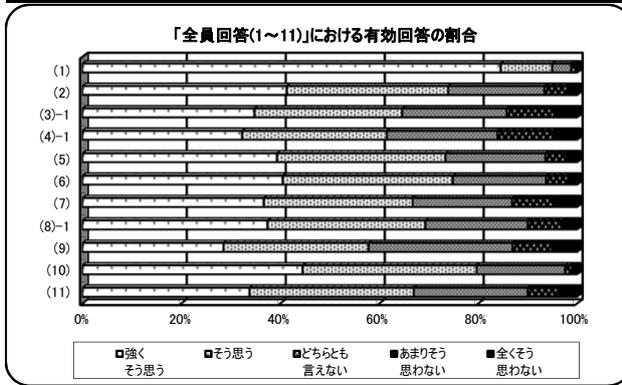
「初等情報処理1」及び「初等情報処理2」はクラスが多く、多数の教員が担当している。Q3、Q4、Q7は、他の設問と比較して標準偏差の値が大きく、学生に理解しやすい授業をしているクラスとそうでないクラスの差が大きいのであろう。このような状況を鑑み、共通のシラバスのもとで多数の教員が授業をする科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、学生の声を反映させるための仕組みを作ることが望まれる。

部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,841	4,955	77.52%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	3,245	400	149	34	11	2	3,841	4.78	0.580	4.71	0.252
			84.48%	10.41%	3.88%	0.89%	0.29%	0.05%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,577	1,247	744	177	76	20	3,841	4.07	0.984	4.07	0.311
			41.06%	32.47%	19.37%	4.61%	1.98%	0.52%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	1,317	1,130	802	364	175	53	3,841	3.81	1.150	3.82	0.500
			34.29%	29.42%	20.88%	9.48%	4.56%	1.38%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	418	88	-	-	-	33	539	-	-	-	-
			77.55%	16.33%	-	-	-	6.12%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	1,231	1,117	852	434	181	26	3,841	3.73	1.164	3.77	0.459
			32.05%	29.08%	22.18%	11.30%	4.71%	0.68%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	491	85	-	-	-	39	615	-	-	-	-
		79.84%	13.82%	-	-	-	6.34%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,503	1,301	772	164	82	19	3,841	4.04	0.979	4.10	0.424	
		39.13%	33.87%	20.10%	4.27%	2.13%	0.49%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,539	1,306	718	170	69	39	3,841	4.07	0.965	4.13	0.359	
		40.07%	34.00%	18.69%	4.43%	1.80%	1.02%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,401	1,150	769	319	184	18	3,841	3.85	1.146	3.88	0.553	
		36.47%	29.94%	20.02%	8.31%	4.79%	0.47%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,419	1,210	786	262	117	47	3,841	3.94	1.064	3.99	0.410	
		36.94%	31.50%	20.46%	6.82%	3.05%	1.22%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	199	28	129	-	-	23	379	-	-	-	-	
		52.51%	7.39%	34.04%	-	-	6.07%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,088	1,119	1,111	306	193	24	3,841	3.68	1.118	3.78	0.439	
		28.33%	29.13%	28.92%	7.97%	5.02%	0.62%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 43.76%)	897	709	361	29	20	144	3,841	4.21	0.853	4.22	0.285	
		23.35%	18.46%	9.40%	0.76%	0.52%	3.75%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,290	1,268	881	243	139	20	3,841	3.87	1.065	3.95	0.479	
		33.59%	33.01%	22.94%	6.33%	3.62%	0.52%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,557	1,202	631	171	53	227	3,841	4.12	0.956	4.15	0.382
			40.54%	31.29%	16.43%	4.45%	1.38%	5.91%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,548	1,180	671	131	56	255	3,841	4.12	0.943	4.14	0.348	
		40.30%	30.72%	17.47%	3.41%	1.46%	6.64%	100.00%					



相関係数表 部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.266(**)	1											
Q3	.098(**)	.452(**)	1										
Q4	.063(**)	.395(**)	.764(**)	1									
Q5	.074(**)	.391(**)	.507(**)	.537(**)	1								
Q6	.058(**)	.400(**)	.532(**)	.559(**)	.758(**)	1							
Q7	.040(*)	.412(**)	.680(**)	.693(**)	.685(**)	.721(**)	1						
Q8	.070(**)	.377(**)	.595(**)	.675(**)	.612(**)	.662(**)	.756(**)	1					
Q9	.051(**)	.458(**)	.574(**)	.556(**)	.585(**)	.576(**)	.632(**)	.583(**)	1				
Q10	0.023	.244(**)	.266(**)	.288(**)	.284(**)	.284(**)	.306(**)	.278(**)	.327(**)	1			
Q11	.060(**)	.450(**)	.689(**)	.682(**)	.686(**)	.708(**)	.787(**)	.717(**)	.734(**)	.347(**)	1		
Q12	.083(**)	.375(**)	.551(**)	.579(**)	.585(**)	.624(**)	.685(**)	.649(**)	.547(**)	.264(**)	.701(**)	1	
Q13	.094(**)	.352(**)	.556(**)	.550(**)	.557(**)	.589(**)	.642(**)	.607(**)	.525(**)	.257(**)	.658(**)	.781(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

		2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.76	0.595	4.71	0.220	4.73	0.628	4.69	0.188	4.75	0.602	4.69	0.247	4.76	0.585	4.71	0.229	4.78	0.580	4.71	0.252
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.82	1.031	3.82	0.312	3.86	1.001	3.85	0.279	3.88	0.967	3.86	0.316	4.00	0.988	3.99	0.346	4.07	0.984	4.07	0.311
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.63	1.154	3.64	0.556	3.72	1.116	3.72	0.479	3.73	1.059	3.70	0.403	3.78	1.130	3.74	0.561	3.81	1.150	3.82	0.500
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.58	1.162	3.60	0.516	3.66	1.136	3.67	0.467	3.62	1.117	3.62	0.390	3.73	1.112	3.73	0.530	3.73	1.164	3.77	0.459
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	3.74	1.051	3.78	0.387	3.81	1.028	3.86	0.434	3.77	1.005	3.82	0.387	3.97	1.005	4.01	0.487	4.04	0.979	4.10	0.424
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3.83	1.035	3.88	0.379	3.94	0.979	3.97	0.353	3.91	0.981	3.96	0.346	3.98	0.998	4.03	0.434	4.07	0.965	4.13	0.359
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.63	1.182	3.68	0.590	3.78	1.121	3.79	0.528	3.74	1.107	3.75	0.447	3.83	1.127	3.83	0.610	3.85	1.146	3.88	0.553
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.74	1.109	3.79	0.436	3.86	1.069	3.88	0.442	3.81	1.056	3.85	0.408	3.93	1.050	3.96	0.488	3.94	1.064	3.99	0.410
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.55	1.143	3.61	0.448	3.59	1.109	3.67	0.421	3.60	1.089	3.66	0.337	3.64	1.104	3.71	0.459	3.68	1.118	3.78	0.439
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.61	1.053	3.64	0.395	3.71	1.027	3.72	0.340	3.65	1.027	3.65	0.373	4.12	0.864	4.13	0.353	4.21	0.853	4.22	0.285
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.68	1.065	3.72	0.491	3.76	1.056	3.80	0.480	3.75	1.023	3.79	0.408	3.86	1.046	3.89	0.545	3.87	1.065	3.95	0.479
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.83	1.063	3.86	0.441	3.99	0.983	3.99	0.400	3.94	1.000	3.94	0.387	4.03	0.970	4.01	0.473	4.12	0.956	4.15	0.382
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.91	1.022	3.92	0.431	4.01	0.957	4.01	0.363	3.97	0.958	3.97	0.359	4.07	0.948	4.05	0.433	4.12	0.943	4.14	0.348

Ⅶ. 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は、平成 27 (2015) 年度は 99.62% であったが、平成 28 (2016) 年度は対象とする 521 科目に対して実施は 494 科目であり、94.82%となった。27 年度は未実施科目が 2 科目であったのに対し、28 年度は 27 もの未実施科目があった。下の項目別分析で見ると、すべての項目において数値が改善しているが、これは実施率の低さと関連があることも予想される。

回答率については、平成 28 年度は前年度の 78.61%から 3.29 ポイント上昇の 81.90%であり、この 5 年間はほぼ 78%以上の数値で推移している。12,000 人を超える総履修者で他学部・課程の演習科目並みの回答率を得ているのは、語学科目の授業の規模が小さなこととの関連が考えられる。

◎アンケート項目別分析

前年度と比べ、科目ベースでいずれのアンケート項目においても 0.03~0.08 の範囲での上昇を示す結果となっており、大きな変化は見られない。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私のこの授業への出席率は」

この項目の科目ベースの数値は 4.62 となっており、過去の授業評価アンケートと同様に 4.5 を上回る高い数値となっている。これは、語学が必修科目となっていることだけでなく、3分の2以上出席しなくてはならないという規定が学生に広く認識され、授業において教員による出席確認も十分に行われているためであると思われる。また、40 人以下という比較的少人数で授業が実施されていることも学生の高い出席率に結びついていると思われる。

なお、平成 28 年度は 174 科目 (35.22%) が履修者 25 名以下のクラスで、320 科目 (64.78%) が履修者 26~52 名のクラス、平成 27 年度は 249 科目 (50.10%) が履修者 25 名以下のクラスで、245 科目 (49.30%) が履修者 26~50 名のクラスであった。従って、1 クラスの人数が増大傾向にあることがわかる。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、これまで授業評価アンケートが実施された過去 9 回と比べて最も高い数値となっている。科目ベースで、平成 27 年度の 4.12 も、それまでのアンケートで最も高い数値であったが、平成 28 年度には、4.19 とさらなる上昇を示している。また、平成 28 年度は 80.25%の学生が意欲的に取り組んでいると回答し、この数値は平成 27 年度の 78.78%

より 1.47 ポイント高くなっている。「強くそう思う」という回答が 28 年度では 41.42%で、27 年度の 36.60%を 4.82 ポイント上回っているが、今後も学生が意欲的に授業に取り組めるような工夫がさらに教員に求められるだろう。課題や小テスト等により、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりもその手段の一つとなると考えられる。

Q3-1 「この授業のレベルは適切である」

Q3-2 「授業のレベルについて、どのように感じましたか」

Q3-1 に関しても過去 5 年間で最も高い数値となっている。「適切である」と回答している学生の割合も、前年度から約 0.78 ポイント上昇し、80.25%となっており、開講されている授業レベルは概ね適切なものであると言える。否定的な学生の割合は前年度に比べ 0.15 ポイント上昇しており、今後も継続して注視していく必要があるだろう。

Q3-2 に関しては平成 27 年度から追加された項目である。平成 27 年度は授業のレベルに関して「難しすぎる」という回答は 68.69%、「易しすぎる」は 27.7%、無回答は 5.96%であったが、平成 28 年度は「難しすぎる」という回答は 73.32%、「易しすぎる」は 22.42%、無回答は 4.28%であり、難しいと感じている学生が若干増えている。

Q4-1 「この授業を進める速さは適切である」

Q4-2 「この授業を進める速さについて、どのように感じましたか」

この項目もこれまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答をする学生の割合が 83.35%に達しており、前年度より 1.39 ポイント上昇している。否定的な回答も 3.55%となっていることから、概ね適切な速さで授業が進められていると考えることができる。「どちらとも言えない」という回答は、数値が前年度よりも 0.66 ポイント低くなっている。

Q5 「教員は熱意を持って授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均は 4.52 と、過去最高であった前年度 4.49 を 0.03 上回っており、肯定的な回答は 90.94%と前年より数値が上昇している。他方で、否定的な回答は 1.44%に留まっており、前年度同様に熱意をもって授業を行っている教員が多いと学生に認められていると考えてよいだろう。

Q6 「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」

この項目も、これまで授業評価が実施された中で最も高い平均値となっている。肯定的な回答は 87.45%と前年度よりも高い数値となっている。否定的な回答も 0.05 ポイント下降している。また、「どちらとも言えない」という回答は 0.95 ポイントほど減少し 9.64%となっている。前年度と比較し、より多くの授業において教室がよりふさわしい状態に保たれていると考えてよいだろう。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均は 4.37 であり、この数値は過去最高の数値であった前年度の 4.32 を 0.05 上回っている。肯定的な回答が 85.58%と前年度より 1.03 ポイント増加し、否定的な回答は 3.73%と前年度より 0.1%減少していることから見て、授業の改善が進みつつあると見てよいであろう。ただし、「どちらとも言えない」という回答が 10.30%となっていることは、さらなる工夫の余地があるとも言える。

Q8「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

この項目は科目ベース平均が 4.39 となっており、前年度を 0.03 上回っている。また、肯定的な回答が 85.65%で前年度より 0.52 ポイントの増加、否定的な回答は 3.40%と前年度より 0.03 ポイントの増加を示している。この項目については、平成 25（2013）年度が平成 24（2012）年度に比較して評価が若干低下していたが、ここ数年にわたって見ると数値の変化は大きくなく、教員は概ね適切な話し方をしていると考えてよいだろう。ただ、「どちらとも言えない」という回答も 10.02%あることを考えると、教員が話し方を改善すべき余地はまだ残されていると思われる。

例年、Q8 と Q7 の相関係数の値は高くなっていることから、理解しやすい授業と教員の適切な話し方は関連性が高いことが分かる。これは、教員の話し方の工夫により学生の理解度が上がることを意味しており、教員がさらに適切な話し方をすることが求められるであろう。

Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベース平均が 4.13 で、前年度より 0.03 上昇し、過去最高の数値を示している。肯定的な回答が 1.22 ポイント増加し 75.86%となり、否定的な回答が 1.01 ポイント減少し 4.18%となったことを見ても、大きな変化とは言えないものの、若干の改善傾向が見られると言えよう。ただ、「どちらとも言えない」の数値が約 18.90%になる点は、今後なお工夫の余地が残されていることを示している。初修言語の場合には、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に多くの時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達しにくいことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生自身が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q10「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」

この項目は平成 22 (2010) 年度から新たに追加された項目であるため、それ以降のデータとのみ比較することが可能である。平成 28 年度の科目ベース平均は、前年度を 0.08 上回る 4.39 となっており、わずかに上昇している。これまでもこの項目は年々数値が高くなってきたことから見ても、教員・学生の双方においてシラバスを活用する傾向が強まってきていると言えるだろう。ただし、この項目が教員に関する評価項目の中では相対的に低い値となっていることも前年度同様であり、また、自分が履修しているクラスのシラバスを読まなかった学生が 40% に上る。その原因は、語学科目の場合、履修する科目があらかじめ決められている学科も多いことや、初修言語の場合には、基礎的な会話表現や文法を学ぶということが分かっているために、シラバスを確認しない学生が多いこと等が考えられる。一方、中級以上の科目で履修すべきクラスが指定されていない場合には、シラバスの内容によって履修科目を決定する学生が多いため、今後も履修科目選択の際に役立つシラバス作成が求められるであろう。

Q11 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均が 4.36 と前年度より数値が 0.03 高くなっている。また、肯定的な回答が約 85.76%、否定的な回答が約 3.26% と、平成 27 年度より数値が若干改善されている。以上の数値から見ても、概ね学生は授業を高く評価していると言える。この項目と最も相関が強いのは、Q7 「教員は理解しやすい授業を行っている」の.789、次いで Q11 「教員は授業時間を有効に活用している」の.714、Q8 「教員の話し方は適切である」の.710、Q6 「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」の.706、Q9 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.696、Q5 「授業に対する教員の熱意が感じられる」の.684 となっている。つまり、総合的に評価が高い授業とは、教員の熱意が感じられ、時間の使い方が適切で、かつ話し方が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激される授業であることが分かる。このような授業を提供できるようにするには、熱意のある教員をさらに支援する体制を確立する必要があるだろう。

Q12 「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均点は 4.31 となっており、前年度より 0.06 高くなっている。これは、過去 5 年間で最も高い数値である。肯定的な回答が全体の 80.92% に達してはいるものの、「どちらとも言えない」との回答が 13% 以上に上ることから、まだ改善の余地があると思われる。授業における教員の一層の努力と工夫とともに、使用しやすい機器を始めとするハード面での授業環境の改善もさらに求められるであろう。

Q13 「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均点は 4.38 となっており、過去 5 年間で最も高い数値である。肯定的な回答も 83.82% と前年度よりも高くなっており、概ね学生の要望や期待を満たすことはでき

ていると思われる。なお「どちらとも言えない」との回答も 10.54%あり、わずかながら前年度より減少しているが、この数値をさらに低くするためには教員の事前準備を含むさらなる努力が求められるであろう。

Q14 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた」

科目ベースの平均点は 4.36 であり、前年度よりも 0.04 高い数値となっている。肯定的な回答も約 80.29%と前年度よりも 1.39 ポイント高くなっており、授業において学生の発言や議論する場が確保されていると考えることができる。ただし、「どちらとも言えない」との回答は約 12.03%と前年度よりもわずかに減少はしているが、大きな変化は見られない。初修言語の場合はドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じ取りにくい可能性もあると考えられる。その一方で、学生が発言する機会が欠乏している可能性もあることから、今後も数値の変動を確認していく必要があるだろう。

Q15 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

この項目の科目ベース平均点は 4.36 となっており、前年度より 0.04 高い数値となっている。肯定的な回答は 80.31%に達しており前年度より 0.93 ポイント高く、否定的な回答は 2.58%と前年より 0.53 ポイント低くなっており、教員の多くが学生の学習をしっかり支援していることが分かる。この数値をさらに高いものにするためには、例文の暗唱、音読、プレゼンテーションやレポート等、語学の授業ならではの特徴をいかした課題を用いていくことが求められるであろう。

Q16 「1回1回の授業のねらいが明確である」

この項目の科目ベース平均点は 4.30 となっており、これまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答も 77.83%と平成 27 年度よりも 1.42 ポイント高くなっている。また、否定的な回答は 3.28%と前年度より 0.36 ポイント減少していることから、平成 27 年度よりわずかながら学生に授業のねらいを明確に受け取らせることができたクラスが増加したと考えることができる。ただし、無回答は約 5.56%あり、今後も注視していく必要があるだろう。講読の授業の場合、一年を通した授業全体としてのねらい・目標は明確であっても、1回1回の授業のねらい・目標は意識されないことも多いと思われる。教員側が意識的にねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも必要となるであろう。

Q17 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均点が 4.36 と前年度よりも 0.04 高く、過去 5 年間で最も高い数値となっている。肯定的な回答も 80.60%と前年度よりも 1.34 ポイント高くなっているため、概ね授業時間は有効に活用されていると言えるであろう。ただし、無回答が 5.85%と比較的高い数値を示しており、教員がさらに努力を重ねていく必要があるであろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学の授業に関しては、学生からの評価が全般的に肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示すアンケート項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための教員の努力と環境の整備が求められるだろう。

学生のモチベーションを強化するためには、学部学科の履修規定を見直し、必修単位となる語学科目を増やす等の方策が考えられる。

授業をより良いものにしていくためには、カリキュラムの見直しや、さらなる少人数教育の強化といった大きなものから、指導法の工夫やテキストの選択等の比較的小さな改善まで、様々なレベルの手段がある。中でも、学生の語学力を伸ばしていくためには、さらなる少人数教育の徹底が特に重要である。

また、英語に関しては習熟度別クラス編成が必要となってくるであろう。本学ではすべての一年生が入学時にTOEICを受験しており、入学時の英語習熟度にかかなりの開きが見られるようになっていることが分かる。このTOEICのスコアを活用すれば各学部における習熟度別クラス編成を行うことが可能である。

習熟度別クラス編成は、平成27年度より法学部法学科（一年生）で導入され、現在、法学部と理学部の全学科で導入されているが、その結果、担当教員からは授業が行いやすくなったという感想が出ている。学生側から見ても適切な授業レベルを保証するものとして受け入れられているかどうかを確認する必要があるが、全学的に習熟度別クラス編成が行われることで、さらなる教育効果の向上が望めることにもなるだろう。

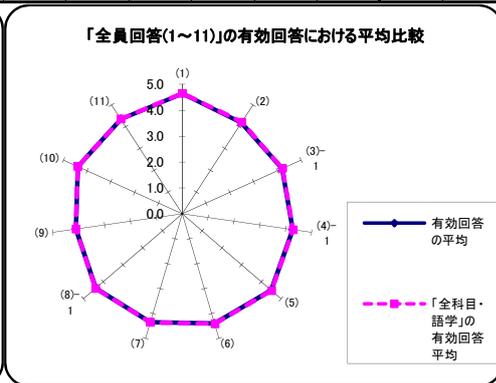
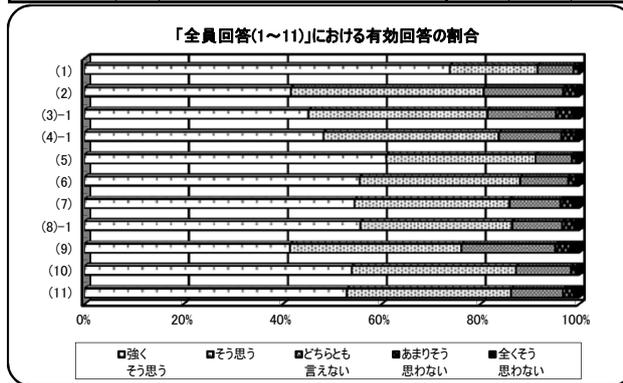
また、現在の授業評価アンケートはすべてマークシート回答となっており、数値による分析のみが行われている。学生が具体的に何を外国語の授業に求めているのかを確認するためにも、今後、記述式項目を取り入れ、学生が具体的に意見を述べる機会を提供することも検討が必要ではないかと思われる。

部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,671	11,808	81.90%

形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	7,128	1,718	704	102	7	12	9,671	4.64	0.669	4.62	0.246
			73.70%	17.76%	7.28%	1.05%	0.07%	0.12%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4,006	3,755	1,552	243	65	50	9,671	4.18	0.840	4.19	0.296
			41.42%	38.83%	16.05%	2.51%	0.67%	0.52%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4,315	3,460	1,329	331	115	121	9,671	4.21	0.892	4.22	0.380
			44.62%	35.78%	13.74%	3.42%	1.19%	1.25%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	327	100	-	-	-	19	446	-	-	-	-
			73.32%	22.42%	-	-	-	4.26%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4,643	3,418	1,222	271	73	44	9,671	4.28	0.845	4.29	0.365
			48.01%	35.34%	12.64%	2.80%	0.75%	0.45%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	234	90	-	-	-	20	344	-	-	-	-
68.02%			26.16%	-	-	-	5.81%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,882	2,913	712	91	48	25	9,671	4.50	0.717	4.52	0.317	
		60.82%	30.12%	7.36%	0.94%	0.50%	0.26%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	5,336	3,121	932	144	71	67	9,671	4.41	0.784	4.43	0.320	
		55.18%	32.27%	9.64%	1.49%	0.73%	0.69%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	5,252	3,024	996	246	115	38	9,671	4.35	0.856	4.37	0.411	
		54.31%	31.27%	10.30%	2.54%	1.19%	0.39%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	5,339	2,944	969	234	95	90	9,671	4.38	0.838	4.39	0.395	
		55.21%	30.44%	10.02%	2.42%	0.98%	0.93%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	102	15	187	-	-	25	329	-	-	-	-	
		31.00%	4.56%	56.84%	-	-	7.60%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,992	3,344	1,828	290	175	42	9,671	4.11	0.936	4.13	0.388	
		41.28%	34.58%	18.90%	3.00%	1.81%	0.43%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 41.04%)	2,798	1,728	579	49	33	515	9,671	4.39	0.771	4.39	0.363	
		28.93%	17.87%	5.99%	0.51%	0.34%	5.33%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	5,095	3,199	1,011	211	104	51	9,671	4.35	0.836	4.36	0.399	
		52.68%	33.08%	10.45%	2.18%	1.08%	0.53%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4,634	3,191	1,302	191	68	285	9,671	4.29	0.833	4.31	0.363
			47.92%	33.00%	13.46%	1.97%	0.70%	2.95%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	4,989	3,117	1,019	161	74	311	9,671	4.37	0.805	4.38	0.343	
		51.59%	32.23%	10.54%	1.66%	0.77%	3.22%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4,913	2,852	1,163	168	91	484	9,671	4.34	0.841	4.36	0.380
			50.80%	29.49%	12.03%	1.74%	0.94%	5.00%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4,822	2,945	1,138	163	86	517	9,671	4.34	0.832	4.36	0.363	
		49.86%	30.45%	11.77%	1.69%	0.89%	5.35%	100.00%					
「語学」 のみ	(16)	1回1回の授業のねらいが明確である	4,524	3,003	1,288	218	100	538	9,671	4.27	0.869	4.30	0.370
			46.78%	31.05%	13.32%	2.25%	1.03%	5.56%	100.00%				
(17)	教員は授業時間を有効に活用している	4,816	2,979	1,030	185	95	566	9,671	4.34	0.836	4.36	0.359	
		49.80%	30.80%	10.65%	1.91%	0.98%	5.85%	100.00%					



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17
Q1	1																
Q2	.335(**)	1															
Q3	.146(**)	.499(**)	1														
Q4	.111(**)	.428(**)	.736(**)	1													
Q5	.108(**)	.397(**)	.516(**)	.551(**)	1												
Q6	.096(**)	.415(**)	.538(**)	.584(**)	.734(**)	1											
Q7	.071(**)	.408(**)	.616(**)	.641(**)	.688(**)	.740(**)	1										
Q8	.083(**)	.371(**)	.581(**)	.636(**)	.629(**)	.667(**)	.794(**)	1									
Q9	.086(**)	.475(**)	.539(**)	.546(**)	.569(**)	.596(**)	.635(**)	.584(**)	1								
Q10	0.012	.210(**)	.201(**)	.192(**)	.186(**)	.210(**)	.212(**)	.192(**)	.266(**)	1							
Q11	.081(**)	.449(**)	.643(**)	.656(**)	.684(**)	.706(**)	.789(**)	.710(**)	.696(**)	.244(**)	1						
Q12	.086(**)	.398(**)	.541(**)	.569(**)	.608(**)	.633(**)	.673(**)	.635(**)	.587(**)	.215(**)	.678(**)	1					
Q13	.096(**)	.386(**)	.573(**)	.593(**)	.597(**)	.620(**)	.666(**)	.620(**)	.570(**)	.200(**)	.683(**)	.781(**)	1				
Q14	.086(**)	.384(**)	.475(**)	.511(**)	.577(**)	.605(**)	.596(**)	.555(**)	.552(**)	.185(**)	.618(**)	.605(**)	.590(**)	1			
Q15	.077(**)	.394(**)	.508(**)	.544(**)	.620(**)	.646(**)	.667(**)	.620(**)	.599(**)	.197(**)	.678(**)	.654(**)	.656(**)	.754(**)	1		
Q16	.078(**)	.408(**)	.527(**)	.551(**)	.616(**)	.631(**)	.652(**)	.598(**)	.614(**)	.236(**)	.689(**)	.669(**)	.665(**)	.640(**)	.691(**)	1	
Q17	.075(**)	.388(**)	.532(**)	.588(**)	.622(**)	.660(**)	.660(**)	.619(**)	.594(**)	.222(**)	.714(**)	.673(**)	.673(**)	.635(**)	.679(**)	.767(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)

Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 16 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 17 教員は授業時間を有効に活用している



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

回答対象			2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.57	0.708	4.56	0.237	4.58	0.709	4.55	0.236	4.58	0.709	4.57	0.243	4.59	0.712	4.56	0.271	4.64	0.669	4.62	0.246
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.02	0.868	4.04	0.326	4.05	0.868	4.06	0.323	4.05	0.867	4.08	0.330	4.11	0.847	4.12	0.309	4.18	0.840	4.19	0.296
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.09	0.905	4.11	0.348	4.11	0.891	4.12	0.378	4.13	0.880	4.15	0.401	4.18	0.878	4.18	0.373	4.21	0.892	4.22	0.380
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.15	0.887	4.17	0.371	4.16	0.884	4.18	0.376	4.17	0.877	4.20	0.405	4.23	0.863	4.24	0.377	4.28	0.845	4.29	0.365
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.36	0.803	4.38	0.362	4.35	0.798	4.37	0.357	4.37	0.776	4.39	0.356	4.48	0.721	4.49	0.316	4.50	0.717	4.52	0.317
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.27	0.820	4.30	0.328	4.29	0.816	4.32	0.322	4.31	0.795	4.34	0.326	4.36	0.787	4.38	0.328	4.41	0.784	4.43	0.320
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.25	0.891	4.28	0.423	4.25	0.896	4.27	0.426	4.28	0.864	4.31	0.422	4.30	0.863	4.32	0.423	4.35	0.856	4.37	0.411
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.27	0.870	4.31	0.386	4.26	0.879	4.29	0.388	4.29	0.843	4.32	0.389	4.34	0.835	4.36	0.380	4.38	0.838	4.39	0.395
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.02	0.969	4.07	0.414	4.03	0.961	4.07	0.411	4.06	0.948	4.10	0.430	4.07	0.931	4.10	0.402	4.11	0.936	4.13	0.388
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.96	0.958	3.96	0.409	3.98	0.961	3.99	0.407	4.04	0.922	4.06	0.427	4.32	0.788	4.31	0.357	4.39	0.771	4.39	0.363
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.23	0.863	4.26	0.401	4.23	0.864	4.26	0.407	4.27	0.843	4.29	0.416	4.31	0.845	4.33	0.412	4.35	0.836	4.36	0.399
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.11	0.892	4.14	0.390	4.14	0.882	4.16	0.384	4.17	0.860	4.19	0.396	4.23	0.844	4.25	0.376	4.29	0.833	4.31	0.363
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.19	0.865	4.22	0.368	4.21	0.863	4.23	0.363	4.24	0.832	4.26	0.367	4.32	0.810	4.33	0.352	4.37	0.805	4.38	0.343
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.20	0.892	4.23	0.408	4.22	0.891	4.25	0.400	4.25	0.872	4.28	0.430	4.29	0.858	4.32	0.411	4.34	0.841	4.36	0.380
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.20	0.881	4.23	0.402	4.22	0.872	4.25	0.395	4.27	0.850	4.29	0.416	4.29	0.848	4.32	0.401	4.34	0.832	4.36	0.363
「語学」 のみ	(16)	1回1回の授業のねらいが明確である	4.13	0.913	4.16	0.417	4.15	0.911	4.17	0.389	4.17	0.896	4.20	0.419	4.22	0.873	4.25	0.397	4.27	0.869	4.30	0.370
	(17)	教員は授業時間を有効に活用している	4.20	0.889	4.23	0.397	4.24	0.872	4.26	0.370	4.25	0.869	4.27	0.409	4.30	0.847	4.32	0.383	4.34	0.836	4.36	0.359

・スポーツ・健康科学センター

本年度のスポーツ・健康科学科目における授業評価アンケートの実施率は99.07%、回答率は80.68%であった。実施率、回答率共に前年度より向上した。

1) 項目別

Q1「私のこの授業への出席率は」については、平均値4.47で、出席率80%以上と回答した学生は85.43%であった。他部門の出席率と比較すると、90%以上と回答した学生は65.00%でやや低めの値となっている。これは、必修科目であるスポーツ・健康科学と選択科目であるスポーツ・健康科学が纏まった形で集計されていることも要因であると考えられる。文学部・理学部一年生及び理学部二年生が主体となるとは、出席率は比較的高いが、全学対象の選択科目であるの履修者は、三・四年生が比較的多く履修しており、就職活動等で休みがちになること等が、影響しているものと考えられる。科目の性質を考慮した集計も必要であると考えられる。

Q2「私は、この授業に意欲的に取り組んでいる」については、平均値4.55であった。89.75%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が9.46%という点にも着目すべきである。必修科目として履修している学生の中には、単位のためにしかたなく履修している者もいることが予想されるが、そのような学生にとっても必要な知識の習得とともに、充実感や達成感を持ち意欲的に授業に参加してもらえよう工夫が必要であると考えられる。

Q3「この授業レベルは適切である」については、平均値4.55であった。90.17%の学生が、「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が8.32%、「あまりそう思わない」0.92%も注目すべき点であると思われる。履修する学生は経験者から初心者まで、また、体力レベルの高い者から低いものまで幅が広い。実技という特性から、非常に難しいことではあるが、いずれの学生に対しても適切なレベルで授業を展開できるような技量を身につけることが教員には求められるのではないかと思われる。

Q3-2「授業のレベルについて、どのように感じましたか」については、20名中13名(65.00%)が「難しすぎる」、7名(35.00%)が「易しすぎる」と回答している。

Q4「この授業を進める速さは適切である」については、平均値4.65と高い評価を受けている。学生の反応や技術の習得具合、各授業に対するリアクションペーパー等の内容から授業ごとに進度を調整していると思われる。今後も、適切な進度となるよう努めたい。

Q4-2「授業を進める速さについて、どのように感じましたか」については、9名中3名(33.33%)が「速すぎる」、6名(66.67%)が「遅すぎる」と回答している。

Q5「教員は熱意を持って授業を行っている」については、平均値 4.76 と高い評価を受けている。96.61%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。今後も熱意を持って授業に臨めるようにしていきたい。

Q6「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」については、平均値 4.71 と高い評価を受けている。95.01%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生は 4.13%存在しており、引き続き学習にふさわしい状況を保てるよう努めていきたい。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」については、平均値 4.70 と高い評価を受けている。94.66%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。実技科目の特性上、視覚的に課題の情報を捉えることによって、学習が進められることが多いと思われるが、言語による教示や適切な資料の配布等、理解しやすい授業となるよう努めていきたい。

Q8「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」については、平均値 4.75 と高い評価を受けている。95.99%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。グラウンドや体育館、テニスコートといった教場が広く声が届きづらい状況ではあるが、集合のさせ方や話し方に工夫をし、適切な話し方となるよう努めていきたい。

Q8-2「教員の話し方について、どのように感じましたか」については、6名中1名が「速すぎる」、3名が「遅すぎる」、2名が「その他/聞き取りにくい」と回答している。

Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 4.45 と他の項目に比べてやや低めの回答であった。実技種目の特性上、実際の活動に主眼が置かれがちであるが、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示（様々な練習ドリルの紹介）、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説等、学生に興味や関心を持たせることも必要であると思われる。教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q10「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」については、平均値 4.61 であった。シラバスを読まなかったと回答した学生が 43.95%いた。シラバスの記載方法については、工夫を凝らしてきているが、より情報が伝わりやすくすることやシラバスを見てもらえるような工夫も必要であると思われる。

Q11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.70 であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は 94.96%であり、かなり高い評価を受けていると考えられる。今回の評価に甘んじることなくさらなる改善に向けて努力していかなければならない。

Q22「運動量は」については、平均値 4.52 であった。91.48%の学生が「十分」「おおむね十分」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生が 5.06%いる。経験者、初心者、体力のある者ない者ともに十分な運動量を確保できるような授業となるよう努めたい。

Q23「体力・健康状態が改善された」については、平均値は 4.31 と他の項目と比較してやや低い評価となった。「強く思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 81.04%と他の項目と比較してやや低い数値となった。週間頻度 2～3 回の運動実践が体力向上に必要なであるとされていることから、週 1 回の授業のみでの効果は小さいと思われる。履修することによって、授業外での自発的な運動実践に結びつくよう指導できるよう努めたい。

Q24「運動技術が向上した」については、平均値 4.34 であった。「強く思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 82.21%であった。「どちらとも言えない」と回答した学生が 15.12%おり、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせると 17.79%となる。初心者レベルから向上しなかったのか、それともある程度のレベルから向上しなかったのかは、不明である。一斉指導では様々なレベルの学生に対応することは困難ではあるが、より多くの学生の技術が向上するよう努めていきたい。

Q25「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」については、平均値 4.45 であった。「強く思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 85.82%であった。

Q26「身体・運動に対する関心が高まった」については、平均値 4.39 であった。「強く思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 84.73%であった。Q9とも関連することであるが、教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q27「自分の身体の健康・体力の再認識ができた」については、平均値 4.52 であった。例年、第一学期中に履修者全員を対象として体力テストを実施している。その結果のフィードバックの方法をさらに向上させることによって、この項目に対する認識がさらに深まるものと期待できる。

Q28「自分の生活習慣を見直す機会となった」については、平均値 4.34 とやや低めの数値であった。学生の時期は一般的に健康に対して無関心なこともあり、授業そのものが本学学生のライフスタイルに及ぼす影響は小さいかもしれないが、授業で運動や栄養・休養の重要性については言及し、健康的な生活習慣が身につくよう指導していきたい。

Q29「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」については、平均値 4.70 と比較的高い評価となった。施設については、グラウンドの人工芝化等、比較的好条件の中で授業が行われていると考えられるが、雨天時の体育館更衣室から卓球場への移動や、テニスコートにおける暑熱環境下への対策等改善していくべき点もあると考えられる。用具についても、履修者数、破損、劣化具合を考慮して適宜整備していきたい。

2) 学年別

Q22～Q29の質問項目について、強く思うと回答した割合は、学年が高くなるにつれて高くなる傾向が見られた。学部一年生では 50%前後、学部四年生では 80%前後が強く思うと回答している。これは、一年生は文・理学部の必修選択として履修している学生が多く、授業内容が基礎体力作りや基本的な技術練習からスタートした内容が多く、上

級生は選択科目として履修した者が多く、試合形式の内容が多く実施されていること等が影響していると思われる。また、本アンケートに対する姿勢として、低学年ほど真剣に回答しており、上級生になるほど項目を熟読せず「⑤」を機械的にマークして提出しているような様子も感じられ、実施に際して、真剣に取り組ませるような配慮も必要ではないかと思われる。

3) 相関係数から

Q1「私のこの授業への出席率は」と Q10「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」では、相関係数 0.008 となり、有意な相関は認められなかった。それ以外の項目では、すべて 1%水準で有意な相関が認められた。Q1・Q2 については、他の設問と相関係数 0.6 以上の項目はなかった。Q3 から Q9 に関しては、相互に相関係数 0.5 以上が認められ、0.7 以上の項目もあった。Q10 は、シラバスに関する項目であるが、こちらはどの設問とも相関係数 0.3 未満であった。Q11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、Q3～Q9 との間で相関係数が 0.6 以上であった。Q23～Q27 の間でも相関係数 0.6 以上の項目が見られた。

全体的に見ると、Q1、Q2 は学生自身の授業に対する姿勢、Q10 はシラバスに関する項目、Q22 は運動量である。これらの設問は、他の設問との相関が比較的低いと考えられる。

「全員」回答項目と「スポ健」のみ回答項目で特に相関係数の高かったものは、Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」と Q26「身体・運動に対する関心が高まった」、Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q26「身体・運動に対する関心が高まった」、Q11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」と Q29「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」であった。

4) 経年比較から

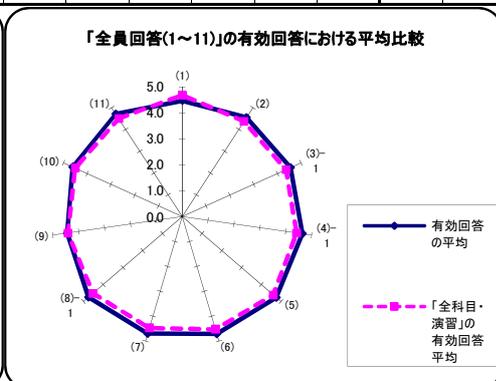
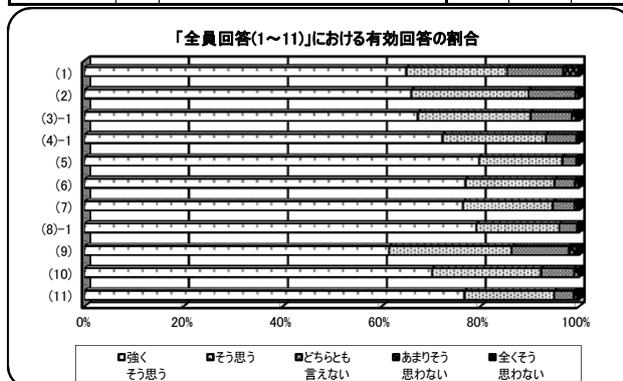
過去 5 年間の経年変化を見ると、実施率はほぼ 100%で推移している。回答率は、平成 24 (2012) ～27 (2015) 年度は 75～77%台での推移であったが、平成 28 (2016) 年度は 80.68%と上昇した。回答者ベース、科目ベース双方の平均点は、いずれも 4.50 付近の値を示しており、大幅な変化は認められないが、平成 28 年度は 4.63 と 4.67 ポイントとわずかながら上昇傾向が見られた。

部門名 スポーツ・健康科学センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,541	1,910	80.68%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース		部門別		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形感別 平均	形感別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	999	314	175	47	2	4	1,541	4.47	0.822	4.50	0.323
			64.83%	20.38%	11.36%	3.05%	0.13%	0.26%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,012	364	145	8	4	8	1,541	4.55	0.707	4.60	0.271
			65.67%	23.62%	9.41%	0.52%	0.26%	0.52%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	1,020	346	126	14	9	26	1,541	4.55	0.735	4.60	0.253
			66.19%	22.45%	8.18%	0.91%	0.58%	1.69%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	13	7	-	-	-	3	23	-	-	-	-
			56.52%	30.43%	-	-	-	13.04%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	1,106	320	94	5	4	12	1,541	4.65	0.634	4.70	0.235
			71.77%	20.77%	6.10%	0.32%	0.26%	0.78%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	3	6	-	-	-	0	9	-	-	-	-
		33.33%	66.67%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,225	259	44	6	2	5	1,541	4.76	0.530	4.79	0.183	
		79.49%	16.81%	2.86%	0.39%	0.13%	0.32%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,174	275	63	11	2	16	1,541	4.71	0.590	4.75	0.226	
		76.18%	17.85%	4.09%	0.71%	0.13%	1.04%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,173	279	68	9	5	7	1,541	4.70	0.611	4.74	0.248	
		76.12%	18.11%	4.41%	0.58%	0.32%	0.45%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,204	256	54	6	1	20	1,541	4.75	0.540	4.78	0.195	
		78.13%	16.61%	3.50%	0.39%	0.06%	1.30%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	1	3	2	-	-	1	7	-	-	-	-	
		14.29%	42.86%	28.57%	-	-	14.29%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	942	380	177	24	8	10	1,541	4.45	0.798	4.52	0.331	
		61.13%	24.66%	11.49%	1.56%	0.52%	0.65%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 41.01%)	566	178	54	7	1	103	1,541	4.61	0.662	4.66	0.310	
		36.73%	11.55%	3.50%	0.45%	0.06%	6.68%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,173	278	61	11	5	13	1,541	4.70	0.609	4.75	0.253	
		76.12%	18.04%	3.96%	0.71%	0.32%	0.84%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	694	244	150	13	7	433	1,541	4.45	0.815	4.53	0.383
			45.04%	15.83%	9.73%	0.84%	0.45%	28.10%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	773	212	104	10	4	438	1,541	4.58	0.729	4.66	0.313	
		50.16%	13.76%	6.75%	0.65%	0.26%	28.42%	100.00%					
スポーツ・ 健康科学科目	(22)	運動量は 5:十分 4:おおむね十分 3:どちらとも言えない 2:やや不足 1:不十分	852	372	84	23	7	203	1,541	4.52	0.736	4.59	0.314
			55.29%	24.14%	5.45%	1.49%	0.45%	13.17%	100.00%				
	(23)	体力・健康状態が改善された	701	385	225	23	6	201	1,541	4.31	0.840	4.38	0.413
			45.49%	24.98%	14.60%	1.49%	0.39%	13.04%	100.00%				
	(24)	運動技術が向上した	746	358	203	23	13	198	1,541	4.34	0.864	4.42	0.406
			48.41%	23.23%	13.17%	1.49%	0.84%	12.85%	100.00%				
	(25)	履修したスポーツ種目等について 新しい知識が得られた	840	310	156	23	11	201	1,541	4.45	0.826	4.51	0.363
			54.51%	20.12%	10.12%	1.49%	0.71%	13.04%	100.00%				
	(26)	身体や運動に対する関心が高まった	777	360	171	24	10	199	1,541	4.39	0.831	4.46	0.385
		50.42%	23.36%	11.10%	1.56%	0.65%	12.91%	100.00%					
(27)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	860	342	117	11	9	202	1,541	4.52	0.745	4.55	0.325	
		55.81%	22.19%	7.59%	0.71%	0.58%	13.11%	100.00%					
(28)	自分の生活習慣を見直す機会となった	757	336	211	23	15	199	1,541	4.34	0.881	4.39	0.406	
		49.12%	21.80%	13.69%	1.49%	0.97%	12.91%	100.00%					
(29)	施設・用具も含め授業の準備は十分なされてい た	1,007	267	57	3	4	203	1,541	4.70	0.588	4.73	0.243	
		65.35%	17.33%	3.70%	0.19%	0.26%	13.17%	100.00%					



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	
Q1	1																					
Q2	.401(**)	1																				
Q3	.216(**)	.505(**)	1																			
Q4	.214(**)	.460(**)	.710(**)	1																		
Q5	.133(**)	.340(**)	.447(**)	.538(**)	1																	
Q6	.139(**)	.396(**)	.504(**)	.577(**)	.765(**)	1																
Q7	.127(**)	.379(**)	.516(**)	.582(**)	.721(**)	.834(**)	1															
Q8	.127(**)	.382(**)	.495(**)	.625(**)	.706(**)	.754(**)	.799(**)	1														
Q9	.172(**)	.460(**)	.478(**)	.500(**)	.506(**)	.560(**)	.591(**)	.549(**)	1													
Q10	0.008	.119(**)	.155(**)	.139(**)	.092(**)	.119(**)	.135(**)	.096(**)	.206(**)	1												
Q11	.167(**)	.433(**)	.577(**)	.636(**)	.681(**)	.746(**)	.766(**)	.688(**)	.638(**)	.155(**)	1											
Q14	.154(**)	.380(**)	.436(**)	.499(**)	.557(**)	.591(**)	.584(**)	.544(**)	.586(**)	.194(**)	.597(**)	1										
Q15	.122(**)	.337(**)	.467(**)	.519(**)	.624(**)	.651(**)	.640(**)	.594(**)	.591(**)	.172(**)	.679(**)	.747(**)	1									
Q22	.117(**)	.231(**)	.288(**)	.345(**)	.295(**)	.295(**)	.311(**)	.333(**)	.306(**)	.095(**)	.332(**)	.351(**)	.365(**)	1								
Q23	.139(**)	.386(**)	.403(**)	.425(**)	.360(**)	.403(**)	.412(**)	.379(**)	.490(**)	.225(**)	.452(**)	.535(**)	.528(**)	.553(**)	1							
Q24	.165(**)	.403(**)	.421(**)	.426(**)	.372(**)	.413(**)	.422(**)	.393(**)	.551(**)	.212(**)	.470(**)	.490(**)	.473(**)	.481(**)	.701(**)	1						
Q25	.117(**)	.290(**)	.372(**)	.432(**)	.451(**)	.483(**)	.519(**)	.450(**)	.592(**)	.198(**)	.530(**)	.511(**)	.523(**)	.405(**)	.552(**)	.668(**)	1					
Q26	.119(**)	.433(**)	.448(**)	.486(**)	.443(**)	.496(**)	.531(**)	.467(**)	.624(**)	.211(**)	.544(**)	.528(**)	.539(**)	.452(**)	.675(**)	.680(**)	.684(**)	1				
Q27	.105(**)	.383(**)	.453(**)	.496(**)	.466(**)	.498(**)	.520(**)	.507(**)	.540(**)	.174(**)	.543(**)	.496(**)	.504(**)	.470(**)	.623(**)	.601(**)	.575(**)	.728(**)	1			
Q28	.091(**)	.398(**)	.397(**)	.431(**)	.388(**)	.433(**)	.441(**)	.405(**)	.520(**)	.226(**)	.455(**)	.530(**)	.490(**)	.404(**)	.689(**)	.581(**)	.533(**)	.687(**)	.707(**)	1		
Q29	.131(**)	.306(**)	.468(**)	.494(**)	.593(**)	.589(**)	.614(**)	.582(**)	.500(**)	.123(**)	.628(**)	.543(**)	.565(**)	.394(**)	.466(**)	.482(**)	.562(**)	.556(**)	.589(**)	.516(**)	1	

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「スポーツ・健康科学センター」の場合のみ回答】

- Q 22 運動量は(十分、 おおむね十分、 どちらとも言えない、 やや不足、 不十分)
- Q 23 体力・健康状態が改善された
- Q 24 運動技術が向上した
- Q 25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた
- Q 26 身体や運動に対する関心が高まった
- Q 27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた
- Q 28 自分の生活習慣を見直す機会となった
- Q 29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.43	0.841	4.43	0.358	4.49	0.784	4.49	0.264	4.43	0.844	4.42	0.304	4.42	0.831	4.41	0.334	4.47	0.822	4.50	0.323
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.44	0.772	4.48	0.299	4.45	0.786	4.52	0.282	4.43	0.752	4.47	0.289	4.44	0.775	4.52	0.314	4.55	0.707	4.60	0.271
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.46	0.789	4.51	0.289	4.49	0.771	4.54	0.296	4.49	0.766	4.52	0.305	4.48	0.766	4.54	0.292	4.55	0.735	4.60	0.253
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.53	0.723	4.59	0.270	4.56	0.698	4.62	0.254	4.54	0.697	4.58	0.287	4.55	0.717	4.60	0.263	4.65	0.634	4.70	0.235
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.65	0.620	4.70	0.212	4.70	0.554	4.74	0.196	4.67	0.599	4.69	0.219	4.72	0.556	4.74	0.199	4.76	0.530	4.79	0.183
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.58	0.685	4.63	0.253	4.60	0.647	4.64	0.246	4.58	0.673	4.61	0.259	4.66	0.629	4.70	0.239	4.71	0.590	4.75	0.226
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.58	0.694	4.64	0.270	4.62	0.646	4.65	0.261	4.57	0.685	4.60	0.315	4.62	0.675	4.67	0.282	4.70	0.611	4.74	0.248
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.61	0.673	4.67	0.261	4.65	0.615	4.68	0.236	4.62	0.644	4.65	0.260	4.68	0.613	4.72	0.235	4.75	0.540	4.78	0.195
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.42	0.822	4.50	0.349	4.39	0.845	4.48	0.400	4.39	0.830	4.44	0.353	4.35	0.879	4.45	0.385	4.45	0.798	4.52	0.331
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	4.40	0.841	4.41	0.375	4.36	0.855	4.39	0.430	4.28	0.890	4.32	0.384	4.57	0.700	4.62	0.327	4.61	0.662	4.66	0.310
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.61	0.647	4.66	0.287	4.62	0.657	4.67	0.288	4.61	0.652	4.65	0.289	4.62	0.685	4.68	0.306	4.70	0.609	4.75	0.253
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.30	0.883	4.36	0.414	4.27	0.890	4.35	0.455	4.27	0.884	4.31	0.427	4.28	0.892	4.39	0.432	4.45	0.815	4.53	0.383
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.46	0.767	4.51	0.387	4.46	0.773	4.52	0.390	4.41	0.810	4.44	0.414	4.45	0.791	4.53	0.372	4.58	0.729	4.66	0.313
「スポ 健」 のみ	(22)	運動量は5:十分 4:おおむね十分 3:どちらとも言えない 2:やや不足 1:不十分	4.49	0.729	4.56	0.312	4.51	0.732	4.56	0.271	4.47	0.738	4.51	0.291	4.51	0.736	4.56	0.266	4.52	0.736	4.59	0.314
	(23)	体力・健康状態が改善された	4.26	0.866	4.35	0.398	4.28	0.842	4.37	0.404	4.24	0.817	4.30	0.374	4.22	0.887	4.31	0.422	4.31	0.840	4.38	0.413
	(24)	運動技術が向上した	4.29	0.868	4.38	0.394	4.30	0.854	4.38	0.383	4.26	0.841	4.33	0.385	4.26	0.874	4.36	0.406	4.34	0.864	4.42	0.406
	(25)	履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	4.43	0.798	4.49	0.331	4.44	0.775	4.50	0.300	4.40	0.794	4.43	0.337	4.42	0.802	4.47	0.325	4.45	0.826	4.51	0.363
	(26)	身体や運動に対する関心が高まった	4.35	0.830	4.43	0.376	4.34	0.845	4.43	0.390	4.36	0.794	4.42	0.330	4.31	0.877	4.40	0.398	4.39	0.831	4.46	0.385
	(27)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	4.46	0.730	4.52	0.300	4.47	0.727	4.53	0.313	4.48	0.703	4.52	0.311	4.47	0.752	4.53	0.320	4.52	0.745	4.55	0.325
	(28)	自分の生活習慣を見直す機会となった	4.27	0.901	4.35	0.366	4.31	0.890	4.39	0.383	4.32	0.834	4.36	0.348	4.29	0.884	4.37	0.403	4.34	0.881	4.39	0.406
	(29)	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	4.59	0.661	4.65	0.257	4.62	0.621	4.67	0.255	4.60	0.651	4.61	0.273	4.60	0.667	4.66	0.256	4.70	0.588	4.73	0.243

IX. 基礎教養科目運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

1. 集計データからわかること

平成 28 (2016) 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 100 科目、内訳として講義形態が 99 科目、演習形態が 1 科目となっており、アンケート実施率は講義形態が 94.95%で 5 科目が未実施、演習形態は 100%であった。総履修者数は、11,083 名であるが、このうちアンケート回答者数は 6,038 名に留まり、回答率は 54.48%という結果となった。前年度の回答率 54.95%と比較すると 0.47 ポイント低下したものの、依然として半数を維持している。また、「基礎教養科目」の回答 54.48%という値は全科目平均の 59.85%を下回っているが、講義科目のみの平均値 51.87%よりは上回っており、概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。

1) 項目別

以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 1 科目のみであるため、記載する数値は演習に特化した Q14・15 を除き、すべて講義形態のものを引用する。

Q1 私のこの授業への出席率は

出席率 80%以上と回答した学生の合計は 5,320 名であり、回答者の 88.63%となった。よく出席している学生がアンケート実施時の回答者として多く含まれる可能性は高いであろうから、出席状況は良好な数値となるはずであり、これはどの開設部門にも共通の傾向である。講義形態の全体平均 (89.93%) との比較では若干低いが、1.30 ポイントの僅差であるため、顕著な差異は見られない。

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生の授業への意欲度については、肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率 (以下、「肯定の割合」と略す) が 61.25%となり、平成 27 (2015) 年度の 62.41%からはやや低下した。この値は、講義形態全体としての肯定の割合である 65.91%と比較しても低くなっている。ただし平成 26 (2014) 年度の「基礎教養科目」の値は 55.39%であったことから、本結果の推移から見た学生の意欲についての判断は引き続き考察する必要がある。

Q3 この授業のレベルは適切である

授業のレベルの適切度について、肯定の割合は 78.18%であり、平成 27 年度の 80.24%よりは低下する結果になったものの、依然として大学全体の講義形態の平均 72.06%を上回っているため、レベル設定の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となった。

Q3-2 授業のレベルについて、どのように感じましたか

「難しすぎる」という比率が 91.57%を占めているが、前項で否定的な回答をした学生に占める割合であり、講義形態全体でも 90.14%と高い数値を示していることから、二者択一の回答方式ではこうした傾向が表れるのではないかと解釈している。

Q4 この授業を進める速さは適切である

授業を進める速さの適切度については、大学全体の平均（74.43%）を上回り、肯定の割合は 82.96%となった。平成 27 年度の 83.21%との比較では微減となったが、平成 26 年度の 78.79%よりは高水準であるため、一定の満足度は保たれているといえる。

Q4-2 授業を進める速さについて、どのように感じましたか

「速すぎる」の割合が 78.33%となっており、大学全体の 80.38%より低くなっているが、前項で否定的な回答をした学生に占める割合であるため、Q3-2 と同様に二者択一の回答方式ではこのような結果となることが通常想定されよう。

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

授業に対する教員の熱意については、回答者の半数以上、率にして 57.83%の学生が「強くそう思う」と回答しており、平成 26 年度が 47.36%、平成 27 年度が 56.29%であったことから、数字上増加傾向が続いていると評価できよう。肯定の割合で見ると、実に 90.07%（平成 27 年度 89.73%）であり、これは、大学全体の結果（85.94%）より高い評価となっているため、基礎教養科目を担当する教員の熱意が学生に十分に伝わっていると考えられる。

Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

教室内が学習にふさわしい状態に保たれているかについては、講義科目全体の平均（79.88%）を上回り、肯定の割合は 82.34%であった。全体平均との差は大きくないが、80%を超える比率を維持している点においては好ましい状況が続いていると理解できる。

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

授業の理解しやすさについては、講義科目全体の平均 75.72%（平成 27 年度 75.51%）を上回り、肯定の割合は 81.80%（平成 27 年度 83.34%）となっている。平成 27 年度及び 28 年度とも全体平均よりは高い値を示しており、傾向に大きな変化はない。学年別の回答結果からは一年生においても肯定の割合が 76.87%に達することが分かり、基礎教養科目の

授業は履修者の理解のしやすさに配慮がなされていると判断することができよう。

Q8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

教員の話し方についても、講義科目全体の平均（78.06%）を上回り、肯定の割合は 84.63%であった。本項目の肯定の割合の高さが、前項目の結果と関連していると考えられる。

Q8-2 教員の話し方について、どのように感じましたか

前項で否定的な回答をした学生に占める割合であるが、「その他／聞き取りにくい」が 71.28%を占め、講義科目全体の平均（59.65%）よりもかなり高くなっており、逆に「速すぎる」という回答は 21.81%で、講義科目全体の平均（34.54%）よりも低くなっていることから、主に話し手の速度以外の点に改善の余地があると見られる。

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激についても、講義科目全体の平均 72.95%を上回り、肯定の割合は 81.46%であった。

Q10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している

肯定の割合は 53.89%であり、講義科目全体の 50.41%よりは上回ったが、全設問中、肯定の割合がかなり低い部類となる数値を示した。一方で、シラバスを読まなかったという学生は 36.63%（2,084名）に上り、講義概要を把握しないまま履修をしている実態が分かることから、この点は今後の課題と言えよう。この傾向は大学全体でも同様であり、全体平均で 38.62%が「読まなかった」と回答している。前回の本報告でも指摘されていたが、シラバスにおいて、学習の到達目標や準備学習の目安を記載し、学修成果をあげることが期待されていることから、新入生への履修指導やシラバスの活用方法を丁寧に周知することの必要性があらためて認識された。

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価についての肯定の割合は 83.42%であり、平成 27 年度の 84.68%からは若干低下したが、平成 26 年度が 78.81%であった点を考慮すると、近年は高水準を維持していると考えられる。

Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

板書の仕方やスライド提示の仕方については、肯定の割合が 81.87%であり、平成 27 年度の 80.51%を上回る結果となった。講義科目全体の平均（76.97%）との比較でもこれを上回っており、各授業担当者における授業改善の取り組みが進行中であることがうかがえる。

Q13 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

教材の内容の適切度についての肯定の割合は、講義科目全体の平均（78.80%）を上回る82.53%となった。年度により科目毎の教材の内容が異なる可能性があることは想定しているが、教材の適切性を示すデータの一つとなる本指標については今後も注視していく必要がある。

Q14 教員は参加者が活発に発言や議論を行えるよう心がけていた

本設問は演習に特化されたものである。平成28年度は肯定的な回答の割合が70.00%となり、演習全体の数値（88.98%）との差が大きくなっているが、基礎教養科目における調査対象が1科目のみであるため、本結果のみをもって評価することは難しいと考えられる。

Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

本設問も演習に特化されたものである。これについても基礎教養科目における肯定的な回答の割合である80.00%と、演習全体の数値（89.31%）との間に差異が生じているが、サンプル数が少ない（1科目のみ）という点は前項と同様である。

Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

本設問は基礎教養科目に特化した項目であり、肯定の割合は87.33%であった。平成27年度の87.67%と比較するとわずかに減少しているが、引き続き高水準を維持しているといえよう。

Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

この設問については、回答者数が1,582名となり、他項目と比較して少ない結果となった。これは平成28年度の回答者数1,941名との比較でも少なくなっている。前年に引き続き回答者数が低調となった要因としては、この設問は判断が難しく、学生はどう評価したらいいかかわからず、回答を見送ったケースが多かったのではないかと推察される。

2) 学年別

今回のアンケート結果も例年同様、多くの設問において学年進行に比例して評価が高くなる傾向にあることが読み取れる。この理由については、過去の分析でも言及されているが、高学年になるにつれて履修登録数が減少するため、結果的に時間割に余裕が生じ、学生は自らの意思で学びたい科目を履修している、すなわち高学年で回答している学生は比較的高い興味を持って履修しているという学生側の意欲による点と、学生自身が修学年限をかさねることにレベルアップし、より高い関心を持って授業にのぞむことができるという点が挙げられる。

2. 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で 11 回目の実施となったが、前年に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これは過去のアンケート結果等を踏まえた近年の各担当教員における授業内容改善の努力が結果としてあらわれたものと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

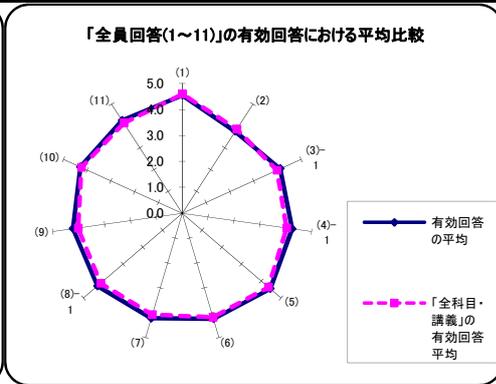
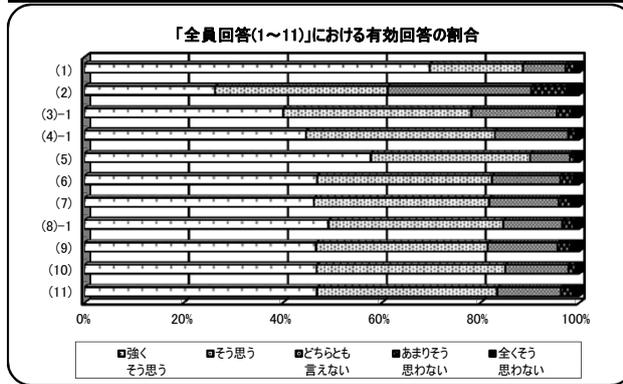
なお、例年半数程度に留まっている回答率が毎年の課題となっているが、平成 28 年度については平成 27 年度の 54.95%からわずかに減少し 54.48%という結果となった。単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふまえ、平成 27 年度の本報告でも言及された、平成 28 年度の G P A 制度導入に伴う「棄権」の廃止等、成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化を引き続き注視していきたい。

部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,017	11,022	54.59%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4,186	1,134	515	114	53	15	6,017	4.55	0.800	4.51	0.294
			69.57%	18.85%	8.56%	1.89%	0.88%	0.25%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,577	2,087	1,739	428	151	35	6,017	3.75	1.004	3.82	0.410
			26.21%	34.69%	28.90%	7.11%	2.51%	0.58%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	2,378	2,257	1,024	177	92	89	6,017	4.12	0.905	4.15	0.388
			39.52%	37.51%	17.02%	2.94%	1.53%	1.48%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	228	21	-	-	-	20	269	-	-	-	-
			84.76%	7.81%	-	-	-	7.43%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	2,670	2,286	884	92	42	43	6,017	4.25	0.812	4.26	0.322
			44.37%	37.99%	14.69%	1.53%	0.70%	0.71%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	94	26	-	-	-	14	134	-	-	-	-
		70.15%	19.40%	-	-	-	10.45%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	3,465	1,932	483	65	47	25	6,017	4.45	0.754	4.46	0.352	
		57.59%	32.11%	8.03%	1.08%	0.78%	0.42%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	2,801	2,109	825	161	67	54	6,017	4.24	0.871	4.29	0.368	
		46.55%	35.05%	13.71%	2.68%	1.11%	0.90%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	2,769	2,124	842	154	93	35	6,017	4.22	0.892	4.26	0.441	
		46.02%	35.30%	13.99%	2.56%	1.55%	0.58%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	2,928	2,104	714	135	65	71	6,017	4.29	0.846	4.31	0.396	
		48.66%	34.97%	11.87%	2.24%	1.08%	1.18%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	41	13	134	-	-	12	200	-	-	-	-	
		20.50%	6.50%	67.00%	-	-	6.00%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,796	2,075	845	162	101	38	6,017	4.22	0.906	4.25	0.362	
		46.47%	34.49%	14.04%	2.69%	1.68%	0.63%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 34.64%)	1,689	1,377	459	54	26	328	6,017	4.29	0.798	4.30	0.290	
		28.07%	22.89%	7.63%	0.90%	0.43%	5.45%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,810	2,184	772	142	79	30	6,017	4.25	0.865	4.29	0.400	
		46.70%	36.30%	12.83%	2.36%	1.31%	0.50%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,623	2,087	778	198	67	264	6,017	4.22	0.887	4.26	0.359
			43.59%	34.69%	12.93%	3.29%	1.11%	4.39%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切で ある	2,673	2,056	800	143	58	287	6,017	4.25	0.858	4.29	0.338	
		44.42%	34.17%	13.30%	2.38%	0.96%	4.77%	100.00%					
基礎教養科目 運営委員会	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	1,697	1,068	310	54	37	2,851	6,017	4.37	0.819	4.39	0.425
			28.20%	17.75%	5.15%	0.90%	0.61%	47.38%	100.00%				
(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのある ものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	780	550	189	41	22	4,435	6,017	4.28	0.874	4.33	0.464	
		12.96%	9.14%	3.14%	0.68%	0.37%	73.71%	100.00%					

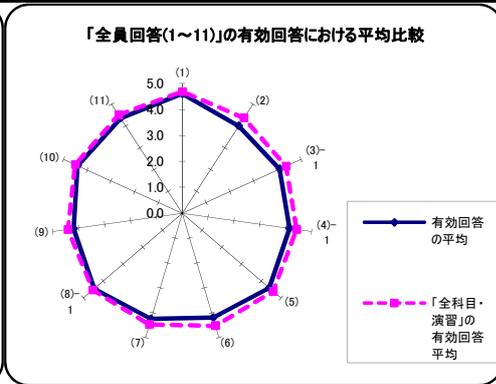
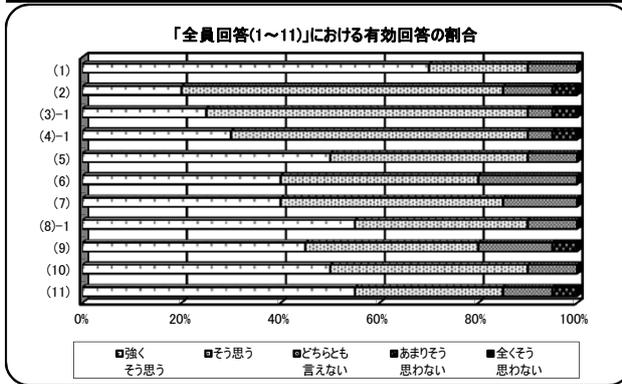


部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	21	61	34.43%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	14	4	2	0	0	1	21	4.60	0.681	4.60	-
			66.67%	19.05%	9.52%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4	13	2	1	0	1	21	4.00	0.725	4.00	-
			19.05%	61.90%	9.52%	4.76%	0.00%	4.76%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	5	13	1	1	0	1	21	4.10	0.718	4.10	-
			23.81%	61.90%	4.76%	4.76%	0.00%	4.76%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	1	0	-	-	-	0	1	-	-	-	-
			100.00%	0.00%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	6	12	1	1	0	1	21	4.15	0.745	4.15	-
			28.57%	57.14%	4.76%	4.76%	0.00%	4.76%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる	0	0	-	-	-	1	1	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	-	-	-	100.00%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	10	8	2	0	0	1	21	4.40	0.681	4.40	-	
		47.62%	38.10%	9.52%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	8	8	4	0	0	1	21	4.20	0.768	4.20	-	
		38.10%	38.10%	19.05%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	8	9	3	0	0	1	21	4.25	0.716	4.25	-	
		38.10%	42.86%	14.29%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	11	7	2	0	0	1	21	4.45	0.686	4.45	-	
		52.38%	33.33%	9.52%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	0	0	0	-	-	0	0	-	-	-	-	
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-	-	#DIV/0!	-					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	9	7	3	1	0	1	21	4.20	0.894	4.20	-	
		42.86%	33.33%	14.29%	4.76%	0.00%	4.76%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 33.33%)	5	4	1	0	0	4	21	4.40	0.699	4.40	-	
		23.81%	19.05%	4.76%	0.00%	0.00%	19.05%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	11	6	2	1	0	1	21	4.35	0.875	4.35	-	
		52.38%	28.57%	9.52%	4.76%	0.00%	4.76%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	5	9	6	0	0	1	21	3.95	0.759	3.95	-
			23.81%	42.86%	28.57%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	6	10	4	0	0	1	21	4.10	0.718	4.10	-	
		28.57%	47.62%	19.05%	0.00%	0.00%	4.76%	100.00%					
基礎教養科目 運営委員会	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	5	7	1	1	0	7	21	4.14	0.864	4.14	-
			23.81%	33.33%	4.76%	4.76%	0.00%	33.33%	100.00%				
(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	2	2	1	0	0	16	21	4.20	0.837	4.20	-	
		9.52%	9.52%	4.76%	0.00%	0.00%	76.19%	100.00%					



相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.332(**)	1													
Q3	.183(**)	.519(**)	1												
Q4	.160(**)	.452(**)	.722(**)	1											
Q5	.156(**)	.388(**)	.487(**)	.552(**)	1										
Q6	.140(**)	.441(**)	.523(**)	.573(**)	.628(**)	1									
Q7	.129(**)	.466(**)	.683(**)	.670(**)	.653(**)	.706(**)	1								
Q8	.101(**)	.404(**)	.582(**)	.668(**)	.644(**)	.639(**)	.748(**)	1							
Q9	.143(**)	.514(**)	.573(**)	.556(**)	.537(**)	.538(**)	.645(**)	.575(**)	1						
Q10	.086(**)	.290(**)	.243(**)	.226(**)	.181(**)	.197(**)	.228(**)	.203(**)	.274(**)	1					
Q11	.161(**)	.528(**)	.658(**)	.655(**)	.640(**)	.663(**)	.767(**)	.695(**)	.727(**)	.291(**)	1				
Q12	.124(**)	.418(**)	.510(**)	.579(**)	.549(**)	.565(**)	.615(**)	.613(**)	.522(**)	.222(**)	.620(**)	1			
Q13	.135(**)	.436(**)	.560(**)	.607(**)	.560(**)	.582(**)	.657(**)	.620(**)	.560(**)	.231(**)	.664(**)	.770(**)	1		
Q18	.126(**)	.429(**)	.653(**)	.596(**)	.574(**)	.559(**)	.708(**)	.623(**)	.634(**)	.214(**)	.732(**)	.586(**)	.644(**)	1	
Q19	.136(**)	.423(**)	.600(**)	.615(**)	.629(**)	.598(**)	.713(**)	.648(**)	.619(**)	.241(**)	.728(**)	.628(**)	.652(**)	.772(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	0.213	1													
Q3	-0.129	0.303	1												
Q4	-0.083	0.292	.954(**)	1											
Q5	-0.318	0.107	.560(**)	.602(**)	1										
Q6	-0.443	0.094	.725(**)	.681(**)	.745(**)	1									
Q7	-0.324	0.304	.665(**)	.616(**)	0.432	.766(**)	1								
Q8	-0.27	0.106	.758(**)	.684(**)	.608(**)	.619(**)	.723(**)	1							
Q9	-0.208	.568(**)	.623(**)	.584(**)	0.38	.628(**)	.739(**)	.446(**)	1						
Q10	-0.066	0.313	0.378	0.378	.524(**)	0.349	0.309	0.455	0.318	1					
Q11	-0.283	.497(**)	.611(**)	.642(**)	.548(**)	.595(**)	.693(**)	.513(**)	.915(**)	.442	1				
Q14	-0.143	0.382	0.396	0.293	0.041	0.199	.508(**)	0.349	.481(**)	0.021	.424	1			
Q15	-0.129	0.404	.490(**)	.561(**)	0.237	0.248	.460(**)	0.331	.541(**)	0.077	.611(**)	.782(**)	1		
Q18	-0.219	.726(**)	.618(**)	.618(**)	0.298	0.314	.454	0.274	.817(**)	0.177	.821(**)	.714(**)	.901(**)	1	
Q19	-0.071	0.423	0.802	0.802	0.071	0.071	0.643	0.643	0.845	-0.594	0.643	1.000(**)	1.000(**)	1.000(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「基礎教養科目運営委員会」の場合のみ回答】

- Q 18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった
- Q 19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ)



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.46	0.871	4.43	0.246	4.50	0.840	4.50	0.274	4.47	0.862	4.47	0.221	4.50	0.835	4.47	0.262	4.55	0.800	4.51	0.294
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.58	0.993	3.61	0.356	3.62	0.993	3.65	0.381	3.61	0.983	3.68	0.380	3.76	0.985	3.76	0.368	3.75	1.004	3.82	0.410
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.01	0.882	3.99	0.344	4.07	0.870	4.06	0.391	4.05	0.850	4.04	0.389	4.16	0.848	4.13	0.343	4.12	0.905	4.15	0.388
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.07	0.889	4.10	0.327	4.13	0.849	4.15	0.333	4.11	0.846	4.10	0.399	4.22	0.795	4.20	0.257	4.25	0.812	4.26	0.322
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.32	0.823	4.31	0.322	4.29	0.811	4.31	0.321	4.28	0.812	4.32	0.377	4.44	0.748	4.43	0.315	4.45	0.754	4.46	0.352
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.08	0.920	4.11	0.320	4.10	0.903	4.15	0.304	4.07	0.889	4.11	0.368	4.23	0.854	4.24	0.321	4.24	0.871	4.29	0.368
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.11	0.937	4.10	0.420	4.13	0.908	4.13	0.440	4.12	0.897	4.13	0.438	4.24	0.869	4.25	0.386	4.22	0.892	4.26	0.441
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.15	0.919	4.18	0.397	4.18	0.875	4.20	0.360	4.14	0.881	4.15	0.420	4.28	0.833	4.29	0.344	4.29	0.846	4.31	0.396
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.16	0.908	4.20	0.286	4.15	0.921	4.18	0.348	4.12	0.910	4.17	0.362	4.24	0.872	4.23	0.319	4.22	0.906	4.25	0.362
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.84	0.947	3.86	0.264	3.89	0.915	3.90	0.329	3.86	0.931	3.89	0.296	4.23	0.813	4.22	0.278	4.29	0.798	4.30	0.290
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.14	0.879	4.15	0.366	4.15	0.866	4.17	0.396	4.12	0.866	4.15	0.404	4.26	0.844	4.26	0.351	4.25	0.865	4.29	0.400
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.95	1.011	4.01	0.424	4.06	0.939	4.09	0.413	4.00	0.943	4.05	0.457	4.18	0.889	4.18	0.386	4.22	0.887	4.26	0.359
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.10	0.894	4.11	0.362	4.14	0.877	4.17	0.364	4.09	0.869	4.13	0.393	4.23	0.841	4.24	0.351	4.25	0.858	4.29	0.338
「基礎教養」 のみ	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	4.31	0.817	4.26	0.424	4.34	0.791	4.26	0.428	4.27	0.845	4.23	0.484	4.35	0.806	4.30	0.415	4.37	0.819	4.39	0.425
	(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった	4.12	0.920	4.20	0.465	4.20	0.858	4.23	0.526	4.08	0.900	4.19	0.509	4.26	0.842	4.25	0.519	4.28	0.874	4.33	0.464

部門名 基礎教養
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.58	0.690	4.58	-	4.33	0.920	4.33	-	4.42	0.992	4.42	-	4.60	0.770	4.60	-	4.60	0.681	4.60	-
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.33	0.905	3.33	-	3.22	1.155	3.22	-	3.48	1.208	3.48	-	3.93	0.980	3.93	-	4.00	0.725	4.00	-
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.62	0.960	3.62	-	3.70	0.993	3.70	-	3.77	0.956	3.77	-	3.90	1.094	3.90	-	4.10	0.718	4.10	-
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.93	0.873	3.93	-	4.00	0.877	4.00	-	4.19	0.873	4.19	-	4.14	0.756	4.14	-	4.15	0.745	4.15	-
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.23	0.774	4.23	-	3.96	0.980	3.96	-	4.19	0.873	4.19	-	4.37	0.765	4.37	-	4.40	0.681	4.40	-
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.02	0.866	4.02	-	3.85	1.223	3.85	-	3.97	0.912	3.97	-	4.07	0.868	4.07	-	4.20	0.768	4.20	-
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.76	1.048	3.76	-	3.92	0.954	3.92	-	3.97	1.048	3.97	-	4.13	0.900	4.13	-	4.25	0.716	4.25	-
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.80	1.036	3.80	-	4.08	0.891	4.08	-	4.13	0.806	4.13	-	4.17	0.834	4.17	-	4.45	0.686	4.45	-
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.02	0.902	4.02	-	3.96	1.038	3.96	-	4.03	0.983	4.03	-	4.33	0.802	4.33	-	4.20	0.894	4.20	-
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.58	1.032	3.58	-	4.00	0.837	4.00	-	3.70	1.031	3.70	-	4.05	0.970	4.05	-	4.40	0.699	4.40	-
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.87	0.815	3.87	-	3.85	0.967	3.85	-	4.16	0.860	4.16	-	4.33	0.758	4.33	-	4.35	0.875	4.35	-
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	2.87	0.842	2.87	-	3.35	1.229	3.35	-	3.71	1.042	3.71	-	3.67	0.961	3.67	-	3.95	0.759	3.95	-
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3.82	0.984	3.82	-	3.63	1.135	3.63	-	3.96	0.999	3.96	-	4.07	0.781	4.07	-	4.10	0.718	4.10	-
「基礎教養」 のみ	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	4.09	1.040	4.09	-	4.25	0.775	4.25	-	4.19	0.834	4.19	-	3.00	-	3.00	-	4.14	0.864	4.14	-
	(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった	4.29	0.756	4.29	-	4.25	0.754	4.25	-	5.00	0.000	5.00	-	3.00	-	3.00	-	4.20	0.837	4.20	-

X. 教職課程

教職課程開設科目の履修は、卒業要件とはなっておらず、教員免許取得を希望する学生が自発的に行うものである。しかし他方で、教職課程開設科目と履修単位数等は、教育職員免許法等に基づいて規定されており、その授業内容も国の課程認定行政指導等によって大学や担当教員等の全く自由というわけにはいかない。また、授業形態等も、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業は講義式でかつ履修者も比較的多い形態をとらざるを得ないのが現状である。

以上のような現状の下、履修者の出席状況は他部門と比較して相対的に良いとはいえるが、意欲的に取り組んでいるかといえば学生各自の専門学科の学習活動と比較すると、やむを得ないこととはいえ、必ずしも良いとはいえない実態にある。

履修者による授業評価結果は、他部門と比較するならば、全体としていずれの項目も平均的であるといえよう。しかし、講義形態の開設科目に関しては、講義内容のレベルや進み方の速さといった点で、やや困難を感じている学生がいると思われる結果を示してもおり、今後の改善課題の一つであるといえよう。

教職課程では、現在、『教職課程年報』を毎年度発行し、その中で、教職課程担当教員の研究成果である「研究論文」、授業実践報告としての「実践研究報告」、教職課程組織として行っている「各種事業報告」、さらには履修者に関わる「(意識)調査報告」、教育実習等の実態を示す「各種データ」などを公表している。これらの報告・資料・データ等に基づいて、教職課程担当教員および関係者の相互交流を図り、教職課程運営の改善に努めている。

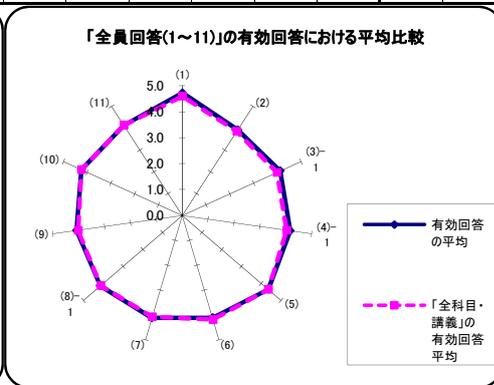
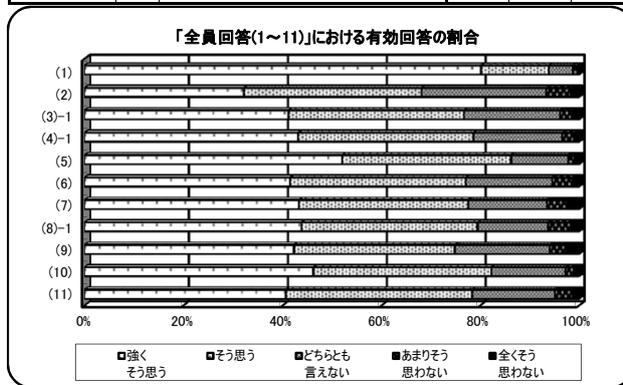
現在、国は、教育職員免許法・同施行規則等の「改正」を行い、教職課程関連諸科目の再編成と同時に、「教職課程コアカリキュラム」なるものを作成し、授業内容の標準化（画一化）を図ろうとしている。これによって、大学独自の歴史や伝統に根ざした自由で個性的な教職課程編成、あるいは学生の実態に応じた柔軟な授業内容や方法等の開発・実践などは、従来にも増して展開しにくくなることが予想される。こうした政策的動向の下、職業人養成教育ゆえの様々な制約を受けながらも、学習院大学らしい個性的で創造的な教職課程の在り方を模索していくことが、目下の最大の検討課題である。

部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,529	2,146	71.25%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース		部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均			学生回答 単純集計 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,223	209	75	15	4	3	1,529	4.72	0.623	4.70	0.148
			79.99%	13.67%	4.91%	0.98%	0.26%	0.20%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	489	546	384	77	24	9	1,529	3.92	0.956	3.99	0.286
			31.98%	35.71%	25.11%	5.04%	1.57%	0.59%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	620	535	293	38	20	23	1,529	4.13	0.901	4.17	0.327
			40.55%	34.99%	19.16%	2.49%	1.31%	1.50%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	49	5	-	-	-	4	58	-	-	-	-
			84.48%	8.62%	-	-	-	6.90%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	655	539	273	37	15	10	1,529	4.17	0.876	4.22	0.330
			42.84%	35.25%	17.85%	2.42%	0.98%	0.65%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる	31	16	-	-	-	5	52	-	-	-	-
		59.62%	30.77%	-	-	-	9.62%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	790	520	175	21	13	10	1,529	4.35	0.803	4.42	0.297	
		51.67%	34.01%	11.45%	1.37%	0.85%	0.65%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	629	539	266	63	19	13	1,529	4.12	0.925	4.20	0.342	
		41.14%	35.25%	17.40%	4.12%	1.24%	0.85%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	657	521	242	64	35	10	1,529	4.12	0.977	4.19	0.434	
		42.97%	34.07%	15.83%	4.19%	2.29%	0.65%	100.00%					
(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	663	540	216	72	23	15	1,529	4.15	0.940	4.24	0.359	
		43.36%	35.32%	14.13%	4.71%	1.50%	0.98%	100.00%					
(8)-2	教員の話方について、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	19	10	60	-	-	6	95	-	-	-	-	
		20.00%	10.53%	63.16%	-	-	6.32%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	642	494	292	52	38	11	1,529	4.09	0.985	4.16	0.324	
		41.99%	32.31%	19.10%	3.40%	2.49%	0.72%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 41.20%)	382	298	124	15	8	72	1,529	4.25	0.843	4.30	0.251	
		24.98%	19.49%	8.11%	0.98%	0.52%	4.71%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	618	573	255	54	20	9	1,529	4.13	0.905	4.22	0.366	
		40.42%	37.48%	16.68%	3.53%	1.31%	0.59%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	603	467	286	88	40	45	1,529	4.01	1.039	4.07	0.530
			39.44%	30.54%	18.71%	5.76%	2.62%	2.94%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	661	503	251	41	19	54	1,529	4.18	0.901	4.26	0.359	
		43.23%	32.90%	16.42%	2.68%	1.24%	3.53%	100.00%					

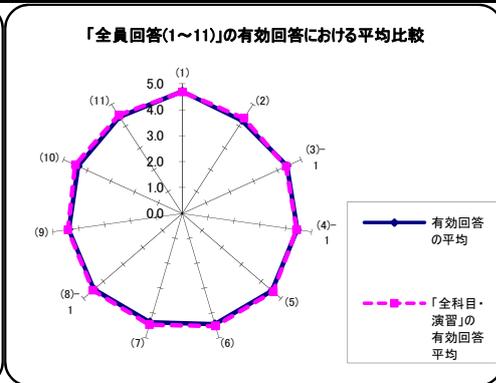
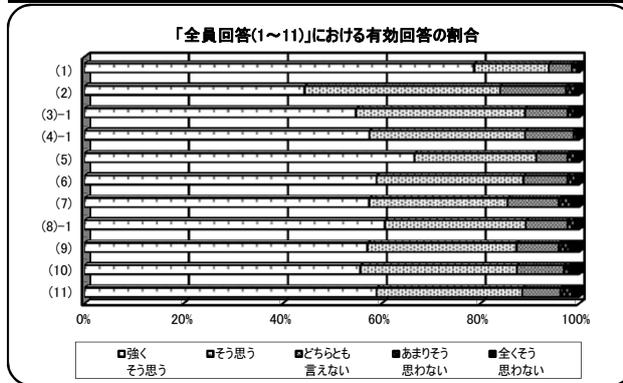


部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,253	1,586	79.00%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	985	189	59	13	5	2	1,253	4.71	0.642	4.72	0.165
			78.61%	15.08%	4.71%	1.04%	0.40%	0.16%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	555	494	167	24	9	4	1,253	4.25	0.811	4.30	0.269
			44.29%	39.43%	13.33%	1.92%	0.72%	0.32%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	672	420	106	16	12	27	1,253	4.41	0.781	4.44	0.281
			53.63%	33.52%	8.46%	1.28%	0.96%	2.15%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	16	11	-	-	-	1	28	-	-	-	-
			57.14%	39.29%	-	-	-	3.57%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	715	392	122	6	8	10	1,253	4.45	0.742	4.48	0.272
			57.06%	31.28%	9.74%	0.48%	0.64%	0.80%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる	9	5	-	-	-	0	14	-	-	-	-
		64.29%	35.71%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	833	309	78	18	12	3	1,253	4.55	0.758	4.58	0.285	
		66.48%	24.66%	6.23%	1.44%	0.96%	0.24%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	733	370	110	21	9	10	1,253	4.45	0.783	4.48	0.305	
		58.50%	29.53%	8.78%	1.68%	0.72%	0.80%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	718	350	130	32	19	4	1,253	4.37	0.883	4.42	0.400	
		57.30%	27.93%	10.38%	2.55%	1.52%	0.32%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	754	355	104	18	12	10	1,253	4.47	0.787	4.49	0.304	
		60.18%	28.33%	8.30%	1.44%	0.96%	0.80%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:遅すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	1	2	23	-	-	4	30	-	-	-	-	
		3.33%	6.67%	76.67%	-	-	13.33%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	713	377	107	27	24	5	1,253	4.38	0.877	4.42	0.320	
		56.90%	30.09%	8.54%	2.15%	1.92%	0.40%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 36.63%)	406	231	70	7	15	65	1,253	4.38	0.856	4.40	0.345	
		32.40%	18.44%	5.59%	0.56%	1.20%	5.19%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	736	368	97	29	18	5	1,253	4.42	0.844	4.47	0.345	
		58.74%	29.37%	7.74%	2.31%	1.44%	0.40%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	678	346	96	19	11	103	1,253	4.44	0.793	4.48	0.323
			54.11%	27.61%	7.66%	1.52%	0.88%	8.22%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	627	353	129	21	17	106	1,253	4.35	0.861	4.42	0.351	
		50.04%	28.17%	10.30%	1.68%	1.36%	8.46%	100.00%					



相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.236(**)	1											
Q3	.139(**)	.515(**)	1										
Q4	.108(**)	.459(**)	.764(**)	1									
Q5	.115(**)	.421(**)	.547(**)	.580(**)	1								
Q6	.081(**)	.382(**)	.479(**)	.553(**)	.677(**)	1							
Q7	.082(**)	.422(**)	.642(**)	.661(**)	.704(**)	.717(**)	1						
Q8	.062(*)	.413(**)	.599(**)	.663(**)	.656(**)	.627(**)	.777(**)	1					
Q9	.083(**)	.486(**)	.558(**)	.536(**)	.612(**)	.551(**)	.622(**)	.582(**)	1				
Q10	0.041	.213(**)	.232(**)	.176(**)	.141(**)	.169(**)	.177(**)	.182(**)	.245(**)	1			
Q11	.105(**)	.493(**)	.661(**)	.657(**)	.688(**)	.649(**)	.764(**)	.717(**)	.720(**)	.249(**)	1		
Q12	.064(*)	.315(**)	.516(**)	.527(**)	.528(**)	.525(**)	.670(**)	.576(**)	.482(**)	.185(**)	.631(**)	1	
Q13	.071(**)	.343(**)	.542(**)	.541(**)	.547(**)	.510(**)	.631(**)	.572(**)	.503(**)	.174(**)	.631(**)	.773(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.338(**)	1											
Q3	.174(**)	.524(**)	1										
Q4	.162(**)	.496(**)	.780(**)	1									
Q5	.133(**)	.435(**)	.650(**)	.687(**)	1								
Q6	.073(**)	.429(**)	.627(**)	.688(**)	.726(**)	1							
Q7	.129(**)	.443(**)	.682(**)	.701(**)	.752(**)	.779(**)	1						
Q8	.135(**)	.428(**)	.628(**)	.708(**)	.674(**)	.723(**)	.759(**)	1					
Q9	.116(**)	.454(**)	.609(**)	.598(**)	.699(**)	.661(**)	.692(**)	.604(**)	1				
Q10	0.012	.200(**)	.198(**)	.206(**)	.180(**)	.231(**)	.207(**)	.170(**)	.243(**)	1			
Q11	.135(**)	.466(**)	.707(**)	.692(**)	.767(**)	.742(**)	.809(**)	.733(**)	.790(**)	.253(**)	1		
Q14	.098(**)	.381(**)	.535(**)	.551(**)	.574(**)	.583(**)	.571(**)	.536(**)	.583(**)	.223(**)	.623(**)	1	
Q15	.097(**)	.434(**)	.603(**)	.623(**)	.636(**)	.651(**)	.657(**)	.604(**)	.623(**)	.239(**)	.682(**)	.742(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.69	0.659	4.66	0.162	4.74	0.624	4.73	0.144	4.68	0.681	4.63	0.191	4.71	0.658	4.70	0.163	4.72	0.623	4.70	0.148
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.88	0.889	3.88	0.290	3.86	0.921	3.95	0.390	3.70	0.994	3.83	0.396	3.76	0.997	3.80	0.298	3.92	0.956	3.99	0.286
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.16	0.813	4.16	0.267	4.13	0.861	4.25	0.333	4.07	0.857	4.19	0.377	4.10	0.833	4.13	0.292	4.13	0.901	4.17	0.327
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.17	0.835	4.14	0.297	4.14	0.869	4.21	0.320	4.10	0.874	4.20	0.359	4.15	0.811	4.19	0.278	4.17	0.876	4.22	0.330
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.38	0.764	4.39	0.249	4.30	0.847	4.41	0.343	4.27	0.830	4.37	0.320	4.30	0.796	4.38	0.228	4.35	0.803	4.42	0.297
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.20	0.885	4.23	0.283	4.16	0.927	4.29	0.349	4.06	0.936	4.20	0.362	4.09	0.894	4.16	0.242	4.12	0.925	4.20	0.342
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.17	0.891	4.21	0.370	4.09	0.985	4.25	0.409	4.07	0.963	4.22	0.433	4.03	0.948	4.14	0.343	4.12	0.977	4.19	0.434
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.22	0.863	4.24	0.344	4.08	0.983	4.24	0.444	4.11	0.946	4.24	0.398	4.04	0.976	4.13	0.357	4.15	0.940	4.24	0.359
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.19	0.907	4.20	0.287	4.15	0.939	4.26	0.375	4.07	0.955	4.21	0.367	4.02	0.991	4.12	0.333	4.09	0.985	4.16	0.324
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.90	0.933	3.94	0.265	3.84	0.957	3.98	0.359	3.84	0.983	3.99	0.361	4.12	0.842	4.15	0.200	4.25	0.843	4.30	0.251
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.18	0.867	4.20	0.339	4.11	0.924	4.29	0.391	4.08	0.923	4.24	0.410	4.04	0.933	4.15	0.352	4.13	0.905	4.22	0.366
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.83	1.036	3.91	0.502	3.96	1.085	4.10	0.514	3.91	1.060	4.03	0.556	3.92	1.036	4.02	0.478	4.01	1.039	4.07	0.530
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.16	0.883	4.20	0.296	4.14	0.925	4.26	0.373	4.10	0.931	4.20	0.410	4.11	0.883	4.19	0.306	4.18	0.901	4.26	0.359

部門名 教職課程
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.78	0.518	4.75	0.164	4.79	0.514	4.77	0.156	4.81	0.501	4.80	0.149	4.73	0.608	4.73	0.179	4.71	0.642	4.72	0.165
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.35	0.769	4.39	0.249	4.22	0.817	4.28	0.265	4.15	0.869	4.29	0.312	4.11	0.899	4.21	0.347	4.25	0.811	4.30	0.269
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.46	0.740	4.48	0.241	4.36	0.843	4.39	0.302	4.23	0.946	4.36	0.398	4.28	0.844	4.35	0.341	4.41	0.781	4.44	0.281
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.49	0.741	4.50	0.264	4.36	0.817	4.37	0.288	4.27	0.917	4.38	0.346	4.28	0.834	4.35	0.354	4.45	0.742	4.48	0.272
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.64	0.666	4.63	0.275	4.57	0.733	4.55	0.265	4.44	0.860	4.53	0.326	4.41	0.847	4.47	0.387	4.55	0.758	4.58	0.285
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.46	0.794	4.49	0.295	4.39	0.847	4.39	0.296	4.31	0.890	4.42	0.326	4.27	0.920	4.37	0.403	4.45	0.783	4.48	0.305
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.43	0.835	4.49	0.356	4.35	0.914	4.39	0.371	4.21	1.033	4.35	0.476	4.20	0.978	4.28	0.466	4.37	0.883	4.42	0.400
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.47	0.821	4.53	0.343	4.40	0.855	4.47	0.332	4.31	0.937	4.45	0.373	4.27	0.922	4.39	0.438	4.47	0.787	4.49	0.304
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.52	0.759	4.54	0.263	4.45	0.841	4.47	0.318	4.35	0.926	4.44	0.312	4.28	0.907	4.32	0.347	4.38	0.877	4.42	0.320
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	4.18	0.921	4.19	0.293	3.99	1.026	4.03	0.338	4.05	0.975	4.17	0.322	4.21	0.911	4.29	0.381	4.38	0.856	4.40	0.345
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.50	0.763	4.53	0.286	4.40	0.878	4.43	0.348	4.25	0.971	4.41	0.419	4.25	0.949	4.34	0.425	4.42	0.844	4.47	0.345
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.39	0.859	4.41	0.366	4.35	0.878	4.34	0.592	4.28	0.943	4.41	0.422	4.24	0.920	4.31	0.398	4.44	0.793	4.48	0.323
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.38	0.845	4.43	0.340	4.29	0.895	4.37	0.343	4.18	1.003	4.34	0.437	4.08	1.020	4.19	0.512	4.35	0.861	4.42	0.351

・学芸員課程委員会

1. 集計データからわかること

学芸員資格取得の中心は、4年次に履修が割り当てられている「博物館実習」(通年の演習形態科目)であるが、この授業に対する学生の評価は、全体として高いものとなっている。回答率は83.91%で、前年度の79.1%から回復した。継続して高い水準を維持しており、学生の出席率、学習意欲はきわめて高いと考えられる。

Q1「私のこの授業の出席率は」では80%以上の割合が98%(以下、小数点以下を四捨五入)ときわめて高い水準を維持しており、90%以上の割合も74%と前年度の62%から回復した。Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の項目の「5.強くそう思う」「4.そう思う」の割合も80%と高水準となっている。ただし、Q2の「5.強くそう思う」の割合が相対的に低いのは、「まじめに授業に取り組んでいる者ほど、自己に対する評価が厳しい」という専門科目の演習にも見られる傾向を反映していると思われる。授業のレベルと進行の速度の適切さを問うQ3・Q4、またQ5「授業に対する教員の熱意が感じられる」に対する「5.強くそう思う」「4.そう思う」の割合も、それぞれ97%・97%・100%となっており、Q6以下の項目に対しても、Q10以外は「5.強くそう思う」が67%~79%程度、「4.そう思う」との合計が95%以上を占め、高い評価を得ていることが分かる。ただし、教材の適切さを問うQ13に対しては、「5.強くそう思う」が47%で原因を究明する必要がある。Q14の「5.強くそう思う」が58%であるのは、「博物館実習」は演習科目ではあるが議論を主目的とするものではないことから、特に改善の必要はない。

総体としての評価を問うQ11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」で過去5年間の経年変化を見ると、平成24(2012)年度から回答者ベースの単純平均で、4.62・4.71・4.67・4.57・4.63と高水準を維持しており、すでにきわめて高い値での変化であり、この問いに対する「5.強くそう思う」が70%、「4.そう思う」が29%とほぼ全員から高く評価されており、現在のレベルを維持する段階に入っていると考えられる。

このような評価は、資格取得のため卒業に必要な単位を超えて自発的に選択するという学生の側の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者(多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である)の側の意欲とがうまく噛み合っている結果である。そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任に関しての十分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行われる徹底したガイダンス、事務室窓口での決め細やかな指導・アドバイスなど、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが大きいと考えられる。

言い換えるならば、FDにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと

考えるような授業を用意できる状況や枠組を、外側から積極的に構築してゆくということであり、そのような全体としてのFDの仕組みが学芸員資格取得関係の履修システムの中に組み込まれているということである。こうした環境は今後とも維持してゆきたいと考えている。

文部科学省による博物館法施行規則の改正により、平成24年4月から学芸員資格取得に関するカリキュラムが変更された。本学では以前より博物館関係の授業は充実しており、さほど大幅な変更は生じなかったが、各科目で網羅すべき内容が文科省から細かく指定され、それに沿って授業内容が組み立てられたので、履修者は必要な知識や技術をより系統立てて理解しやすくなったと考えられる。その一方で、科目は以前よりも細分化されて、専門性が強くなり、各科目の内容設定と分かりやすい説明に工夫を要することとなった。この点については、Q10「この授業は、シラバスに示された授業内容と合致している」の数値が高くないということとも関連して、今後とも課題となるだろう。

2. 今後の授業改善に向けて

毎年年度初めに行われる、非常勤講師との意見交換会において情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸員課程は、とりわけ4年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなるので、学生の意見も十分に聞いたうえで、実習環境の整備を常に心がけている。さらに出席率を上げるように努めるとともに、館園実習終了後も年度末まできちんと授業に対応させるようにしたい。また、学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合に担当教員に伝えるようにしている。近年の博物館実習では、文部科学省の「博物館実習ガイドライン」で推奨される学生教育への大学博物館（本学においては史料館）の活用（所蔵資料や展覧会、収蔵庫等施設の授業への活用）を進めているが、これをさらに推進したいと考えている。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.297(**)	1											
Q3	.227(**)	.567(**)	1										
Q4	0.064	.420(**)	.700(**)	1									
Q5	0.069	.330(**)	.511(**)	.515(**)	1								
Q6	0.059	.393(**)	.558(**)	.572(**)	.589(**)	1							
Q7	.100(**)	.413(**)	.625(**)	.619(**)	.627(**)	.652(**)	1						
Q8	0.062	.376(**)	.495(**)	.550(**)	.567(**)	.564(**)	.689(**)	1					
Q9	0.073	.440(**)	.557(**)	.515(**)	.539(**)	.573(**)	.616(**)	.501(**)	1				
Q10	.110(**)	.224(**)	.169(**)	.188(**)	.151(**)	.152(**)	.196(**)	.217(**)	.228(**)	1			
Q11	.092(*)	.411(**)	.642(**)	.625(**)	.649(**)	.615(**)	.700(**)	.636(**)	.687(**)	.218(**)	1		
Q12	0.066	.417(**)	.485(**)	.543(**)	.474(**)	.528(**)	.586(**)	.521(**)	.462(**)	.132(**)	.609(**)	1	
Q13	0.043	.386(**)	.493(**)	.517(**)	.499(**)	.512(**)	.591(**)	.525(**)	.483(**)	.153(**)	.607(**)	.684(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	0.16	1											
Q3	0.122	.509(**)	1										
Q4	0.193	.394(**)	.652(**)	1									
Q5	0.201	.371(**)	.334(**)	.436(**)	1								
Q6	-0.112	.357(**)	.249(*)	.375(**)	.551(**)	1							
Q7	0.025	.381(**)	.602(**)	.490(**)	.534(**)	.661(**)	1						
Q8	-0.223	.344(**)	0.223	.362(**)	.362(**)	.692(**)	.537(**)	1					
Q9	0.047	.382(**)	.280(*)	.461(**)	.468(**)	.464(**)	.436(**)	.534(**)	1				
Q10	-0.171	0.145	0.163	0.227	0.132	0.058	0.178	0.165	.325(**)	1			
Q11	0.099	.327(**)	.525(**)	.569(**)	.557(**)	.494(**)	.694(**)	.431(**)	.615(**)	.257(*)	1		
Q14	0.039	.383(**)	.364(**)	.412(**)	.381(**)	.424(**)	.352(**)	.304(*)	.350(**)	0.002	.333(**)	1	
Q15	0.14	.347(**)	.299(*)	.366(**)	.373(**)	.492(**)	.358(**)	.422(**)	.439(**)	-0.087	.381(**)	.776(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(90%以上、 80%以上、 70%、 50%以上、 50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成28(2016)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.66	0.652	4.62	0.195	4.68	0.600	4.66	0.157	4.69	0.655	4.67	0.156	4.60	0.669	4.52	0.220	4.64	0.649	4.61	0.168
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.59	0.856	3.62	0.219	3.69	0.928	3.77	0.304	3.72	0.903	3.74	0.226	3.74	0.836	3.80	0.263	3.96	0.811	3.95	0.211
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.06	0.781	4.09	0.270	4.13	0.782	4.16	0.229	4.15	0.744	4.17	0.178	4.20	0.708	4.18	0.186	4.30	0.737	4.28	0.265
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.09	0.797	4.13	0.199	4.16	0.748	4.17	0.167	4.15	0.787	4.16	0.136	4.21	0.684	4.21	0.183	4.34	0.722	4.34	0.262
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.24	0.809	4.29	0.263	4.37	0.737	4.38	0.174	4.35	0.751	4.35	0.163	4.48	0.656	4.49	0.205	4.58	0.611	4.57	0.216
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.11	0.821	4.16	0.191	4.17	0.817	4.20	0.181	4.16	0.834	4.19	0.183	4.24	0.791	4.22	0.193	4.39	0.724	4.37	0.246
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.05	0.893	4.09	0.292	4.17	0.839	4.22	0.256	4.20	0.798	4.23	0.204	4.24	0.749	4.23	0.218	4.43	0.709	4.42	0.296
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.12	0.866	4.16	0.289	4.27	0.762	4.28	0.143	4.25	0.751	4.27	0.156	4.28	0.745	4.30	0.206	4.43	0.712	4.43	0.244
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.16	0.842	4.19	0.244	4.21	0.840	4.25	0.181	4.29	0.745	4.29	0.139	4.33	0.726	4.38	0.142	4.44	0.706	4.45	0.223
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	3.78	0.913	3.83	0.205	3.86	0.841	3.89	0.177	3.91	0.835	3.92	0.174	4.11	0.690	4.12	0.194	4.35	0.686	4.33	0.205
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.06	0.834	4.09	0.256	4.18	0.801	4.21	0.152	4.26	0.785	4.26	0.162	4.28	0.728	4.29	0.180	4.39	0.701	4.38	0.261
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	0.941	3.97	0.268	4.06	0.894	4.10	0.356	4.09	0.862	4.13	0.282	4.13	0.816	4.14	0.242	4.31	0.759	4.29	0.289
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.93	0.932	4.00	0.315	4.09	0.834	4.12	0.228	4.13	0.792	4.14	0.241	4.16	0.788	4.19	0.224	4.30	0.791	4.32	0.303

部門名 学芸員
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上	4.57	0.666	4.56	0.308	4.63	0.619	4.60	0.317	4.74	0.553	4.73	0.234	4.42	0.929	4.43	0.452	4.73	0.479	4.71	0.121
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.27	0.700	4.26	0.269	4.30	0.712	4.27	0.285	4.46	0.650	4.46	0.191	4.23	0.724	4.21	0.153	4.33	0.647	4.34	0.221
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.60	0.624	4.59	0.239	4.73	0.559	4.71	0.296	4.66	0.619	4.66	0.203	4.58	0.602	4.60	0.214	4.59	0.550	4.60	0.162
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.66	0.547	4.66	0.118	4.72	0.533	4.70	0.242	4.65	0.655	4.65	0.227	4.57	0.537	4.56	0.179	4.53	0.555	4.54	0.157
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.78	0.415	4.78	0.099	4.85	0.385	4.84	0.160	4.84	0.383	4.84	0.130	4.62	0.562	4.62	0.135	4.75	0.436	4.76	0.179
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.66	0.524	4.67	0.128	4.72	0.608	4.70	0.259	4.70	0.534	4.70	0.180	4.62	0.527	4.63	0.185	4.71	0.455	4.72	0.136
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.73	0.496	4.74	0.178	4.80	0.461	4.77	0.245	4.70	0.606	4.70	0.264	4.64	0.558	4.63	0.256	4.67	0.502	4.68	0.116
	(8)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.75	0.514	4.75	0.126	4.85	0.377	4.83	0.183	4.68	0.658	4.68	0.328	4.75	0.477	4.76	0.205	4.78	0.451	4.78	0.130
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.78	0.472	4.77	0.232	4.89	0.344	4.88	0.111	4.80	0.497	4.80	0.200	4.72	0.533	4.73	0.249	4.64	0.537	4.66	0.240
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた	4.18	0.806	4.23	0.255	4.42	0.772	4.36	0.321	4.38	0.737	4.38	0.306	4.31	0.800	4.32	0.377	4.47	0.604	4.53	0.269
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.76	0.460	4.75	0.192	4.84	0.408	4.82	0.214	4.74	0.585	4.74	0.242	4.70	0.503	4.71	0.211	4.68	0.497	4.70	0.160
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.70	0.548	4.72	0.256	4.73	0.580	4.71	0.328	4.60	0.695	4.60	0.324	4.58	0.609	4.59	0.288	4.49	0.656	4.53	0.348
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.77	0.487	4.79	0.126	4.81	0.433	4.80	0.195	4.70	0.576	4.70	0.229	4.58	0.609	4.59	0.177	4.71	0.459	4.73	0.242

第3章

授業への取り組み例

I. 法学部

- 学生が提出したレポートについて、改良したルーブリック（学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの）により客観的基準で評価するとともに、そのいくつかをプロジェクターで投影しながら添削し、学生が具体的に改善点を把握できるよう工夫している。単位取得に必要な文章提出回数をかなり上回る学生が履修者の3分の1を占め、比較的高い動機をもって授業に取り組んでいる学生が多い。
- 一年生の「特殊講義・行政法入門」では、授業は原則としてパワーポイントによるスライドを使用し視覚的に分かりやすくするとともに、ゲストスピーカーとして、行政実務経験のある若手弁護士・税理士の方に、行政法がどのように実務で使われているかや、行政実務の実像を話していただいた。選択必修の「行政と法」でも、テーマによってパワーポイントを使用し、前記と同じゲストスピーカーをお招きした。履修者の興味を引き、好評であった。
- 年度ごとに授業内容を更新していることや学生のレベルや興味関心が異なっていることから、学年末に実施される公式の授業評価アンケート以外に、同一年度内にも授業改善を図るため、年度の半分以上を過ぎたあたりで独自に自由記述式（全学の授業評価アンケートには自由記述欄はない）の学生アンケートを実施し、当該年度の残りの授業の改善に役立てている。
- 平成 28 (2016) 年度の「民法Ⅱ（債権各論）」では、①毎回レジュメを G-Port に掲載し、②授業において当方の質問に対して非常にいい回答をした学生には、学籍番号・名前を聞き、学年末試験に加点している。このような学生は成績が通常 80 点以上の優秀な学生である。③年末に行われる「法学検定試験」ベーシック・スタンダードの受験を勧め、合格した学生には、PDF など合格証明書を送ってもらい、加点している（前年度実績 3 名程度）。これらの学生も学年末試験では 80 点以上を取っている。これらの取り組みにより、試験の成績のみでない学生の評価を可能とするとともに、意欲の高い学生の更なるモチベーション向上を図っている。
- 「憲法Ⅰ」及び「憲法Ⅱ」では、大規模な専門科目におけるアクティブ・ラーニングの導入を目的として、以下のような授業手法を用いている。
まず、予習の十分な学生は教室前方に着席させ、これらの学生をランダムに指名しながら、質疑応答形式で授業を進めている。もっとも、授業中の単純な質疑応答だけでは授業に参加する学生が固定されるため、授業ホームページの掲示板に事前に授業予定該当

部分についての書き込みを行わせ、書き込みを行った学生とも、掲示板の書き込み内容を踏まえて、授業中に質疑応答している。

さらに、ラーニング・ポートフォリオシステム「manaba」の「respon」機能を用いて、簡単な質問（ある判決の多数意見と少数意見のどちらに賛成か、授業の前後でその賛否は変わったか等）を投げかけ、授業中に回答を求めているが、respon の利用は学生の集力を維持するための付随的なものと位置付けている。

- 教室外の情報を吸収させることや自発的な学習を促すことを意識している。

「国際政治Ⅱ」では、インド人のゲストスピーカーに、インド、中国間の小国についての国際関係の話をしてもらった。「国際政治Ⅰ」では、金正日から表彰されたことがある、北朝鮮からの脱北者に、北朝鮮の体制について話をしてもらった。話のあと、学生とともに彼を囲んで歓談した。

また、講義、ゼミ等では、東京都内で、国際政治関連で面白い講演会などがあれば、それを積極的に学生に紹介し、クラスの外でも自分の関心を深めるように促した。

「国際政治演習」では、履修者の中に「海外の学会で国際政治について発表してみたい」という学部学生が数名いたため、彼らをさらに煽ってプロポーザルを出させ、結果、彼らは平成 29 (2017) 年 6 月、アメリカの Association for Asian Studies の支部会で発表することとなった。

Ⅱ. 経済学部

- 前年度の授業評価アンケートにおいて、話すスピードや授業の進行について「速い」とする割合が増えたため (Q4)、今年度は講義スライドを次に進める前に少し考える間を作り、関連する質問をする等して、履修者が講義内容をフォローしやすい環境を保つように工夫している (Q3)。また、今年度から電子ボードを有効活用し、スライド上に手書きでポイントを書き込むことにより、講義スピードを抑えつつ、スライドと板書の双方の利点を活かすようにしている。
- 試験では、書籍類と自筆ノートを持ち込み可にしているため、授業に出席せず試験直前に、学内で出回っている過去問の「模範解答」を書き写して持ち込む学生がいる場合がある。そこで、過去に出題した問題でも、毎年新しい考察を授業で話し、「〇〇について、今年の授業で話したことを書きなさい」と指定して答えさせることで、出席率の向上 (Q1) や学生の意欲的な取り組み (Q2) の向上を図っている。

- 計算機センターが運営する WebClass を利用して、授業配布プリントや演習問題の解答・解説、さらに授業中にタブレット PC を使って作成した「板書」を授業後に修正したものや、演習での各学生の解答の採点結果を提供している。これにより、学生の復習や、授業後の質問がより容易になり、学生の意欲的な取り組み (Q2) の向上が図られる。また、ICカードリーダーに学生証をかざしてもらい、出席を取っている。タイムスタンプが取れるので、遅刻者の出席を認めないことも容易で、出席率が向上している (Q1)。
- キャリアデザインに関する講義では、グループディスカッションを重視している。学生の知的好奇心を刺激するため (Q9)、全学部の学生が履修している科目の特徴を活かし、席替えを頻繁に行い、毎週様々なテーマについて 15 分間程度のグループディスカッションをしてもらっている。その際、アイスブレイクの自己紹介に夕食や音楽の話をさせる、ファシリテーターを決めファシリテーションスキルを毎週指導する、マイクをランダムに回して発表させる等の工夫により、学生の意欲的な取り組み (Q2) の向上を図っている。
- 複数の原著を参照して、講義ノートを作っている。1 年生の中には、大学の講義のノートの取り方が分からない学生が多いので、実際の講義を対象としてノート作成のための時間を 30 分取っている。学生が理解しやすいよう (Q7)、このうち多くの学生の参考になりそうなノートを複数、学籍番号と名前を伏せて、学内ネットワーク上に公開している。また、講義資料としては十分に印刷できなかった部分 (統計表や図等) は、別途、資料集として作成し、学内ネットワーク上にアップロードしている。なお、講義に関する疑問等はすべて、授業用のメールアドレスに送ってもらい、次回講義の冒頭で質問内容の紹介とその返答を行っている。

Ⅲ. 文学部

【哲学科】

- ・ シラバス活用の向上に向け、学生にその有用性を実感させるように、特に 4 月初旬の履修相談時に活用し指導している。また、授業の進捗状況に沿って、なるべくシラバスを振り返らせ、あるいは予定変更による再構成した内容を提示するように心がけている。
- ・ リアクションペーパーを使い、履修者の反応を確認している。授業への理解度、興味、知的好奇心の有無等を慎重に見極めるように努めている。また、質問や授業の感想には

きちんと対応するように心がけ、教師のコメントを付記して戻したり、次回授業時に疑問点に関する対応を行うようにしている。

- ・ オフィスアワーを設け、学生が自発的に理解を深め、授業に積極的に参加できるよう努めている。また、なるべく学生とのコミュニケーションを深め、疑問点等は早期に解決するようにしている。
- ・ 出席率の低い学生に関しては、科会等で教員同士が情報を共有し、早めに学生に接触し、授業への参加を促している。あるいは引きこもりがちの学生の場合、保証人との連絡も頻繁に行うようにしている。
- ・ 哲学専攻では、文献読解の力を養わせるために、ジュニアセミナーのような形で補講を行なっている。授業以外にも多くの研究支援を教員が行い、適切にフォローするきめ細かな体制も整えるように努力している。
- ・ 美術史学専攻は、美術作品に近づき、じっくり観察する能力を身につけさせるために、作品見学の機会をなるべく多く設けている。授業以外に、美術館・博物館見学会等も頻繁に催している。
- ・ 特に2年次演習を充実させ、専門的な研究に入っていくためのスキルを習得させている。文献読解、作品分析（ディスクリプション）、発表というルーチンを積み重ね、それぞれの学生が自ら問題意識を持って議論を深め、個性のある研究を達成していくための支援を行っている。

【史学科】

1. 学生の学習達成度の検証と授業への反映

史学科では、卒業論文の作成を最終目標とし、1年次の基礎演習から2・3年次の演習、さらに4年次の卒業論文指導の演習へと繋ぐ指導を、カリキュラム編成全体の軸としている。

基礎演習では、個別専門分野を探究する前提として、歴史学の基礎や論文の検索・読解の要領、史料講読に慣れることを目標とし、発表やレポートを通じて達成を評価し、指導に反映させている。2・3年次の演習では、個別研究分野ごとに、講読・研究発表の形で専門性を重んじた修練を課し、発表やレポートを通じて達成を評価し、指導に反映させている。4年次の演習では、卒業論文の作成準備の進行に合わせて、先行研究の蒐集と消化、関係史料の読解に取り組みせ、段階ごとの達成を中間報告・最終報告の機

会に評価し、指導に反映させている。

文学部全体の数値で、演習の評価として内容を「難しい」「易しい」とする学生の比率が2：1であるのに対して、90%前後の学生が内容レベルを「適切」とし、「意欲的に取り組んでいる」、「教員の熱意を感じる」と回答していることは、史学科についても該当すると考えられ、カリキュラム編成の意図は理解されている。

講義科目として1年次に担当している必修科目、「史学概論」「史資料入門」及び「日本史概説」「東洋史概説」「西洋史概説」は、最先端の研究を紹介することや、史学研究の基本的な考え方を授けるもので、高等学校までの歴史科目に対する考え方を変容させ、学問的な歴史研究への橋渡しを図るものとして位置づけている。1・2年次に履修するよう奨励している総合基礎科目は、基礎となる語学力の修得の他、歴史認識の基礎となる現代社会の諸問題への知見、歴史学以外の人文・社会諸科学への知見を獲得させるものとして位置づけている。2年次以上に担当している概説・特殊講義は、専門的な研究への導入を図るもので、軸となる演習の成果を広げさせる狙いで実施している。

講義科目に対する文学部全体の数値で、90%弱の学生が、「難しい」と感じつつも、90%弱の学生が「意欲的に取り組んでいる」と回答していること、内容のレベルを「適切」とする学生が4分の3以上であることは、新しい知見に触れさせる意図が学生達に受け容れられていることを示していると考えられる。

特に近年、卒業論文の作成を負担に感じる学生が出てきているので、各年次の到達目標をこなすことができるように、指導に力を入れている。個々の学生の履修状況については、年度内の複数の学科会議で問題を抱えている学生を検出・検討し、指導教員・主任・教務委員・助教が、場合によっては学生相談室カウンセラーとも連携して、対策を講じている。必要な場合には、学生の保証人とも連絡をとって指導を進めている。

2. 授業への取り組み例1

歴史事象の生起した現場に学生に触れさせるという指導には、啓発的な効果がある。これまでは、1年次の研修旅行や、日本史の2・3年次演習の巡見旅行の機会に実施してきた。

これに加え、平成28(2016)年度より、2年次以上を対象に授業科目「校外実習―史跡・名勝を歩く」を開設し、毎週1コマ開講した。都内に残る近世・近代の史跡・名勝について、事前に調査・研究し、次週に現地を探訪する形で実施している。観光ガイドブックによるのではなく、信憑性の高い歴史資料や絵図類を予め正確に理解し、現地を訪れて現況を理解し、歴史的に解釈を加える、という指導である。想像力を働かせて景観を分析する能力と、プレゼンテーションの力量を養うことを企図している。自分の足と目を使って史跡に取り組むという授業科目は、学生からも非常に高い評価を得られることが判明した。

3. 授業への取り組み例 2

「歴史文献講読入門」は、2年次以上を対象に、外国語の歴史研究論文や外国語史料を読みこなす学力を養う科目として設置した。平成 25 (2013) 年度に開設し、4年目となる。西洋史分野を選択する学生のほとんどが履修しており、卒業論文の準備において大きな役割を果たしている。英語文献の読解能力は、東洋史、特に東洋近代史を学ぶ学生にも効果があることが判明した。

4. 授業への取り組み例 3

1年次学生を対象に毎年5月に実施している「研修旅行」は、史跡の初歩的な実地調査を体験させることで、主体的な学習姿勢を体得させることを意図して実施している。平成 28 年度は群馬県域の史跡、多胡碑・箕輪城・妙義山神社・坂本宿・一宮貫前神社・新島襄旧宅をを巡見した。予め大学院生のTAの指導を受け、基本文献を検索・消化して、地図・図版を含む報告書を作成し、現地で発表を行った。

史学科の1年次学生のすべてと全教員が参加することから、コミュニケーションを深めることを通じて、指導の質を高める機会ともしている。主体的な学習姿勢を獲得し、実地調査の大切さを学ぶことは、日本史を専攻する学生だけでなく、外国史を専攻する学生にとっても、有益な効果が得られている。

5. 授業への取り組み例 4

1年次を対象とする「基礎演習」A・Bは、史学科三分野の教員が、日本史分野A、外国史分野Bを分担し、1年次の全学生が日本史・外国史双方に触れるように実施している。歴史資料や研究論文を読み理解する要領、発表・レポート作成の基本的な要領、討論をする要領を体得させるため、授業担当者ごとに独自のスタイルを工夫して取り組んでいる。個人の発表、グループ発表等、スタイルも異なって実施している。

高等学校までの歴史科目と大学の歴史学との間の差は、1年次学生にとってはかなり大きく、とまどいをみせる者も少なくない。大学院生のTAも加わる形で、高校までとは異なる大学での歴史研究への橋渡しの授業になるよう工夫している。

【日本語日本文学科】

授業形態によっても異なるが、授業評価アンケートでは、Q2 学生の意欲的取り組み度、Q3 授業の難易度、Q7 授業のわかりやすさ、Q9 知的好奇心の喚起、Q11 総合的評価の結果を特に授業改善に役立てている。中でも、Q11 の数値が前年より低い場合は、その要因を検討し次年度の授業の展開を工夫する等の改善に努めている。

このとき役立つのが毎回の授業に対するコメントシートである。学生が気軽にコメント・質問できるよう、積極的に出席カードの裏面を活用する授業もある。学生からのフ

ィードバックを得ることは、授業内容に対する学生の理解度や質問・疑問、また要望を具体的に把握し授業改善につなげることができるため、多くの教員が何らかの形で実施している。

日本語日本文学科は、日本語日文学系と日本語教育系との二つの系からなる学科であり、それぞれ授業のやり方も若干異なる。以下系ごとに授業改善に向けての取り組み例を記述する。

1. 日本語日文学系

- (1) 古典文学：物語としての古典の世界をより身近に感じることができるよう、古典文学の舞台となった場所の訪問をゼミ旅行として実施している。
- (2) 近代文学：抽象度の高い論理的な文章や、漢語が多用される難解な文章、さらには感情の機微を読み解くことを若干苦手と感じる学生が多いようである。そのため、映像資料や図解を適切に用い、授業自体のレベルを維持しつつ、視覚に訴えることで学生に分かりやすくする工夫を行っている。また学生が文学者と彼らの生きた時代を身近に感じることができるよう、大学周辺の雑司ヶ谷や文京区界隈の近代文学に関わる建造物、墓地等の「文学散歩」を毎年実施している。
- (3) 日本文化・民俗学：授業で取り上げた場所の訪問をゼミ旅行として実施している。

2. 日本語教育系

- (1) 日本語学：若い人に人気のある書物を分析対象にしたり、フィールドワークを取り入れたりすることで、方法論や結果の記述について実践的に学び、学生が興味をもって取り組めるような工夫を重ねている。
- (2) 日本語教育：地域との連携による各種の日本語教育活動や、大学主催の海外日本語教育研修への積極的参加を促し、日本語を母語としない人々・児童に対する日本語指導に触れる機会を提供し、学びと実践を繋ぐ工夫をしている。また、外国語教育センターと連携し、学内の留学生に対する学生アシスタント（SA）制度を活用して、日本語と文化についての気づきを促し、学びと指導に結びつける試みを継続的に行っている。海外での日本語教育研修事業としては、毎年恒例となった日本語教育海外研修旅行を実施し、教育実践を授業と関連づけて行っている。さらに、文学部と国際交流基金が連携して行う海外日本語教育インターンシップ（米国、タイ、豪州、マレーシア）に学生を派遣し、教育実習、実践能力の向上、さらに国際理解教育の推進を図っている。

【英語英米文化学科】

1. ルーブリックの導入

最近の教育界では授業計画だけでなく、授業計画に則った評価基準をどのように設けているかを、授業前に明示的に示すことが重要だと考えられている。しかし、本学のシラバスには、授業計画表と評価に関する簡単な情報（評価項目、配点等）が示されているだけで、明確な評価基準が示されていない。このことは、授業計画と評価の関連に透明性をもたせるという意味では改善の余地がある。過去2年間の授業評価アンケートの結果からも分かるように、一部の学生は授業計画に関心をもっておらず、シラバスをほとんど読まずに受講する学生すら存在する。そうした望ましくない傾向が見られる原因の一つには「授業計画と評価の関連に関する不透明性」がある可能性があると言えるだろう。

そこで、英語英米文化学科では、授業計画と評価の関連性に透明性を持たせる目的で、ルーブリックを導入した。ルーブリックを取り入れている科目は、専任教員と非常勤講師が担当する「アカデミック・ライティング」「アカデミック・プレゼンテーション」と、夏季に英国で実施する「海外語学文化研修」（注1）の3科目である。これらの科目の担当者は平成27（2015）年度中にメール上の会議と対面式会議を行い、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成した。各授業では、第1回目の授業においてルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示した。

ルーブリックは、平成28年度に初めて試験的に導入したが、1年間の経過をみた結果、教育上の効果が得られることが確認できたため、平成29（2017）年度以降も引き続き活用することにした。また、平成29年度からは、卒業論文についても一部の分野でルーブリックを試験的に使用し始めた。

（注1）海外語学文化研修を担当する専任教員は事前事後授業を実施し、研修先の責任者との協議を重ねた上で、授業内容、宿泊方法、成績評価等を含む研修全般の質的確保を行っている。

2. 講義における双方向性の追求

従来の日本の大学における講義科目の場合には、一方通行的に教員の話す内容を学生が聞き取るという形式が最も一般的な授業方法であった。しかし、そうした一方通行型の講義の場合には、学生が主体的に授業に取り組む姿勢が欠如してしまう可能性があり、自発的な学習の場を提供する機会が少なくなるという欠点がある。過去2年間の授業評価アンケートのQ2への回答結果からも明らかなように、文学部の学生の「（講義科目における）意欲的取り組み度」については、必ずしも高いとは言えない。

そこで、英語英米文化学科の教員の中には、そうした講義形態の授業のもつ欠点を補う目的で「講義における（教員と学生の）双方向性」を追求している教員もいる。具体的には、毎回の講義終了時に「コメント・質問カード」を提出させ、それらの中から興

味深いものや発展性のあるものを選択して、次回以降の授業の中で取り扱うといった方法を採用している。

自分の質問や見解を取り上げてもらった学生は、自分の書いた内容が認められたことを嬉しく思い、次の学習への意欲を増し、履修態度がさらに真剣になる。このように双方向的な活動を取り入れた講義を受けた学生は、一方的に授業を聞くだけでなく、自ら進んで主体的に学習しようという意欲をもつ可能性が高く、懸案の「(講義科目における)意欲的取り組み度」を向上させることにも貢献するであろう。

また、そうした双方向性は、年度を超えて取り入れることもできる。英語英米文化学科のある教員は、前年度の同じ授業を受講した学生が書いた「1年間の授業の中での思索方法の変化や授業内容に関する感想」の一部を紹介し、学生の視点から見た見解や知見を出発点とした授業目標を設定している。このような形で(教員によるトップダウン式の目標設定ではなく)学生によるボトムアップ式の目標設定を行うことによって、学生の主体的な学びを促進しようとしている。

3. 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

過去2年間の授業評価アンケートで、他の回答結果と比較して低い数値を示しているのが「学生の意欲的取り組み度」である点については、上記1.でも触れたことであるが、英語英米文化学科の教員の中には、学生の意欲的取り組みを促進する目的で「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組んでいる教員もいる。

具体的には、授業前に閲覧すべき課題としてインターネット上のテキストや動画を与え、授業で学ぶべきコンテンツを事前に理解させ、教室ではその内容に関する質疑応答、プレゼンテーション、ディスカッション等を行っている。こうした方法は反転授業と呼ばれるものであるが、履修者の反応は非常によく、積極的・主体的に授業の内容の理解に努めており、批判的思考力と創造的思考力も向上している。

また、追加的な「反転授業」として、G-Portに音声教材のファイルをアップロードしてリスニングの予習をさせたり、動画ファイルを学生にUSBメモリに格納して渡し、それを前提に授業をしている教員もいる。

まだ試験的段階のため、明確な成果を示すには時期尚早だが、こうした新しい試みの成果を公にすること等を含めて、今後も努力を積み重ねて行きたいと考えている。

【ドイツ語圏文化学科】

1. 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて3年次から三つのコース(言語・情報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース)の内いずれかを選択し、専門の勉強を始める。

1・2年次は、三つのコースに進む前の段階として、基礎的なドイツ語力をつけるカリキュラムが組まれている。また、1年次は、現代地域事情コース入門ゼミナールを1年間履修することが必修となっており、授業での発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成の指導を行っている。続いて2年次は、より細かい指導ができるようにクラスを二つに分割し、1学期完結の形で言語・情報コース入門ゼミナールと文学・文化コース入門ゼミナールを必修としている。

このように2年間に渡り三つの入門ゼミを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3年次に専門コースを選択する際に役立つように設計されている。また、1年次、2年次の入門ゼミを通じて、学生は研究倫理の遵守の重要性を繰り返し学び、レポート作成や卒業論文・卒研を作成する上での基本的姿勢を身につける。

2. 大学図書館ガイダンスの活用

毎年5月に、1年生、3年生を対象にしたガイダンスを図書館に依頼して実施している。ガイダンスへの参加を促すため、各コースゼミで、ゼミの内容に関連した課題を出し、図書館ガイダンスに参加することで課題が解けるよう企画している。また、学年ごとの学生の到達目標を勘案し、学科教員と図書館職員の間で打ち合わせをした上でガイダンスを行ってもらっている。

3年次からの専門的な授業や、卒業論文、卒業研究の準備に、基本的な文献を見つけ出し、実際の文献を入手することは基本的な知的技術であると考えている。

3. 卒業論文、卒業研究の指導

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンスから始まる。続いて11月に行われる第2回のガイダンスでは、具体的テーマの絞り込みに関する相談が行われる。4年次初めには、これらの結果を受けて卒業論文準備レポートの提出を課し、その審査を経て指導教員の決定が行われ、学生は指導教員の面接指導等を受けながら卒業論文を執筆することになる。卒業研究は、自分が所属するコースゼミの内容に関連したテーマを学生が考え、コースゼミの教員と相談しながらテーマを決定し、指導教員の面接指導等を経て書き上げられる。卒業論文も卒業研究も、それぞれ年度ごとの執筆要綱が学科ホームページからダウンロードできるようになっており、その要綱にそって論文を書くことが求められている。

4. リアクション・ペーパーの活用

演習科目、入門ゼミナール、講義科目等では、毎回の授業でリアクション・ペーパーを活用した授業が行われている。リアクション・ペーパーには、授業内容に関する疑問や質問、学生の意見が記入され、その結果を次回の授業で取りあげて説明することで、授業時間内に収まらなかった教員と学生の相互理解を高める工夫がなされている。また、

リアクション・ペーパーの内容から、授業内容に対する理解度や要望も把握することができる。全学一斉に行う授業評価アンケートだけでは捕捉できない一回一回の授業に対する反応を知り、授業改善に繋げることができるという意味で、リアクション・ペーパーを用いる方法は、現在では欠くことができない存在になっている。

5. アクティブ・ラーニングの実践

アクティブ・ラーニングの考え方と方法を、コース・ゼミナールや演習科目に導入している。また、平成 28 (2016) 年度末に開かれた学部のFD講演会で紹介されたアクティブ・ラーニングのさまざまな手法も取り入れられている。学生の積極的な参加を促すグループ・ワーク形式を採用することで、特定の課題についてグループ単位でのディスカッションを行い、課題発見力、発信力、問題解決力の養成を目指している。

【フランス語圏文化学科】

1. コース制と単位読み替え

フランス語圏文化学科では、学生の多様な関心に応えるため、平成 19 (2007) 年度から「言語・翻訳」、「文学・思想」、「舞台・映像」及び「広域文化」という4コース制を敷いており、3年次に進学する際、希望のコースを選択することとしている。従来はコースによって履修可能なゼミナールに制限があったが、学生の興味の広がりや要望に対応するため、一昨年度よりこの縛りを緩め、より広い選択肢の中からゼミナールを希望できるようにした。

2. 卒業論文、卒業翻訳、卒業演習に関する指導方針

卒業のための最終段階として、フランス語圏文化学科では卒業論文、卒業翻訳、卒業演習という三つの選択肢を与えている。これらの選択肢については、ゼミナール担当者が個別に相談に応じ、指導をしているが、加えて3年次の学生全員に「3年次レポート」を課し、学生の適性や関心をきめ細かく把握した上で指導ができるように努めている。

また卒業論文については、学生の便宜を図りつつ、質の高い論文執筆に専念してもらうため、一昨年度より従来の両面コピーを廃止する等形式を簡略化し、フォーマットのテンプレートをあらかじめ用意する等の配慮を行った。さらに卒業ガイダンスやゼミナールでのアナウンスを通じて、提出締切等事務手続き上の重要事項を今まで以上に周知徹底するよう取り決めた。

3. 1年生へのガイダンス

大学生活に慣れてきた時期にクラス間の交流を深め、学習を含めた疑問や不安に対応するため、平成 26 (2014) 年度から5月半ばに学年全体を対象としたオリエンテーショ

ンを開催し、軽食を取りながら和やかな雰囲気の中、教員と学生が語らう機会を提供している。昨年度からは補佐として大学院生の他に学部3年生・4年生も数名出席させ、上級生にさまざまな質問を行うことができるようにした。

4. 2年生のフランス語能力強化

中級文法と読解力の強化を目指し、平成22(2010)年度より、フランス語圏文化学科と外国語教育研究センターの教員が共同で作成した学習院大学独自の教科書「フランス語文法」「フランス語解釈」を使用している。これらは、学生の反応を見ながら、内容のさらなる充実と改善を図っている。

【心理学科】

1. シラバス活用を促すガイダンスの充実

授業評価アンケートの結果から浮き彫りになる問題の一つが、学生がシラバスをあまり活用していないということである。そこで、学生にシラバスの活用を促すために、新学期のガイダンスにおいて、履修計画を立てる際にはシラバスをよく読むように指導している。このような指導は一定の効果を挙げているが、平成29(2017)年度以降は冊子体のシラバスが配布されなくなる予定なので、さらに踏み込んだ指導をしないと、ますます学生がシラバスを活用しなくなる恐れがある。そこで、次年度は、心理学科の授業についてはシラバスを事前にプリントし、ガイダンスの際に配布してその場でシラバスを参照させながら説明する等の改善を予定している。

2. 1年次演習における導入教育の実施

授業評価アンケートの結果から浮き彫りになる第二の問題は、学生の基礎学力のばらつきが大きくなり、授業についていけない学生が増えつつあることである。そこで、心理学科では、1年次必修科目である「心理学演習Ⅰ」の最初の数回を導入教育に充てている。すなわち、心理学の英語論文を読んで理解するために必要となる基礎知識や勉強法を伝えることで、英語論文を読み討論するという演習形態の授業への移行をサポートしている。

3. 演習・実験演習におけるアクティブ・ラーニングの実践

演習や実験演習では、学生の積極的な授業参加や討論を促すため、アクティブ・ラーニング形式の授業を実践している。具体的には、事前に課題論文やレジュメを読ませ、授業の場では小グループに分かれてのディスカッションやグループワークを行っている。ディスカッションも、教員が主導するのではなく、できる限り学生自身が主体的かつ積極的に行うように促すことで、学生の考える力を引き出すようにしている。

4. 思考や知的好奇心を刺激するための資料の提示

いくつかの講義科目は、学生の思考や知的好奇心を刺激するために、図や資料等をプロジェクターで提示している。提示した資料は、印刷して配布したり、G-Port にアップロードしたりして、復習に役立つよう配慮している。資料は毎年更新し新しい情報を追加することで、常に新しい情報を授業に盛り込むように工夫している。

【教育学科】

1. 体験型学習の重視

授業評価アンケートの結果でも、演習形態科目に対する評価は高い。学科必修科目である「自然体験実習」（3日間）や「社会体験実習」（3日間）ではフィールド体験型授業を展開している。学生自らが企業や諸機関・施設・園・館等に交渉することから始め、実地に体験することを通して学んでいく。

また、「ボランティア学習論」や「環境教育論」では、理論的な学習を踏まえ、小中学校や現場に積極的に出かけて、本物との出会いや学校教育活動への参加、モノづくり体験等の実践的な活動を通して学ぶ機会を多く設けている。

2. 1年次演習における基礎教育の実施

大学4年間の学習のスタートにあたって、「基礎演習」の授業では、「新入生オリエンテーション合宿」、「教育学科で何を学ぶか」のテキスト、大学図書館のガイダンス、「読む」「書く」「討議する」「まとめる」「表現する」等の演習を通して、基礎的学力を育成している。例えば、課題レポートの読み合い、講義のノートのとり方、授業風景映像から記録をとる、学術的文章や子どもの文章の読み取り、プレゼンの方法等、討議や相互検証を行いながら進めている。

3. 教科指導の力を育成

教員免許科目の必修である各教科等の概説や指導法の授業では、学習指導要領の各教科解説を読み込み、目標や内容、指導方法について、理論の理解とともに実践的な取り組みを進めている。

各教科の授業では、学習指導案の書き方をはじめ、一人ないしグループによる模擬授業の実施と相互の振り返りを通して、実践的な教科指導の力を育成している。

4. コミュニケーション能力の育成

小学校教員の養成を主たる目的にしている学科であり、発信・提言型（学習者主体型）教育の指導のための力量育成を目指している。学科選択必修科目「発信技法（言語表現、

身体表現、情報)」では、児童生徒とその保護者、あるいは地域社会の住民の多様化に対応して、多文化共生社会を支える双方向のコミュニケーション能力の育成を図っている。

5. 学生の進路についての情報共有と対応

平成 29 年 3 月に卒業した教育学科 1 期生の進路は、小学校教員 21 名、大学院 8 名、企業 11 名、公務員 3 名、その他 3 名である。本年度も、卒業研究や進路について、一人一人の学生の状況を学科会議で情報共有しながら、丁寧に対応していく。

IV. 理学部

- 新年度開始から 1、2 か月経過後、学科ごとに 1 年生と助教から教授までの教員全員との懇談会を行い、そこでの 1 年生の感想・意見等について教員間で検討し、教授会に報告している。さらに、問題点があれば教授会で審議し、必要に応じて、外国語教育研究センター等の他部門にも報告し、授業改善を要請することもある。
- 数学科において、特に 1、2 年生の基礎的科目（「線形代数」、「微分積分」等）で小テストを頻繁に行った。学生のレベル把握が深まり、それに応じた適切な指導が可能となった他、学生にとっては、テスト前だけでなく日常の学習を心がけるように見受けられた。
- 「代数学」の授業において、授業中に解説する定義や定理・命題等を簡単に纏めたものを予習・復習用にホームページにアップした。その際、証明や詳しい解説をあえて書かないことで、学生の自主的な学習を促すようにした。
- 試験の結果について、各設問に対する得点分布を度数分布表によって視覚化したものと共に学生にフィードバックした。これによって、単に合格点に達したかどうかでなく、学生個々人が自らの理解度を把握できたと思われる。
- 体系化された学問は各科目間のつながりが強く、一つの科目では完結し得ない。理科系科目においてはその傾向は特に強く、科目担当者の密な連絡がなければ講義を進めることができない。そのため、学科ごとに、教員は教室会議等でかなり頻繁に授業の情報交換をしている。特に物理学科では、非常勤講師も含めた教員間のメーリングリストを用い、授業内容や進度の細やかな情報交換を行っている。

V. 計算機センター

- 「初等情報処理1」「初等情報処理2」は、全学の1年生を対象とした科目である。原則として、学科ごとのクラス編成にして授業を開講している。授業では、情報に関連する規則や法律と情報を利用する際のモラルやマナーなど、情報倫理教育を授業の大きな柱の一つとしている。また情報倫理教育だけでなく、インターネットなどを利用するにあたり、自分に降りかかる危険を見極め回避する方法や基礎技術の習得も目指している。
- コンピューターの利用方法は各学科の教育目的に依存し、また学生の興味の対象は各学科で大きく異なっている。そのため、情報倫理教育を除き、各学科に応じた目標設定や題材を選ぶことによって、目的意識をもって学べるように配慮している。
- 情報処理の授業では、学生間のスキルや知識の差が大きい。PC操作に慣れていない学生にとっては、授業についてゆくのが困難である反面、すでにスキルのある学生には退屈な授業になりがちである。また、授業の進行に影響をあたえることを気にして質問を控え、ますます授業についていけなくなる学生もいる。このような状況を改善するために、すぐに学生の疑問や要望を反映できるように、匿名で書き込みができる簡易チャットをウェブ上に設置し、教室前面のスクリーンに投影し、学生の声を確認する工夫を取り入れている授業もある。また、実際のコンピューターを操作する時間では学生同士で教え合うことを積極的に奨励している。
- 比較的少人数のクラスでは、学生の顔と名前を把握し、一人一人の学生とのやりとりから、PCスキルのレベルや理解状況を把握して授業を進めている。

VI. スポーツ・健康化学センター

- 実技授業全般において、前年の履修者数を参考に、開講時間、開講種目、各時限毎の開講コマ数等をできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。
- 実技（本学の「スポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱ（必修）」、「同Ⅲa（選択）」、「同Ⅲb（野外集中）」においては、運動学習理論に基づき指導法の変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。

- 「スポーツ・健康科学Ⅰ（バレーボール）」の授業において、極端に体力レベルの劣るクラスがあったため、教材（5号球→4号球→軽量ボール）を工夫して体力レベルに応じた授業内容に変更して進めている。
- 体力トレーニングの授業において、教員が作成した資料を配布している。しかし、紙媒体での資料を携行した状態ではトレーニングしづらいことや、身体の方法について文章や口頭説明では伝わりづらい部分もある。そこで、トレーニングルームに設置されたモニターに映像、画像を提示し、トレーニング動作修得が効率的に進むよう工夫している。
- 「スポーツ・健康科学Ⅰ（文・理必修）」では、共通のテキストとノートを作成し、授業内で実施したトレーニング内容や練習内容、体調、感想等を記録させている。授業終了後に提出し、学生の授業に対するリアクションを授業中の観察に加えて文章で見ることにより、自身の実施した内容が質、量ともに適切であったかを把握し、次回の授業において生かすようにしている。
- バレーボール、バドミントンの授業において、バランスボール、バランスディスク、ストレッチポールを用いている。授業の前半にこれらの器具を用いてトレーニングを行い、主とする球技の動作に役立てるとともに、バランス能力、筋力アップ、柔軟性の向上に役立てている。また、運動の苦手な学生も、これらの器具を使用することによって、自分の身体への関心が高まっていると思われる。
- 「スポーツ・健康科学Ⅰ（バスケットボール）」の授業において、授業の前半15分間を利用して体力トレーニングを実施している。第1学期は、教員が様々なトレーニング種目を紹介して実施させている。第2学期は、第1学期に実施した種目の中から、グループごとに種目を選択して実施し、選択した種目の方法、効果、鍛錬部位等についてグループ内で意見交換を行っている。学生自身の体力について興味を深め、主体的に体力向上に取り組むことができるような内容となるように工夫している。

第4章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私のこの授業への出席率は

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	計				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下						
計セ	講義	3,245 84.53%	400 10.42%	149 3.88%	34 0.89%	11 0.29%	3,839 100.00%	4.78	0.580	4.71	0.252	
外セ	語学	7,128 73.80%	1,718 17.79%	704 7.29%	102 1.06%	7 0.07%	9,659 100.00%	4.64	0.669	4.62	0.246	
スホ健	演習	999 65.00%	314 20.43%	175 11.39%	47 3.06%	2 0.13%	1,537 100.00%	4.47	0.822	4.50	0.323	
基礎教養	講義	4,186 69.74%	1,134 18.89%	515 8.58%	114 1.90%	53 0.88%	6,002 100.00%	4.55	0.800	4.51	0.294	
	演習	14 70.00%	4 20.00%	2 10.00%	0 0.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.60	0.681	4.60	-	
	計	4,200 69.74%	1,138 18.90%	517 8.59%	114 1.89%	53 0.88%	6,022 100.00%	4.55	0.799	4.51	0.292	
法学部	講義	6,821 71.46%	1,580 16.55%	707 7.41%	227 2.38%	210 2.20%	9,545 100.00%	4.53	0.897	4.50	0.284	
	演習	1,306 82.35%	213 13.43%	59 3.72%	6 0.38%	2 0.13%	1,586 100.00%	4.77	0.536	4.75	0.254	
	計	8,127 73.01%	1,793 16.11%	766 6.88%	233 2.09%	212 1.90%	11,131 100.00%	4.56	0.859	4.60	0.299	
経済学部	講義	5,977 69.56%	1,475 17.17%	734 8.54%	216 2.51%	191 2.22%	8,593 100.00%	4.49	0.916	4.44	0.337	
	演習	1,367 88.71%	123 7.98%	42 2.73%	5 0.32%	4 0.26%	1,541 100.00%	4.85	0.486	4.82	0.235	
	計	7,344 72.47%	1,598 15.77%	776 7.66%	221 2.18%	195 1.92%	10,134 100.00%	4.55	0.873	4.62	0.348	
文学部	講義	5,819 70.44%	1,602 19.39%	697 8.44%	123 1.49%	20 0.24%	8,261 100.00%	4.58	0.728	4.55	0.273	
	演習	4,824 73.76%	1,227 18.76%	416 6.36%	63 0.96%	10 0.15%	6,540 100.00%	4.65	0.656	4.63	0.266	
	計	10,643 71.91%	2,829 19.11%	1,113 7.52%	186 1.26%	30 0.20%	14,801 100.00%	4.61	0.698	4.60	0.271	
理学部	講義	3,538 84.14%	422 10.04%	175 4.16%	46 1.09%	24 0.57%	4,205 100.00%	4.76	0.632	4.72	0.243	
	演習	1,207 90.07%	75 5.60%	42 3.13%	9 0.67%	7 0.52%	1,340 100.00%	4.84	0.548	4.76	0.395	
	計	4,745 85.57%	497 8.96%	217 3.91%	55 0.99%	31 0.56%	5,545 100.00%	4.78	0.614	4.73	0.283	
国際社会科学部	講義	1,476 83.30%	212 11.96%	66 3.72%	9 0.51%	9 0.51%	1,772 100.00%	4.77	0.586	4.78	0.091	
	演習	301 72.88%	82 19.85%	26 6.30%	3 0.73%	1 0.24%	413 100.00%	4.64	0.655	4.64	0.201	
	語学	1,258 76.15%	272 16.46%	113 6.84%	9 0.54%	0 0.00%	1,652 100.00%	4.68	0.622	4.67	0.239	
	計	3,035 79.10%	566 14.75%	205 5.34%	21 0.55%	10 0.26%	3,837 100.00%	4.72	0.611	4.68	0.219	
教職課程	講義	1,223 80.14%	209 13.70%	75 4.91%	15 0.98%	4 0.26%	1,526 100.00%	4.72	0.623	4.70	0.148	
	演習	985 78.74%	189 15.11%	59 4.72%	13 1.04%	5 0.40%	1,251 100.00%	4.71	0.642	4.72	0.165	
	計	2,208 79.51%	398 14.33%	134 4.83%	28 1.01%	9 0.32%	2,777 100.00%	4.72	0.632	4.71	0.157	
学芸員	講義	502 72.33%	143 20.61%	42 6.05%	6 0.86%	1 0.14%	694 100.00%	4.64	0.649	4.61	0.168	
	演習	54 73.97%	18 24.66%	1 1.37%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.73	0.479	4.71	0.121	
	計	556 72.49%	161 20.99%	43 5.61%	6 0.78%	1 0.13%	767 100.00%	4.65	0.635	4.64	0.162	
合計	52,230 74.56%	11,412 16.29%	4,799 6.85%	1,047 1.49%	561 0.80%	70,049 100.00%	4.62	0.747	4.62	0.280		

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5	4	3	2	1				計	部門別 平均	部門別 標準偏差
		出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下						
講義		32,787 73.78%	7,177 16.15%	3,160 7.11%	790 1.78%	523 1.18%	44,437 100.00%	4.60	0.794	4.57	0.292	
演習		11,057 77.32%	2,245 15.70%	822 5.75%	146 1.02%	31 0.22%	14,301 100.00%	4.69	0.645	4.67	0.282	
語学		8,386 74.14%	1,990 17.59%	817 7.22%	111 0.98%	7 0.06%	11,311 100.00%	4.65	0.663	4.63	0.245	
合計		52,230 74.56%	11,412 16.29%	4,799 6.85%	1,047 1.49%	561 0.80%	70,049 100.00%	4.62	0.747	4.62	0.280	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下			
学部1年		26,058 80.72%	4,067 12.60%	1,661 5.15%	345 1.07%	151 0.47%	32,282 100.00%	4.72	0.652
学部2年		13,351 73.20%	3,176 17.41%	1,289 7.07%	264 1.45%	160 0.88%	18,240 100.00%	4.61	0.756
学部3年		7,742 68.63%	2,269 20.12%	951 8.43%	217 1.92%	101 0.90%	11,280 100.00%	4.54	0.800
学部4年		2,093 52.03%	1,122 27.89%	545 13.55%	162 4.03%	101 2.51%	4,023 100.00%	4.23	0.995

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下					
25名以下		10,169 75.62%	2,281 16.96%	852 6.34%	125 0.93%	21 0.16%	13,448 100.00%	4.67	0.650	4.65	0.277
26～50名		11,200 73.83%	2,687 17.71%	1,074 7.08%	187 1.23%	21 0.14%	15,169 100.00%	4.64	0.680	4.62	0.247
51～100名		12,333 78.27%	2,213 14.04%	895 5.68%	219 1.39%	98 0.62%	15,758 100.00%	4.68	0.700	4.63	0.304
101～200名		7,750 73.50%	1,705 16.17%	785 7.44%	190 1.80%	114 1.08%	10,544 100.00%	4.59	0.793	4.53	0.326
201名以上		10,778 71.24%	2,526 16.70%	1,193 7.88%	326 2.15%	307 2.03%	15,130 100.00%	4.53	0.883	4.47	0.260
合計		52,230 74.56%	11,412 16.29%	4,799 6.85%	1,047 1.49%	561 0.80%	70,049 100.00%	4.62	0.747	4.62	0.280

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,577 41.27%	1,247 32.64%	1,744 19.47%	1,177 4.63%	76 1.99%	3,821 100.00%	4.07	0.984	4.07	0.311
外セ	語学	4,006 41.64%	3,755 39.03%	1,552 16.13%	243 2.53%	65 0.68%	9,621 100.00%	4.18	0.840	4.19	0.296
スポ健	演習	1,012 66.01%	364 23.74%	145 9.46%	8 0.52%	4 0.26%	1,533 100.00%	4.55	0.707	4.60	0.271
基礎教養	講義	1,577 26.36%	2,087 34.89%	1,739 29.07%	428 7.15%	151 2.52%	5,982 100.00%	3.75	1.004	3.82	0.410
	演習	4 20.00%	13 65.00%	2 10.00%	1 5.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.00	0.725	4.00	-
	計	1,581 26.34%	2,100 34.99%	1,741 29.01%	429 7.15%	151 2.52%	6,002 100.00%	3.75	1.003	3.82	0.408
法学部	講義	2,668 28.03%	3,368 35.39%	2,542 26.71%	658 6.91%	281 2.95%	9,517 100.00%	3.79	1.022	3.83	0.391
	演習	796 50.25%	614 38.76%	157 9.91%	13 0.82%	4 0.25%	1,584 100.00%	4.38	0.717	4.39	0.291
	計	3,464 31.20%	3,982 35.87%	2,699 24.31%	671 6.04%	285 2.57%	11,101 100.00%	3.87	1.006	4.05	0.448
経済学部	講義	2,605 30.40%	2,904 33.89%	2,254 26.31%	521 6.08%	284 3.31%	8,568 100.00%	3.82	1.037	3.86	0.457
	演習	953 61.96%	464 30.17%	108 7.02%	8 0.52%	5 0.33%	1,538 100.00%	4.53	0.678	4.51	0.302
	計	3,558 35.21%	3,368 33.33%	2,362 23.37%	529 5.23%	289 2.86%	10,106 100.00%	3.93	1.023	4.16	0.511
文学部	講義	2,338 28.40%	3,286 39.92%	2,069 25.14%	406 4.93%	132 1.60%	8,231 100.00%	3.89	0.930	3.97	0.390
	演習	3,037 46.53%	2,696 41.31%	684 10.48%	82 1.26%	28 0.43%	6,527 100.00%	4.32	0.745	4.32	0.273
	計	5,375 36.42%	5,982 40.53%	2,753 18.65%	488 3.31%	160 1.08%	14,758 100.00%	4.08	0.880	4.19	0.365
理学部	講義	1,456 34.72%	1,454 34.68%	989 23.59%	209 4.98%	85 2.03%	4,193 100.00%	3.95	0.981	3.95	0.339
	演習	736 55.09%	379 28.37%	178 13.32%	33 2.47%	10 0.75%	1,336 100.00%	4.35	0.855	4.26	0.391
	計	2,192 39.65%	1,833 33.15%	1,167 21.11%	242 4.38%	95 1.72%	5,529 100.00%	4.05	0.967	4.02	0.373
国際社会科学部	講義	562 31.97%	528 30.03%	458 26.05%	142 8.08%	68 3.87%	1,758 100.00%	3.78	1.097	3.80	0.368
	演習	165 40.24%	174 42.44%	55 13.41%	13 3.17%	3 0.73%	410 100.00%	4.18	0.835	4.17	0.348
	語学	844 51.37%	588 35.79%	179 10.89%	25 1.52%	7 0.43%	1,643 100.00%	4.36	0.769	4.35	0.255
	計	1,571 41.22%	1,290 33.85%	692 18.16%	180 4.72%	78 2.05%	3,811 100.00%	4.07	0.981	4.24	0.347
教職課程	講義	489 32.17%	546 35.92%	384 25.26%	77 5.07%	24 1.58%	1,520 100.00%	3.92	0.956	3.99	0.286
	演習	555 44.44%	494 39.55%	167 13.37%	24 1.92%	9 0.72%	1,249 100.00%	4.25	0.811	4.30	0.269
	計	1,044 37.70%	1,040 37.56%	551 19.90%	101 3.65%	33 1.19%	2,769 100.00%	4.07	0.908	4.16	0.316
学芸員	講義	187 27.06%	310 44.86%	171 24.75%	22 3.18%	1 0.14%	691 100.00%	3.96	0.811	3.95	0.211
	演習	31 42.47%	35 47.95%	7 9.59%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.33	0.647	4.34	0.221
	計	218 28.53%	345 45.16%	178 23.30%	22 2.88%	1 0.13%	764 100.00%	3.99	0.804	4.07	0.278
合計	25,598 36.67%	25,306 36.25%	14,584 20.89%	3,090 4.43%	1,237 1.77%	69,815 100.00%	4.02	0.955	4.15	0.396	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		13,459 30.39%	15,730 35.52%	11,350 25.63%	2,640 5.96%	1,102 2.49%	44,281 100.00%	3.85	1.001	3.92	0.389
演習		7,289 51.08%	5,233 36.67%	1,503 10.53%	182 1.28%	63 0.44%	14,270 100.00%	4.37	0.757	4.38	0.309
語学		4,850 43.06%	4,343 38.56%	1,731 15.37%	268 2.38%	72 0.64%	11,264 100.00%	4.21	0.832	4.21	0.296
合計		25,598 36.67%	25,306 36.25%	14,584 20.89%	3,090 4.43%	1,237 1.77%	69,815 100.00%	4.02	0.955	4.15	0.396

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		11,919 37.05%	11,152 34.67%	6,840 21.26%	1,614 5.02%	641 1.99%	32,166 100.00%	4.00	0.981
学部2年		6,544 36.00%	6,752 37.14%	3,902 21.46%	691 3.80%	291 1.60%	18,180 100.00%	4.02	0.933
学部3年		3,992 35.46%	4,383 38.94%	2,245 19.94%	469 4.17%	168 1.49%	11,257 100.00%	4.03	0.924
学部4年		1,531 38.15%	1,531 38.15%	750 18.69%	146 3.64%	55 1.37%	4,013 100.00%	4.08	0.912

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		6,526 48.68%	5,076 37.86%	1,554 11.59%	194 1.45%	57 0.43%	13,407 100.00%	4.33	0.768	4.33	0.335
26～50名		6,407 42.37%	5,822 38.50%	2,387 15.79%	395 2.61%	110 0.73%	15,121 100.00%	4.19	0.845	4.18	0.333
51～100名		5,739 36.56%	5,578 35.54%	3,404 21.69%	701 4.47%	275 1.75%	15,697 100.00%	4.01	0.959	3.96	0.371
101～200名		2,850 27.13%	3,657 34.81%	2,981 28.37%	729 6.94%	289 2.75%	10,506 100.00%	3.77	1.013	3.74	0.334
201名以上		4,076 27.02%	5,173 34.29%	4,258 28.23%	1,071 7.10%	506 3.35%	15,084 100.00%	3.75	1.036	3.70	0.313
合計		25,598 36.67%	25,306 36.25%	14,584 20.89%	3,090 4.43%	1,237 1.77%	69,815 100.00%	4.02	0.955	4.15	0.396

Q3 この授業のレベルは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,317 34.77%	1,130 29.83%	802 21.17%	364 9.61%	175 4.62%	3,788 100.00%	3.81	1.150	3.82	0.500
外セ	語学	4,315 45.18%	3,460 36.23%	1,329 13.92%	331 3.47%	115 1.20%	9,550 100.00%	4.21	0.892	4.22	0.380
スポ健	演習	1,020 67.33%	346 22.84%	126 8.32%	14 0.92%	9 0.59%	1,515 100.00%	4.55	0.735	4.60	0.253
基礎教養	講義	2,378 40.11%	2,257 38.07%	1,024 17.27%	177 2.99%	92 1.55%	5,928 100.00%	4.12	0.905	4.15	0.388
	演習	5 25.00%	13 65.00%	1 5.00%	1 5.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.10	0.718	4.10	-
	計	2,383 40.06%	2,270 38.16%	1,025 17.23%	178 2.99%	92 1.55%	5,948 100.00%	4.12	0.904	4.15	0.386
法学部	講義	3,288 34.95%	3,564 37.89%	1,934 20.56%	488 5.19%	133 1.41%	9,407 100.00%	4.00	0.943	3.99	0.370
	演習	804 51.77%	526 33.87%	166 10.69%	52 3.35%	5 0.32%	1,553 100.00%	4.33	0.822	4.35	0.370
	計	4,092 37.34%	4,090 37.32%	2,100 19.16%	540 4.93%	138 1.26%	10,960 100.00%	4.05	0.935	4.13	0.410
経済学部	講義	2,886 34.09%	2,929 34.59%	1,899 22.43%	507 5.99%	246 2.91%	8,467 100.00%	3.91	1.029	3.95	0.476
	演習	911 59.74%	448 29.38%	123 8.07%	38 2.49%	5 0.33%	1,525 100.00%	4.46	0.774	4.45	0.387
	計	3,797 38.00%	3,377 33.80%	2,022 20.24%	545 5.45%	251 2.51%	9,992 100.00%	3.99	1.013	4.18	0.501
文学部	講義	3,186 39.12%	3,192 39.19%	1,400 17.19%	290 3.56%	77 0.95%	8,145 100.00%	4.12	0.881	4.19	0.377
	演習	3,226 50.08%	2,441 37.89%	619 9.61%	126 1.96%	30 0.47%	6,442 100.00%	4.35	0.770	4.36	0.337
	計	6,412 43.96%	5,633 38.62%	2,019 13.84%	416 2.85%	107 0.73%	14,587 100.00%	4.22	0.842	4.29	0.361
理学部	講義	1,281 30.70%	1,336 32.02%	1,020 24.45%	371 8.89%	164 3.93%	4,172 100.00%	3.77	1.099	3.81	0.429
	演習	545 41.19%	461 34.85%	233 17.61%	64 4.84%	20 1.51%	1,323 100.00%	4.09	0.954	4.03	0.374
	計	1,826 33.23%	1,797 32.70%	1,253 22.80%	435 7.92%	184 3.35%	5,495 100.00%	3.85	1.075	3.86	0.426
国際社会科学部	講義	583 33.60%	512 29.51%	434 25.01%	137 7.90%	69 3.98%	1,735 100.00%	3.81	1.106	3.80	0.460
	演習	179 44.09%	152 37.44%	59 14.53%	13 3.20%	3 0.74%	406 100.00%	4.21	0.860	4.21	0.442
	語学	776 47.96%	542 33.50%	209 12.92%	75 4.64%	16 0.99%	1,618 100.00%	4.23	0.912	4.22	0.326
	計	1,538 40.92%	1,206 32.08%	702 18.68%	225 5.99%	88 2.34%	3,759 100.00%	4.03	1.022	4.16	0.398
教職課程	講義	620 41.17%	535 35.52%	293 19.46%	38 2.52%	20 1.33%	1,506 100.00%	4.13	0.901	4.17	0.327
	演習	672 54.81%	420 34.26%	106 8.65%	16 1.31%	12 0.98%	1,226 100.00%	4.41	0.781	4.44	0.281
	計	1,292 47.29%	955 34.96%	399 14.60%	54 1.98%	32 1.17%	2,732 100.00%	4.25	0.860	4.32	0.330
学芸員	講義	307 45.01%	286 41.94%	77 11.29%	12 1.76%	0 0.00%	682 100.00%	4.30	0.737	4.28	0.265
	演習	44 61.97%	25 35.21%	2 2.82%	0 0.00%	0 0.00%	71 100.00%	4.59	0.550	4.60	0.162
	計	351 46.61%	311 41.30%	79 10.49%	12 1.59%	0 0.00%	753 100.00%	4.33	0.726	4.38	0.277
合計	28,343 41.03%	24,575 35.58%	11,856 17.16%	3,114 4.51%	1,191 1.72%	69,079 100.00%	4.10	0.953	4.20	0.428	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		15,846 36.15%	15,741 35.91%	8,883 20.27%	2,384 5.44%	976 2.23%	43,830 100.00%	3.98	0.991	4.02	0.439
演習		7,406 52.60%	4,832 34.32%	1,435 10.19%	324 2.30%	84 0.60%	14,081 100.00%	4.36	0.802	4.39	0.361
語学		5,091 45.59%	4,002 35.83%	1,538 13.77%	406 3.64%	131 1.17%	11,168 100.00%	4.21	0.895	4.22	0.372
合計		28,343 41.03%	24,575 35.58%	11,856 17.16%	3,114 4.51%	1,191 1.72%	69,079 100.00%	4.10	0.953	4.20	0.428

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		12,364 38.80%	10,887 34.16%	6,137 19.26%	1,766 5.54%	714 2.24%	31,868 100.00%	4.02	1.002
学部2年		7,264 40.45%	6,702 37.32%	3,026 16.85%	711 3.96%	257 1.43%	17,960 100.00%	4.11	0.920
学部3年		4,730 42.49%	4,321 38.81%	1,622 14.57%	360 3.23%	100 0.90%	11,133 100.00%	4.19	0.864
学部4年		2,137 53.83%	1,267 31.91%	441 11.11%	97 2.44%	28 0.71%	3,970 100.00%	4.36	0.827

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		6,661 50.32%	4,628 34.97%	1,473 11.13%	393 2.97%	81 0.61%	13,236 100.00%	4.31	0.830	4.33	0.389
26～50名		7,065 47.21%	5,303 35.44%	1,962 13.11%	480 3.21%	154 1.03%	14,964 100.00%	4.25	0.874	4.24	0.376
51～100名		5,920 38.04%	5,376 34.55%	2,921 18.77%	944 6.07%	401 2.58%	15,562 100.00%	3.99	1.021	3.97	0.464
101～200名		3,438 32.99%	3,684 35.35%	2,368 22.72%	646 6.20%	285 2.73%	10,421 100.00%	3.90	1.020	3.91	0.410
201名以上		5,259 35.30%	5,584 37.49%	3,132 21.03%	651 4.37%	270 1.81%	14,896 100.00%	4.00	0.949	3.97	0.355
合計		28,343 41.03%	24,575 35.58%	11,856 17.16%	3,114 4.51%	1,191 1.72%	69,079 100.00%	4.10	0.953	4.20	0.428

Q3 - 2 授業のレベルについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース		
		5 難しすぎる	4 優しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	418 82.61%	88 17.39%	506 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	327 76.58%	100 23.42%	427 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	13 65.00%	7 35.00%	20 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	228 91.57%	21 8.43%	249 100.00%	-	-	-	-
	演習	1 100.00%	0 0.00%	1 100.00%	-	-	-	-
	計	229 91.60%	21 8.40%	250 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	522 89.85%	59 10.15%	581 100.00%	-	-	-	-
	演習	47 83.93%	9 16.07%	56 100.00%	-	-	-	-
	計	569 89.32%	68 10.68%	637 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	655 91.61%	60 8.39%	715 100.00%	-	-	-	-
	演習	38 88.37%	5 11.63%	43 100.00%	-	-	-	-
	計	693 91.42%	65 8.58%	758 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	320 93.57%	22 6.43%	342 100.00%	-	-	-	-
	演習	106 69.74%	46 30.26%	152 100.00%	-	-	-	-
	計	426 86.23%	68 13.77%	494 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	489 95.14%	25 4.86%	514 100.00%	-	-	-	-
	演習	80 97.56%	2 2.44%	82 100.00%	-	-	-	-
	計	569 95.47%	27 4.53%	596 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	154 84.62%	28 15.38%	182 100.00%	-	-	-	-
	演習	13 86.67%	2 13.33%	15 100.00%	-	-	-	-
	語学	51 57.95%	37 42.05%	88 100.00%	-	-	-	-
	計	218 76.49%	67 23.51%	285 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	49 90.74%	5 9.26%	54 100.00%	-	-	-	-
	演習	16 59.26%	11 40.74%	27 100.00%	-	-	-	-
	計	65 80.25%	16 19.75%	81 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	9 75.00%	3 25.00%	12 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	9 75.00%	3 25.00%	12 100.00%	-	-	-	-
合計	3,536 86.97%	530 13.03%	4,066 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース		
	5 難しすぎる	4 優しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	2,844 90.14%	311 9.86%	3,155 100.00%	-	-	-	-
演習	314 79.29%	82 20.71%	396 100.00%	-	-	-	-
語学	378 73.40%	137 26.60%	515 100.00%	-	-	-	-
合計	3,536 86.97%	530 13.03%	4,066 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				
	5 難しすぎる	4 優しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
学部1年	2,007 85.95%	328 14.05%	2,335 100.00%	-	-
学部2年	837 90.98%	83 9.02%	920 100.00%	-	-
学部3年	382 87.21%	56 12.79%	438 100.00%	-	-
学部4年	84 73.04%	31 26.96%	115 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース		
	5 難しすぎる	4 優しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	358 78.51%	98 21.49%	456 100.00%	-	-	-	-
26～50名	472 76.87%	142 23.13%	614 100.00%	-	-	-	-
51～100名	1,154 90.87%	116 9.13%	1,270 100.00%	-	-	-	-
101～200名	784 90.43%	83 9.57%	867 100.00%	-	-	-	-
201名以上	768 89.41%	91 10.59%	859 100.00%	-	-	-	-
合計	3,536 86.97%	530 13.03%	4,066 100.00%	-	-	-	-

Q4 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,231 32.27%	1,117 29.28%	852 22.33%	434 11.38%	181 4.74%	3,815 100.00%	3.73	1.164	3.77	0.459
外セ	語学	4,643 48.23%	3,418 35.50%	1,222 12.69%	271 2.81%	73 0.76%	9,627 100.00%	4.28	0.845	4.29	0.365
スポ健	演習	1,106 72.33%	320 20.93%	94 6.15%	5 0.33%	4 0.26%	1,529 100.00%	4.65	0.634	4.70	0.235
基礎教養	講義	2,670 44.69%	2,286 38.27%	884 14.80%	92 1.54%	42 0.70%	5,974 100.00%	4.25	0.812	4.26	0.322
	演習	6 30.00%	12 60.00%	1 5.00%	1 5.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.15	0.745	4.15	-
	計	2,676 44.64%	2,298 38.34%	885 14.76%	93 1.55%	42 0.70%	5,994 100.00%	4.25	0.811	4.26	0.320
法学部	講義	3,467 36.55%	3,674 38.73%	1,858 19.59%	362 3.82%	124 1.31%	9,485 100.00%	4.05	0.910	4.07	0.341
	演習	915 58.10%	484 30.73%	139 8.83%	36 2.29%	1 0.06%	1,575 100.00%	4.45	0.754	4.45	0.361
	計	4,382 39.62%	4,158 37.59%	1,997 18.06%	398 3.60%	125 1.13%	11,060 100.00%	4.11	0.900	4.22	0.396
経済学部	講義	3,049 35.71%	3,037 35.57%	1,854 21.71%	393 4.60%	205 2.40%	8,538 100.00%	3.98	0.987	4.05	0.425
	演習	975 64.14%	399 26.25%	122 8.03%	19 1.25%	5 0.33%	1,520 100.00%	4.53	0.724	4.51	0.333
	計	4,024 40.01%	3,436 34.16%	1,976 19.65%	412 4.10%	210 2.09%	10,058 100.00%	4.06	0.972	4.26	0.450
文学部	講義	3,447 41.91%	3,208 39.01%	1,224 14.88%	266 3.23%	79 0.96%	8,224 100.00%	4.18	0.868	4.27	0.332
	演習	3,521 54.14%	2,260 34.75%	569 8.75%	125 1.92%	28 0.43%	6,503 100.00%	4.40	0.763	4.41	0.330
	計	6,968 47.31%	5,468 37.13%	1,793 12.17%	391 2.65%	107 0.73%	14,727 100.00%	4.28	0.831	4.36	0.337
理学部	講義	1,343 32.13%	1,394 33.35%	1,002 23.97%	304 7.27%	137 3.28%	4,180 100.00%	3.84	1.059	3.88	0.440
	演習	601 45.09%	455 34.13%	242 18.15%	20 1.50%	15 1.13%	1,333 100.00%	4.21	0.867	4.17	0.285
	計	1,944 35.26%	1,849 33.54%	1,244 22.56%	324 5.88%	152 2.76%	5,513 100.00%	3.93	1.028	3.94	0.427
国際社会科学部	講義	621 35.18%	536 30.37%	423 23.97%	120 6.80%	65 3.68%	1,765 100.00%	3.87	1.085	3.86	0.458
	演習	185 44.90%	147 35.68%	62 15.05%	13 3.16%	5 1.21%	412 100.00%	4.20	0.893	4.20	0.402
	語学	823 50.03%	558 33.92%	208 12.64%	42 2.55%	14 0.85%	1,645 100.00%	4.30	0.847	4.29	0.338
	計	1,629 42.62%	1,241 32.47%	693 18.13%	175 4.58%	84 2.20%	3,822 100.00%	4.09	0.991	4.21	0.396
教職課程	講義	655 43.12%	539 35.48%	273 17.97%	37 2.44%	15 0.99%	1,519 100.00%	4.17	0.876	4.22	0.330
	演習	715 57.52%	392 31.54%	122 9.81%	6 0.48%	8 0.64%	1,243 100.00%	4.45	0.742	4.48	0.272
	計	1,370 49.60%	931 33.71%	395 14.30%	43 1.56%	23 0.83%	2,762 100.00%	4.30	0.830	4.37	0.323
学芸員	講義	326 47.04%	291 41.99%	66 9.52%	8 1.15%	2 0.29%	693 100.00%	4.34	0.722	4.34	0.262
	演習	41 56.16%	30 41.10%	2 2.74%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.53	0.555	4.54	0.157
	計	367 47.91%	321 41.91%	68 8.88%	8 1.04%	2 0.26%	766 100.00%	4.36	0.709	4.40	0.251
合計	30,340 43.55%	24,557 35.25%	11,219 16.10%	2,554 3.67%	1,003 1.44%	69,673 100.00%	4.16	0.921	4.26	0.412	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		16,809 38.04%	16,082 36.39%	8,436 19.09%	2,016 4.56%	850 1.92%	44,193 100.00%	4.04	0.962	4.08	0.420
演習		8,065 56.76%	4,499 31.67%	1,353 9.52%	225 1.58%	66 0.46%	14,208 100.00%	4.43	0.765	4.45	0.342
語学		5,466 48.49%	3,976 35.27%	1,430 12.69%	313 2.78%	87 0.77%	11,272 100.00%	4.28	0.845	4.29	0.361
合計		30,340 43.55%	24,557 35.25%	11,219 16.10%	2,554 3.67%	1,003 1.44%	69,673 100.00%	4.16	0.921	4.26	0.412

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		13,039 40.57%	11,076 34.46%	5,917 18.41%	1,501 4.67%	609 1.89%	32,142 100.00%	4.07	0.971
学部2年		7,982 43.94%	6,678 36.76%	2,756 15.17%	527 2.90%	224 1.23%	18,167 100.00%	4.19	0.884
学部3年		5,089 45.38%	4,259 37.98%	1,502 13.40%	289 2.58%	74 0.66%	11,213 100.00%	4.25	0.830
学部4年		2,247 56.51%	1,191 29.95%	432 10.87%	83 2.09%	23 0.58%	3,976 100.00%	4.40	0.807

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,244 54.16%	4,390 32.82%	1,363 10.19%	311 2.33%	67 0.50%	13,375 100.00%	4.38	0.799	4.39	0.375
26～50名		7,585 50.29%	5,214 34.57%	1,822 12.08%	353 2.34%	108 0.72%	15,082 100.00%	4.31	0.827	4.31	0.357
51～100名		6,230 39.74%	5,400 34.45%	2,841 18.12%	843 5.38%	362 2.31%	15,676 100.00%	4.04	1.000	4.03	0.440
101～200名		3,702 35.29%	3,811 36.33%	2,217 21.13%	527 5.02%	233 2.22%	10,490 100.00%	3.97	0.982	3.99	0.391
201名以上		5,579 37.07%	5,742 38.15%	2,976 19.77%	520 3.46%	233 1.55%	15,050 100.00%	4.06	0.918	4.04	0.335
合計		30,340 43.55%	24,557 35.25%	11,219 16.10%	2,554 3.67%	1,003 1.44%	69,673 100.00%	4.16	0.921	4.26	0.412

Q4 - 2 授業を進める速さについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース			科目ベース			
		5 速すぎる	4 遅すぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	491 85.24%	85 14.76%	576 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	234 72.22%	90 27.78%	324 100.00%	-	-	-	-
スガ健	演習	3 33.33%	6 66.67%	9 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	94 78.33%	26 21.67%	120 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	94 78.33%	26 21.67%	120 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	342 75.50%	111 24.50%	453 100.00%	-	-	-	-
	演習	17 50.00%	17 50.00%	34 100.00%	-	-	-	-
	計	359 73.72%	128 26.28%	487 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	440 80.59%	106 19.41%	546 100.00%	-	-	-	-
	演習	10 47.62%	11 52.38%	21 100.00%	-	-	-	-
	計	450 79.37%	117 20.63%	567 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	203 64.86%	110 35.14%	313 100.00%	-	-	-	-
	演習	68 47.55%	75 52.45%	143 100.00%	-	-	-	-
	計	271 59.43%	185 40.57%	456 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	386 91.25%	37 8.75%	423 100.00%	-	-	-	-
	演習	29 87.88%	4 12.12%	33 100.00%	-	-	-	-
	計	415 91.01%	41 8.99%	456 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	135 83.33%	27 16.67%	162 100.00%	-	-	-	-
	演習	15 100.00%	0 0.00%	15 100.00%	-	-	-	-
	語学	41 77.36%	12 22.64%	53 100.00%	-	-	-	-
	計	191 83.04%	39 16.96%	230 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	31 65.96%	16 34.04%	47 100.00%	-	-	-	-
	演習	9 64.29%	5 35.71%	14 100.00%	-	-	-	-
	計	40 65.57%	21 34.43%	61 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	8 80.00%	2 20.00%	10 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	8 80.00%	2 20.00%	10 100.00%	-	-	-	-
合計	2,556 77.55%	740 22.45%	3,296 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース			科目ベース			
	5 速すぎる	4 遅すぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	2,130 80.38%	520 19.62%	2,650 100.00%	-	-	-	-
演習	151 56.13%	118 43.87%	269 100.00%	-	-	-	-
語学	275 72.94%	102 27.06%	377 100.00%	-	-	-	-
合計	2,556 77.55%	740 22.45%	3,296 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 速すぎる	4 遅すぎる	計		
学部1年	1,613 82.30%	347 17.70%	1,960 100.00%	-	-
学部2年	507 73.80%	180 26.20%	687 100.00%	-	-
学部3年	226 65.89%	117 34.11%	343 100.00%	-	-
学部4年	58 60.42%	38 39.58%	96 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース			科目ベース			
	5 速すぎる	4 遅すぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	237 66.39%	120 33.61%	357 100.00%	-	-	-	-
26～50名	301 70.33%	127 29.67%	428 100.00%	-	-	-	-
51～100名	957 84.69%	173 15.31%	1,130 100.00%	-	-	-	-
101～200名	532 77.21%	157 22.79%	689 100.00%	-	-	-	-
201名以上	529 76.45%	163 23.55%	692 100.00%	-	-	-	-
合計	2,556 77.55%	740 22.45%	3,296 100.00%	-	-	-	-

Q5 教員は熱意を持って授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,503	1,301	772	164	82	3,822	4.04	0.979	4.10	0.424
		39.32%	34.04%	20.20%	4.29%	2.15%	100.00%				
外セ	語学	5,882	2,913	712	91	48	9,646	4.50	0.717	4.52	0.317
		60.98%	30.20%	7.38%	0.94%	0.50%	100.00%				
スポ健	演習	1,225	259	44	6	2	1,536	4.76	0.530	4.79	0.183
		79.75%	16.86%	2.86%	0.39%	0.13%	100.00%				
基礎教養	講義	3,465	1,932	483	65	47	5,992	4.45	0.754	4.46	0.352
		57.83%	32.24%	8.06%	1.08%	0.78%	100.00%				
	演習	10	8	2	0	0	20	4.40	0.681	4.40	-
計	3,475	1,940	485	65	47	6,012	4.45	0.754	4.45	0.350	
法学部	講義	5,018	3,220	1,044	146	89	9,517	4.36	0.809	4.37	0.357
		52.73%	33.83%	10.97%	1.53%	0.94%	100.00%				
	演習	1,139	352	85	8	1	1,585	4.65	0.610	4.67	0.269
計	6,157	3,572	1,129	154	90	11,102	4.40	0.790	4.49	0.355	
経済学部	講義	4,493	2,746	1,050	164	114	8,567	4.32	0.859	4.35	0.373
		52.45%	32.05%	12.26%	1.91%	1.33%	100.00%				
	演習	1,147	307	77	9	1	1,541	4.68	0.600	4.67	0.314
計	5,640	3,053	1,127	173	115	10,108	4.38	0.835	4.50	0.381	
文学部	講義	4,761	2,767	611	64	34	8,237	4.48	0.703	4.52	0.261
		57.80%	33.59%	7.42%	0.78%	0.41%	100.00%				
	演習	4,432	1,696	339	39	20	6,526	4.61	0.644	4.61	0.298
計	9,193	4,463	950	103	54	14,763	4.53	0.681	4.58	0.288	
理学部	講義	2,207	1,279	555	98	57	4,196	4.31	0.883	4.35	0.358
		52.60%	30.48%	13.23%	2.34%	1.36%	100.00%				
	演習	738	407	166	14	10	1,335	4.39	0.799	4.34	0.246
計	2,945	1,686	721	112	67	5,531	4.33	0.864	4.35	0.336	
国際社会科学部	講義	876	549	261	55	27	1,768	4.24	0.921	4.22	0.338
		49.55%	31.05%	14.76%	3.11%	1.53%	100.00%				
	演習	256	118	34	2	2	412	4.51	0.710	4.51	0.311
	計	1,132	667	295	57	29	2,185	4.38	0.816	4.37	0.325
教職課程	講義	790	520	175	21	13	1,519	4.35	0.803	4.42	0.297
		52.01%	34.23%	11.52%	1.38%	0.86%	100.00%				
	演習	833	309	78	18	12	1,250	4.55	0.758	4.58	0.285
計	1,623	829	253	39	25	2,769	4.44	0.789	4.51	0.299	
学芸員	講義	445	212	33	4	0	694	4.58	0.611	4.57	0.216
		64.12%	30.55%	4.76%	0.58%	0.00%	100.00%				
	演習	54	18	0	0	0	72	4.75	0.436	4.76	0.179
計	499	230	33	4	0	766	4.60	0.599	4.63	0.221	
合計		40,402	21,326	6,609	986	561	69,884	4.43	0.784	4.51	0.345

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		23,558	14,526	4,984	781	463	44,312	4.35	0.827	4.38	0.363
		53.16%	32.78%	11.25%	1.76%	1.04%	100.00%				
演習		9,834	3,474	825	96	48	14,277	4.61	0.659	4.63	0.295
		68.88%	24.33%	5.78%	0.67%	0.34%	100.00%				
語学		7,010	3,326	800	109	50	11,295	4.52	0.709	4.53	0.312
		62.06%	29.45%	7.08%	0.97%	0.44%	100.00%				
合計		40,402	21,326	6,609	986	561	69,884	4.43	0.784	4.51	0.345

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		17,947	9,962	3,477	527	308	32,221	4.39	0.816
		55.70%	30.92%	10.79%	1.64%	0.96%	100.00%		
学部2年		10,407	5,721	1,667	263	136	18,194	4.43	0.778
		57.20%	31.44%	9.16%	1.45%	0.75%	100.00%		
学部3年		6,690	3,540	853	112	57	11,252	4.48	0.722
		59.46%	31.46%	7.58%	1.00%	0.51%	100.00%		
学部4年		2,759	964	248	23	20	4,014	4.60	0.677
		68.73%	24.02%	6.18%	0.57%	0.50%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		9,191	3,361	749	102	29	13,432	4.61	0.649	4.61	0.311
		68.43%	25.02%	5.58%	0.76%	0.22%	100.00%				
26～50名		9,559	4,347	1,034	126	68	15,134	4.53	0.700	4.53	0.306
		63.16%	28.72%	6.83%	0.83%	0.45%	100.00%				
51～100名		8,283	5,022	1,883	329	196	15,713	4.33	0.858	4.33	0.367
		52.71%	31.96%	11.98%	2.09%	1.25%	100.00%				
101～200名		5,306	3,615	1,275	193	128	10,517	4.31	0.844	4.29	0.342
		50.45%	34.37%	12.12%	1.84%	1.22%	100.00%				
201名以上		8,063	4,981	1,668	236	140	15,088	4.36	0.811	4.31	0.328
		53.44%	33.01%	11.06%	1.56%	0.93%	100.00%				
合計		40,402	21,326	6,609	986	561	69,884	4.43	0.784	4.51	0.345

Q6 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,539 40.48%	1,306 34.35%	718 18.88%	170 4.47%	69 1.81%	3,802 100.00%	4.07	0.965	4.13	0.359
外セ	語学	5,336 55.56%	3,121 32.50%	932 9.70%	144 1.50%	71 0.74%	9,604 100.00%	4.41	0.784	4.43	0.320
スポ健	演習	1,174 76.98%	275 18.03%	63 4.13%	11 0.72%	2 0.13%	1,525 100.00%	4.71	0.590	4.75	0.226
基礎教養	講義	2,801 46.97%	2,109 35.37%	825 13.84%	161 2.70%	67 1.12%	5,963 100.00%	4.24	0.871	4.29	0.368
	演習	8 40.00%	8 40.00%	4 20.00%	0 0.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.20	0.768	4.20	-
	計	2,809 46.95%	2,117 35.38%	829 13.86%	161 2.69%	67 1.12%	5,983 100.00%	4.24	0.870	4.29	0.366
法学部	講義	4,299 45.35%	3,338 35.21%	1,429 15.07%	294 3.10%	120 1.27%	9,480 100.00%	4.20	0.895	4.26	0.330
	演習	1,062 67.39%	405 25.70%	98 6.22%	10 0.63%	1 0.06%	1,576 100.00%	4.60	0.641	4.61	0.248
	計	5,361 48.49%	3,743 33.85%	1,527 13.81%	304 2.75%	121 1.09%	11,056 100.00%	4.26	0.874	4.40	0.345
経済学部	講義	3,899 45.67%	2,824 33.08%	1,353 15.85%	279 3.27%	182 2.13%	8,537 100.00%	4.17	0.954	4.24	0.389
	演習	1,081 70.52%	360 23.48%	82 5.35%	8 0.52%	2 0.13%	1,533 100.00%	4.64	0.621	4.63	0.284
	計	4,980 49.45%	3,184 31.62%	1,435 14.25%	287 2.85%	184 1.83%	10,070 100.00%	4.24	0.926	4.42	0.395
文学部	講義	3,875 47.20%	3,012 36.69%	1,069 13.02%	189 2.30%	64 0.78%	8,209 100.00%	4.27	0.831	4.34	0.316
	演習	3,979 61.22%	1,990 30.62%	436 6.71%	64 0.98%	30 0.46%	6,499 100.00%	4.51	0.706	4.53	0.320
	計	7,854 53.40%	5,002 34.01%	1,505 10.23%	253 1.72%	94 0.64%	14,708 100.00%	4.38	0.787	4.45	0.331
理学部	講義	1,884 45.15%	1,347 32.28%	723 17.33%	153 3.67%	66 1.58%	4,173 100.00%	4.16	0.943	4.22	0.359
	演習	689 51.77%	430 32.31%	181 13.60%	17 1.28%	14 1.05%	1,331 100.00%	4.32	0.833	4.29	0.256
	計	2,573 46.75%	1,777 32.29%	904 16.42%	170 3.09%	80 1.45%	5,504 100.00%	4.20	0.920	4.24	0.339
国際社会科学部	講義	712 40.34%	525 29.75%	312 17.68%	139 7.88%	77 4.36%	1,765 100.00%	3.94	1.133	3.93	0.423
	演習	222 54.15%	134 32.68%	41 10.00%	10 2.44%	3 0.73%	410 100.00%	4.37	0.818	4.36	0.435
	語学	975 59.31%	496 30.17%	142 8.64%	27 1.64%	4 0.24%	1,644 100.00%	4.47	0.741	4.45	0.291
	計	1,909 49.99%	1,155 30.24%	495 12.96%	176 4.61%	84 2.20%	3,819 100.00%	4.21	0.983	4.36	0.387
教職課程	講義	629 41.49%	539 35.55%	266 17.55%	63 4.16%	19 1.25%	1,516 100.00%	4.12	0.925	4.20	0.342
	演習	733 58.97%	370 29.77%	110 8.85%	21 1.69%	9 0.72%	1,243 100.00%	4.45	0.783	4.48	0.305
	計	1,362 49.37%	909 32.95%	376 13.63%	84 3.04%	28 1.01%	2,759 100.00%	4.27	0.879	4.35	0.349
学芸員	講義	356 51.59%	263 38.12%	59 8.55%	11 1.59%	1 0.14%	690 100.00%	4.39	0.724	4.37	0.246
	演習	50 71.43%	20 28.57%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.71	0.455	4.72	0.136
	計	406 53.42%	283 37.24%	59 7.76%	11 1.45%	1 0.13%	760 100.00%	4.42	0.709	4.47	0.272
合計	35,303 50.73%	22,872 32.87%	8,843 12.71%	1,771 2.54%	801 1.15%	69,590 100.00%	4.29	0.868	4.41	0.358	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		19,994 45.30%	15,263 34.58%	6,754 15.30%	1,459 3.31%	665 1.51%	44,135 100.00%	4.19	0.916	4.25	0.356
演習		8,998 63.33%	3,992 28.10%	1,015 7.14%	141 0.99%	61 0.43%	14,207 100.00%	4.53	0.709	4.56	0.314
語学		6,311 56.11%	3,617 32.16%	1,074 9.55%	171 1.52%	75 0.67%	11,248 100.00%	4.42	0.778	4.43	0.316
合計		35,303 50.73%	22,872 32.87%	8,843 12.71%	1,771 2.54%	801 1.15%	69,590 100.00%	4.29	0.868	4.41	0.358

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		15,331 47.80%	10,616 33.10%	4,660 14.53%	1,008 3.14%	457 1.42%	32,072 100.00%	4.23	0.909
学部2年		9,186 50.68%	6,124 33.79%	2,234 12.33%	404 2.23%	176 0.97%	18,124 100.00%	4.31	0.843
学部3年		5,955 53.06%	3,835 34.17%	1,138 10.14%	208 1.85%	88 0.78%	11,224 100.00%	4.37	0.801
学部4年		2,514 62.94%	1,075 26.92%	325 8.14%	58 1.45%	22 0.55%	3,994 100.00%	4.50	0.752

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		8,402 62.81%	3,813 28.51%	955 7.14%	165 1.23%	41 0.31%	13,376 100.00%	4.52	0.709	4.54	0.325
26～50名		8,572 56.90%	4,794 31.82%	1,396 9.27%	208 1.38%	95 0.63%	15,065 100.00%	4.43	0.767	4.43	0.307
51～100名		7,338 46.92%	5,314 33.98%	2,327 14.88%	458 2.93%	203 1.30%	15,640 100.00%	4.22	0.896	4.22	0.338
101～200名		4,456 42.51%	3,649 34.81%	1,741 16.61%	422 4.03%	214 2.04%	10,482 100.00%	4.12	0.960	4.12	0.348
201名以上		6,535 43.49%	5,302 35.28%	2,424 16.13%	518 3.45%	248 1.65%	15,027 100.00%	4.16	0.927	4.12	0.327
合計		35,303 50.73%	22,872 32.87%	8,843 12.71%	1,771 2.54%	801 1.15%	69,590 100.00%	4.29	0.868	4.41	0.358

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,401 36.65%	1,150 30.08%	769 20.12%	319 8.34%	184 4.81%	3,823 100.00%	3.85	1.146	3.88	0.553
外セ	語学	5,252 54.52%	3,024 31.39%	996 10.34%	246 2.55%	115 1.19%	9,633 100.00%	4.35	0.856	4.37	0.411
スポ健	演習	1,173 76.47%	279 18.19%	68 4.43%	9 0.59%	5 0.33%	1,534 100.00%	4.70	0.611	4.74	0.248
基礎教養	講義	2,769 46.29%	2,124 35.51%	842 14.08%	154 2.57%	93 1.55%	5,982 100.00%	4.22	0.892	4.26	0.441
	演習	8 40.00%	9 45.00%	3 15.00%	0 0.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.25	0.716	4.25	-
	計	2,777 46.27%	2,133 35.54%	845 14.08%	154 2.57%	93 1.55%	6,002 100.00%	4.22	0.892	4.26	0.438
法学部	講義	4,038 42.51%	3,258 34.30%	1,578 16.61%	420 4.42%	205 2.16%	9,499 100.00%	4.11	0.975	4.13	0.444
	演習	1,036 65.65%	402 25.48%	111 7.03%	22 1.39%	7 0.44%	1,578 100.00%	4.54	0.725	4.56	0.369
	計	5,074 45.81%	3,660 33.04%	1,689 15.25%	442 3.99%	212 1.91%	11,077 100.00%	4.17	0.956	4.30	0.466
経済学部	講義	3,495 40.81%	2,826 33.00%	1,551 18.11%	400 4.67%	292 3.41%	8,564 100.00%	4.03	1.040	4.09	0.513
	演習	1,053 68.51%	357 23.23%	109 7.09%	14 0.91%	4 0.26%	1,537 100.00%	4.59	0.686	4.57	0.361
	計	4,548 45.03%	3,183 31.51%	1,660 16.43%	414 4.10%	296 2.93%	10,101 100.00%	4.12	1.014	4.31	0.509
文学部	講義	3,837 46.67%	2,864 34.84%	1,112 13.53%	307 3.73%	101 1.23%	8,221 100.00%	4.22	0.902	4.30	0.410
	演習	3,908 59.98%	1,972 30.27%	496 7.61%	97 1.49%	42 0.64%	6,515 100.00%	4.47	0.754	4.49	0.409
	計	7,745 52.56%	4,836 32.82%	1,608 10.91%	404 2.74%	143 0.97%	14,736 100.00%	4.33	0.849	4.42	0.419
理学部	講義	1,549 37.01%	1,300 31.06%	872 20.84%	286 6.83%	178 4.25%	4,185 100.00%	3.90	1.107	3.97	0.504
	演習	586 43.80%	470 35.13%	230 17.19%	31 2.32%	21 1.57%	1,338 100.00%	4.17	0.903	4.14	0.296
	計	2,135 38.66%	1,770 32.05%	1,102 19.95%	317 5.74%	199 3.60%	5,523 100.00%	3.96	1.067	4.01	0.471
国際社会科学部	講義	617 35.00%	468 26.55%	373 21.16%	180 10.21%	125 7.09%	1,763 100.00%	3.72	1.237	3.66	0.590
	演習	221 53.90%	113 27.56%	51 12.44%	18 4.39%	7 1.71%	410 100.00%	4.28	0.959	4.28	0.535
	語学	964 58.46%	456 27.65%	180 10.92%	35 2.12%	14 0.85%	1,649 100.00%	4.41	0.830	4.40	0.393
	計	1,802 47.15%	1,037 27.13%	604 15.80%	233 6.10%	146 3.82%	3,822 100.00%	4.08	1.101	4.27	0.516
教職課程	講義	657 43.25%	521 34.30%	242 15.93%	64 4.21%	35 2.30%	1,519 100.00%	4.12	0.977	4.19	0.434
	演習	718 57.49%	350 28.02%	130 10.41%	32 2.56%	19 1.52%	1,249 100.00%	4.37	0.883	4.42	0.400
	計	1,375 49.67%	871 31.47%	372 13.44%	96 3.47%	54 1.95%	2,768 100.00%	4.23	0.944	4.32	0.428
学芸員	講義	373 53.90%	257 37.14%	50 7.23%	11 1.59%	1 0.14%	692 100.00%	4.43	0.709	4.42	0.296
	演習	50 68.49%	22 30.14%	1 1.37%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.67	0.502	4.68	0.116
	計	423 55.29%	279 36.47%	51 6.67%	11 1.44%	1 0.13%	765 100.00%	4.45	0.696	4.50	0.280
合計	33,705 48.30%	22,222 31.84%	9,764 13.99%	2,645 3.79%	1,448 2.07%	69,784 100.00%	4.21	0.959	4.33	0.473	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	18,736 42.34%	14,768 33.38%	7,389 16.70%	2,141 4.84%	1,214 2.74%	44,248 100.00%	4.08	1.012	4.13	0.494	
演習	8,753 61.41%	3,974 27.88%	1,199 8.41%	223 1.56%	105 0.74%	14,254 100.00%	4.48	0.775	4.52	0.399	
語学	6,216 55.10%	3,480 30.85%	1,176 10.42%	281 2.49%	129 1.14%	11,282 100.00%	4.36	0.852	4.38	0.408	
合計	33,705 48.30%	22,222 31.84%	9,764 13.99%	2,645 3.79%	1,448 2.07%	69,784 100.00%	4.21	0.959	4.33	0.473	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	14,493 45.03%	10,247 31.84%	5,140 15.97%	1,481 4.60%	824 2.56%	32,185 100.00%	4.12	1.005	
学部2年	8,706 47.91%	5,963 32.82%	2,515 13.84%	630 3.47%	357 1.96%	18,171 100.00%	4.21	0.942	
学部3年	5,748 51.20%	3,775 33.62%	1,244 11.08%	311 2.77%	149 1.33%	11,227 100.00%	4.31	0.871	
学部4年	2,529 63.08%	1,032 25.74%	342 8.53%	76 1.90%	30 0.75%	4,009 100.00%	4.49	0.790	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	8,167 60.93%	3,717 27.73%	1,156 8.62%	272 2.03%	93 0.69%	13,405 100.00%	4.46	0.791	4.48	0.422	
26～50名	8,466 56.01%	4,606 30.47%	1,515 10.02%	361 2.39%	167 1.10%	15,115 100.00%	4.38	0.844	4.38	0.404	
51～100名	6,820 43.47%	5,071 32.32%	2,551 16.26%	779 4.96%	469 2.99%	15,690 100.00%	4.08	1.029	4.07	0.498	
101～200名	4,025 38.36%	3,483 33.19%	2,008 19.13%	635 6.05%	343 3.27%	10,494 100.00%	3.97	1.054	3.98	0.479	
201名以上	6,227 41.29%	5,345 35.44%	2,534 16.80%	598 3.97%	376 2.49%	15,080 100.00%	4.09	0.978	4.05	0.446	
合計	33,705 48.30%	22,222 31.84%	9,764 13.99%	2,645 3.79%	1,448 2.07%	69,784 100.00%	4.21	0.959	4.33	0.473	

Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,419 37.40%	1,210 31.89%	786 20.72%	262 6.91%	117 3.08%	3,794 100.00%	3.94	1.064	3.99	0.410
外セ	語学	5,339 55.72%	2,944 30.73%	969 10.11%	234 2.44%	95 0.99%	9,581 100.00%	4.38	0.838	4.39	0.395
スポ健	演習	1,204 79.16%	256 16.83%	54 3.55%	6 0.39%	1 0.07%	1,521 100.00%	4.75	0.540	4.78	0.195
基礎教養	講義	2,928 49.24%	2,104 35.39%	714 12.01%	135 2.27%	65 1.09%	5,946 100.00%	4.29	0.846	4.31	0.396
	演習	11 55.00%	7 35.00%	2 10.00%	0 0.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.45	0.686	4.45	-
	計	2,939 49.26%	2,111 35.38%	716 12.00%	135 2.26%	65 1.09%	5,966 100.00%	4.29	0.845	4.31	0.394
法学部	講義	4,041 42.82%	3,209 34.00%	1,460 15.47%	476 5.04%	251 2.66%	9,437 100.00%	4.09	1.008	4.13	0.448
	演習	1,018 64.76%	416 26.46%	103 6.55%	30 1.91%	5 0.32%	1,572 100.00%	4.53	0.730	4.55	0.367
	計	5,059 45.95%	3,625 32.93%	1,563 14.20%	506 4.60%	256 2.33%	11,009 100.00%	4.16	0.985	4.30	0.466
経済学部	講義	3,734 43.80%	2,867 33.63%	1,404 16.47%	328 3.85%	192 2.25%	8,525 100.00%	4.13	0.971	4.19	0.427
	演習	1,087 71.09%	327 21.39%	97 6.34%	16 1.05%	2 0.13%	1,529 100.00%	4.62	0.664	4.60	0.336
	計	4,821 47.95%	3,194 31.77%	1,501 14.93%	344 3.42%	194 1.93%	10,054 100.00%	4.20	0.948	4.38	0.438
文学部	講義	3,985 48.67%	2,884 35.23%	973 11.88%	266 3.25%	79 0.96%	8,187 100.00%	4.27	0.865	4.36	0.368
	演習	4,033 62.26%	1,946 30.04%	383 5.91%	79 1.22%	37 0.57%	6,478 100.00%	4.52	0.714	4.54	0.370
	計	8,018 54.67%	4,830 32.94%	1,356 9.25%	345 2.35%	116 0.79%	14,665 100.00%	4.38	0.811	4.47	0.378
理学部	講義	1,678 40.27%	1,346 32.30%	773 18.55%	242 5.81%	128 3.07%	4,167 100.00%	4.01	1.047	4.07	0.460
	演習	620 46.86%	447 33.79%	222 16.78%	21 1.59%	13 0.98%	1,323 100.00%	4.24	0.855	4.22	0.271
	計	2,298 41.86%	1,793 32.66%	995 18.12%	263 4.79%	141 2.57%	5,490 100.00%	4.06	1.009	4.10	0.429
国際社会科学部	講義	657 37.67%	460 26.38%	374 21.44%	168 9.63%	85 4.87%	1,744 100.00%	3.82	1.177	3.79	0.558
	演習	237 58.37%	110 27.09%	44 10.84%	11 2.71%	4 0.99%	406 100.00%	4.39	0.859	4.39	0.434
	語学	992 60.82%	419 25.69%	164 10.06%	38 2.33%	18 1.10%	1,631 100.00%	4.43	0.848	4.42	0.402
	計	1,886 49.88%	989 26.16%	582 15.39%	217 5.74%	107 2.83%	3,781 100.00%	4.15	1.057	4.33	0.480
教職課程	講義	663 43.79%	540 35.67%	216 14.27%	72 4.76%	23 1.52%	1,514 100.00%	4.15	0.940	4.24	0.359
	演習	754 60.66%	355 28.56%	104 8.37%	18 1.45%	12 0.97%	1,243 100.00%	4.47	0.787	4.49	0.304
	計	1,417 51.40%	895 32.46%	320 11.61%	90 3.26%	35 1.27%	2,757 100.00%	4.29	0.888	4.38	0.351
学芸員	講義	371 54.24%	249 36.40%	53 7.75%	10 1.46%	1 0.15%	684 100.00%	4.43	0.712	4.43	0.244
	演習	57 79.17%	14 19.44%	1 1.39%	0 0.00%	0 0.00%	72 100.00%	4.78	0.451	4.78	0.130
	計	428 56.61%	263 34.79%	54 7.14%	10 1.32%	1 0.13%	756 100.00%	4.46	0.698	4.53	0.270
合計	34,828 50.20%	22,110 31.87%	8,896 12.82%	2,412 3.48%	1,128 1.63%	69,374 100.00%	4.26	0.922	4.37	0.430	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		19,476 44.27%	14,869 33.79%	6,753 15.35%	1,959 4.45%	941 2.14%	43,998 100.00%	4.14	0.974	4.19	0.437
演習		9,021 63.69%	3,878 27.38%	1,010 7.13%	181 1.28%	74 0.52%	14,164 100.00%	4.52	0.729	4.56	0.358
語学		6,331 56.47%	3,363 29.99%	1,133 10.11%	272 2.43%	113 1.01%	11,212 100.00%	4.38	0.840	4.40	0.396
合計		34,828 50.20%	22,110 31.87%	8,896 12.82%	2,412 3.48%	1,128 1.63%	69,374 100.00%	4.26	0.922	4.37	0.430

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		15,010 46.94%	10,138 31.71%	4,781 14.95%	1,395 4.36%	652 2.04%	31,976 100.00%	4.17	0.973
学部2年		9,028 49.99%	5,975 33.08%	2,228 12.34%	566 3.13%	264 1.46%	18,061 100.00%	4.27	0.898
学部3年		5,925 52.97%	3,795 33.93%	1,093 9.77%	264 2.36%	108 0.97%	11,185 100.00%	4.36	0.826
学部4年		2,605 65.34%	981 24.60%	305 7.65%	65 1.63%	31 0.78%	3,987 100.00%	4.52	0.771

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		8,356 62.69%	3,621 27.16%	1,013 7.60%	259 1.94%	81 0.61%	13,330 100.00%	4.49	0.769	4.51	0.390
26～50名		8,640 57.50%	4,553 30.30%	1,407 9.36%	305 2.03%	122 0.81%	15,027 100.00%	4.42	0.806	4.42	0.375
51～100名		7,139 45.73%	5,097 32.65%	2,353 15.07%	694 4.45%	329 2.11%	15,612 100.00%	4.15	0.976	4.15	0.428
101～200名		4,279 41.02%	3,556 34.09%	1,807 17.32%	540 5.18%	249 2.39%	10,431 100.00%	4.06	1.001	4.06	0.440
201名以上		6,414 42.83%	5,283 35.28%	2,316 15.47%	614 4.10%	347 2.32%	14,974 100.00%	4.12	0.970	4.09	0.418
合計		34,828 50.20%	22,110 31.87%	8,896 12.82%	2,412 3.48%	1,128 1.63%	69,374 100.00%	4.26	0.922	4.37	0.430

Q8 - 2 教員の話し方について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りに	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	199 55.90%	28 7.87%	129 36.24%	356 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	102 33.55%	15 4.93%	187 61.51%	304 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	1 16.67%	3 50.00%	2 33.33%	6 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	41 21.81%	13 6.91%	134 71.28%	188 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	41 21.81%	13 6.91%	134 71.28%	188 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	227 34.34%	32 4.84%	402 60.82%	661 100.00%	-	-	-	-
	演習	5 15.63%	1 3.13%	26 81.25%	32 100.00%	-	-	-	-
	計	232 33.48%	33 4.76%	428 61.76%	693 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	156 33.05%	24 5.08%	292 61.86%	472 100.00%	-	-	-	-
	演習	6 33.33%	1 5.56%	11 61.11%	18 100.00%	-	-	-	-
	計	162 33.06%	25 5.10%	303 61.84%	490 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	91 29.17%	34 10.90%	187 59.94%	312 100.00%	-	-	-	-
	演習	33 31.73%	4 3.85%	67 64.42%	104 100.00%	-	-	-	-
	計	124 29.81%	38 9.13%	254 61.06%	416 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	122 34.96%	8 2.29%	219 62.75%	349 100.00%	-	-	-	-
	演習	9 28.13%	1 3.13%	22 68.75%	32 100.00%	-	-	-	-
	計	131 34.38%	9 2.36%	241 63.25%	381 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	59 27.44%	5 2.33%	151 70.23%	215 100.00%	-	-	-	-
	演習	2 16.67%	2 16.67%	8 66.67%	12 100.00%	-	-	-	-
	語学	23 42.59%	5 9.26%	26 48.15%	54 100.00%	-	-	-	-
	計	84 29.89%	12 4.27%	185 65.84%	281 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	19 21.35%	10 11.24%	60 67.42%	89 100.00%	-	-	-	-
	演習	1 3.85%	2 7.69%	23 88.46%	26 100.00%	-	-	-	-
	計	20 17.39%	12 10.43%	83 72.17%	115 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	2 20.00%	0 0.00%	8 80.00%	10 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2 20.00%	0 0.00%	8 80.00%	10 100.00%	-	-	-	-
合計	1,098 33.89%	188 5.80%	1,954 60.31%	3,240 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース			
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りに	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	916 34.54%	154 5.81%	1,582 59.65%	2,652 100.00%	-	-	-	-
演習	57 24.78%	14 6.09%	159 69.13%	230 100.00%	-	-	-	-
語学	125 34.92%	20 5.59%	213 59.50%	358 100.00%	-	-	-	-
合計	1,098 33.89%	188 5.80%	1,954 60.31%	3,240 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りに	計		
学部1年	684 36.36%	103 5.48%	1,094 58.16%	1,881 100.00%	-	-
学部2年	219 29.05%	46 6.10%	489 64.85%	754 100.00%	-	-
学部3年	106 31.18%	23 6.76%	211 62.06%	340 100.00%	-	-
学部4年	31 36.90%	4 4.76%	49 58.33%	84 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース			
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りに	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	100 32.47%	17 5.52%	191 62.01%	308 100.00%	-	-	-	-
26～50名	142 35.68%	26 6.53%	230 57.79%	398 100.00%	-	-	-	-
51～100名	366 38.24%	62 6.48%	529 55.28%	957 100.00%	-	-	-	-
101～200名	199 28.39%	51 7.28%	451 64.34%	701 100.00%	-	-	-	-
201名以上	291 33.22%	32 3.65%	553 63.13%	876 100.00%	-	-	-	-
合計	1,098 33.89%	188 5.80%	1,954 60.31%	3,240 100.00%	-	-	-	-

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,088 28.50%	1,119 29.32%	1,111 29.11%	306 8.02%	193 5.06%	3,817 100.00%	3.68	1.118	3.78	0.439
外セ	語学	3,992 41.46%	3,344 34.73%	1,828 18.98%	290 3.01%	175 1.82%	9,629 100.00%	4.11	0.936	4.13	0.388
スボ健	演習	942 61.53%	380 24.82%	177 11.56%	24 1.57%	8 0.52%	1,531 100.00%	4.45	0.798	4.52	0.331
基礎教養	講義	2,796 46.76%	2,075 34.70%	845 14.13%	162 2.71%	101 1.69%	5,979 100.00%	4.22	0.906	4.25	0.362
	演習	9 45.00%	7 35.00%	3 15.00%	1 5.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.20	0.894	4.20	-
	計	2,805 46.76%	2,082 34.71%	848 14.14%	163 2.72%	101 1.68%	5,999 100.00%	4.22	0.906	4.25	0.360
法学部	講義	3,695 38.93%	3,332 35.10%	1,882 19.83%	392 4.13%	191 2.01%	9,492 100.00%	4.05	0.965	4.11	0.400
	演習	1,010 63.84%	418 26.42%	135 8.53%	16 1.01%	3 0.19%	1,582 100.00%	4.53	0.710	4.56	0.333
	計	4,705 42.49%	3,750 33.86%	2,017 18.21%	408 3.68%	194 1.75%	11,074 100.00%	4.12	0.948	4.29	0.433
経済学部	講義	3,073 35.95%	2,750 32.18%	1,969 23.04%	444 5.19%	311 3.64%	8,547 100.00%	3.92	1.057	3.99	0.504
	演習	1,016 66.32%	376 24.54%	120 7.83%	15 0.98%	5 0.33%	1,532 100.00%	4.56	0.708	4.55	0.353
	計	4,089 40.57%	3,126 31.01%	2,089 20.73%	459 4.55%	316 3.14%	10,079 100.00%	4.01	1.038	4.25	0.520
文学部	講義	3,797 46.11%	2,855 34.67%	1,253 15.22%	225 2.73%	104 1.26%	8,234 100.00%	4.22	0.889	4.32	0.363
	演習	3,743 57.50%	2,069 31.78%	560 8.60%	89 1.37%	49 0.75%	6,510 100.00%	4.44	0.769	4.45	0.374
	計	7,540 51.14%	4,924 33.40%	1,813 12.30%	314 2.13%	153 1.04%	14,744 100.00%	4.31	0.845	4.40	0.375
理学部	講義	1,475 35.28%	1,347 32.22%	1,015 24.28%	200 4.78%	144 3.44%	4,181 100.00%	3.91	1.044	3.99	0.406
	演習	633 47.52%	404 30.33%	235 17.64%	29 2.18%	31 2.33%	1,332 100.00%	4.19	0.956	4.12	0.376
	計	2,108 38.24%	1,751 31.76%	1,250 22.67%	229 4.15%	175 3.17%	5,513 100.00%	3.98	1.030	4.02	0.403
国際社会科学部	講義	619 35.07%	482 27.31%	427 24.19%	129 7.31%	108 6.12%	1,765 100.00%	3.78	1.178	3.73	0.456
	演習	175 42.48%	131 31.80%	74 17.96%	22 5.34%	10 2.43%	412 100.00%	4.07	1.017	4.07	0.418
	語学	702 42.70%	529 32.18%	304 18.49%	65 3.95%	44 2.68%	1,644 100.00%	4.08	1.002	4.08	0.372
	計	1,496 39.15%	1,142 29.89%	805 21.07%	216 5.65%	162 4.24%	3,821 100.00%	3.94	1.098	4.03	0.409
教職課程	講義	642 42.29%	494 32.54%	292 19.24%	52 3.43%	38 2.50%	1,518 100.00%	4.09	0.985	4.16	0.324
	演習	713 57.13%	377 30.21%	107 8.57%	27 2.16%	24 1.92%	1,248 100.00%	4.38	0.877	4.42	0.320
	計	1,355 48.99%	871 31.49%	399 14.43%	79 2.86%	62 2.24%	2,766 100.00%	4.22	0.949	4.31	0.346
学芸員	講義	385 55.56%	239 34.49%	60 8.66%	9 1.30%	0 0.00%	693 100.00%	4.44	0.706	4.45	0.223
	演習	49 67.12%	22 30.14%	2 2.74%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.64	0.537	4.66	0.240
	計	434 56.66%	261 34.07%	62 8.09%	9 1.17%	0 0.00%	766 100.00%	4.46	0.694	4.51	0.244
合計	30,554 43.81%	22,750 32.62%	12,399 17.78%	2,497 3.58%	1,539 2.21%	69,739 100.00%	4.12	0.971	4.23	0.439	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		17,570 39.73%	14,693 33.22%	8,854 20.02%	1,919 4.34%	1,190 2.69%	44,226 100.00%	4.03	1.006	4.10	0.445
演習		8,290 58.22%	4,184 29.38%	1,413 9.92%	223 1.57%	130 0.91%	14,240 100.00%	4.42	0.804	4.46	0.376
語学		4,694 41.64%	3,873 34.36%	2,132 18.91%	355 3.15%	219 1.94%	11,273 100.00%	4.11	0.946	4.12	0.386
合計		30,554 43.81%	22,750 32.62%	12,399 17.78%	2,497 3.58%	1,539 2.21%	69,739 100.00%	4.12	0.971	4.23	0.439

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		12,614 39.22%	10,432 32.43%	6,780 21.08%	1,418 4.41%	922 2.87%	32,166 100.00%	4.01	1.018
学部2年		7,844 43.18%	6,205 34.16%	3,181 17.51%	594 3.27%	340 1.87%	18,164 100.00%	4.14	0.942
学部3年		5,648 50.30%	3,746 33.36%	1,428 12.72%	275 2.45%	131 1.17%	11,228 100.00%	4.29	0.865
学部4年		2,415 60.33%	1,104 27.58%	368 9.19%	76 1.90%	40 1.00%	4,003 100.00%	4.44	0.815

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		7,183 53.61%	4,150 30.97%	1,627 12.14%	299 2.23%	140 1.04%	13,399 100.00%	4.34	0.852	4.37	0.417
26～50名		7,352 48.66%	4,883 32.32%	2,290 15.16%	372 2.46%	213 1.41%	15,110 100.00%	4.24	0.897	4.25	0.388
51～100名		6,486 41.36%	5,026 32.05%	3,072 19.59%	652 4.16%	447 2.85%	15,683 100.00%	4.05	1.015	4.05	0.433
101～200名		3,907 37.26%	3,449 32.89%	2,274 21.68%	511 4.87%	346 3.30%	10,487 100.00%	3.96	1.039	3.95	0.421
201名以上		5,626 37.36%	5,242 34.81%	3,136 20.82%	663 4.40%	393 2.61%	15,060 100.00%	4.00	0.996	3.95	0.407
合計		30,554 43.81%	22,750 32.62%	12,399 17.78%	2,497 3.58%	1,539 2.21%	69,739 100.00%	4.12	0.971	4.23	0.439

Q10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	0				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
計セ	講義	897 24.26%	709 19.18%	361 9.76%	29 0.78%	20 0.54%	1,681 45.47%	3,697 100.00%	4.21	0.853	4.22	0.285
外セ	語学	2,798 30.56%	1,728 18.87%	579 6.32%	49 0.54%	33 0.36%	3,969 43.35%	9,156 100.00%	4.39	0.771	4.39	0.363
スボ健	演習	566 39.36%	178 12.38%	54 3.76%	7 0.49%	1 0.07%	632 43.95%	1,438 100.00%	4.61	0.662	4.66	0.310
基礎教養	講義	1,689 29.69%	1,377 24.20%	459 8.07%	54 0.95%	26 0.46%	2,084 36.63%	5,689 100.00%	4.29	0.798	4.30	0.290
	演習	5 29.41%	4 23.53%	1 5.88%	0 0.00%	0 0.00%	7 41.18%	17 100.00%	4.40	0.699	4.40	-
	計	1,694 29.69%	1,381 24.20%	460 8.06%	54 0.95%	26 0.46%	2,091 36.65%	5,706 100.00%	4.29	0.798	4.30	0.288
法学部	講義	2,559 28.50%	2,312 25.75%	938 10.45%	105 1.17%	52 0.58%	3,014 33.55%	8,980 100.00%	4.21	0.831	4.23	0.273
	演習	712 48.53%	304 20.72%	74 5.04%	7 0.48%	4 0.27%	366 24.95%	1,467 100.00%	4.56	0.681	4.55	0.338
	計	3,271 31.31%	2,616 25.04%	1,012 9.69%	112 1.07%	56 0.54%	3,380 32.35%	10,447 100.00%	4.26	0.819	4.35	0.338
経済学部	講義	2,592 32.21%	2,012 25.01%	892 11.09%	68 0.85%	69 0.86%	2,413 29.99%	8,046 100.00%	4.24	0.848	4.27	0.334
	演習	743 52.25%	254 17.86%	80 5.63%	13 0.91%	9 0.63%	323 22.71%	1,422 100.00%	4.56	0.750	4.56	0.347
	計	3,335 35.22%	2,266 23.93%	972 10.27%	81 0.86%	78 0.82%	2,736 28.90%	9,468 100.00%	4.29	0.841	4.40	0.368
文学部	講義	2,109 26.80%	1,690 21.48%	583 7.41%	98 1.25%	47 0.60%	3,341 42.46%	7,868 100.00%	4.26	0.840	4.33	0.336
	演習	2,183 35.43%	1,212 19.67%	239 3.88%	32 0.52%	20 0.32%	2,476 40.18%	6,162 100.00%	4.49	0.705	4.49	0.329
	計	4,292 30.59%	2,902 20.68%	822 5.86%	130 0.93%	67 0.48%	5,817 41.46%	14,030 100.00%	4.37	0.791	4.43	0.340
理学部	講義	921 22.75%	617 15.24%	354 8.74%	30 0.74%	17 0.42%	2,110 52.11%	4,049 100.00%	4.24	0.862	4.23	0.354
	演習	377 29.41%	187 14.59%	84 6.55%	3 0.23%	2 0.16%	629 49.06%	1,282 100.00%	4.43	0.753	4.37	0.281
	計	1,298 24.35%	804 15.08%	438 8.22%	33 0.62%	19 0.36%	2,739 51.38%	5,331 100.00%	4.28	0.840	4.27	0.343
国際社会科学部	講義	382 22.96%	277 16.65%	184 11.06%	31 1.86%	10 0.60%	780 46.88%	1,664 100.00%	4.12	0.932	4.12	0.313
	演習	97 25.66%	60 15.87%	18 4.76%	5 1.32%	1 0.26%	197 52.12%	378 100.00%	4.36	0.816	4.35	0.441
	語学	444 28.79%	280 18.16%	107 6.94%	9 0.58%	3 0.19%	699 45.33%	1,542 100.00%	4.37	0.771	4.36	0.325
	計	479 23.46%	337 16.50%	202 9.89%	36 1.76%	11 0.54%	977 47.85%	2,042 100.00%	4.16	0.862	4.32	0.359
教職課程	講義	382 26.22%	298 20.45%	124 8.51%	15 1.03%	8 0.55%	630 43.24%	1,457 100.00%	4.25	0.843	4.30	0.251
	演習	406 34.18%	231 19.44%	70 5.89%	7 0.59%	15 1.26%	459 38.64%	1,188 100.00%	4.38	0.856	4.40	0.345
	計	788 29.79%	529 20.00%	194 7.33%	22 0.83%	23 0.87%	1,089 41.17%	2,645 100.00%	4.31	0.852	4.36	0.309
学芸員	講義	206 31.16%	200 30.26%	40 6.05%	5 0.76%	0 0.00%	210 31.77%	661 100.00%	4.35	0.686	4.33	0.205
	演習	29 42.65%	23 33.82%	3 4.41%	0 0.00%	0 0.00%	13 19.12%	68 100.00%	4.47	0.604	4.53	0.269
	計	235 32.24%	223 30.59%	43 5.90%	5 0.68%	0 0.00%	223 30.59%	729 100.00%	4.36	0.679	4.39	0.240
合計		20,097 30.34%	13,953 21.07%	5,244 7.92%	567 0.86%	337 0.51%	26,033 39.31%	66,231 100.00%	4.32	0.814	4.38	0.351

【形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	0				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
講義		11,737 27.87%	9,492 22.54%	3,935 9.34%	435 1.03%	249 0.59%	16,263 38.62%	42,111 100.00%	4.24	0.839	4.27	0.314
演習		5,118 38.13%	2,453 18.28%	623 4.64%	74 0.55%	52 0.39%	5,102 38.01%	13,422 100.00%	4.50	0.727	4.51	0.341
語学		3,242 30.30%	2,008 18.77%	686 6.41%	58 0.54%	36 0.34%	4,668 43.63%	10,698 100.00%	4.39	0.771	4.38	0.357
合計		20,097 30.34%	13,953 21.07%	5,244 7.92%	567 0.86%	337 0.51%	26,033 39.31%	66,231 100.00%	4.32	0.814	4.38	0.351

【学部生・学年別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1	0			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった			
学部1年		8,173 26.60%	6,158 20.04%	2,564 8.34%	239 0.78%	138 0.45%	13,453 43.79%	30,725 100.00%	4.27	0.821
学部2年		5,164 29.91%	3,469 20.10%	1,329 7.70%	174 1.01%	106 0.61%	7,021 40.67%	17,263 100.00%	4.31	0.836
学部3年		3,684 34.97%	2,641 25.07%	804 7.63%	86 0.82%	48 0.46%	3,271 31.05%	10,534 100.00%	4.35	0.775
学部4年		1,642 43.66%	837 22.25%	244 6.49%	29 0.77%	12 0.32%	997 26.51%	3,761 100.00%	4.47	0.736

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	0				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
25名以下		4,661 36.91%	2,433 19.27%	634 5.02%	77 0.61%	32 0.25%	4,790 37.93%	12,627 100.00%	4.48	0.721	4.48	0.357
26～50名		4,693 32.69%	2,843 19.80%	879 6.12%	82 0.57%	55 0.38%	5,804 40.43%	14,356 100.00%	4.41	0.763	4.39	0.330
51～100名		4,099 27.30%	2,850 18.98%	1,235 8.22%	149 0.99%	73 0.49%	6,610 44.02%	15,016 100.00%	4.28	0.840	4.27	0.307
101～200名		2,626 26.30%	2,283 22.87%	1,025 10.27%	137 1.37%	99 0.99%	3,813 38.19%	9,983 100.00%	4.17	0.893	4.17	0.331
201名以上		4,018 28.20%	3,544 24.87%	1,471 10.32%	122 0.86%	78 0.55%	5,016 35.20%	14,249 100.00%	4.22	0.821	4.20	0.257
合計		20,097 30.34%	13,953 21.07%	5,244 7.92%	567 0.86%	337 0.51%	26,033 39.31%	66,231 100.00%	4.32	0.814	4.38	0.351

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	部門別・ 形態別 平均				部門別・ 形態別 標準偏差	
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	1,290 33.76%	1,268 33.19%	881 23.06%	243 6.36%	139 3.64%	3,821 100.00%	3.87	1.065	3.95	0.479	
外セ	語学	5,095 52.96%	3,199 33.25%	1,011 10.51%	211 2.19%	104 1.08%	9,620 100.00%	4.35	0.836	4.36	0.399	
スボ健	演習	1,173 76.77%	278 18.19%	61 3.99%	11 0.72%	5 0.33%	1,528 100.00%	4.70	0.609	4.75	0.253	
基礎教養	講義	2,810 46.94%	2,184 36.48%	772 12.89%	142 2.37%	79 1.32%	5,987 100.00%	4.25	0.865	4.29	0.400	
	演習	11 55.00%	6 30.00%	2 10.00%	1 5.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.35	0.875	4.35	-	
	計	2,821 46.96%	2,190 36.46%	774 12.88%	143 2.38%	79 1.32%	6,007 100.00%	4.25	0.865	4.29	0.398	
法学部	講義	4,106 43.30%	3,454 36.43%	1,498 15.80%	284 3.00%	140 1.48%	9,482 100.00%	4.17	0.903	4.21	0.398	
	演習	1,070 67.81%	375 23.76%	112 7.10%	17 1.08%	4 0.25%	1,578 100.00%	4.58	0.694	4.60	0.356	
	計	5,176 46.80%	3,829 34.62%	1,610 14.56%	301 2.72%	144 1.30%	11,060 100.00%	4.23	0.887	4.36	0.428	
経済学部	講義	3,480 40.78%	2,953 34.61%	1,574 18.45%	307 3.60%	219 2.57%	8,533 100.00%	4.07	0.981	4.13	0.470	
	演習	1,098 71.53%	336 21.89%	85 5.54%	13 0.85%	3 0.20%	1,535 100.00%	4.64	0.645	4.63	0.340	
	計	4,578 45.47%	3,289 32.67%	1,659 16.48%	320 3.18%	222 2.21%	10,068 100.00%	4.16	0.959	4.36	0.482	
文学部	講義	3,918 47.55%	2,980 36.17%	1,066 12.94%	183 2.22%	92 1.12%	8,239 100.00%	4.27	0.850	4.36	0.382	
	演習	3,913 60.22%	2,014 30.99%	467 7.19%	59 0.91%	45 0.69%	6,498 100.00%	4.49	0.729	4.51	0.387	
	計	7,831 53.14%	4,994 33.89%	1,533 10.40%	242 1.64%	137 0.93%	14,737 100.00%	4.37	0.806	4.45	0.392	
理学部	講義	1,598 38.19%	1,453 34.73%	828 19.79%	206 4.92%	99 2.37%	4,184 100.00%	4.01	0.995	4.08	0.428	
	演習	659 49.33%	447 33.46%	186 13.92%	20 1.50%	24 1.80%	1,336 100.00%	4.27	0.884	4.23	0.326	
	計	2,257 40.89%	1,900 34.42%	1,014 18.37%	226 4.09%	123 2.23%	5,520 100.00%	4.08	0.975	4.11	0.411	
国際社会科学部	講義	606 34.39%	509 28.89%	420 23.84%	130 7.38%	97 5.51%	1,762 100.00%	3.79	1.154	3.74	0.542	
	演習	203 49.27%	130 31.55%	52 12.62%	21 5.10%	6 1.46%	412 100.00%	4.22	0.953	4.23	0.517	
	語学	878 53.31%	529 32.12%	174 10.56%	45 2.73%	21 1.28%	1,647 100.00%	4.33	0.867	4.32	0.380	
	計	1,687 44.15%	1,168 30.57%	646 16.91%	196 5.13%	124 3.25%	3,821 100.00%	4.07	1.050	4.22	0.475	
教職課程	講義	618 40.66%	573 37.70%	255 16.78%	54 3.55%	20 1.32%	1,520 100.00%	4.13	0.905	4.22	0.366	
	演習	736 58.97%	368 29.49%	97 7.77%	29 2.32%	18 1.44%	1,248 100.00%	4.42	0.844	4.47	0.345	
	計	1,354 48.92%	941 34.00%	352 12.72%	83 3.00%	38 1.37%	2,768 100.00%	4.26	0.890	4.36	0.373	
学芸員	講義	346 50.00%	284 41.04%	51 7.37%	10 1.45%	1 0.14%	692 100.00%	4.39	0.701	4.38	0.261	
	演習	51 69.86%	21 28.77%	1 1.37%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.68	0.497	4.70	0.160	
	計	397 51.90%	305 39.87%	52 6.80%	10 1.31%	1 0.13%	765 100.00%	4.42	0.689	4.48	0.274	
合計	33,659 48.28%	23,361 33.51%	9,593 13.76%	1,986 2.85%	1,116 1.60%	69,715 100.00%	4.24	0.906	4.35	0.438		

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		18,772 42.45%	15,658 35.41%	7,345 16.61%	1,559 3.53%	886 2.00%	44,220 100.00%	4.13	0.946	4.19	0.442
演習		8,914 62.65%	3,975 27.94%	1,063 7.47%	171 1.20%	105 0.74%	14,228 100.00%	4.51	0.748	4.54	0.381
語学		5,973 53.01%	3,728 33.09%	1,185 10.52%	256 2.27%	125 1.11%	11,267 100.00%	4.35	0.840	4.36	0.396
合計		33,659 48.28%	23,361 33.51%	9,593 13.76%	1,986 2.85%	1,116 1.60%	69,715 100.00%	4.24	0.906	4.35	0.438

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		14,281 44.39%	10,851 33.72%	5,239 16.28%	1,154 3.59%	650 2.02%	32,175 100.00%	4.15	0.954
学部2年		8,744 48.16%	6,280 34.59%	2,410 13.27%	459 2.53%	262 1.44%	18,155 100.00%	4.26	0.883
学部3年		5,901 52.65%	3,886 34.67%	1,120 9.99%	195 1.74%	107 0.95%	11,209 100.00%	4.36	0.806
学部4年		2,563 64.16%	1,066 26.68%	284 7.11%	50 1.25%	32 0.80%	3,995 100.00%	4.52	0.750

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		8,109 60.59%	3,895 29.10%	1,068 7.98%	216 1.61%	96 0.72%	13,384 100.00%	4.47	0.769	4.49	0.405
26～50名		8,411 55.69%	4,820 31.91%	1,469 9.73%	264 1.75%	140 0.93%	15,104 100.00%	4.40	0.806	4.40	0.373
51～100名		6,821 43.48%	5,406 34.46%	2,542 16.20%	586 3.74%	332 2.12%	15,687 100.00%	4.13	0.958	4.13	0.438
101～200名		4,096 39.04%	3,691 35.18%	1,971 18.79%	457 4.36%	277 2.64%	10,492 100.00%	4.04	0.994	4.04	0.446
201名以上		6,222 41.35%	5,549 36.88%	2,543 16.90%	463 3.08%	271 1.80%	15,048 100.00%	4.13	0.923	4.08	0.409
合計		33,659 48.28%	23,361 33.51%	9,593 13.76%	1,986 2.85%	1,116 1.60%	69,715 100.00%	4.24	0.906	4.35	0.438

Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,557 43.08%	1,202 33.26%	631 17.46%	171 4.73%	53 1.47%	3,614 100.00%	4.12	0.956	4.15	0.382
外セ	語学	4,634 49.37%	3,191 34.00%	1,302 13.87%	191 2.03%	68 0.72%	9,386 100.00%	4.29	0.833	4.31	0.363
基礎教養	講義	2,623 45.59%	2,087 36.28%	778 13.52%	198 3.44%	67 1.16%	5,753 100.00%	4.22	0.887	4.26	0.359
法学部	講義	3,610 39.36%	3,149 34.33%	1,692 18.45%	501 5.46%	220 2.40%	9,172 100.00%	4.03	1.006	4.05	0.403
経済学部	講義	3,499 43.35%	2,735 33.88%	1,253 15.52%	355 4.40%	230 2.85%	8,072 100.00%	4.10	1.005	4.17	0.457
文学部	講義	3,630 45.30%	2,880 35.94%	1,138 14.20%	289 3.61%	77 0.96%	8,014 100.00%	4.21	0.884	4.27	0.362
理学部	講義	1,654 40.74%	1,238 30.49%	725 17.86%	279 6.87%	164 4.04%	4,060 100.00%	3.97	1.106	4.05	0.491
国際社会科学部	講義	771 44.34%	490 28.18%	302 17.37%	101 5.81%	75 4.31%	1,739 100.00%	4.02	1.112	4.00	0.467
国際社会科学部	語学	912 56.58%	513 31.82%	157 9.74%	24 1.49%	6 0.37%	1,612 100.00%	4.43	0.758	4.42	0.318
教職課程	講義	603 40.63%	467 31.47%	286 19.27%	88 5.93%	40 2.70%	1,484 100.00%	4.01	1.039	4.07	0.530
学芸員	講義	319 46.57%	274 40.00%	76 11.09%	16 2.34%	0 0.00%	685 100.00%	4.31	0.759	4.29	0.289
合計		23,812 44.43%	18,226 34.01%	8,340 15.56%	2,213 4.13%	1,000 1.87%	53,591 100.00%	4.15	0.954	4.22	0.408

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思 う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義		18,266 42.88%	14,522 34.09%	6,881 16.16%	1,998 4.69%	926 2.17%	42,593 100.00%	4.11	0.981	4.16	0.423
語学		5,546 50.43%	3,704 33.68%	1,459 13.27%	215 1.95%	74 0.67%	10,998 100.00%	4.31	0.824	4.33	0.358
合計		23,812 44.43%	18,226 34.01%	8,340 15.56%	2,213 4.13%	1,000 1.87%	53,591 100.00%	4.15	0.954	4.22	0.408

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		11,791 43.71%	9,139 33.88%	4,409 16.34%	1,117 4.14%	519 1.92%	26,975 100.00%	4.13	0.960
学部2年		6,215 43.76%	4,777 33.63%	2,273 16.00%	646 4.55%	292 2.06%	14,203 100.00%	4.12	0.974
学部3年		3,170 44.05%	2,670 37.10%	987 13.72%	264 3.67%	105 1.46%	7,196 100.00%	4.19	0.906
学部4年		1,159 52.85%	713 32.51%	225 10.26%	69 3.15%	27 1.23%	2,193 100.00%	4.33	0.873

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		3,421 53.70%	2,079 32.64%	728 11.43%	109 1.71%	33 0.52%	6,370 100.00%	4.37	0.792	4.38	0.351
26～50名		4,677 48.41%	3,290 34.05%	1,383 14.31%	243 2.52%	69 0.71%	9,662 100.00%	4.27	0.848	4.26	0.366
51～100名		5,695 44.15%	4,302 33.35%	2,017 15.64%	624 4.84%	261 2.02%	12,899 100.00%	4.13	0.978	4.11	0.420
101～200名		4,036 39.84%	3,490 34.45%	1,760 17.37%	543 5.36%	302 2.98%	10,131 100.00%	4.03	1.027	4.03	0.446
201名以上		5,983 41.18%	5,065 34.86%	2,452 16.88%	694 4.78%	335 2.31%	14,529 100.00%	4.08	0.986	4.04	0.411
合計		23,812 44.43%	18,226 34.01%	8,340 15.56%	2,213 4.13%	1,000 1.87%	53,591 100.00%	4.15	0.954	4.22	0.408

Q13 教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,548 43.17%	1,180 32.91%	671 18.71%	131 3.65%	56 1.56%	3,586 100.00%	4.12	0.943	4.14	0.348
外セ	語学	4,989 53.30%	3,117 33.30%	1,019 10.89%	161 1.72%	74 0.79%	9,360 100.00%	4.37	0.805	4.38	0.343
基礎教養	講義	2,673 46.65%	2,056 35.88%	800 13.96%	143 2.50%	58 1.01%	5,730 100.00%	4.25	0.858	4.29	0.338
法学部	講義	3,775 41.40%	3,290 36.08%	1,580 17.33%	308 3.38%	166 1.82%	9,119 100.00%	4.12	0.934	4.16	0.347
経済学部	講義	3,480 43.40%	2,751 34.31%	1,336 16.66%	251 3.13%	200 2.49%	8,018 100.00%	4.13	0.966	4.18	0.417
文学部	講義	3,866 48.49%	2,844 35.67%	1,041 13.06%	160 2.01%	62 0.78%	7,973 100.00%	4.29	0.825	4.34	0.317
理学部	講義	1,690 41.78%	1,293 31.97%	770 19.04%	185 4.57%	107 2.65%	4,045 100.00%	4.06	1.013	4.09	0.431
国際社会科学部	講義	709 41.03%	479 27.72%	386 22.34%	91 5.27%	63 3.65%	1,728 100.00%	3.97	1.083	3.95	0.381
国際社会科学部	語学	884 54.98%	483 30.04%	207 12.87%	26 1.62%	8 0.50%	1,608 100.00%	4.37	0.805	4.37	0.289
教職課程	講義	661 44.81%	503 34.10%	251 17.02%	41 2.78%	19 1.29%	1,475 100.00%	4.18	0.901	4.26	0.359
学芸員	講義	324 47.79%	248 36.58%	90 13.27%	15 2.21%	1 0.15%	678 100.00%	4.30	0.791	4.32	0.303
合計		24,599 46.13%	18,244 34.22%	8,151 15.29%	1,512 2.84%	814 1.53%	53,320 100.00%	4.21	0.907	4.28	0.369

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思 う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義		18,726 44.22%	14,644 34.58%	6,925 16.35%	1,325 3.13%	732 1.73%	42,352 100.00%	4.16	0.927	4.21	0.375
語学		5,873 53.55%	3,600 32.82%	1,226 11.18%	187 1.70%	82 0.75%	10,968 100.00%	4.37	0.805	4.38	0.335
合計		24,599 46.13%	18,244 34.22%	8,151 15.29%	1,512 2.84%	814 1.53%	53,320 100.00%	4.21	0.907	4.28	0.369

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		12,033 44.84%	9,171 34.17%	4,389 16.35%	800 2.98%	444 1.65%	26,837 100.00%	4.18	0.922
学部2年		6,616 46.78%	4,871 34.44%	2,061 14.57%	390 2.76%	204 1.44%	14,142 100.00%	4.22	0.897
学部3年		3,272 45.65%	2,619 36.54%	990 13.81%	192 2.68%	95 1.33%	7,168 100.00%	4.23	0.878
学部4年		1,199 55.03%	656 30.11%	257 11.79%	46 2.11%	21 0.96%	2,179 100.00%	4.36	0.842

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		3,503 55.10%	2,027 31.89%	679 10.68%	112 1.76%	36 0.57%	6,357 100.00%	4.39	0.791	4.40	0.339
26～50名		5,039 52.40%	3,221 33.50%	1,132 11.77%	157 1.63%	67 0.70%	9,616 100.00%	4.35	0.803	4.35	0.334
51～100名		5,846 45.58%	4,268 33.27%	2,073 16.16%	431 3.36%	209 1.63%	12,827 100.00%	4.18	0.931	4.17	0.368
101～200名		4,185 41.51%	3,473 34.45%	1,847 18.32%	363 3.60%	213 2.11%	10,081 100.00%	4.10	0.961	4.09	0.364
201名以上		6,026 41.73%	5,255 36.39%	2,420 16.76%	449 3.11%	289 2.00%	14,439 100.00%	4.13	0.934	4.10	0.364
合計		24,599 46.13%	18,244 34.22%	8,151 15.29%	1,512 2.84%	814 1.53%	53,320 100.00%	4.21	0.907	4.28	0.369

Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
外セ	語学	4,913 53.48%	2,852 31.04%	1,163 12.66%	168 1.83%	91 0.99%	9,187 100.00%	4.34	0.841	4.36	0.380
スポ健	演習	694 62.64%	244 22.02%	150 13.54%	13 1.17%	7 0.63%	1,108 100.00%	4.45	0.815	4.53	0.383
基礎教養	演習	5 25.00%	9 45.00%	6 30.00%	0 0.00%	0 0.00%	20 100.00%	3.95	0.759	3.95	-
法学部	演習	1,023 68.29%	365 24.37%	95 6.34%	12 0.80%	3 0.20%	1,498 100.00%	4.60	0.663	4.60	0.291
経済学部	演習	1,013 70.49%	329 22.89%	71 4.94%	19 1.32%	5 0.35%	1,437 100.00%	4.62	0.675	4.60	0.364
文学部	演習	3,786 59.88%	1,891 29.91%	534 8.45%	81 1.28%	31 0.49%	6,323 100.00%	4.47	0.744	4.50	0.354
理学部	演習	554 43.32%	450 35.18%	232 18.14%	31 2.42%	12 0.94%	1,279 100.00%	4.18	0.875	4.19	0.237
国際社会科学部	演習	254 64.80%	110 28.06%	22 5.61%	5 1.28%	1 0.26%	392 100.00%	4.56	0.683	4.56	0.284
国際社会科学部	語学	949 60.41%	449 28.58%	148 9.42%	20 1.27%	5 0.32%	1,571 100.00%	4.47	0.743	4.47	0.296
教職課程	演習	678 58.96%	346 30.09%	96 8.35%	19 1.65%	11 0.96%	1,150 100.00%	4.44	0.793	4.48	0.323
学芸員	演習	40 57.97%	23 33.33%	6 8.70%	0 0.00%	0 0.00%	69 100.00%	4.49	0.656	4.53	0.348
合計		13,909 57.87%	7,068 29.41%	2,523 10.50%	368 1.53%	166 0.69%	24,034 100.00%	4.42	0.793	4.46	0.367

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース			
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
演習	8,047 60.61%	3,767 28.37%	1,212 9.13%	180 1.36%	70 0.53%	13,276 100.00%	4.47	0.759	4.52	0.353
語学	5,862 54.49%	3,301 30.68%	1,311 12.19%	188 1.75%	96 0.89%	10,758 100.00%	4.36	0.829	4.38	0.371
合計	13,909 57.87%	7,068 29.41%	2,523 10.50%	368 1.53%	166 0.69%	24,034 100.00%	4.42	0.793	4.46	0.367

【学部生・学年別】

	回答者ベース						学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	計		
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	5,881 55.75%	3,103 29.42%	1,272 12.06%	211 2.00%	82 0.78%	10,549 100.00%	4.37	0.830
学部2年	3,528 56.20%	1,939 30.89%	685 10.91%	83 1.32%	43 0.68%	6,278 100.00%	4.41	0.788
学部3年	2,406 60.59%	1,203 30.29%	303 7.63%	39 0.98%	20 0.50%	3,971 100.00%	4.49	0.723
学部4年	1,227 69.20%	419 23.63%	104 5.87%	13 0.73%	10 0.56%	1,773 100.00%	4.60	0.685

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース			
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	6,863 62.89%	2,971 27.22%	895 8.20%	133 1.22%	51 0.47%	10,913 100.00%	4.51	0.737	4.52	0.356
26～50名	6,002 54.75%	3,347 30.53%	1,326 12.10%	192 1.75%	95 0.87%	10,962 100.00%	4.37	0.826	4.37	0.368
51～100名	1,044 48.36%	750 34.74%	302 13.99%	43 1.99%	20 0.93%	2,159 100.00%	4.28	0.843	4.25	0.298
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	13,909 57.87%	7,068 29.41%	2,523 10.50%	368 1.53%	166 0.69%	24,034 100.00%	4.42	0.793	4.46	0.367

Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
外セ	語学	4,822 52.68%	2,945 32.17%	1,138 12.43%	163 1.78%	86 0.94%	9,154 100.00%	4.34	0.832	4.36	0.363
スポ健	演習	773 70.08%	212 19.22%	104 9.43%	10 0.91%	4 0.36%	1,103 100.00%	4.58	0.729	4.66	0.313
基礎教養	演習	6 30.00%	10 50.00%	4 20.00%	0 0.00%	0 0.00%	20 100.00%	4.10	0.718	4.10	-
法学部	演習	959 64.23%	367 24.58%	135 9.04%	28 1.88%	4 0.27%	1,493 100.00%	4.51	0.759	4.52	0.382
経済学部	演習	972 67.78%	338 23.57%	100 6.97%	21 1.46%	3 0.21%	1,434 100.00%	4.57	0.705	4.57	0.358
文学部	演習	3,760 59.63%	1,931 30.62%	497 7.88%	86 1.36%	32 0.51%	6,306 100.00%	4.47	0.741	4.50	0.339
理学部	演習	674 52.90%	418 32.81%	145 11.38%	18 1.41%	19 1.49%	1,274 100.00%	4.34	0.847	4.33	0.230
国際社会科学部	演習	231 59.38%	120 30.85%	24 6.17%	12 3.08%	2 0.51%	389 100.00%	4.46	0.787	4.45	0.453
国際社会科学部	語学	930 59.31%	469 29.91%	145 9.25%	21 1.34%	3 0.19%	1,568 100.00%	4.47	0.733	4.46	0.279
教職課程	演習	627 54.66%	353 30.78%	129 11.25%	21 1.83%	17 1.48%	1,147 100.00%	4.35	0.861	4.42	0.351
学芸員	演習	48 70.59%	20 29.41%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	68 100.00%	4.71	0.459	4.73	0.242
合計		13,802 57.61%	7,183 29.98%	2,421 10.11%	380 1.59%	170 0.71%	23,956 100.00%	4.42	0.791	4.46	0.360

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
演習	8,050 60.83%	3,769 28.48%	1,138 8.60%	196 1.48%	81 0.61%	13,234 100.00%	4.47	0.764	4.52	0.352
語学	5,752 53.65%	3,414 31.84%	1,283 11.97%	184 1.72%	89 0.83%	10,722 100.00%	4.36	0.820	4.38	0.353
合計	13,802 57.61%	7,183 29.98%	2,421 10.11%	380 1.59%	170 0.71%	23,956 100.00%	4.42	0.791	4.46	0.360

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	5,735 54.54%	3,258 30.98%	1,241 11.80%	199 1.89%	82 0.78%	10,515 100.00%	4.37	0.822
学部2年	3,510 56.10%	1,938 30.97%	667 10.66%	89 1.42%	53 0.85%	6,257 100.00%	4.40	0.800
学部3年	2,414 60.90%	1,207 30.45%	275 6.94%	50 1.26%	18 0.45%	3,964 100.00%	4.50	0.720
学部4年	1,251 70.76%	391 22.12%	99 5.60%	21 1.19%	6 0.34%	1,768 100.00%	4.62	0.679

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	6,733 61.89%	3,024 27.80%	911 8.37%	160 1.47%	51 0.47%	10,879 100.00%	4.49	0.750	4.51	0.359
26～50名	5,988 54.81%	3,425 31.35%	1,234 11.30%	187 1.71%	91 0.83%	10,925 100.00%	4.38	0.814	4.39	0.351
51～100名	1,081 50.23%	734 34.11%	276 12.83%	33 1.53%	28 1.30%	2,152 100.00%	4.30	0.847	4.29	0.289
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	13,802 57.61%	7,183 29.98%	2,421 10.11%	380 1.59%	170 0.71%	23,956 100.00%	4.42	0.791	4.46	0.360

Q16 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
外セ	語学	4,524 49.53%	3,003 32.88%	1,288 14.10%	218 2.39%	100 1.09%	9,133 100.00%	4.27	0.869	4.30	0.370
国際社会科学部	語学	773 51.81%	449 30.09%	200 13.40%	52 3.49%	18 1.21%	1,492 100.00%	4.28	0.907	4.27	0.401
合計		5,297 49.85%	3,452 32.49%	1,488 14.00%	270 2.54%	118 1.11%	10,625 100.00%	4.27	0.875	4.29	0.375

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	3,199 48.86%	2,136 32.63%	964 14.72%	173 2.64%	75 1.15%	6,547 100.00%	4.25	0.883	
学部2年	1,370 48.26%	983 34.62%	388 13.67%	67 2.36%	31 1.09%	2,839 100.00%	4.27	0.861	
学部3年	260 57.52%	144 31.86%	37 8.19%	8 1.77%	3 0.66%	452 100.00%	4.44	0.773	
学部4年	143 66.51%	47 21.86%	20 9.30%	4 1.86%	1 0.47%	215 100.00%	4.52	0.778	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	2,339 52.92%	1,401 31.70%	536 12.13%	108 2.44%	36 0.81%	4,420 100.00%	4.33	0.842	4.34	0.374	
26～50名	2,934 47.60%	2,037 33.05%	949 15.40%	162 2.63%	82 1.33%	6,164 100.00%	4.23	0.896	4.23	0.367	
51～100名	24 58.54%	14 34.15%	3 7.32%	0 0.00%	0 0.00%	41 100.00%	4.51	0.637	4.51	-	
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
合計	5,297 49.85%	3,452 32.49%	1,488 14.00%	270 2.54%	118 1.11%	10,625 100.00%	4.27	0.875	4.29	0.375	

Q17 教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
外セ	語学	4,816 52.89%	2,979 32.72%	1,030 11.31%	185 2.03%	95 1.04%	9,105 100.00%	4.34	0.836	4.36	0.359
国際社会科学部	語学	801 53.83%	472 31.72%	161 10.82%	46 3.09%	8 0.54%	1,488 100.00%	4.35	0.834	4.34	0.341
合計		5,617 53.03%	3,451 32.58%	1,191 11.24%	231 2.18%	103 0.97%	10,593 100.00%	4.35	0.836	4.36	0.356

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	3,393 51.95%	2,145 32.84%	776 11.88%	143 2.19%	74 1.13%	6,531 100.00%	4.32	0.851	
学部2年	1,503 53.07%	951 33.58%	296 10.45%	64 2.26%	18 0.64%	2,832 100.00%	4.36	0.808	
学部3年	264 58.67%	144 32.00%	35 7.78%	5 1.11%	2 0.44%	450 100.00%	4.47	0.725	
学部4年	140 65.12%	51 23.72%	15 6.98%	6 2.79%	3 1.40%	215 100.00%	4.48	0.853	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	2,435 55.23%	1,400 31.75%	443 10.05%	102 2.31%	29 0.66%	4,409 100.00%	4.39	0.810	4.39	0.355	
26～50名	3,157 51.39%	2,039 33.19%	745 12.13%	128 2.08%	74 1.20%	6,143 100.00%	4.31	0.853	4.31	0.354	
51～100名	25 60.98%	12 29.27%	3 7.32%	1 2.44%	0 0.00%	41 100.00%	4.49	0.746	4.49	-	
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
合計	5,617 53.03%	3,451 32.58%	1,191 11.24%	231 2.18%	103 0.97%	10,593 100.00%	4.35	0.836	4.36	0.356	

Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
基礎教養	講義	1,697 53.60%	1,068 33.73%	310 9.79%	54 1.71%	37 1.17%	3,166 100.00%	4.37	0.819	4.39	0.425
	演習	5 35.71%	7 50.00%	1 7.14%	1 7.14%	0 0.00%	14 100.00%	4.14	0.864	4.14	-
合計		1,702 53.52%	1,075 33.81%	311 9.78%	55 1.73%	37 1.16%	3,180 100.00%	4.37	0.820	4.38	0.424

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		1,049 51.27%	698 34.12%	226 11.05%	43 2.10%	30 1.47%	2,046 100.00%	4.32	0.860
学部2年		310 57.09%	190 34.99%	32 5.89%	7 1.29%	4 0.74%	543 100.00%	4.46	0.730
学部3年		159 54.83%	96 33.10%	31 10.69%	1 0.34%	3 1.03%	290 100.00%	4.40	0.775
学部4年		100 64.94%	44 28.57%	9 5.84%	1 0.65%	0 0.00%	154 100.00%	4.58	0.634

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		78 77.23%	20 19.80%	3 2.97%	0 0.00%	0 0.00%	101 100.00%	4.74	0.503	4.70	0.138
26～50名		118 57.84%	54 26.47%	28 13.73%	4 1.96%	0 0.00%	204 100.00%	4.40	0.797	4.43	0.449
51～100名		271 52.32%	164 31.66%	50 9.65%	16 3.09%	17 3.28%	518 100.00%	4.27	0.985	4.31	0.573
101～200名		321 45.86%	251 35.86%	95 13.57%	21 3.00%	12 1.71%	700 100.00%	4.21	0.908	4.25	0.293
201名以上		914 55.16%	586 35.37%	135 8.15%	14 0.84%	8 0.48%	1,657 100.00%	4.44	0.720	4.39	0.260
合計		1,702 53.52%	1,075 33.81%	311 9.78%	55 1.73%	37 1.16%	3,180 100.00%	4.37	0.820	4.38	0.424

Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
基礎教養	講義	780 49.30%	550 34.77%	189 11.95%	41 2.59%	22 1.39%	1,582 100.00%	4.28	0.874	4.33	0.464
	演習	2 40.00%	2 40.00%	1 20.00%	0 0.00%	0 0.00%	5 100.00%	4.20	0.837	4.20	-
合計		782 49.28%	552 34.78%	190 11.97%	41 2.58%	22 1.39%	1,587 100.00%	4.28	0.873	4.33	0.462

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		492 47.13%	364 34.87%	141 13.51%	30 2.87%	17 1.63%	1,044 100.00%	4.23	0.903
学部2年		137 51.89%	100 37.88%	20 7.58%	4 1.52%	3 1.14%	264 100.00%	4.38	0.785
学部3年		70 51.09%	47 34.31%	15 10.95%	3 2.19%	2 1.46%	137 100.00%	4.31	0.864
学部4年		46 65.71%	17 24.29%	5 7.14%	2 2.86%	0 0.00%	70 100.00%	4.53	0.756

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	31 77.50%	7 17.50%	2 5.00%	0 0.00%	0 0.00%	40 100.00%	4.73	0.554	4.66	0.424
26～50名	38 49.35%	26 33.77%	10 12.99%	3 3.90%	0 0.00%	77 100.00%	4.29	0.841	4.40	0.559
51～100名	141 49.30%	90 31.47%	32 11.19%	14 4.90%	9 3.15%	286 100.00%	4.19	1.026	4.30	0.528
101～200名	157 43.13%	125 34.34%	61 16.76%	13 3.57%	8 2.20%	364 100.00%	4.13	0.962	4.21	0.347
201名以上	415 50.61%	304 37.07%	85 10.37%	11 1.34%	5 0.61%	820 100.00%	4.36	0.769	4.29	0.349
合計	782 49.28%	552 34.78%	190 11.97%	41 2.58%	22 1.39%	1,587 100.00%	4.28	0.873	4.33	0.462

Q20 私は授業に遅刻したことがない

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
経済学部	講義	2,233 41.95%	1,204 22.62%	791 14.86%	541 10.16%	554 10.41%	5,323 100.00%	3.76	1.361	3.71	0.517
	演習	536 61.61%	140 16.09%	100 11.49%	48 5.52%	46 5.29%	870 100.00%	4.23	1.173	4.16	0.580
合計		2,769 44.71%	1,344 21.70%	891 14.39%	589 9.51%	600 9.69%	6,193 100.00%	3.82	1.346	3.91	0.591

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		1,117 50.59%	455 20.61%	293 13.27%	159 7.20%	184 8.33%	2,208 100.00%	3.98	1.295
学部2年		723 44.27%	345 21.13%	214 13.10%	165 10.10%	186 11.39%	1,633 100.00%	3.77	1.397
学部3年		628 38.79%	404 24.95%	257 15.87%	179 11.06%	151 9.33%	1,619 100.00%	3.73	1.325
学部4年		158 35.91%	93 21.14%	79 17.95%	58 13.18%	52 11.82%	440 100.00%	3.56	1.393

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		543 60.67%	156 17.43%	101 11.28%	49 5.47%	46 5.14%	895 100.00%	4.23	1.162	4.15	0.607
26～50名		81 39.13%	45 21.74%	36 17.39%	20 9.66%	25 12.08%	207 100.00%	3.66	1.391	3.63	0.572
51～100名		309 42.92%	174 24.17%	83 11.53%	74 10.28%	80 11.11%	720 100.00%	3.78	1.381	3.64	0.510
101～200名		354 41.11%	196 22.76%	117 13.59%	104 12.08%	90 10.45%	861 100.00%	3.72	1.377	3.72	0.524
201名以上		1,482 42.22%	773 22.02%	554 15.78%	342 9.74%	359 10.23%	3,510 100.00%	3.76	1.354	3.69	0.388
合計		2,769 44.71%	1,344 21.70%	891 14.39%	589 9.51%	600 9.69%	6,193 100.00%	3.82	1.346	3.91	0.591

Q21 高校で履修した数学科目

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	-	数・数・ 数を履修した 数	数・数 のみ履修した	数 のみ 履修した	いずれにも該当し ない(例:留学生)						
経済学部	講義	-	697 13.35%	3,890 74.49%	410 7.85%	225 4.31%	5,222 100.00%	-	-	-	-
	演習	-	118 14.15%	598 71.70%	85 10.19%	33 3.96%	834 100.00%	-	-	-	-
合計		-	815 13.46%	4,488 74.11%	495 8.17%	258 4.26%	6,056 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
	-	数・数・ 数を履修した 数	数・数 のみ履修した	数 のみ 履修した	いずれにも該当し ない(例:留学生)				
学部1年	-	296 13.52%	1,701 77.71%	144 6.58%	48 2.19%	2,189 100.00%	-	-	
学部2年	-	199 12.49%	1,202 75.46%	139 8.73%	53 3.33%	1,593 100.00%	-	-	
学部3年	-	209 13.29%	1,158 73.62%	129 8.20%	77 4.90%	1,573 100.00%	-	-	
学部4年	-	65 15.51%	237 56.56%	60 14.32%	57 13.60%	419 100.00%	-	-	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均
	-	数・数・ 数を履修した 数	数・数 のみ履修した	数 のみ 履修した	いずれにも該当し ない(例:留学生)					
25名以下	-	122 14.22%	600 69.93%	86 10.02%	50 5.83%	858 100.00%	-	-	-	-
26～50名	-	31 15.50%	136 68.00%	18 9.00%	15 7.50%	200 100.00%	-	-	-	-
51～100名	-	86 12.29%	509 72.71%	55 7.86%	50 7.14%	700 100.00%	-	-	-	-
101～200名	-	122 14.32%	645 75.70%	54 6.34%	31 3.64%	852 100.00%	-	-	-	-
201名以上	-	454 13.17%	2,598 75.39%	282 8.18%	112 3.25%	3,446 100.00%	-	-	-	-
合計	-	815 13.46%	4,488 74.11%	495 8.17%	258 4.26%	6,056 100.00%	-	-	-	-

Q22 運動量は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
スポ健	演習	852 63.68%	372 27.80%	84 6.28%	23 1.72%	7 0.52%	1,338 100.00%	4.52	0.736	4.59	0.314
合計		852 63.68%	372 27.80%	84 6.28%	23 1.72%	7 0.52%	1,338 100.00%	4.52	0.736	4.59	0.314

【学部生・学年別】

		回答者ベース					科目ベース		
		5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
学部1年		472 57.70%	266 32.52%	60 7.33%	17 2.08%	3 0.37%	818 100.00%	4.45	0.751
学部2年		146 73.00%	36 18.00%	13 6.50%	3 1.50%	2 1.00%	200 100.00%	4.61	0.763
学部3年		130 76.92%	35 20.71%	3 1.78%	1 0.59%	0 0.00%	169 100.00%	4.74	0.515
学部4年		46 75.41%	13 21.31%	1 1.64%	0 0.00%	1 1.64%	61 100.00%	4.69	0.672

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下		367 74.59%	104 21.14%	15 3.05%	3 0.61%	3 0.61%	492 100.00%	4.68	0.622	4.73	0.270
26～50名		485 57.33%	268 31.68%	69 8.16%	20 2.36%	4 0.47%	846 100.00%	4.43	0.779	4.44	0.290
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		852 63.68%	372 27.80%	84 6.28%	23 1.72%	7 0.52%	1,338 100.00%	4.52	0.736	4.59	0.314

Q23 体力・健康状態が改善された

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	701 52.31%	385 28.73%	225 16.79%	23 1.72%	6 0.45%	1,340 100.00%	4.31	0.840	4.38	0.413
合計		701 52.31%	385 28.73%	225 16.79%	23 1.72%	6 0.45%	1,340 100.00%	4.31	0.840	4.38	0.413

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	359 43.78%	264 32.20%	176 21.46%	17 2.07%	4 0.49%	820 100.00%	4.17	0.867
学部2年	117 59.39%	49 24.87%	25 12.69%	4 2.03%	2 1.02%	197 100.00%	4.40	0.860
学部3年	129 75.44%	32 18.71%	10 5.85%	0 0.00%	0 0.00%	171 100.00%	4.70	0.575
学部4年	45 73.77%	12 19.67%	4 6.56%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.67	0.598

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	305 61.99%	116 23.58%	63 12.80%	5 1.02%	3 0.61%	492 100.00%	4.45	0.800	4.53	0.398
26～50名	396 46.70%	269 31.72%	162 19.10%	18 2.12%	3 0.35%	848 100.00%	4.22	0.852	4.22	0.369
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	701 52.31%	385 28.73%	225 16.79%	23 1.72%	6 0.45%	1,340 100.00%	4.31	0.840	4.38	0.413

Q24 運動技術が向上した

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	746 55.55%	358 26.66%	203 15.12%	23 1.71%	13 0.97%	1,343 100.00%	4.34	0.864	4.42	0.406
合計		746 55.55%	358 26.66%	203 15.12%	23 1.71%	13 0.97%	1,343 100.00%	4.34	0.864	4.42	0.406

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		390 47.56%	250 30.49%	156 19.02%	15 1.83%	9 1.10%	820 100.00%	4.22	0.890
学部2年		127 63.50%	42 21.00%	24 12.00%	4 2.00%	3 1.50%	200 100.00%	4.43	0.888
学部3年		126 73.68%	35 20.47%	8 4.68%	2 1.17%	0 0.00%	171 100.00%	4.67	0.623
学部4年		50 81.97%	7 11.48%	4 6.56%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.75	0.567

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		323 65.52%	118 23.94%	42 8.52%	7 1.42%	3 0.61%	493 100.00%	4.52	0.761	4.59	0.389
26～50名		423 49.76%	240 28.24%	161 18.94%	16 1.88%	10 1.18%	850 100.00%	4.24	0.902	4.23	0.339
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		746 55.55%	358 26.66%	203 15.12%	23 1.71%	13 0.97%	1,343 100.00%	4.34	0.864	4.42	0.406

Q25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	840 62.69%	310 23.13%	156 11.64%	23 1.72%	11 0.82%	1,340 100.00%	4.45	0.826	4.51	0.363
合計		840 62.69%	310 23.13%	156 11.64%	23 1.72%	11 0.82%	1,340 100.00%	4.45	0.826	4.51	0.363

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	468 57.07%	218 26.59%	112 13.66%	15 1.83%	7 0.85%	820 100.00%	4.37	0.848
学部2年	132 67.01%	35 17.77%	21 10.66%	5 2.54%	4 2.03%	197 100.00%	4.45	0.928
学部3年	129 75.44%	32 18.71%	9 5.26%	1 0.58%	0 0.00%	171 100.00%	4.69	0.597
学部4年	47 77.05%	10 16.39%	4 6.56%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.70	0.587

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	353 71.89%	90 18.33%	39 7.94%	6 1.22%	3 0.61%	491 100.00%	4.60	0.740	4.64	0.332
26～50名	487 57.36%	220 25.91%	117 13.78%	17 2.00%	8 0.94%	849 100.00%	4.37	0.861	4.35	0.338
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	840 62.69%	310 23.13%	156 11.64%	23 1.72%	11 0.82%	1,340 100.00%	4.45	0.826	4.51	0.363

Q26 身体や運動に対する関心が高まった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	777 57.90%	360 26.83%	171 12.74%	24 1.79%	10 0.75%	1,342 100.00%	4.39	0.831	4.46	0.385
合計		777 57.90%	360 26.83%	171 12.74%	24 1.79%	10 0.75%	1,342 100.00%	4.39	0.831	4.46	0.385

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	421 51.40%	246 30.04%	132 16.12%	17 2.08%	3 0.37%	819 100.00%	4.30	0.838
学部2年	123 61.50%	47 23.50%	20 10.00%	4 2.00%	6 3.00%	200 100.00%	4.39	0.960
学部3年	128 74.85%	38 22.22%	4 2.34%	1 0.58%	0 0.00%	171 100.00%	4.71	0.537
学部4年	49 80.33%	10 16.39%	2 3.28%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.77	0.496

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	327 66.33%	113 22.92%	43 8.72%	7 1.42%	3 0.61%	493 100.00%	4.53	0.764	4.59	0.376
26～50名	450 53.00%	247 29.09%	128 15.08%	17 2.00%	7 0.82%	849 100.00%	4.31	0.859	4.31	0.341
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	777 57.90%	360 26.83%	171 12.74%	24 1.79%	10 0.75%	1,342 100.00%	4.39	0.831	4.46	0.385

Q27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	860 64.23%	342 25.54%	117 8.74%	11 0.82%	9 0.67%	1,339 100.00%	4.52	0.745	4.55	0.325
合計		860 64.23%	342 25.54%	117 8.74%	11 0.82%	9 0.67%	1,339 100.00%	4.52	0.745	4.55	0.325

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		482 58.92%	239 29.22%	85 10.39%	8 0.98%	4 0.49%	818 100.00%	4.45	0.757
学部2年		134 67.68%	44 22.22%	14 7.07%	2 1.01%	4 2.02%	198 100.00%	4.53	0.835
学部3年		138 80.70%	27 15.79%	6 3.51%	0 0.00%	0 0.00%	171 100.00%	4.77	0.498
学部4年		48 78.69%	11 18.03%	2 3.28%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.75	0.505

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		345 70.12%	106 21.54%	33 6.71%	6 1.22%	2 0.41%	492 100.00%	4.60	0.705	4.63	0.330
26～50名		515 60.80%	236 27.86%	84 9.92%	5 0.59%	7 0.83%	847 100.00%	4.47	0.763	4.46	0.297
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		860 64.23%	342 25.54%	117 8.74%	11 0.82%	9 0.67%	1,339 100.00%	4.52	0.745	4.55	0.325

Q28 自分の生活習慣を見直す機会となった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	757 56.41%	336 25.04%	211 15.72%	23 1.71%	15 1.12%	1,342 100.00%	4.34	0.881	4.39	0.406
合計		757 56.41%	336 25.04%	211 15.72%	23 1.71%	15 1.12%	1,342 100.00%	4.34	0.881	4.39	0.406

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	411 50.18%	229 27.96%	153 18.68%	21 2.56%	5 0.61%	819 100.00%	4.25	0.887
学部2年	119 59.50%	44 22.00%	29 14.50%	1 0.50%	7 3.50%	200 100.00%	4.34	0.984
学部3年	124 72.51%	37 21.64%	9 5.26%	0 0.00%	1 0.58%	171 100.00%	4.65	0.635
学部4年	45 73.77%	10 16.39%	6 9.84%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.64	0.659

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	308 62.47%	110 22.31%	64 12.98%	6 1.22%	5 1.01%	493 100.00%	4.44	0.838	4.49	0.408
26～50名	449 52.89%	226 26.62%	147 17.31%	17 2.00%	10 1.18%	849 100.00%	4.28	0.900	4.27	0.372
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	757 56.41%	336 25.04%	211 15.72%	23 1.71%	15 1.12%	1,342 100.00%	4.34	0.881	4.39	0.406

Q29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	1,007 75.26%	267 19.96%	57 4.26%	3 0.22%	4 0.30%	1,338 100.00%	4.70	0.588	4.73	0.243
合計		1,007 75.26%	267 19.96%	57 4.26%	3 0.22%	4 0.30%	1,338 100.00%	4.70	0.588	4.73	0.243

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		588 71.79%	186 22.71%	41 5.01%	2 0.24%	2 0.24%	819 100.00%	4.66	0.609
学部2年		155 78.28%	32 16.16%	8 4.04%	1 0.51%	2 1.01%	198 100.00%	4.70	0.666
学部3年		143 84.12%	24 14.12%	3 1.76%	0 0.00%	0 0.00%	170 100.00%	4.82	0.426
学部4年		52 85.25%	9 14.75%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.85	0.358

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		407 82.89%	74 15.07%	9 1.83%	0 0.00%	1 0.20%	491 100.00%	4.80	0.468	4.82	0.211
26～50名		600 70.84%	193 22.79%	48 5.67%	3 0.35%	3 0.35%	847 100.00%	4.63	0.640	4.62	0.235
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		1,007 75.26%	267 19.96%	57 4.26%	3 0.22%	4 0.30%	1,338 100.00%	4.70	0.588	4.73	0.243

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成 28 年度	平成 29 年度
委員長	副 学 長	眞 野 泰	眞 野 泰
委 員	学生センター所長	小 島 修 一	小 島 修 一
委 員	学 長 室 部 長	佐 藤 吉 孝	佐 藤 吉 孝
委 員	法 学 部	津 村 政 孝	津 村 政 孝 常 岡 孝 好
委 員	経 済 学 部	三 井 清	赤 司 健太郎
委 員	文 学 部	今 井 久 登	今 井 久 登
委 員	理 学 部	中 野 伸	中 野 伸
委 員	国際社会科学部	牧 田 り え	牧 田 り え
委 員	法 務 研 究 科	長谷部 由起子	大 橋 洋 一 原 恵 美
委 員	スポーツ・健康科学センター	高 丸 功	高 丸 功
委 員	計算機センター	横 山 悦 郎	横 山 悦 郎
委 員	外国語教育研究センター	堀 内 ゆかり	加 藤 耕 義
委 員	教 職 課 程	宮 盛 邦 友	山 崎 準 二
委 員	学芸員課程委員会	島 尾 新	島 尾 新

学習院大学
平成28(2016)年度「授業評価アンケート」報告書

平成29(2017)年8月

編集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会
発行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(5992)1003

お問合せ先：学長室経営企画課